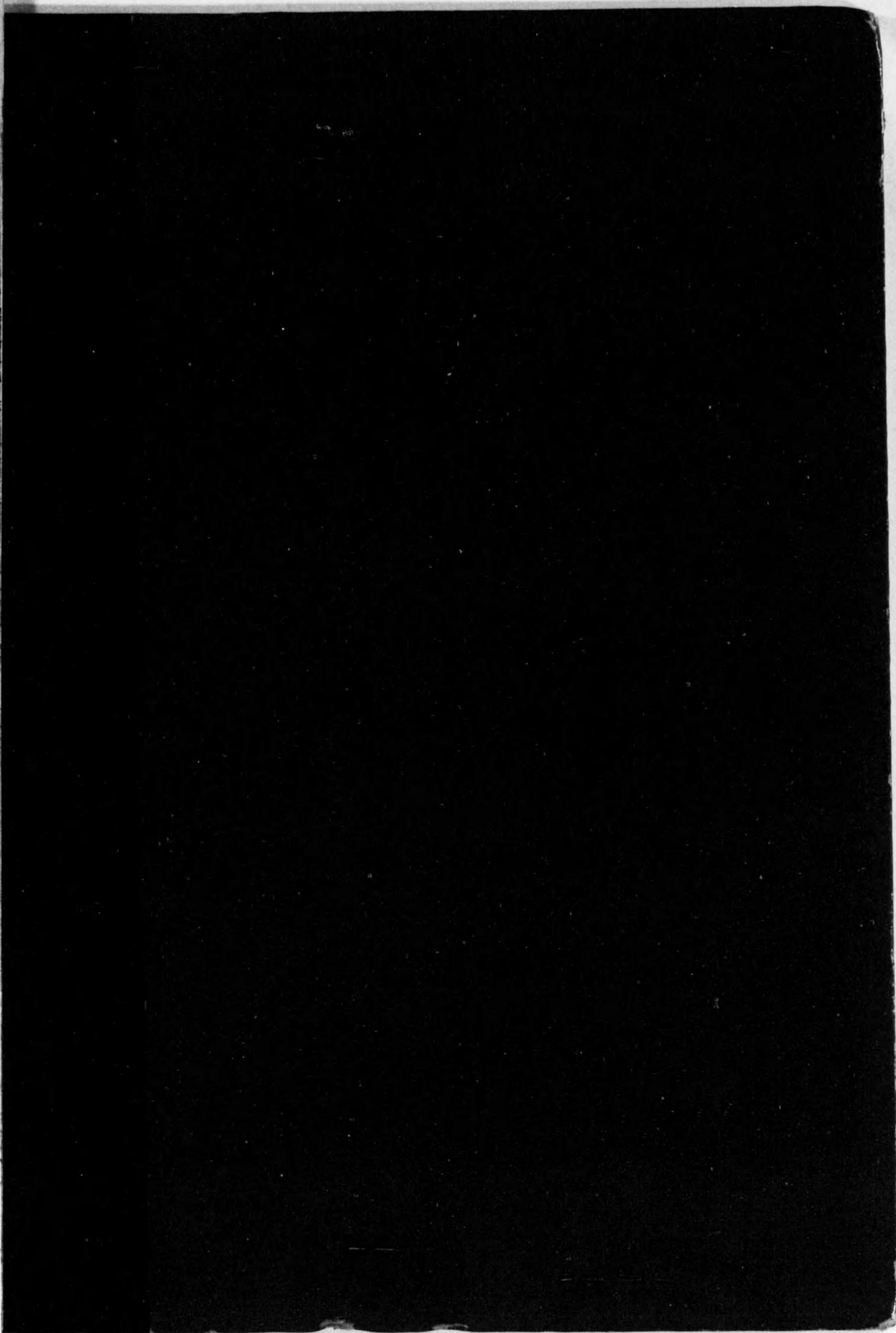




始



14.4
798

帝國鐵道年鑑

(昭和三年版)

社團法人 帝國鐵道協會發行

帝國鐵道年鑑發行ニ際シテ

帝國鐵道協會ハ本年ヲ以テ創立三十年ニ相當シ且會館増築ノ
工事モ近ク竣成セントスルニヨリ此ノ機會ヲ以テ我國鐵道ノ現
狀ヲ悉知シ且ソノ發達ノ跡ヲ辿ルニ足ル書冊ヲ刊行シ之ヲ世上
ニ頒ツコトハ會務發展ヲ祝賀スル意ニモ合致スト思惟シ茲ニ
『帝國鐵道年鑑』ヲ發刊スルコトトセリ。

コレヲ過去六十年間ニ於ケル我國鐵道ノ歴史ニ徵スルニ當ニ
國有鐵道ニ於テ著大ノ進歩ヲ遂ゲタルノミナラズ私設線ニ於テ
モ鐵道軌道イヅレモ其ノ進展驚クベキモノアリテ收録公表スベ
キ幾多ノ資料ヲ提供シツツアルハ具眼ノ士ノ等シク認ムル所從
テ之ヲ蒐集網羅シテ一編ノ記錄トナシ更ニ必要ナル場合コレヲ
増補訂正シテ我國鐵道ノ時々ノ狀勢ヲ知ルニ便ナラシムルハ時
代ノ要求否ナ刻下喫緊ノ業ナリトモ考ヘラル。

固ヨリカカル編纂ノ事業ハ容易ナルモノニアラズ其ノ收容項
目ノ廣汎ナルコトト記載事項ノ正確精密ヲ要スルコヲト思ヘバ
必須ノ書冊ニシテ而カモ今日マデ其ノ出現ヲ見ザリシ理由ノ存
スルコトヲ首肯シ得ベシ。然ルニ今回本協會ニ於テ此ノ難事業
ヲ成就シ得タルコトハ本協會ノ光榮トスル所ニシテ之ト同時ニ
此ノ計畫ニ參加シ援助セラレタル江湖有識ノ好情ニ對シテ深厚
ナル感謝ノ意ヲ表ス。

昭和三年五月



社団法人 帝國鐵道協會

會長 國澤新兵衛

144-798

例 言

- 一 本書ハ卷頭趣意書ニ記載セル如ク本會創立三十週年ノ記念出版トシテ刊行セルモノナリ。而シテ其ノ刊行ヲ決シタルハ本年二月ニシテ直ニ編纂ノ方針ヲ定メ收容項目ノ調査及材料ノ蒐集ニ着手シタルモ記念出版タルノ關係上自ラ發行期日ニ制限ヲ被リ實行上ノ困難ハ實ニ想像ノ外ニ出デタリ。
- 二 收容範圍ハ單ニ内地ノ鐵道ニ止メズ遠ク朝鮮、臺灣、樺太、南滿洲ニ及ボシ廣ク帝國鐵道ノ通觀ニ便ナラシメンコトヲ期シタリ。
- 三 收容セル各種統計ノ數字ハ最新ヲ期シタルモ各表ノ統一ヲ圖ル爲之ヲ昭和元年度ニ止メタリ。
- 四 編纂資料ノ蒐集ニ關シテハ鐵道省、朝鮮總督府鐵道局、臺灣總督府交通局鐵道部、樺太廳鐵道事務所、南滿洲鐵道株式會社並各鐵道、軌道會社ノ援助ヲ仰ギタリ。僅々百日ニ足ラザル短日月ノ間ニ千頁ヲ突破スベシト思ハルル程度ノ資料ヲ供給サレタルコトハ眞ニ感謝ニ堪エズ。
- 五 然ルニ本書ハ最初六百頁ノ豫定ヲ以テ準備ヲ進メタル關係上前述ノ如キ多數資料ノ全部ヲ掲載スルコトハ不可能事ニ屬シ止ムナク其ノ若干ヲ割愛シ且收容項目中ニ發表シタル鐵道關係團體並事業者其ノ他ヲモ遺憾ナガラ省略スルノ止ムヲ得ザリシニ拘ラズ尙豫定ヲ超過スルコト一百餘頁ヲ算ス。コレニ對シテハ資料提供者並ニ讀者諸氏ノ諒恕ヲ乞フコト切ナリ。
- 六 私設會社ノ鐵道及軌道ハ全部同一形式ヲ採ルベク豫期シタルモ出版期日切迫ト遠隔ノ地ト交渉ノ關係上其ノ統一ヲ成シ能ハザリシヲ遺憾トス。是レ止ムヲ得ザルニ出デタルモノナレバ之ヲ諒トセラレンコトヲ期待ス。
- 七 内地會社ニ在リテモ全部ノ回答ヲ得ザリシヲ以テ回答ヲ得タル會社ノ兼營他事業及其ノ成績ノ外ハ舉ゲテ鐵道省ノ調査ニ準據シ且年度ヲ畫一スル爲メ大正十四年及昭和元年度分ヲ掲載シタリ。回答ヲ寄セラレタル會社ニ對シテ深ク感謝スル所ナリ。
- 八 本書ノ編纂ハ邦文ノ書冊ニ於テ典據トスベキモノナク從テ編纂ニハ多大ノ苦心ト努力トヲ拂ヒタルモ尙所期ニ及バザルコトノ遠キヲ憾ミトス。讀者諸氏ノ指教批判ヲ得テ他日ノ改版ニ待ツ所アラントス。
- 九 終リニ溢ミ資料ヲ寄セラレタル關係官廳及會社ノ好意ヲ謝シ更ニ編輯ニ多大ノ指導援助ヲ與ヘラレタル鐵道省各局長、各課長ヲ始メトシ多數係官ニ對シテ深厚ナル敬意ヲ表ス。

帝國鐵道年鑑目次

第一編 鐵道總覽

- 鐵道年表..... 3
- 主要國鐵道比較統計.....40
- 鐵道延長累年表.....40
- 軌道延長累年表.....44
- 百方里當リ鐵道延長.....44
- 鐵道一哩當リ人口.....45
- 主要國鐵道延長及密度.....45

第二編 內地鐵道

- 內地鐵道一般.....48
- 國有鐵道工事中線.....48
- 國有鐵道工事未着手線.....48
- 昭和二年度以降建設費豫算年度割.....50
- 昭和二年度以降建設線施行計畫.....56
- 國有鐵道豫定線.....58
- 昭和二年度中開業線.....59
- 昭和二年度廢止線.....59
- 鐵道營業法.....60
- 鐵道運輸規程.....62
- 鐵道敷設法.....68
- 鐵道會議官制.....72
- 鐵道會議議員.....72

國有鐵道.....75

- 國有鐵道ノ沿革.....77
- 國有鐵道ノ組織.....77
- 各省官制通則.....77
- 鐵道省官制.....78
- 鐵道局官制.....79
- 鐵道歷代長官.....80
- 主要職員氏名.....85
- 鐵道局內各事務所ノ所管區域.....85
- 建設事務所所管區域.....88
- 驛庫所區場數.....90
- 昭和二年中新設驛.....90
- 昭和二年度廢止驛.....93
- 所屬別官名別職員表.....94
- 主ナル職名別人員表.....94

- 國有鐵道職員及給額表.....96
- 線 路.....98
- 線路名稱區間及哩程.....98
- 營業哩平均營業哩及軌條別軌道延長.....102
- 著名工事.....104
- 橋梁並隧道.....104
- 主要鐵橋.....105
- 主要隧道.....105
- 勾配ト其ノ延長.....106
- 曲線ト其ノ延長.....107
- ハンプ操車場.....107
- 自動信號其ノ他電氣保安裝置ノ略說
及現況.....110
- 車 輛.....112
- 機關車輛數表.....112
- 使用客車現在表.....114
- 使用貨車現在表.....118
- 運 輸 一 般.....122
- 旅客貨物輸送數量及延人噸哩.....122
- 運輸收入表.....122
- 六大都市各驛旅客乘車人員.....124
- 六大都市貨物發著噸數.....128
- 主要驛(六大都市關係驛ヲ除ク)旅客
乘車人員.....132
- 主要驛(六大都市關係驛ヲ除ク)貨物
發著噸數.....134
- 主要線路一日平均通過人員、噸數、
列車回數及一列車平均輸送人噸數.....136
- 旅 客 運 輸.....137
- 旅客運輸.....137
- 主要驛間旅行所要時間及運費.....146
- 旅客列車走行哩.....148
- 客車走行哩.....148
- 電車走行哩.....149
- 等級別乘車人員延人哩及運費.....150
- 定期乘車券發賣員數及運費.....150
- 回数乘車券發賣員數及運費.....152
- 團體乘車券發賣員數及運費.....152
- 等級別一日平均乘車人員.....154
- 等級別一人平均乘車哩、運費及一人

一哩平均運費..... 155
 乘車哩別人員及延入哩..... 155
 急行券發賣人員及料金..... 156
 寢臺券發賣人員及料金..... 156
 入場券發賣人員及料金..... 157
 手荷物運輸數量及運費..... 158
 小荷物運輸數量及運費..... 158
貨物運輸..... 159
 鐵道貨物運輸..... 159
 主要驛間貨物輸送時間及運費..... 162
 貨物列車走行哩..... 166
 貨車走行哩..... 167
 扱別噸數、延噸哩及運費..... 167
 貸切扱等級別數量及運費..... 168
 貸切扱等級別一車平均積載噸數運費..... 169
 小口扱貨物等級別數量運費(百分比共)..... 169
 取扱斤量等級別百分比..... 169
 輸送哩別扱別貨物噸數及延噸哩..... 170
 扱種別一噸平均輸送哩、運費及一噸
 一哩平均運費..... 170
 主要貨物輸送噸數..... 172
 主要貨物扱別噸數噸哩運費..... 172
 六大都市主要貨物發著數量..... 176
 運費特定貨物數量及運費..... 178
運轉..... 181
 機關車輛數及重量..... 181
 機關車牽引力..... 181
 機關車哩並換算客貨車哩..... 182
 列車哩並一列車平均輸送人噸數..... 182
 機關車運轉用消耗品成績..... 184
 電氣機關車運轉成績..... 189
 電車運轉成績..... 189
 石炭及動力消費高..... 192
船舶..... 194
 汽船現在數並航路現況..... 194
 航路別旅客貨物數量及運費..... 196
 主要貨物扱別航路噸數..... 198
連帶及國際聯絡運輸..... 201
 連帶線延長..... 201
 地方鐵道及軌道ノ全體ト連帶線トノ
 比較..... 201
 省線內發着旅客貨物數量ト連帶旅客

貨物數量割合..... 201
 連帶地方鐵道、軌道一覽..... 202
 國際聯絡..... 207
事故..... 214
 運轉事故件數..... 214
 運轉死傷人員..... 215
 旅客及公眾死傷件數及慰藉料..... 216
 荷物損害賠償件數及賠償額..... 216
 著名事故..... 217
電氣..... 221
 發電機器..... 222
 發電所供給電力並費額成績..... 222
 電力線路..... 224
 電動機..... 224
 電燈..... 225
 電燈設備車輛..... 225
 車輛設備電燈及燭力..... 226
 列車電燈發電機及蓄電池..... 226
 列車電燈成績..... 227
 通信信號線路..... 227
 通信回線..... 228
 電信電話及電話交換機..... 228
 閉塞機、電氣時計及電池..... 229
 電氣信號機、自動自號機及自動信號
 機設置區間..... 229
 電化成績..... 230
鐵道資本及收支關係..... 232
 國有鐵道ノ營業收入ニ對スル支出及
 資本ニ對スル益金割合..... 232
 帝國鐵道貸借對照表..... 232
 固定財產內譯表..... 234
 帝國鐵道收益勘定收入支出計算表..... 236
 用品資金計算表..... 236
 國有鐵道收支統計..... 238
 營業費統計..... 240
 諸指數..... 242
從事員ニ對スル施設..... 243
 國有鐵道共濟組合..... 243
 共濟組合員數..... 243
 組合員加入及脫退人員..... 243
 共濟組合收入..... 244
 共濟組合總資產..... 244

共濟組合健康給付組合員數..... 244
 購買部(購買支部、配給所、食堂數
 並資金融通額及物品配給價額)..... 245
 貸付部(貸付狀況)..... 245
 貯金部(預金狀況)..... 246
鐵道醫療..... 246
 職員公務上傷病人員..... 246
 鐵道病院入院患者數..... 247
 鐵道病院外來患者數..... 247
 鐵道療養所入所患者數..... 247
 鐵道療養所外來患者數..... 248
 鐵道治療所外來患者數..... 248
 鐵道囑託醫數..... 248
 國有鐵道現業委員會..... 249
 業務協議會..... 250
勞働問題..... 251
 勤務時間..... 251
 勤務方法別一人平均勤務時間..... 251
 種目別給與額一覽..... 252
 國有鐵道從事員ニ關スル諸統計..... 255
 出生地別從事員數..... 255
 年齡別從事員數..... 256
 年齡及配偶關係別從事員數(實數)..... 256
 年齡及配偶關係別從事員數(百分比)..... 257
 勤續年數別從事員數..... 257
 教育程度別從事員數..... 258
 年齡別平均給..... 259
 勤續年數別平均給..... 259
 各職別平均勤續年數、平均年齡及
 平均給ノ比較..... 260
 給料別從事員數..... 260
 國有鐵道ニ於ケル勞働組合運動概説..... 262
鐵道時事問題..... 265
 工務關係改良工事..... 265
 昭和二年度車輛增備計畫..... 270
 昭和二年度車輛改良計畫..... 271
 自動聯結器取替工事..... 272
 空氣制動裝置工事..... 275
 鐵道電化問題..... 276
 都市近郊運輸..... 278
 小運送及運送店問題..... 287
 地方鐵道及軌道對自動車問題..... 290

鐵道運輸委員會..... 292
 地下鐵道ノ現況..... 293
地方鐵道及軌道..... 295
地方鐵道..... 295
 地方鐵道法..... 297
 地方鐵道補助法..... 300
 被買收鐵道一覽..... 301
 地方鐵道現況..... 302
 軌間別地方鐵道一覽..... 303
 地方鐵道敷設免許失效開業累年表..... 304
 地方鐵道各年度末開業線現況..... 304
 地方鐵道各年度末未開業線現況..... 305
 地方鐵道貸借對照表中重要項目(一)..... 305
 地方鐵道貸借對照表中重要項目(二)..... 306
 地方鐵道ノ運輸量累年表..... 306
 地方鐵道ノ運費累年表..... 307
 地方鐵道營業收支及益金累年表..... 307
 一日一哩平均營業收支及平均通過數..... 308
 地方鐵道補助許可及終了課累年表..... 308
 地方鐵道補助成績..... 309
 昭和二年度中開業地方鐵道..... 309
開業地方鐵道經營者..... 311
 北海道(北海道)..... 311
 美 唄 "..... 311
 釧路臨港 "..... 312
 河 西 "..... 312
 雄別炭礦 "..... 313
 定山溪 "..... 314
 壽 都 "..... 314
 十 勝 "..... 315
 夕 張 "..... 315
 渡島海岸 "..... 316
 十和田(青森)..... 316
 弘 南 "..... 317
 岩手輕便(岩手)..... 317
 釜石鑛山 "..... 318
 花卷溫泉電氣 "..... 318
 仙 北(宮城)..... 319
 宮城電氣 "..... 319
 秋 田(秋田)..... 320
 横 莊 "..... 321
 小 坂 "..... 321

高 島 (山形).....	322
尾 花 澤 ".....	322
三山電氣 ".....	323
白 棚 (福島).....	323
湊 (茨城).....	324
筑 波 ".....	324
鹿島參宮 ".....	325
龍 崎 ".....	325
常 總 ".....	326
茨 城 ".....	327
筑波山鋼索 ".....	327
東 野 (栃木).....	328
下野電氣 ".....	328
宇都宮石材 ".....	329
上 州 (群馬).....	329
岩鼻輕便 ".....	330
上信電氣 ".....	331
武 州 (埼玉).....	331
秩 父 ".....	332
西 武 ".....	333
成 田 (千葉).....	334
流 山 ".....	334
北 總 ".....	335
小 湊 ".....	335
小 銚 子 ".....	336
東 武 (東京).....	337
五 日 市 ".....	338
武 藏 野 ".....	338
池上電氣 ".....	339
目黒蒲田電鐵 ".....	340
青 梅 ".....	340
東京橫濱電鐵 ".....	341
小田原急行 ".....	342
東京地下 ".....	342
高尾登山 ".....	342
相 模 (神奈川).....	343
日本電力(箱根電車)".....	343
神 中 ".....	344
鶴見臨港 ".....	345
南 武 ".....	345
大 雄 山 ".....	346
頸 城 (新潟).....	347
栃 尾 ".....	347

長 岡 ".....	348
新潟臨港 ".....	349
蒲 原 ".....	349
立 山 (富山).....	350
加 越 ".....	350
富山縣營 ".....	351
富 山 ".....	352
富 岩 ".....	352
黑 部 ".....	353
越 中 ".....	353
溫泉電軌 (石川).....	354
金澤電氣 ".....	355
能 登 ".....	355
尾 小 屋 ".....	356
金 名 ".....	356
淺野川電氣 ".....	357
能美電氣 ".....	358
京都電燈 (福井).....	358
福武電氣 ".....	359
南 越 ".....	359
丸 岡 ".....	360
鯖浦電氣 ".....	360
永 平 寺 ".....	361
信 濃 (長野).....	362
佐 久 ".....	362
飯 山 ".....	363
長野電鐵 ".....	363
筑摩電氣 ".....	364
伊那電氣 ".....	365
丸 子 ".....	366
草津電氣 ".....	366
布引電氣 ".....	367
上田溫泉電軌 ".....	367
池 田 ".....	367
東 美 (岐阜).....	368
駄 知 ".....	369
美濃電氣 ".....	369
竹 鼻 ".....	370
北 惠 那 ".....	370
揖斐川電氣 ".....	371
谷 汲 ".....	372
各 務 原 ".....	372
坂 川 ".....	373

中 遠 (静岡).....	373
安 倍 ".....	374
富士身延 ".....	374
藤 相 ".....	375
濱 松 ".....	376
大 井 川 ".....	376
遠州電氣 ".....	377
駿 豆 ".....	377
豐 川 (愛知).....	378
三 河 ".....	379
鳳 來 寺 ".....	379
愛知電氣 ".....	380
名 古 屋 ".....	381
瀬戸電氣 ".....	382
碧海電氣 ".....	383
北 勢 (三重).....	383
安 濃 ".....	384
伊勢電氣 ".....	384
三 重 ".....	385
伊賀電氣 ".....	386
松坂電氣 ".....	386
中 勢 ".....	387
四 日 市 ".....	388
朝熊登山 ".....	388
江 若 (滋賀).....	389
近 江 ".....	390
琵琶湖鐵道汽船 ".....	390
比 叡 山 ".....	391
北 丹 (京都).....	391
男山索道 ".....	392
京都電燈 ".....	392
加 悅 ".....	393
天橋立鋼索 ".....	393
南 海 (大阪).....	393
新 京 阪 ".....	394
大 阪 ".....	395
水 間 ".....	395
淡 路 (兵庫).....	396
播 丹 ".....	397
篠 山 ".....	398
赤 穂 ".....	398
別府輕便 ".....	399
播 電 ".....	399

宇治川電氣 ".....	400
摩耶鋼索 ".....	400
妙見鋼索 ".....	401
大阪電氣 (奈良).....	402
大 和 ".....	403
信貴生駒 ".....	403
吉 野 ".....	404
新 宮 (和歌山).....	405
有 田 ".....	405
加太輕便 ".....	406
山東輕便 ".....	406
野上輕便 ".....	407
伯陽電鐵 (鳥取).....	408
一畑電氣 (島根).....	408
簸 上 ".....	409
西 大 寺 (岡山).....	409
片 上 ".....	410
下 津 井 ".....	411
中 國 ".....	411
井 笠 ".....	412
三 幡 ".....	413
鞆 (廣島).....	413
藝 備 ".....	414
兩 備 ".....	414
廣島瓦斯電軌 ".....	415
尾 道 ".....	416
宇 部 (山口).....	416
船 木 ".....	417
長 州 ".....	418
小 野 田 ".....	418
長 門 ".....	419
防 石 ".....	419
阿 波 (德島).....	420
阿 南 ".....	421
四國水力 (香川).....	421
琴平參宮電鐵 ".....	422
琴平電鐵 ".....	422
宇 和 島 (愛媛).....	423
愛 媛 ".....	423
伊豫鐵道電氣 ".....	424
高 知 (高知).....	425
北 九 州 (福岡).....	425
筑前參宮 ".....	426

東肥	"	426
九州産業	"	427
帝國炭業	"	423
博多電氣汽船	"	423
宇島	"	429
大川	"	430
小倉	"	430
蘆屋	"	431
肥前電氣(佐賀)	"	431
温泉(長崎)	"	432
島原	"	433
佐世保	"	433
口之津	"	434
小濱地方	"	435
鹿本(熊本)	"	435
熊延	"	436
耶馬溪(大分)	"	437
國東	"	437
日出生	"	438
宇佐參宮	"	439
宮崎(宮崎)	"	439
宮崎縣營	"	440
南薩(鹿兒島)	"	440
大隅	"	441
鹿兒島電氣	"	442
薩南中央	"	442
沖繩縣營(沖繩)	"	442
未開業地方鐵道	"	443
膽振(北海道)	"	443
北海道拓殖	"	443
北海道水力電氣	"	444
洞爺湖電氣	"	444
五戸電氣(青森)	"	444
東北鐵道鐵業(岩手)	"	444
増田水力電氣(秋田)	"	444
雄勝	"	445
磐城電氣(福島)	"	445
常南電氣(茨城)	"	445
常北電氣	"	445
加波山	"	445
那須電氣(栃木)	"	445
大谷石材	"	446
沼田電氣(群馬)	"	446

上毛電氣	"	446
上州電氣	"	446
常武電氣(埼玉)	"	446
南總(千葉)	"	447
目黒玉川電氣(東京)	"	447
箱根土地	"	447
江ノ島電氣(神奈川)	"	447
湘南電氣	"	447
相武電氣	"	448
白山電氣(石川)	"	448
三國芦原電氣(福井)	"	448
佐久諏訪電氣(長野)	"	448
箱根土地	"	449
笠原(岐阜)	"	449
西濃	"	449
濱松臨海(静岡)	"	449
光明電氣(愛知)	"	449
愛知中央	"	450
城北電氣	"	450
新三河	"	450
田口	"	450
知多	"	450
三信	"	451
志摩電氣(三重)	"	451
奈良電氣(京都)	"	451
京幾	"	451
鞍馬電氣	"	451
愛宕山	"	452
大峰(大阪)	"	452
阪和電氣	"	452
播摩電氣(兵庫)	"	452
出石	"	452
神戸有馬電氣	"	453
寶塚尼ヶ崎電氣	"	453
六甲越有馬	"	453
參宮急行電鐵(奈良)	"	453
高野山電氣(和歌山)	"	454
大社宮島(島根)	"	454
廣瀬	"	454
播美(岡山)	"	454
四國連絡	"	454
稻荷山ケーブルカー	"	455
倉敷	"	455

屋島登山(香川)	"	455
茂木(長崎)	"	455
木山(熊本)	"	455
高鍋(宮崎)	"	455
軌道	"	457
軌道法	"	457
軌道軌間別一覽	"	459
軌道動力別一覽	"	460
軌道敷設特許、失效及開業累年	"	460
軌道各年度未開業線現況	"	460
軌道資産負債	"	461
軌道營業收支及益金累年表	"	461
軌道一日一哩營業收支並建築費=對 スル益金割合累年表	"	462
二年度中開業軌道	"	462
軌道運輸成績累年表	"	464
開業軌道經營者	"	465
函館水電(北海道)	"	465
登別温泉	"	465
沙流	"	466
札幌市營	"	466
札幌	"	467
早來	"	467
輕石	"	468
士別	"	469
江別町營	"	469
江當	"	469
旭川電氣	"	570
厚真	"	470
田名部(青森)	"	470
花巻温泉電氣(岩手)	"	471
松島電車(宮城)	"	471
仙臺市電氣部	"	472
仙南温泉	"	472
角田	"	473
栗原	"	474
仙臺鐵道	"	474
増東	"	475
金華山	"	475
秋保電氣	"	476
松山人車	"	477
秋田電氣(秋田)	"	477

五城目(秋田)	"	478
中西徳五郎經營	"	478
谷地(山形)	"	479
福島電氣鐵道(福島)	"	479
日本硫黃	"	480
日本鐵道事業	"	480
好間	"	481
磐城炭礦	"	481
勿來	"	482
磐城海岸	"	483
水濱電車(茨城)	"	483
常南電氣鐵道	"	484
鹿島	"	484
村松	"	485
笠間稻荷	"	486
樺穂興業	"	486
日光電氣(栃木)	"	487
鹽原電車	"	487
那須	"	488
鍋山人車鐵道	"	488
宇都宮石材	"	489
東武鐵道(群馬)	"	490
東京電力	"	490
本庄電氣(埼玉)	"	491
成田鐵道(千葉)	"	491
九十九里	"	492
東京市電氣局(東京)	"	493
玉川電氣鐵道	"	493
王子電氣	"	494
京成電氣	"	495
京王電氣	"	496
城東電氣	"	496
西武鐵道	"	497
京濱電氣鐵道	"	498
横濱市電氣局(神奈川)	"	499
東京電燈	"	499
海岸電氣	"	500
日本電力(箱根電車)	"	501
湘南	"	501
富山市營(富山)	"	502
金澤電氣(石川)	"	502
温泉電軌	"	503
金石電氣鐵道	"	504

本郷(福井)..... 504
 富士山麓電氣鐵道(山梨)..... 505
 甲府電車 "..... 505
 筑摩電氣鐵道(長野)..... 506
 上田溫泉電軌 "..... 507
 美濃電氣(岐阜)..... 507
 矢作水力 "..... 508
 三井鑛山 "..... 509
 駿豆鐵道(靜岡)..... 509
 靜岡電氣鐵道 "..... 510
 西遠 "..... 511
 濱松電氣鐵道 "..... 511
 堀之内軌道運輸 "..... 512
 富士 "..... 513
 南豆馬車鐵道 "..... 513
 御殿場馬車鐵道 "..... 514
 島田 "..... 514
 中泉 "..... 515
 名古屋市電氣局(愛知)..... 515
 尾張電氣 "..... 516
 三河鐵道 "..... 517
 中村電氣 "..... 517
 下ノ一色電車 "..... 518
 名古屋鐵道 "..... 518
 築地電軌 "..... 519
 渥美電鐵 "..... 519
 豐橋電氣 "..... 520
 三重合同電氣(三重)..... 521
 中勢鐵道 "..... 521
 桑名電軌 "..... 522
 琵琶湖鐵道汽船(滋賀)..... 522
 京都市事業部(京都)..... 523
 京都電燈 "..... 523
 大阪市電氣局(大阪)..... 524
 京阪電氣鐵道 "..... 524
 南海鐵道 "..... 526
 大阪電氣 "..... 526
 阪神急行電鐵 "..... 527
 阪堺電鐵 "..... 528
 神戸市電氣局(兵庫)..... 528
 阪神電氣鐵道 "..... 529
 宇治川電氣 "..... 530
 能勢電氣 "..... 531

米子電車(鳥取)..... 531
 岩井町營 "..... 532
 岡山電氣(岡山)..... 533
 廣島瓦斯電軌(廣島)..... 533
 廣島電氣 "..... 534
 藝南電氣 "..... 535
 山口縣營(山口)..... 536
 山陽電氣 "..... 536
 伊佐 "..... 537
 四國水力電氣(香川)..... 537
 高松電氣 "..... 538
 琴平參宮電鐵 "..... 538
 伊豫鐵道電氣(愛媛)..... 539
 土佐電氣(高知)..... 539
 東邦電力(福岡)..... 540
 九州水力電氣 "..... 541
 九州電氣 "..... 542
 九州鐵道 "..... 543
 小倉電氣 "..... 544
 門司築港 "..... 544
 筑後 "..... 545
 大牟田電氣 "..... 546
 大宰府 "..... 546
 朝倉 "..... 547
 三潯 "..... 547
 大川鐵道 "..... 548
 柳河 "..... 548
 新兩筑 "..... 549
 鞍手 "..... 550
 南筑 "..... 550
 博多灣鐵道汽船 "..... 551
 中央(佐賀)..... 552
 大隈 "..... 552
 肥筑 "..... 553
 佐賀 "..... 553
 東邦電力 "..... 554
 祐德 "..... 555
 長崎電氣(長崎)..... 556
 熊本市營電氣(熊本)..... 556
 熊本電氣 "..... 557
 菊池電氣 "..... 558
 別府大分電鐵(大分)..... 558
 日向(宮崎)..... 559

鹿兒島電氣(鹿兒島)..... 559
 沖繩電氣(沖繩)..... 560
 沖繩馬車 "..... 561
 糸滿馬車 "..... 561
 未開業軌道..... 562
 大沼電鐵(北海道)..... 562
 八戸水力電氣(青森)..... 562
 矢島鐵道(秋田)..... 562
 原釜電氣(福島)..... 563
 常葉 "..... 563
 新町 "..... 563
 里見(群馬)..... 563
 飯岡(千葉)..... 563
 八王子電氣鐵道(東京)..... 564
 高遠電氣(長野)..... 564
 有馬電氣(兵庫)..... 564
 筑豐電氣(福岡)..... 564

第三編 朝鮮鐵道

國有鐵道..... 569
 沿革..... 569
 朝鮮總督府鐵道局官制..... 569
 組織表..... 570
 局事務所所在地及所管區域..... 570
 驛所區場數..... 571
 職員員數及給額..... 571
 工作使役人員並賃金..... 571
 線路哩程..... 572
 車輛數..... 572
 機關車種類別輛數..... 573
 貨車種類別量數..... 573
 客車種類別量數..... 574
 通信信號回線..... 574
 通信信號機..... 574
 電報通數..... 575
 旅客貨物數量、延人噸哩及運輸收入... 576
 旅客列車哩..... 576
 客車走行哩..... 577
 旅客等級別人員人哩運賃..... 577
 旅客等級別一日平均乘車人員、一人
 平均乘車哩、一人平均運賃、一人一
 哩平均運賃..... 578

旅客輸送哩別人員及延人哩..... 578
 貨物列車哩..... 580
 貨車走行哩..... 581
 貨物級別輸送噸數、延噸哩、運賃..... 581
 貨物級別一日平均輸送噸數、一噸平
 均輸送哩、一噸平均運賃、一噸一
 哩平均運賃..... 581
 貨物運送哩別噸數及延噸哩..... 582
 主要貨物噸數..... 582
 連帶運輸成績..... 584
 機關車及客貨車運轉成績(實數)..... 584
 機關車及客貨車運轉成績(割合)..... 584
 旅客、職員其他死傷者人員..... 586
 運轉事故件數..... 586
 營業倉庫成績..... 586
 營業收入=對スル支出及資金=對ス
 ル益金割合..... 588
 收支統計..... 588
 朝鮮私設鐵道..... 590
 朝鮮私設鐵道令..... 590
 開業及未開業線路哩程..... 590
 軌間別線路哩程..... 591
 動力別線路哩程..... 591
 客貨車走行哩、延人噸哩、一列車平
 均客貨車連結車數、一列車平均人
 噸數、一日一哩平均通過人噸數、一
 人噸平均輸送哩..... 591
 私設鐵道軌道旅客貨物數量及運輸收入 592
 朝鮮鐵道..... 593
 金剛山電氣..... 593
 圖們鐵道..... 594
 朝鮮京南鐵道..... 594
 价川鐵道..... 595
 川內里鐵道..... 595
 南朝鮮鐵道..... 596
 京城電氣..... 596
 朝鮮瓦斯電氣..... 596
 平壤府營電車..... 597
 咸平軌道..... 597
 朝鮮輕便鐵道令..... 598
 朝鮮鐵道軌道ノ營業=關スル件..... 598

第四編 臺灣鐵道

臺灣國有鐵道 601

 沿革 601

 鐵道營業法ヲ臺灣ニ施行ニ關スル件 601

 臺灣總督府交通局官制 601

 臺灣總督府交通局鐵道部組織 602

 鐵道部所在地及所管區域 602

 停車場機關庫保線區工場數 602

 職員及傭員 603

 職員及傭人所屬別員數及給額 604

 線路哩程 604

 車輛數累年 603

 機關車種類別輛數 603

 客車種類別輛數 603

 貨車種類別輛數 609

 電氣通信電線條延長 610

 公衆電報取扱所數、通數及料金 611

 電氣通信、電報取扱所、裝置機械及通
 數、電信費 611

 旅客貨物數量、延人噸哩及運輸收入 611

 旅客列車走行哩 612

 客車走行哩 613

 旅客等級別乘車人員 614

 旅客等級別延人哩 614

 旅客等級別運賃 615

 旅客等級別一日平均乘車人員 616

 旅客等級別一人平均乘車哩 616

 旅客等級別一人平均運賃 617

 旅客等級別一人一哩平均運賃 617

 貨物列車走行哩 618

 貨車走行哩 619

 扱別貨物輸送噸數 620

 扱別貨物延噸哩 620

 扱別貨物運賃 621

 扱別貨物一日平均輸送噸數 622

 扱別貨物一噸平均輸送哩 622

 扱別貨物一噸平均運賃 623

 扱別貨物一噸一哩平均運賃 623

 主要貨物噸數 624

 機關車運轉哩及消耗品 624

 內地相互間連帶運輸成績 626

 營業收入支 626

臺灣私設鐵道 628

臺灣私設鐵道規則 628

臺灣私設鐵道補助法 628

開業線路哩程 629

未開業線路哩程 629

旅客及貨物數量 630

運輸收入 630

經營者別營業哩、旅客貨物數量及運
 輸收入 631

營業收入 632

臺灣私設軌道 633

臺灣私設軌道規程 633

經營者別線名區間哩程 635

車輛數 635

旅客貨物數量及收入 639

經營者別旅客貨物數量及收入 640

第五編 樺太鐵道

樺太官設鐵道 645

 沿革 645

 樺太廳鐵道事務所官制 645

 樺太廳鐵道令 645

 鐵道事務所組織 648

 事務所所在地及所管區域 648

 驛所場庫數 648

 職員員數及給額 649

 車輛數 649

 機關車種類別輛數 649

 客車種類別輛數 650

 貨車種類別輛數 650

 旅客貨物數量延人噸哩及運輸收入 651

 旅客列車哩、客車走行哩、一列車平
 均連結車數及乘車人員、一車一日
 平均哩、一人平均乘車哩及運賃、一
 人一哩平均運賃 651

 貨物列車哩、貨車走行哩、一列車平
 均連結車數及輸送噸數、一車一日
 平均哩、一噸平均輸送哩及運賃、一
 噸一哩平均運賃 652

 主要貨物噸數 652

 機關車運轉用消耗品成績 653

 營業收支 654

樺太地方鐵道 654

埠頭別荷役作業狀況 686

鐵道營業收支統計 688

鐵道營業收支各種平均統計 688

金福鐵道 690

(目次終リ)

第六編 南滿洲鐵道

南滿洲鐵道株式會社 656

 沿革概要 656

 南滿洲鐵道株式會社ニ關スル件 656

 南滿洲鐵道株式會社職制 657

 會社組織表 折込

 本社、鐵道事務所所在地及所管區域 659

 驛所區數 659

 從事員數及給額累年 660

 所屬別從事員數及給額 660

 工場傭員就業狀況 662

 線路哩程 663

 車輛數 663

 車種別輛數 664

 通信信號設備 664

 鐵道電報取扱通數 665

 旅客貨物數量延人噸哩及客貨車收入 666

 旅客等級別人員、延人哩及賃金 666

 旅客等級別一人平均乘車哩、一人平
 均賃金及一人一哩平均賃金 668

 旅客哩別輸送人員及延人哩 669

 貨物扱別噸數、延噸哩、賃金、一噸
 平均輸送哩、一噸平均賃金、一噸
 一哩平均賃金 669

 貨物哩別輸送噸數及延噸哩 670

 主要貨物取扱噸數 672

 機關走車行料及運轉用消耗品 676

 客貨車類走行哩及運轉用消耗品 676

 列車走行哩 (附一日一哩平均通過列
 車回數) 677

 車輛走行哩 (附一日一哩平均通過車
 輛數及平均連結車數) 678

 倉庫營業驛所及其ノ設備 678

 倉庫貨物噸數受拂 679

 埠頭著離船舶及輸出入貨物 680

 大連埠頭發著貨車及貨物 684

 大連輸出主要品噸數 684

 大連輸入主要品噸數 685

 大連輸出大豆仕向地別 685

 大連輸出豆粕仕向地別 686

第一編

鐵道總覽

鐵道年表 3頁

開業線延長 42頁



- 享和元年 (西曆1801)
 (月日不詳) 倫敦郊外ニ於テ馬車鐵道ノ營業ヲ開始ス
- 文政八年 (1825)
 九月廿七日 英國ストックトン・ダーリントン間ニ於テ鐵道開業ス (貨物ノミ)
- 文政十三年 (1830)
 九月十五日 英國リバープール・マンチエスター鐵道開業ス (旅客貨物共)
 (月日不詳) 米國ホルチモア・アンド・オハイオ鐵道 (ペンシルベニヤ州) 一般運輸營業ヲ開始ス
- 十二月十日 天保ト改元
- 天保三年 (1832)
 七月 (日不詳) 佛國サンテチアンヌ・リヨン間鐵道一般運輸營業ヲ開始ス
- 天保六年 (1835)
 十二月七日 獨乙ニユルンベルグ・フィユルト間ルードウイツヒ鐵道一般運輸營業ヲ開始ス
- 嘉永七年 (1854)
 二月十五日 米國水師提督ベルリ大統領ヨリ獻進スル所ノ方物ヲ德川幕府ノ應接掛ニ提ス中ニ蒸汽車一揃アリ乃チ汽車ノ雛形ナリ翌十六日以降横濱村海岸ノ應接場裏ニ軌道ヲ敷設シ二十三日其ノ運轉ヲ試ム (後火災ノ爲該一揃燒失ス)
- 十一月廿一日 安政ト改元
- 安政七年 (1860)
 閏三月六日 遣米使新見豐前守、村垣淡路守、小栗豐後守ノ一行パナマヨリアスヒンワル (コロン) ニ至ル間ヲ蒸汽車ニ搭乘通過ス
- 十八日 萬延ト改元
- 文久二年 (1862)
 二月廿一日 遣歐使竹内下野守、松平石見守、京極能登守一行スエズヨリカイローニ至ル間ヲ鐵道ニ依リ旅行ス尋テアレキサンドリヤニ至ル
- 慶應三年 (1867)
 十二月廿三日 閣老小笠原壹岐守ヨリ亞米利加合衆國使臣館書記官アルセ・ホルトメンニ對シ江戸横濱間鐵道免許書及規則書ヲ交付ス (後明治政府之ヲ認メズ)
- 慶應四年 (1868)
 九月八日 明治ト改元
- 明治二年 (1869)
 八月 (日不詳) 德川幕府ノ經營セシ後志國岩内郡茅沼炭山ヲ再興シ同坑口ヨリ海濱ニ至ル間ニ軌道ヲ敷設シ運炭ノ用ニ供ス (機關車ヲ使用セズ)
- 十一月十日 東京ヨリ京都、大阪、兵庫ニ至ル幹線及東京横濱間支線ト琵琶湖ヨリ敦賀港ニ至ル鐵道線路敷設ノ議ヲ決ス
- 伊達民部兼大藏卿、大隈民部大輔、伊藤大藏少輔ニ鐵道敷設事務ヲ擔任セシメ英國ヨリ金銀借入方條約取結ノ全權御委任仰付ケラル
- 十一月十一日 我全權ハ英國人ホレシオ・ネルソン・レート鐵道起業資金三百萬磅ノ内一百萬磅ヲ起債スルコトヲ約シ尋デ之ニ關スル條約書ヲ作成ス
- 明治三年 (1870)
 三月十七日 東京ヨリ神奈川迄ノ線路測量ノコトヲ令達セラル

(4) 鐵道年表

三月十九日 民部、大藏省ニ鐵道掛ヲ置キ事務局ヲ東京築地尾張藩邸(今ノ水交社ノ位置)ニ設ケ監督、土木、出納ノ三司ノ吏員ニ其掛ヲ命シ同二十七日監督正上野景範ヲシテ其ノ事務ヲ總理セシム

廿二日 橫濱野毛町ニ鐵道掛ノ出張所ヲ置キ監督權大祐橋本小一郎(則順)ヲシテ之ヲ擔理セシメ六郷川ヲ境界トシ兩端ヨリ着手スルコトヲ定ム

廿五日 民部省用地トシテ東京芝刈留町舊龍野、仙臺、會津三藩邸ノ地ヲ東京ニ於ケル停車場ト定メ線路測量ニ着手ス

(日不詳) 備英國人建築首長エドモンド・モレル來任シ土木大屬小林易知準十等出仕小野友五郎ト共ニ汐留町ヨリ線路測量ニ着手ス、之ヲ本邦鐵道企業ノ創始トス

四月三日 橫濱野毛浦海岸ヨリ線路測量ニ着手ス

十二日 東京汐留附近ヨリ土工ヲ起ス

六月一日 鐵道企業資金供給方ヲ委託シタル英國人レーニ對シ其ノ解除ヲ宣言シ更ニ英國オリエンタル銀行ト其ノ供給方ニ付契約ス

七月十八日 民部大藏兩省分離シ鐵道事務ハ民部省ニ屬ス

三十日 大阪、神戸ニ鐵道ノ出張所ヲ設置シ之ヲ關西鐵道局ト稱ス

大阪、神戸間測量ヲ開始シ備英國人建築副役ジョン・エンランド之ニ從事ス

八月九日 民部省ニ鐵道掛ヲ置キ民部少輔吉井友實之ヲ總理ス

閏十月廿日 工部省ヲ設ケラレ其ノ廳舎ヲ皇城內ニ置キ鐵道掛之ニ屬ス其ノ位置故ノ如シ

廿四日 大阪神戸間石屋川隧道ノ開鑿ニ着手シ十一月全線ノ工ヲ起ス

十二月十三日 工部省ノ廳舎ヲ木挽町元外務省跡(現商工省ノ位置)ニ移シ鐵道掛亦之ニ合ス

明治四年(1871)

六月十六日 京都ニ鐵道掛出張所ヲ置キ京都大阪間ノ測量ヲ始ム

七月(日不詳) 橫濱停車場ニ運輸掛ヲ置ク

八月十四日 工部省ニ鐵道寮ヲ置ク、翌十五日工部大丞井上勝嶺山頭兼鐵道頭ニ任セラル

明治五年(1872)

二月廿六日 工部省廳舎火災ノ爲類焼シ二十七日鐵道寮ヲ汐留停車場本屋ニ移ス

廿八日 太政官布告ヲ以テ鐵道略則ヲ公布ス

三月八日 鐵道運賃常則ハ稟議ノ上施行スベク一室ヲ貸與セシ運賃ハ發車ノ都合ニ依リ臨機鐵道頭ニテ處分スベキ旨ヲ稟議シ(二月二十七日)其ノ允可ヲ得

二十日 東京橫濱間各驛收入金實價監査ノ爲メ三井組ヨリ監査人六名ヲ派出セシムルコトヲ議定ス(明治十一年九月三十日廢止)

(日不詳) 運輸課員ノ服制ヲ定ム

(同) 大政堂島元大村藩邸ニ出張寮ヲ置キ之ヲ大阪東鐵道寮ト稱ヘ京都大阪間鐵道建築ヲ管セシメ堂島元中津藩邸ノ出張寮ヲ大阪西鐵道寮ト稱シ大阪神戸間鐵道建築ヲ管セシム

五月四日 太政官布告ヲ以テ更ニ改正鐵道略則及鐵道犯罪罰例ヲ公布ス

七日 品川橫濱(現櫻木町)間鐵道建築略竣シタルヲ以テ假ニ汽車運輸ヲ開業シ一日二回ノ列車往復ヲ開始ス

廿七日 汐留停車場ヲ新橋ト改稱ス

高島嘉右衛門「東京ヨリ青森迄鐵道建言書」ト題スル意見書ヲ工部省ニ提出ス

六月一日 神奈川、川崎兩停車場開業ス

十三日 東京橫濱ヨリ郵便行囊護送ノモノ附添ヒ列車ヲ以テ遞送ス(運賃ハ書狀賃金ノ十分ノ一ヲ毎月拂)

鐵道年表 (5)

七月四日 井上勝鐵道頭ニ專任セラル

八月十四日 鐵道寮運輸掛ヲ運輸課ニ改メ鐵道權助佐知信之ヲ課長トシ更ニ建築課ヲ置キ鐵道助竹田春風ヲ課長トス

晦日 東京赤坂葵坂(元東伏見宮邸)ニ新築シタル工部省廳舎落成シ鐵道寮汐留ヨリ移ル

九月十二日 新橋(現汐留)橫濱兩停車場ニ臨御東京橫濱間鐵道開業ノ式ヲ舉行セラレ兩所ニ於テ勅語ヲ賜フ、翌十三日ヨリ新橋橫濱間(鶴見開業)ノ運輸ヲ開始ス

十月三日 新橋橫濱間電信線竣工シ鐵道寮ノ所轄トシ其ノ取扱規則ヲ定ム

明治六年(1873)

以下太陽曆

一月十二日 鐵道建設ハ自今人民ノ會社ニ任セ結社ノ方法ハ大藏省ニ委任セラルル旨令達ス

廿七日 橫濱發上リ列車ノ火災ニテ蒲田附近民家五戸ヲ燒ク、沿線火災ノ初メトス

三十日 新橋橫濱間鐵道複線布設スベキ命アリ此日豫算書ヲ開申ス

二月十四日 橫濱停車場內ニ置キシ運輸、建築ノ兩課ヲ新橋停車場內ニ移ス

三月十三日 鐵道犯罪罰令ヲ改正布告ス

六月五日 新橋橫濱間上等乗客ニ三ヶ月百二十圓ヲ以テ往復常乗切手ヲ交付スベキ制ヲ設ク

七月廿二日 鐵道頭井上勝退官シ鐵道助太田贊政鐵道權頭ニ任セラル

八月二十日 新橋、神奈川、橫濱ノ三停車場ニ荷物取扱所ヲ設ケ貨物ノ集配ヲ爲サンコトヲ三井組ヨリノ請願ニ對シ之ヲ許可ス(翌七年八月三日取扱手数料ヲ貨物賃金百分ノ五交付スベキヲ定ム)

九月十三日 鐵道貨物運送補則並賃錢表ヲ公布シ十五日新橋橫濱間ニ貨物運輸ヲ開始ス

廿三日 鐵道建築規則ヲ定ム

十月三日 鐵道寮分課處務規程、運輸課處務規定、汽車運輸規定ヲ定ム

廿九日 鴻池善右衛門等大阪堺間鐵道敷設ノ免許ヲ請願ス(後不許可)

明治七年(1874)

一月十日 井上勝再ヒ鐵道頭ニ任セラル

二月廿七日 鐵道寮ヲ大阪堂島西鐵道寮ニ移シ三月十六日事務ヲ開始シ同月二十八日東鐵道寮ヲ合ス

五月十一日 大阪神戸間(中間ニ西宮、三ノ宮)鐵道建築竣成シ假ニ開業シ神戸停車場內ニ運輸課ヲ置ク(六月一日神崎、住吉開業)

廿八日 鐵道貨物運送補則並賃錢表ヲ改正シ六月十五日ヨリ施行ス

九月九日 新橋停車場構內倉庫ヨリ火ヲ失シ一棟(約三百坪)燒失ス之ヲ鐵道創始以來最初ノ火災トス

十月七日 新橋建築課ヲ廢シ其ノ事務ヲ運輸課ニ合シ修繕科トス

十一日 午前八時十五分橫濱發ノ列車新橋ニ到着ノ際ポイントニ障礙アリシ爲メ機關車及貨車一輛顛覆ス之ヲ車輪顛覆ノ最初トス

十一月五日 鐵道電信生徒ハ電信寮ニ定メタル電信修技生取扱規則ニ準ズル旨ヲ議定ス

十七日 工部省布達ヲ以テ小荷物運送規則ヲ制定シ十一月二十日ヨリ施行ス

十二月一日 大阪神戸間ニ貨物運送補則ヲ實施シ貨物ノ運送ヲ開始ス

明治八年(1875)

一月廿三日 大塚三郎平等ニ大阪堺間鐵道ノ建築ヲ許可ス(後成立ニ至ラズシテ止ム)

三月十五日 三井組ニ交付セル貨物取扱手数料ヲ四月一日以降荷主ヨリ領收スルコトニ改ム

廿七日 内國通運會社ニ京阪間運輸荷物取扱ヲ三井組ノ例ニ準ジ之ヲ許ス

五月一日 大阪停車場ノ西邊ヨリ分岐シ安治川北岸ニ達スル安治川支線開通ス(明治十年十

(6) 鐵道年表

- 一月二十四日廢止)
- 七月廿七日 鐵道各驛電信技術生徒ヲ電信寮所轄ニ移ス
- 十月十二日 九條道孝外二十六名ヨリ成ル華族組合ヨリ東京橫濱間鐵道ヲ實費概算三百萬圓ヲ以テ拂下ヲ出願シ東京府知事ヲ經テ許可ヲ通達ス(明治十一年二月十八日同組合ノ願ニ依リ許可ノ取消ヲ許ス)
- (月日不詳) 神戸工場ニ於テ邦產材料(車輪車軸ヲ除ク)ヲ以テ客貨車ヲ製作ス本邦客貨車製作ノ最初トス
- 明治九年(1876)
 - 五月廿五日 郵便汽船三菱會社ニ對シ京都神戸間ニ於テ船積荷物ノ鐵道運賃低減ノ方法ヲ約定ス
 - 七月廿八日 京都大阪間線路ノ内大阪向日町間竣成シ中間ニ高槻停車場ヲ置キ假ニ運輸ヲ開キ旅客ノ乘車ヲ許ス(八月九日吹田、茨木、山崎ノ三驛開業ス)
 - 九月五日 向日町京都間竣成シ大宮通ニ假停車場ヲ設ケ大阪京都間假ニ開業ス
 - 十二月一日 新橋品川間複線竣成ニ付芝田町二丁目裏ニ假停車場ヲ設ケ此ノ區間ニ小運轉ヲ開ク(翌十年九月一日田町假停車場閉塞)
- 明治十年(1877)
 - 一月十一日 工部省中ノ諸寮ヲ廢シ鐵道局ヲ置ク爾來新橋ニ於ケル鐵道ノ廳司ヲ新橋鐵道局ト稱シ工部權大書記官大野誠等其ノ事務ヲ管シ神戸出張所ヲ神戸鐵道局ト稱シ權少書記官額川君平其ノ事務ヲ管ス
 - 十九日 工部少輔井上勝鐵道局長仰付ラル
 - 二月五日 京都、大阪、神戸三停車場ニ臨御京都神戸間鐵道開業ノ式ヲ舉行セラレ勅語ヲ賜フ翌六日京都停車場ヲ開キ大宮通假停車場ヲ廢ス
 - 三月(日不詳) 京都大阪間ニ列車保安ノ爲メ票券式ヲ施行シ又ブロック電信機ヲ使用ス十月大阪神戸間ニ亦之ヲ施行ス
 - 五月十四日 大阪停車場内ニ工技生養成所ヲ設ク(明治十五年閉鎖)
 - 十一月十六日 大阪停車場ヨリ曾根崎川ニ達スル水路掘鑿竣功ニ付貨物積卸ヲ開始シ十二月一日安治川枝線ノ運輸ヲ廢ス
 - 二十日 京都大阪間ニ貨物運輸ヲ開ク
- 明治十一年(1878)
 - 五月一日 起業公債證書發行條例ヲ頒ツ(千二百五十萬圓六分利付内國債ヲ募集シ内工部省配賦額中二百十三萬九千九百十四圓ヲ鐵道建築費並測量費ニ充ツ)
 - 七月廿九日 大田黑准信等東京橫濱間鐵道ノ拂下ヲ請願ス(九月十日東京府知事ヲ經テ難聽國ノ指令アリ)
 - 九月十八日 新橋橫濱間上中等旅客ニ往復切手(往復乘車券)ノ制ヲ設ケ十一月一日ヨリ發賣ス(十月一日京都神戸間ニ施行)
 - 十二月十五日 新橋橫濱間各驛電信分局ニ於テ公私一般通信ヲ開ク(停車場ニ於ケル公衆電報取扱ノ初メ)
- 明治十二年(1879)
 - 三月十四日 製茶運賃ヲ低減ス(八月十六日酒四十樽醬油百樽以上運送ノ場合定則運賃ヨリ低減)
 - 井上勝工部技監ニ任セラル鐵道局長故ノ如シ
 - 四月十四日 新橋橫濱間ニ初メテ邦人機關ヲ使用ス
 - 八月十八日 京都大谷間開通ス(十一月一日ヨリ貨物列車運轉開始)

鐵道年表 (7)

明治十三年(1880)

- 一月八日 北海道開拓使ニ於テ幌內鐵道ヲ起工ス
- 二月十七日 工部省礦山局ニ屬スル釜石鐵道工事竣功ス
- 四月廿八日 京都大津間逢坂山隧道工事邦人ノ手ニ依リ竣功ス
- 七月十四日 京都大津間列車ニ乘御開通式ヲ舉行セラル翌十五日此ノ區間ヲ開業ス
- 九月六日 神戸三ノ宮兩停車場間ニ傳話機(明治十八年九月十二日電話機ノ文字ヲ使用)ヲ架設ス
- 十一月廿八日 幌內鐵道線手宮札幌間開通ス

明治十四年(1881)

- 二月五日 東京馬車鐵道會社ノ願ヲ許可シ其ノ軌道ヲ新橋停車場ニ接近セシム
- 五月七日 新橋橫濱間各橋梁ノ鐵桁架設工事落成シ翌八日同複線亦全通ス
- 六月一日 鐵道本局ヲ大阪ヨリ神戸停車場構内ニ移シ主記、建築、會計、倉庫、運輸ノ五課及工場ヲ置ク
- 八月三日 神戸大津間各驛ニ於テ貨物ノ荷受人ナキトキハ荷送人ニ還付シ受領ヲ拒ミ又ハ荷送人不明ノトキハ一年ヲ經テ遺失品ノ例ニ準ジ公賣スルノ制ヲ設ク
- 十二日 日本鐵道發起人池田章政等ニ假免狀ヲ下附シ十一月十一日更ニ三十二條ヨリ成ル特許條約書ヲ下附ス
- 三十日 北海道ニ行幸此ノ日小樽ニ御上陸直ニ列車ニ乘御札幌ニ向ハセラル此ノ際熾仁親王親旨ヲ承リ鐵道附屬工場ヲ巡覽アラセラル

九月(日不詳)

明治十五年(1882)

- 九月(日不詳) 大津太湖汽船會社ヲ設立シ鐵道汽船ノ聯絡ニ便ゼンコトヲ請願シ之ヲ許可ス
- 二月八日 開拓使廢セラレ幌內鐵道ハ工部省ニ屬ス
- 三月十日 金ヶ崎(現敦賀港)柳ヶ瀬隧道西口間並長濱柳ヶ瀬間開通シ假運輸ヲ開始ス
- 五月(日不詳) 太湖汽船ト契約シテ大津長濱間ヲ連絡セシム
- 十一月十三日 幌內鐵道線札幌幌內間開通シ手宮幌內炭山間全通ス

明治十六年(1883)

- 二月二日 幌內鐵道農商務省ノ所管ニ屬シ札幌ニ北海道事業管理局ヲ置カレ尋テ之ヲ炭鐵鐵道事務所ト稱シ三月農商務大書記官山内隄雲其ノ所長トナル
- 幌內鐵道工業ノ餘暇人民ノ乘車及荷物運輸ヲ開始ス
- 五月一日 長濱關ヶ原間開業ス
- 六月十四日 日本鐵道汽車運轉、線路橋梁諸車ノ修繕檢査等ヲ鐵道局ニ委託ヲ請願シ之ヲ許可サル(線路建設工事、汽車運轉ハ十八年十一月一日ヨリ會社擔當トナリタルモ二十一年二月二十五日再ビ委託二十五年三月末日建築運輸共會社獨立自營)
- 七月十九日 太政官布告ヲ以テ鐵道略則及鐵道犯罪罰例ヲ私設鐵道ニ適用ス
- 廿六日 日本鐵道上野能谷間工事竣成シ試運轉ヲ行ヒ二十八日假開業ス
- 八月廿六日 日本鐵道貨物運輸ヲ開始ス
- 十月廿一日 日本鐵道能谷本庄間假開業ス
- 十二月廿八日 太政官布告ヲ以テ中山道鐵道公債證書條例ヲ公布シ七分利二千萬圓ヲ工事ノ都合ニ依リ募集ノ旨ヲ令ス

明治十七年(1884)

- 四月十六日 柳ヶ瀬山隧道工事竣成シ長濱金ヶ崎間全通ス
- 五月一日 日本鐵道高崎ニ達ス翌月二十五日上野ニ於テ舉行ノ東京(上野)高崎間開通式ニ臨御勅語ヲ賜フ

(8) 鐵道年表

- 五月廿五日 關ヶ原大垣間開通ス
- 八月二十日 日本鐵道線前橋利根川西岸=達シ上野前橋間全通ス
- 明治十八年(1885)
 - 三月一日 日本鐵道線赤羽品川間開通シ澁谷、新宿、板橋ノ三驛ヲ置キ新橋赤羽間直通運轉ヲ開始ス
 - 五月十日 鐵道會計條例ヲ制定ス
 - 七月十六日 日本鐵道線大宮宇都宮間開通ス
 - 十月十五日 中山道幹線東部高崎橫川間開通ス
 - 十二月廿二日 工部省廢止セラレ鐵道ノ事務ハ内閣ニ屬ス
新橋橫濱間、新橋品川間旅客ノ便利ノ爲メ上中等ニ限リ一ヶ月、三ヶ月、六ヶ月、十二ヶ月ノ定期乗車券ヲ發行シ規約八項ヲ定ム
 - 廿九日 阪堺鐵道難波大和川間開通ス
- 明治十九年(1886)
 - 一月十九日 鐵道局ニ庶務、營業、會計ノ三部ヲ置キ事務官阿部浩、大技長松本莊一郎、事務官置師民嘉各之ヲ主管ス
 - 廿六日 北海道廳ヲ置カレ幌內鐵道ハ之ニ屬シ理事官村田堤ヲ炭鐵鐵道事務所長トス
 - 二月一日 鐵道本局ヲ神戶ヨリ東京舊工部省廳舎ニ移シ四月十四日更ニ赤坂靈南坂町ニ移ス
 - 三月一日 武豐線(大府武豐間)開業ス
 - 七月十九日 中山道鐵道幹線ヲ東海道ニ變更ヲ命ゼラル
 - 八月十五日 直江津線直江津驛山間開通ス
- 明治二十年(1887)
 - 四月廿五日 木曾川鐵橋ノ竣成ニ依リ加納木曾川間開通シ大垣武豐間全通ス
 - 五月十八日 私設鐵道條例公布セララル
 - 六月(日不詳) 新橋橫濱兩停車場ニ於テ小荷物ノ配達ヲ開始シ内國通運會社其ノ配達ヲ請負フ
 - 七月十一日 東海道線橫濱國府津間開通ス
 - 十六日 日本鐵道線白河=達ス
 - 十二月十五日 日本鐵道線上野鹽釜間全通ス
- 明治二十一年(1888)
 - 一月四日 山陽鐵道會社發起人ニ免許狀ヲ下附セララル
 - 三月一日 關西鐵道會社創立委員ニ免許狀ヲ下付セララル
 - 四月(日不詳) 村田堤等ノ組織セル運輸營業團體北有社ニ幌內鐵道ヲ貸付ス
 - 五月一日 直江津線長野=達ス
 - 十五日 阪堺鐵道(難波堺間)全通ス
 - 廿二日 兩毛鐵道線小山足利間開通ス
 - 六月廿七日 九州鐵道會社發起人ニ免許狀ヲ下附セララル
 - 九月一日 東海道線大府濱松間開通ス
 - 十一月一日 山陽鐵道線始メテ兵庫明石間開通ス
 - 十二月一日 直江津線(直江津輕井澤間)全通ス
- 明治二十二年(1889)
 - 一月十六日 水戶鐵道線水戶小山間開通ス
 - 廿九日 鐵道費補充公債條例ヲ公布ス
 - 二月一日 東海道線國府津靜岡間開通ス
 - 四月十一日 甲武鐵道線新宿立川間開通ス

鐵道年表 (9)

- 四月十六日 東海道線靜岡濱松間開通シ新橋(現汐留)長濱間全通ス
- 五月廿三日 讚岐鐵道線丸龜琴平間開通ス
- 六月十六日 橫須賀線(大船橫須賀間)全通ス
- 七月一日 湖東線(關ヶ原大津間)開通シ東海道線新橋(現汐留)神戶間全通ス
新橋神戶間ニ直通列車ヲ運轉ス
- 十日 鐵道開業線一千哩記念祝賀會ヲ名古屋ニ開催ス
- 九月一日 山陽鐵道線兵庫神戶間開通シ官設東海道線ニ接續ス
- 十一月十八日 北海道炭礦鐵道發起人ニ免許狀ヲ下付シ同時ニ幌內鐵道ノ拂下ヲ許可ス
九州鐵道線初メテ博多千歲川間開通ス
- 十二月十五日 關西鐵道線草津三雲間開通ス
- 明治二十三年(1890)
 - 三月十七日 官設鐵道會計法公布セラレ官設鐵道ノ特別會計ノ制ヲ設ク、二十日作業及鐵道會計規則亦公布セララル
 - 十九日 尾濃地方ニ於テ四月十日迄陸海軍聯合大演習ヲ舉行スルニ際シ東海道線ニ於テ軍事輸送ヲ行フ
 - 五月四日 第三回内國勸業博覽會會場上野公園櫻岡大師間ニ藤岡博士設計指導ノ下ニ電氣軌道ノ運轉ヲ開始ス
 - 八月一日 日本鐵道日光線全通ス
 - 廿五日 軌道條例公布セララル
 - 九月六日 鐵道廳ヲ置キ内務大臣ニ屬セラレ子爵井上勝其ノ長官ニ任セララル
(日不詳) 橫川輕井澤間碓氷線ニ「アプト」式ヲ採用スルコトニ決ス
 - 十一月十一日 日本鐵道線盛岡=達ス
 - 十二月廿五日 關西鐵道線四日市=達ス
- 明治二十四年(1891)
 - 三月十八日 山陽鐵道線岡山=達ス
(日不詳) 東海道線小山(現駿河)沼津間複線竣成ス
 - 四月一日 九州鐵道線久留米門司間全通シ七月一日同線熊本=達シ八月二十日佐賀=達ス
 - 九月一日 日本鐵道線盛岡青森間開通ノ結果上野青森間全通シ毎日一回直通列車ヲ運轉ス尋テ十二月二十一日ヨリ三日間東京ニ於テ東京青森間全通式ヲ舉行ス
(日不詳) 神戶驛構内ニ鐵道電信技術專修生養成所ヲ設ク
 - 十月廿八日 濃尾地方震災ノ爲東海道線各所破損ス(翌二十五年四月十六日復舊全通)
 - 十一月三日 關西鐵道線龜山津間全通ス
 - 十二月十四日 私設鐵道買收法案及鐵道公債法案ヲ帝國議會ニ提出ス同二十四日前者否決トナリ後者ハ衆議院解散ノ爲メ消滅ス
- 明治二十五年(1892)
 - 三月一日 日本鐵道ハ水戶鐵道ヲ讓受ケ營業ス
 - 五月七日 私設鐵道買收法案鐵道公債法案ヲ帝國議會ニ提出ス衆議院ニ於テ兩法案ヲ合併修正シ鐵道敷設法案ト爲ス六月四日鐵道敷設法案衆議院ヲ通過シ十三日貴族院ヲ通過ス二十一日鐵道敷設法公布セララル
 - 七月六日 鐵道廳ニ線路取調委員ヲ置キ原口要ヲ委員長トス
 - 廿一日 鐵道廳ハ遞信大臣ノ管轄ニ屬ス
 - 八月一日 北海道炭礦鐵道線室蘭線開通ス
 - 九月一日 釧路鐵道線標茶跡佐登間開通ス

(10) 鐵道年表

- 十月一日 北海道炭鐵道夕張線開通ス
- 十一月一日 官設鐵道ニ於テ全線ニ亙リ小荷物配達ヲ内國通運會社ニ取扱ハシム
- 十二月十三日 鐵道會議第一回ノ議事ヲ開ク十四日議員子爵谷干城ノ廣軌道建議案出ヅ
- 明治二十六年(1893)
 - 一月十八日 官設鐵道用品資金會計法公布セラル
 - 二月十五日 鐵道廳線路取調委員ヲ廢シ線路調査掛ヲ置ク
 - 三月十六日 鐵道廳長官子爵井上勝退官シ工學博士松本莊一郎同長官ニ任ゼラル
 - 四月一日 横川輕井澤間開通シ高崎直江津間全通シ本州中部橫斷連絡成ル
 - 十一月十日 鐵道廳ヲ鐵道局ト改稱シ遞信省ノ一局トス同日工學博士松本莊一郎遞信省鐵道技監兼同鐵道局長ニ任ゼラル
 - (日不詳) 神戸工場ニ於テ四輪聯結**タンク**機關車一輛ヲ製作ス(本邦機關車製作ノ嚆矢)
- 明治二十七年(1894)
 - 六月十日 山陽鐵道線廣島ニ達ス
 - (日不詳) 品川西南線(大井大崎間軍用線)竣成ス
 - 七月二十日 總武鐵道線市川佐倉間開通ス
 - 廿六日 播丹鐵道線姫路寺前間開通ス
 - 八月二十日 宇品線(軍用線)竣成ス
 - 日韓暫定合同條款調印ナル(電信、港灣、鐵道敷設ニ關シ細目條約ヲ爲サントシタルモ果サズ)
 - 九月(日不詳) 神奈川程ヶ谷間直通線(軍用線)竣成ス
 - 十月九日 甲武鐵道新宿牛込間市街線開通ス
 - 十二月一日 奥羽北線青森弘前間開通ス
 - 十日 日本鐵道大宮工場ヲ開設ス
- 明治二十八年(1895)
 - 一月卅一日 京都電氣鐵道(軌道)營業ヲ開始ス之ヲ本邦ニ於ケル電氣鐵道ノ濫觴トス
 - 二月廿六日 私設鐵道株式會社株式十分ノ一拂込登記ノ法律公布サル
 - 三月廿九日 韓國政府京仁鐵道敷設權ヲ米人**モールス**ニ特許ス
 - 四月三日 甲武鐵道市街線牛込飯田町間開通ス
 - 十七日 馬關(下ノ關)ニ於テ調印セル日清講和條約ニ依リ臺灣ヲ領有ス、清朝時代敷設ニ係ル基隆新竹間鐵道(明治二十四年十月基隆臺北間同二十六年十一月臺北新竹間竣工三呎六吋鐵道)ハ破壞甚シク其ノ用ヲ爲サズ
 - 六月十日 臺灣總督府内ニ臺灣鐵道線區司令部ヲ置ク、此ノ日基隆臺北間線路修理成リ軍隊軍需品、官用物ヲ輸送ス
 - 七月三日 韓國政府京義鐵道敷設權ヲ佛人**グリール**ニ特許ス
 - 廿五日 山陽鐵道尾道糸崎間ニ於テ軍用列車脱線シ死者十一名負傷者九十八名ヲ出ス
 - 八月十五日 豐州鐵道線行橋伊田間開通ス
 - 廿二日 浪速鐵道線片町四條間開通ス
 - 廿六日 臺灣總督南北縱貫鐵道建設ノ急務タルコトヲ稟議ス
 - (日不詳) 臺灣總督府ニ臨時臺灣鐵道隊編成ナル(九月十四日臺灣鐵道線區司令部廢止)
 - 十月十七日 大阪鐵道線天王寺大阪間全通シ官設鐵道ニ接續ス
 - 二十日 京都廣島間直通運轉ヲ開始ス
 - 十二月七日 關西鐵道線草津名古屋間全通ス
 - (日不詳) 山陽鐵道荷扱所ヲ大阪ニ置ク

鐵道年表 (11)

明治二十九年(1896)

- 一月八日 鐵道敷設法中改正法律案ヲ帝國議會ニ提出ス二月四日衆議員ハ該案中豫定線八王子、名古屋ヲ神奈川名古屋ニ改ムル部分ヲ削除シ十二日貴族院之ヲ復活ス同日兩院協議會ハ衆議院ノ修正ヲ可トシ十三日貴族院ハ兩院協議會ノ議決ヲ否トス
- 二十日 房總鐵道線蘇我大網間開通ス
- 二月(日不詳) 嘉義臺南間軍用輕便鐵道(手押)竣成ス(軍用鐵道ハ新竹以南漸次竣成シタルモ本鐵道竣成ト共ニ撤去サル)
- 三月九日 臺灣縱貫鐵道實查測量ノ件廟議決ス(一部測量ニ着手セルモ當時財政ノ關係ニ依リ私設鐵道獎勵ニ變ス)
- 廿五日 衆議院ニ於テ廣軌ニ關スル建議案ヲ可決ス
- 四月十五日 遞信省鐵道局ニ建設部ヲ置キ原口要ヲ部長トス
- 十八日 奈良鐵道線京都奈良間全通ス
- 五月九日 臺灣鐵道會社發起人臺灣總督ニ對シ鐵道敷設請願書ヲ提出ス(十月二十七日許可指令)
- 十四日 北海道鐵道敷設法ヲ公布ス
- 七月三日 臺灣鐵道ニ於テ鐵道規則並鐵道旅客乘車料及貨物搭載料ヲ定メ七月五日ヨリ旅客荷物ノ輸送ヲ開始ス
- 四日 南豫鐵道線松山郡中間開通ス
- 八月一日 釧路鐵道運輸ヲ休止ス
- 九月一日 新橋神戸間ニ於テ初メテ急行旅客列車ヲ運轉ス
- 十月廿五日 南和鐵道線高田二見間開通ス
- 十一月廿一日 關西鐵道ニ於テ客車ノ外測ヲ塗裝シ等級ヲ分ツ之ヲ客車等級色別ノ初メトス
- 十二月廿五日 日本鐵道土浦線田端友部間及隅田川線開通ス
- (月日不詳) 大阪ニ汽車製造會社起ル
- (月日不詳) 山陽鐵道主要驛ニ荷運夫(赤帽)ヲ置ク
- 明治三十年(1897)
 - 一月一日 日本鐵道兩毛鐵道ヲ讓受ケ營業ス
 - 十九日 成田鐵道線成田佐倉間開通ス
 - 二月八日 青山假停車場ヨリ京都迄 英照皇太后大喪列車ヲ運轉ス
 - 九日 關西鐵道ヲ讓受ケ營業ス
 - 十六日 阪鶴鐵道攝津鐵道ヲ讓受ケ營業ス
 - 廿五日 臺灣鐵道會社發起人臺灣總督ニ對シ臺灣鐵道利子補給及基隆臺北間鐵道並附屬設備一切ヲ無代下附ヲ請願ス(利子補給ニ付テハ拓殖務省ヲ經由シ帝國議會ニ提出可決)
 - 四月一日 臺灣鐵道ノ事務ハ臺灣總督府民政部ニ移リ臨時臺灣鐵道隊内地ニ召還セラル
 - 十三日 信越線下リ混合列車能ノ平輕井澤間運轉中列車一哩餘逆行シ火夫二名墜落負傷、日本鐵道技師長毛利男爵父子車外ニ降り誤テ轢死ス
 - 五月四日 京仁鐵道引受組合成立ス
 - 八日 **モールス**ト京仁鐵道引受組合トノ間ニ京仁鐵道讓受契約成立ス
 - 十五日 臺灣總督臺灣鐵道會社創立委員ニ對シ保護諸案ヲ決定シ會社組織ヲ命ス
 - 六月一日 總武鐵道線本所銚子間全通ス
 - 八日 臺灣鐵道會社保護ニ關スル勅令ヲ公布サル
 - 七月二日 臺灣私設鐵道用地地租免除規則、臺灣鐵道會社鐵道敷設用材料輸入稅免除規則

- (律令)ヲ公布ス
- 八月十八日 鐵道作業局官制公布セラレ(遞信省鐵道局ヨリ分離)建築、工務、汽車、運輸、計理ノ五部ヲ置キ其ノ廳舎ヲ新橋(現汐留)構内ニ定ム
- 十月一日 奈良鐵道初瀬鐵道ヲ合併ス
九州鐵道筑豐鐵道ヲ合併ス
- 三十日 臺灣鐵道敷設工事ニ要スル土石竹類ハ官有地ニアルモノニ限り無償ニテ鐵道業者ニ下附シ得ルノ件勅令ヲ以テ定メラル
中越鐵道線城端ニ達ス
- (日不詳) 北海道官設鐵道釧路鐵道ヲ買收ス
- 十一月十一日 參宮鐵道線津山山田間全通ス
(日不詳) 官設鐵道主要驛ニ於テ入場券ヲ發賣ス
(日不詳) 官設主要驛ニ於テ手荷物運搬人(赤帽)ノ營業ヲ許可ス
(日不詳) 官設鐵道主要驛ニ於テ客車等級ノ上、中、下、ヲ一、二、三等ニ改ム
- 十二月廿七日 阪鶴鐵道線池田寶塚間開通ス
- 明治三十一年(1898)
- 一月一日 山陽鐵道ニ於テ旅客列車ニ依ル急便小荷物ノ取扱ヲ開始ス
(日不詳) 關西鐵道客車ニ電燈ヲ設備ス
- 二月廿五日 日本鐵道機關方、火夫同盟罷業ヲ行ヒ(要請箇條、機關方ヲ書記ト同一、給料增加、職名改正)二十六日ノ兩日ニ亘リ上野青森間直行郵便列車ヲ除キ一切ノ列車運轉ヲ休止シ三月三日平常運轉ニ復ス本邦鐵道ニ於ケル勞働爭議ノ最初トス(三月二十一日機關方ヲ機關手、機關方心得ヲ機關手心得、火夫ヲ機關助手ニ改ム)
- 三月十七日 山陽鐵道線三田尻ニ達ス
- 四月一日 鐵道電信技術傳修生養成所ヲ廢シ新橋構内ニ鐵道運輸事務傳習所ヲ開設ス
京都山田間列車ノ運轉ヲ開始ス
北陸線金澤ニ達ス
- 五日 西成鐵道線大阪安治川川間開通ス
- 廿四日 七尾鐵道線津幡(津幡口)矢田新(現七尾港)間開通ス
- 五月六日 名古屋電氣鐵道(軌道)營業ヲ開始ス
- 六月(日不詳) 新橋停車場ニ案内所ヲ設置ス
- 八月一日 神奈川程ヶ谷間直通線ヲ營業トシテ使用ス
官設鐵道ニ於テ速達便貨物運送ヲ開始シ其ノ配達ハ内國通運會社請負トス
- 七日 伊萬里鐵道線伊萬里有田間開通ス
- 十二日 北海道官設鐵道旭川永山間開通ス
- 廿三日 日本鐵道海岸線水戸岩沼間全通ス
- 九月八日 京釜鐵道發起人及韓國政府間ニ京釜鐵道契約成立ス
- 廿二日 山陽鐵道ニ於テ列車ニ「ボーイ」ヲ乗務セシム
- 十月一日 南海鐵道阪堺鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 十八日 關西鐵道線名古屋網島間全通ス
- 廿二日 北海道官設鐵道ノ監督ハ遞信大臣ニ屬ス同日北海道鐵道部ヲ置カレ部長ハ北海道廳長官ノ命ヲ承ク、十一月一日北海道鐵道技師工學博士田部朔郎同部長ヲ兼ヌ
- 十八日 臺灣鐵道株式會社成立ヲ告グルノ望絶ヘ縱貫鐵道ヲ官營ト爲サンコトヲ決ス
- 十一月廿七日 九州鐵道線大村長與間開通シ門司長崎間全通ス
- 廿八日 工學博士松本莊一郎等ノ發起ヲ以テ帝國鐵道協會ヲ設立ス

- 十二月廿八日 九州鐵道伊萬里鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 明治三十二年(1899)
- 一月一日 京仁鐵道工事未成ノ儘京仁鐵道引受組合ノ經營ニ移ル(五月十五日京仁鐵道合資會社成立引受組合ヲ繼承)
- 十五日 雜誌「鐵道時報」創刊サル
- 二月九日 衆議院議員星亨等鐵道國有ニ關スル建議案ヲ提出ス
- 十八日 德島鐵道線德島鶴島間開通ス
- 二月廿三日 鐵道國有調査會規則公布セラレ二十五日會長遞信大臣子爵芳川顯正以下副會長委員幹事等任命セラル
(日不詳) 初メテ新橋橫濱間ニ電信音響機ヲ使用ス
- 三月十六日 官設鐵道距離比例法ニ依ル旅客運賃ヲ廢止シ遠距離遞減法ヲ採用ス
- 二十日 北陸線(敦賀富山間)全通ス
(日不詳) 臺灣事業公債法公布サル同時ニ縱貫鐵道建設及改良費豫算十ヶ年繼續費二千八百八十萬圓決ス
- 四月一日 臺灣總督府ニ臨時臺灣鐵道敷設部ヲ置ク
太田鐵道線水戸太田間全通ス
- 五月十一日 河南鐵道河陽鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 十五日 奧羽南線福島米澤間開通ス
- 廿五日 山陽鐵道急行列車ニ食堂車ヲ使用ス(當時請負明治三十六年八月會社直營)
- 六月三十日 東海道線御油蒲郡間混合列車運轉中旋風ノ爲メ顛覆墜落シ五十名負傷ス
- 七月十五日 岩越鐵道線若松ニ達ス
- 九月五日 北越鐵道線直江津沼垂間全通ス
- 十八日 仁川鷲津間運輸營業ヲ開始ス韓國ニ於ケル鐵道營業ノ嚆矢トス
- 十月七日 日本鐵道矢板野崎間碓氷川橋梁上ニ於テ颱風ノ爲メ混合列車脱線墜落(客車八輛)シ死者二十名負傷者四十五名ヲ出ス
- 八日 臺灣總督府ニ鐵道部ヲ置キ臨時臺灣鐵道敷設部ヲ廢止シ民政長官後藤新平部長ヲ兼ヌ
- 十二月廿八日 官設鐵道深谷長瀨間線路(東海道線全通ト同時ニ貨物線トシテ使用)ヲ廢線トス
(月日不詳) 全國運輸聯合會成立ス
- 明治三十三年(1900)
- 二月七日 鐵道國有調査會ハ鐵道國有法及私設鐵道買收法ノ二案ヲ定メ答申ス
- 三月十三日 鐵道船舶郵便法公布セララル
- 十六日 私設鐵道法、鐵道營業法及附屬諸規程公布セララル
(日不詳) 山陽鐵道鷹取工場ヲ開ク
- 四月十八日 山陽鐵道ニ於テ一等寢臺車ヲ使用ス本邦鐵道ニ於ケル寢臺車ノ嚆矢トス
(日不詳) 東海道線夜行列車ニ乗客保護ヲ專務トスル車掌ヲ乗務セシム
- 五月一日 道後、南豫兩鐵道伊豫鐵道ニ買收サル
- 十日 大和田建樹地理教育鐵道唱歌(第一集東海道)、九月三日第二集山陽九州、十月十三日第三集東北地方、奥州線、磐城線、十月十五日第四集北陸地方、十一月十日第五集畿内及隣邦、關西、參宮、南海各線ヲ著作シ全國ニ普及ス
- 六月六日 關西鐵道大阪鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 十二日 鐵道作業局ニ於テ女子雇員ヲ採用ス
- 七月五日 漢江橋竣成シ同八日京仁鐵道全通ス

(14) 鐵道年表

- 八月(日不詳) 臺灣鐵道ノ營業ニ關スル件律令ヲ以テ公布セラル
- 九月三日 北海道官設鐵道天鹽線名寄ニ達ス
- 十四日 外國ニ於テ鐵道ヲ敷設スル帝國會社ニ關スル法律及勅令公布セラル
- 廿四日 京釜鐵道會社ニ對シ補助命令書交付セラル
- (日不詳) 東京市街高架線ノ工事ヲ起ス
- 十月一日 私設鐵道法、鐵道營業法及附屬諸規程實施セラレ私設鐵道條例ヲ廢止ス
- 十一月一日 東京神戸間急行列車ニ寢臺車ヲ連結ス
- 廿五日 紀和鐵道線五條和歌山間全通ス
- 廿九日 臺灣縱貫線高雄臺南間開通ス
- 十二月(日不詳) 東海道線客車ニ蒸氣暖房ヲ裝置ス
- (日不詳) 臺灣總督府令ヲ以テ鐵道營業ニ關シテハ鐵道營業法ニ依ル旨ヲ定メ臺灣鐵道運輸規程ヲ制定シ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス
- (月日不詳) 關西鐵道ニ於テ客車ノ照明ニピンチ瓦斯ヲ使用シ漸次全車ニ及ブ
- 明治三十四年(1901)
- 二月(日不詳) 官設鐵道新橋、大阪ニ於テ託送手荷物ノ配達(内國通運會社請負)ヲ開始ス
- 三月十五日 大井大崎間直通軍用線ヲ營業線トシテ使用ス
- 四月一日 官設鐵道ニ於テ鐵道貨物運送補助則ヲ廢シ大貨物運送賃及等級表ヲ施行ス
- 官設鐵道ニ於テ貨物發着手数料ノ制ヲ設ク
- 官設鐵道ニ於テ大貨物運賃割戻規程ヲ實施ス
- 官設鐵道ニ於テ託送手荷物及小荷物ヲ停車場ヨリ一里以内ノ地ニ限り配達(配達取扱驛ノ増加)ヲ取扱フ
- 五月十三日 京釜鐵道株式會社設立免許狀ヲ交付セラレ六月二十五日會社成立ス
- 廿七日 山陽鐵道線神戸馬關間全通シ京都赤間關(明治三十五年下關ト改稱)間直通運轉ヲ開始シ關門間渡船ヲ以テ九州線ニ連絡ス
- 六月十日 鹿兒島線鹿兒島國分間開通ス
- 七月一日 東海道線大阪驛新築成ル
- 八月一日 中央東線八王子上野原間開通ス
- 廿五日 臺北驛新築成リ營業ヲ開始ス
- 臺灣總督府鐵道淡水支線開通ス
- 十月廿一日 水戸鐵道太田鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 十二月四日 東海道線新橋神戸間急行列車ニ食堂車ヲ連結シ洋食ヲ開始ス
- 明治三十五年(1902)
- 二月廿三日 九州鐵道唐津鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 三月十二日 基隆新竹間線路改良工事竣成シ營業ヲ開始ス
- 四月二十日 臺灣縱貫線(南)嘉義ニ達ス
- (日不詳) 宮島渡船株式會社ニ於テ宮島嚴島間航路ヲ開始ス
- 七月六日 中央線笹子隧道導孔貫通ス
- 八月十日 臺灣縱貫線新竹竹南間開通ス
- 九月廿五日 橫須賀線ニ於テタイヤー氏タブレット式閉塞機ヲ試用シ十一月二十一日燒津舞坂間ニ使用ス
- (日不詳) 名古屋大阪間ニ於ケル官設鐵道ト關西鐵道トノ競争ニ付協定成ル
- 十月廿一日 奥羽北線秋田ニ達ス
- 十一月一日 山陽鐵道山陽ホテル營業ヲ開始ス

鐵道年表 (15)

- (月日不詳) 臺灣鐵道ニ於テ車輛ノ聯結器ヲ自動聯結器ニ改ム
- 明治三十六年(1903)
- 三月(日不詳) 山陽鐵道ニ於テ岡山高松間、尾道多度津間航路ヲ開始ス
- (日不詳) 山陽鐵道ニ於テ宮島嚴島間航路ヲ買收ス
- 四月一日 日本鐵道豐島線(田端池袋間)開通ス
- 五月一日 山陽鐵道ニ於テ二等寢臺車ヲ使用ス
- 廿四日 衆議院ニ於テ鐵道益金ヲ建設費ニ充ツルノ建議案出ツ
- 六月一日 山陽鐵道播磨丹鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 十一月一日 中央東線甲府ニ達ス
- 八月廿一日 日本鐵道上野青森間直通列車ニ寢臺食堂合造車ヲ連結ス
- 廿二日 東京市街鐵道(軌道)營業ヲ開始ス
- 九月十二日 大阪市營電氣軌道營業ヲ開始ス
- 十月七日 臺灣鐵道縱貫線(北)三叉ニ達ス
- 十一月一日 京釜鐵道京仁鐵道ヲ買收ス
- (日不詳) 明治三十年笠井愛次郎氏ノ主唱ヲ以テ創立シタル社團法人鐵道學校ハ岩倉鐵道學校ト改稱ス
- 十二月廿七日 吳線(海田市吳間)全通ス
- 廿八日 京釜鐵道速成費補助ニ關スル緊急勅令發布セラレ同時ニ速成命令交付サレ京釜鐵道會社ニ對スル勅令公布サル
- 明治三十七年(1904)
- 一月廿五日 鐵道軍事供用令公布サル
- 二月廿一日 京城新義州間ニ軍用鐵道敷設ノ爲メ臨時軍用鐵道監部ノ編成ヲ命ゼラル
- 五月廿七日 京釜鐵道三浪津洛東江岸間假線開通ス
- 六月(日不詳) 滿洲軍占領地域内ノ東清鐵道利用ノ爲メ東京ニ於テ野戰鐵道提理部ヲ編成シ滿洲ニ派遣ス
- 野戰鐵道提理部五呎軌間ヲ三呎六吋ニ改造ス
- 八月十四日 臨時軍用鐵道監部ニ對シ馬山浦線敷設命令下ル
- 廿一日 甲武鐵道飯田町中野間ニ電車併用運轉ヲ開始シ同時ニチスク型自動信號機ヲ設備ス之ヲ本邦ニ於ケル電車併用竝自動信號使用ノ嚆矢トス
- 廿七日 關西鐵道紀和鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 十月十五日 北海道官設鐵道函館小樽間全通ス
- 十一月三日 臨時軍用鐵道監部安東縣鳳凰城間ニ二呎六吋軍用輕便鐵道ヲ完成ス
- 十日 京釜鐵道南北兩部ノ軌條京城基點百二十七哩四十二鎖ニ於テ連絡ス
- 廿四日 阪鶴鐵道會社ニ於テ海舞鶴宮津間航路ヲ開始ス
- (日不詳) 東海道線直行列車ニ客扱專務車掌ヲ乗務セシム
- (日不詳) 長谷川謹介臺灣總督府鐵道部長トナル
- 十二月一日 山陽鐵道讚岐鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 九日 關西鐵道南和鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 卅一日 甲武鐵道電車專用線ヲ御茶ノ水迄延長シ電車ヲ運轉ス
- 明治三十八年(1905)
- 一月一日 官設鐵道手荷物及小荷物ノ配達ヲ全線各驛ニテ行ヒ其ノ配達ヲ通運會社ニ請負ハシム
- 非常特別稅法中改正セラレ通行稅ヲ定メラル

(16) 鐵道年表

- 一日 京釜鐵道京城草梁間全通營業ヲ開始ス
- 二月一日 日本郵船會社ニ對シ橫濱神戸間船車振替乘車券ヲ發行セシム
- 八日 關西鐵道奈良鐵道ヲ讓受ケ營業ス
- 十一日 鳳凰城下馬塘間軍用輕便鐵道完成ス
- 三月十三日 鐵道低當法公布セラル
- 廿六日 臺灣縱貫線(南)彰化ニ達ス
- (日不詳) 臺灣總督府鐵道ニ於テ鐵道停車場公衆電報取扱規程ヲ定メ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
- 四月一日 北海道官設鐵道ハ遞信大臣ノ管理ニ屬ス同日鐵道作業局ハ出張所ヲ札幌ニ置ク
- 十一日 阪神電氣鐵道(軌道)營業ヲ開始ス
- 廿八日 軍用鐵道京義線龍山新義州間ニ聯絡運轉ヲ開始ス
- (日不詳) 阪鶴鐵道ニ於テ隔日運航ニ依リ海舞鶴、境間航路ヲ開始ス
- 五月十五日 臺灣縱貫線(南)豐原ニ達ス
- 八月一日 新橋下關間及上野新潟間直通運轉ヲ開始ス
- 十七日 鐵道作業局ニ於テ線路案内ヲ發行ス
- 九月五日 ポーツマスニ於テ調印ノ日露講和條約ニ據リ南滿洲鐵道ノ權利ヲ獲得ス之ヨリ先滿洲軍占領ト同時ニ五呎ノ東清鐵道ヲ三呎六吋鐵道ニ改築野戰鐵道提理部之ヲ主管シ軍用ニ供ス
- 十一日 山陽汽船會社下關釜山間連絡航路ヲ開始ス此ノ日ヨリ京釜鐵道、東海道線、山陽線及九州線ノ運帶運輸ヲ開始ス
- 十四日 奧羽線全通ス
- 十月廿一日 軍用鐵道馬山浦線全通ス
- 軍用鐵道龍山平壤間及黃州兼二浦間ニ有價便乘便載ヲ開始ス(馬山浦線ハ十一月十一日、平壤新義州間ハ清川、大寧兩江小蒸汽ニテ連絡十二月一日ヨリ)
- 廿八日 新橋下關間直通列車ノ運轉ヲ廢止ス
- 十一月十日 京釜鐵道及京義線龍山平壤間運帶運輸ヲ開始シ列車南大門ヨリ直通ス
- 廿五日 中央線ト甲武鐵道線ト直通運轉ヲ開始ス
- 十二月三日 下馬塘奉天間軍用輕便鐵道ヲ完成シ安東縣奉天間連絡成リ十五日運轉ヲ開始ス
- 廿七日 新橋橫濱間二十七分運轉ヲ開始ス
- 明治三十九年(1906)
- 一月一日 官設鐵道ニ於テ速達便貨物配達區域ヲ停車場ヨリ一里半以內ト定ム
- 四日 野戰鐵道提理部ニ於テ一般人民ノ便乘及託送貨物ノ取扱ヲ開始ス
- 三月三日 鐵道國有法案及京釜鐵道買收法案ヲ衆議院ニ提出シ(國有法案ハ十六日衆議員通過二十七日貴族院修正同日修正ヲ可決兩院通過)買收法ハ三十日、國有法ハ三十一日公布セラル
- 四月一日 臺灣鐵道ニ於テ距離比例法ニ依ル旅客運賃ヲ廢シ遠距離遞減法ヲ採用ス之ト同時ニ一等及三等ノ二階級ヲ三階級制トシ臺北臺南直通列車ニ二等車ヲ連結ス
- 三日 軍用鐵道京義線全通ス
- 十一日 帝國鐵道會計法公布セラレ資本收益ノ兩勘定ヲ設定ス
- 十六日 奧羽線福島青森間直通運轉ヲ開始ス
- 新橋下關間直通列車ヲ再開ス
- 新橋神戸間ニ急行列車及最急行列車ヲ運轉シ最急行列車乗客ニ對シ急行列車券ヲ發賣ス
- 東海道線列車ニ和食堂車ヲ連結ス

鐵道年表 (17)

- 五月二十日 鐵道五千哩祝賀會ヲ名古屋ニ開催ス
- 廿四日 臨時鐵道國有準備局官制ヲ公布ス同三十日遞信次官仲小路廉同局長官トナル(明治四十二年七月二十四日廢止)
- (日不詳) 橫川輕井澤間ニ於テ流油鐵管ニ依ル石油ノ輸送ヲ開始ス
- 六月七日 南滿洲鐵道株式會社設立ニ關スル勅令公布サレ七月十三日陸軍大將子爵兒玉源太郎設立委員長仰付ケラレ七月二十四日兒玉委員長薨去同二十五日陸軍大臣寺內正毅委員長仰付ケラル
- 南滿洲鐵道會社關東都督及外務大臣ノ監督トナル
- 十一月 中央線鹽尻ニテ篠ノ井線ト接續シ飯田町長野間直通運轉ヲ開始ス
- 七月一日 京釜鐵道ヲ國有トシ統監府鐵道管理局ヲ京城ニ置ク古市公威長官トナル
- 阪鶴鐵道ニ於テ小濱、舞鶴、宮津間航路ヲ開始ス
- 十八日 遞信大臣ハ鐵道國有ノ實行ヲ速ニスルノ議ヲ具シ閣議ヲ請フ
- 八月一日 外務、大藏、遞信三大臣ヨリ南滿洲鐵道會社設立委員長及委員ニ對シ會社設立命令書ヲ交付セラル
- 十日 南滿洲鐵道會社ニ於テ第一回株式募集事務ヲ開始ス
- 九月一日 京義、馬山鐵道統監府鐵道管理局ノ經營ニ移ル
- 十月一日 北海道炭礦、甲武ノ兩鐵道ヲ買收ス 甲武鐵道ノ買收ニ依リ御茶水申野間電車國有トナリ初メテ電車ヲ經營ス
- 十一月一日 日本、岩越ノ兩鐵道ヲ買收ス
- 上旬 樺太占領軍補給支所豐原町間ニ二呎ノ輕便鐵道ヲ敷設シ軍需品ヲ輸送ス
- 十一月 南滿洲鐵道會社設立ノ許可ヲ申請シ即日遞信大臣ヨリ許可セラル
- 廿六日 南滿洲鐵道會社創立シ男爵後藤新平總裁トナル
- 廿七日 山陽鐵道ニ於テ號釜間航路ヲ買收ス
- 十二月一日 山陽、西成ノ兩鐵道ヲ買收ス 山陽鐵道買收ニ依リ關釜間航路及下關門司間航路宇野高松間航路國有トナル
- 十一月 (月日不詳) 統監府鐵道管理局運輸營業規程ヲ公布ス
- 臺灣總督府鐵道ニ於テ制動機ニ貫通式真空制動機ヲ採用ス
- 明治四十年(1907)
- 三月十六日 神戸富山間直通運轉ヲ開始ス
- 四月一日 帝國鐵道應置キ鐵道作業局ヲ廢シ工學博士平井晴二郎總裁ニ任ゼラル
- 北海道帝國鐵道管理局ヲ置ク
- 十五日 南滿洲鐵道政府ヨリ鐵道其ノ他附屬業務一切ノ引繼ヲ受ク
- 日清兩國ニ於テ新奉及吉長鐵道ニ關スル協約ヲ締結ス(六月一日此ノ協約ニ基キ新奉鐵道(新民府奉天間)ヲ清國ニ還付ス)
- (日不詳) 南滿洲鐵道ニ於テ旅客列車ニ關東都督府巡查ヲ警乘セシム
- 五月一日 帝國鐵道應職員救濟組合理則ヲ施行ス之ヲ本邦最初ノ救濟組合理則トス
- 六日 高崎線倉賀野高崎間ニ於テ旅客列車進行中網柵ノ一端ニ懸垂セル旅客携帶品落下爆發十四名即死十八名負傷(後一名死亡)ス
- 十六日 奧羽線經由上野青森間直通運轉ヲ開始ス
- (日不詳) 南滿洲鐵道政府ノ命令ニ依リ三呎六吋軌間ヲ廣軌改築ニ着手ス(運轉ヲ休止セズ三線又ハ四線式廣狹併用運轉法ニ依リ明治四十一年五月三十日完成)
- (日不詳) 南滿洲鐵道政府ノ命令ニ依リ大連蘇家屯間複線工事ニ着手ス(明治四十二年十二月七日完成)

(18) 鐵道年表

- 六月十三日 日露兩國ニ於テ日露兩國鐵道接續假條約ヲ協議決定ス
 - 二十四日 帝國鐵道應電信修技生養成規則ヲ定メ新橋外七ヶ所ニ於テ授業ヲ開始ス
 - 七月一日 九州鐵道ヲ買收シ九州帝國鐵道管理局ヲ置ク
北海道鐵道(函館小樽間)ヲ買收ス
 - 十五日 南滿洲鐵道東清鐵道ヨリ寬城子驛南方鐵道及同附近炭坑ノ引繼ヲ受ク
 - 十九日 伊豆鐵道豆相鐵道ヲ讓受ケ營業ス
 - 廿一日 南滿洲鐵道及東清鐵道間ニ於テ南滿東清鐵道接續協約ヲ訂結ス
 - 八月一日 京都、阪鶴、北越ノ三鐵道ヲ買收ス 阪鶴鐵道買收ニ依リ海舞鶴宮津間、海舞鶴境間及舞鶴小濱間各航路國有トナル
樺太ニ於テ軍政廢止(四月)ノ結果樺太町豊原町間一般運輸營業ヲ開始ス
南滿洲鐵道大連ニ大和ホテルヲ開業ス
 - 廿一日 南海鐵道線電車ヲ併用ス
 - 廿三日 寬城子停車場ノ露國トノ共有ヲ放棄シ報償金ヲ受領ス
(日不詳) 南滿洲鐵道旅客列車警備ヲ獨立守備隊ノ兵員ニ代ラシム
 - 九月一日 總武、房總、七尾、德島ノ四鐵道ヲ買收ス
 - 八日 十勝線狩勝隧道ノ竣成ニ依リ旭川釧路間全通ス
 - 二十日 統監府鐵道管理局線各驛ト安東縣トノ間ニ旅客荷物ノ輸送ヲ開始ス
 - 十月一日 關西、參宮ノ兩鐵道ヲ買收ス
下關小森江間貨車航送ヲ開始ス(宮本高次請負渡船ニ貨車三輛積小蒸氣曳)
 - 十一月一日 國有鐵道ニ於テ旅客運賃ヲ改正シ各種ノ賃率ヲ統一ス
 - 十六日 高野登山鐵道高野鐵道ヲ讓受ケ營業ス
 - 十一月(日不詳) 長春驛新築成リ長春及東清鐵道寬城子驛間連絡線竣工ス
- 明治四十一年(1908)
- 二月廿九日 衆議院議員白井哲夫等鐵道特別會計ニ關スル建議案ヲ衆議院ニ提出ス
 - 三月一日 臺灣總督府鐵道ニ於テ小學校通學生無賃乘車證發行規程ヲ制定ス
 - 七日 青函航路ヲ開始シ新造汽船比羅夫丸ヲ就航セシメ一日一往復ノ運航ヲ爲ス
 - 四月一日 京義馬山線ノ軍用ヲ解キ營業ヲ開始ス
京釜線草梁釜山間營業ヲ開始シ釜山南大門間直通夜行列車ヲ運轉ス
統監府鐵道管理局列車運轉時刻ヲ韓國標準時ニ依ルコトニ改ム(内地標準時ヨリ十分後レ)
 - 十六日 門司長崎間直通列車ニ食堂車ヲ連結ス(七月一日門司人吉間ニモ連結)
 - 十九日 中央線御茶水昌平橋間電車專用複線開通シ電車ノ運轉ヲ延長ス
 - 六月一日 樺太鐵道樺太町大泊間延長線ヲ開業ス
 - 十五日 南滿洲鐵道龍岳城瀘家屯間貨物列車運轉中機關車轟破シ機關手火夫熱湯ニテ死ス
 - 十六日 國有鐵道ニ於テ初メテ冷蔵車ヲ使用シ腐敗シ易キ貨物ノ輸送ニ充ツ
(日不詳) 南滿洲鐵道旅客運賃ノ遠距離遞減法ヲ廢止シ距離比例法ヲ採用ス
 - 七月九日 帝國鐵道應運輸從事員英語練習所ヲ設ケ九月十一日授業ヲ開始ス
 - 廿一日 南滿洲鐵道ノ監督ハ外交ニ關スルモノヲ除キ遞信大臣ニ屬ス
 - 八月十日 南滿洲鐵道日本郵船會社汽船ヲ傭船シ大連上海間航路ヲ開始ス(大正十一年七月大連汽船會社ニ經營ヲ委託ス)
 - 卅一日 南滿洲鐵道雙廟子泉頭間ニ於テ賊徒線路ヲ破壞シ旅客列車顛覆ス
 - 九月廿三日 橫濱鐵道線東神奈川八王子間全通ス
 - 十月五日 南滿洲鐵道京奉鐵道間ニ於テ南滿京奉兩鐵道聯絡協約ヲ締結ス

鐵道年表 (19)

- 十月廿一日 國有鐵道大阪ニ市内營業所ヲ置ク
 - 廿二日 遞信省鐵道局ノ掌理事項ニ軌道ニ關スル件ヲ加フ
 - 廿四日 臺灣縱貫線全通ス
 - 廿八日 南滿洲鐵道大連長春間ニ急行列車ヲ運轉シ長春ニ於テ東清鐵道、大連ニ於テ上海航路ト聯絡ス
 - 三十日 基隆驛新築成ル
 - 卅一日 九州線石炭運賃ヲ除キ其ノ他ノ貨物運賃割戻ヲ廢ス
(日不詳) 南滿洲鐵道大連埠頭ニ於テ鐵道又ハ船舶ニ依リ到着シタル貨物ノ埠頭保管ノ名目ヲ以テ簡易ナル倉庫營業ヲ開始シ貨物預リ證ヲ發行ス
 - 十一月一日 臺灣總督府鐵道臺北ニ鐵道旅館ヲ開業ス
 - 五日 臺灣總督府民政長官大島久滿次鐵道部長ヲ兼ヌ
 - 八日 山陰線松江ニ達ス
(日不詳) 大阪商船會社浦鹽斯德航路ト敦賀港接續ニ依リ、又大連、天津、基隆航路ト神戸及門司接續ニ依リ旅客ノ連帶運輸ヲ開始ス
 - 十二月五日 鐵道院官制公布セラレ鐵道院ハ內閣ニ直屬シ同時ニ帝國鐵道廳及遞信省鐵道局廢セラレ是日遞信大臣男爵後藤新平鐵道院總裁ヲ兼ネ東部、中部、西部、九州、北海道ノ五鐵道管理局ヲ設置セラレ
南滿洲鐵道ノ監督內閣ニ屬シ鐵道院總裁之ニ當ル
鐵道院所屬將校以下ハ鐵道院所管ノ鐵道業務ニ從事セシムルコトヲ得ルノ件勅令ヲ以テ公布サル
 - 七日 中村是公南滿洲鐵道總裁仰付ケラル
 - 十九日 中村是公南滿洲鐵道總裁仰付ケラル
- 明治四十二年(1909)
- 一月五日 乘車券引換證ノ制ヲ設ケ證券引換ニ乘車券ヲ交付ス
(日不詳) 南滿洲鐵道大連瓦房店間ニ於テ列車運轉保安方式ヲタイヤー氏タブレット式單線用閉塞器ニ變更ス
 - 三月廿二日 帝國鐵道會計法公布セラレ
 - 四月一日 院線、南滿洲鐵道線、統監府鐵道監理局線間ニ小荷物ノ三線連帶運輸ヲ開始ス
 - 五月一日 院線、大阪商船會社大連航路、南滿洲鐵道間ニ小荷物ノ三線連帶運輸ヲ開始ス
院線、大阪商船會社臺灣航路、臺灣總督府鐵道間ニ旅客手小荷物ノ三線連帶運輸ヲ開始ス
關西線湊町柏原間ニ初メテ汽動車ヲ使用ス
 - 六月十八日 統監府鐵道廳ヲ設置シ統監府鐵道管理局廢セラレ
 - 廿四日 鐵道院職員中央教習所規程及地方教習所準則ヲ定ム
 - 七月一日 九州線列車ニ初メテ食堂車ヲ連結ス
 - 八月五日 鐵道院ニ於テ宮津灣內航路ヲ開始ス
 - 七日 南滿洲鐵道安東縣奉天間輕便鐵道ノ標準軌間改築ニ着手ス
 - 十三日 清國政府安東縣奉天間輕便鐵道ノ標準軌間改築ニ同意ス
 - 十六日 鐵道院ニ於テ山陽鐵道ヨリ引繼ギタル食堂車ノ直營ヲ廢止シ食堂營業人ヲシテ當ラシム
(日不詳) 吉長鐵道ノ敷設工事ニ着手ス
 - 九月二十日 東北本線ニ初メテ食堂車ヲ連結ス
 - 十月一日 南滿洲鐵道ニ於テ鐵道運送規程ヲ制定實施ス
 - 十一日 鐵道院留學生ニ關スル件ヲ定メ遞信省留學生規程ヲ準用ス

十月十二日 國有鐵道ニ於テ線路ヲ定メ稱呼ヲ統一ス
 廿一日 統監府鐵道南滿洲鐵道主要驛ト旅客手荷物ノ連絡運輸ヲ開始ス
 (日不詳) 奈良ホテル本館新築成リ大日本ホテル會社ヲシテ經營セシム
 (日不詳) 奉天驛新築成リ東清鐵道時代ノ假設驛ヨリ約一哩南方ニ移轉ス
 十一月十一日 南滿洲鐵道主要驛ニ於テ發送貨物保管ノ制ヲ設ク
 廿一日 鹿兒島線人吉吉松間(矢野驛道竣工)開通ニ依リ門司鹿兒島間全通シ門司鹿兒島間直通運轉ヲ開始ス
 (日不詳) 營口驛新築成リ新市街東端ニ移轉ス
 十二月十六日 東海道本線ニ烏森驛(現在ノ新橋)ヲ新設シ山手線經由同驛上野間及池袋赤羽間ニ電車運轉ヲ開始シ同區間ニ特定旅客運賃ヲ設定ス
 統監府鐵道鐵道院ニ屬シ龍山ニ韓國鐵道管理局ヲ置ク(四十三年九月十二日朝鮮鐵道管理局ト改稱)
 二十日 鐵道院職員服制規程ヲ定ム(大正八年八月十六日廢止)
 廿八日 浪速電車軌道南海鐵道ニ合併セラル
 常磐線經由上野青森間急行列車ニ對シ上野平間ニ急行券ヲ發賣ス
 (月日不詳) 南滿洲鐵道ニ於テ一車積貨物ノ積卸ヲ直營トス
 明治四十三年(1910)
 二月一日 鐵道院ニ於テ院經營航路經由貸切貨物直通連絡輸送ヲ開始ス
 (日不詳) 下旬ヨリ四月ニ亙リ智恩院、東西本願寺大法要參拜團輸送ノ爲メ梅小路假停車場ヲ開設ス
 三月十九日 東部鐵道管理局及東武鐵道間ニ運賃競争ニ關スル協定成リ二十七日東武鐵道伊勢崎ニ達ス
 四月一日 鐵道院官制改正サレ總裁官房、監理部、建設部、鐵道試驗所及營業外十課ヲ置ク
 鐵道院線、露國東清鐵道、大阪商船、南滿洲鐵道及露國義勇艦隊間ニ大連及浦鹽經由旅客荷物ノ連帶運輸ヲ開始ス
 鐵道院ニ於テ橫濱鐵道(東神奈川八王子間)ヲ借入營業ヲ開始ス
 廿一日 東北本線急行列車上野郡山間ニ急行券ヲ發賣ス(大正六年六月上野青森間ニ變更)
 廿三日 孤兒、貧兒、赤貧者及其ノ附添人ニ對シ旅客運賃五割ヲ、盲人學校教員生徒ニ對シ旅客運賃二割引ノ制ヲ設ク
 六月一日 鐵道院尾道多度津間航路ヲ廢シ東豫運輸會社ノ同航路ト旅客、手荷物及速達便貨物ノ連帶運輸ヲ開始ス
 十二日 宇野線開通シ同時ニ宇野高松間航路ヲ開ク 宇野、土庄、高松間貨物航漕作業ハ内國通運高松取扱店ノ請負トス(十二月一日鐵道院直營)
 十三日 鐵道院ニ於テ小荷物扱生繭、乾繭及寒天運賃二倍ナルヲ運常小荷物運賃ニ引下グ
 廿五日 東海道本線ニ有樂町驛ヲ設置シ電車運轉ヲ延長ス
 八月八日 輕便鐵道法(四月二十一日公布)施行セラル
 東海道線水害不通ノ爲メ橫濱熱田間ニ汽船ヲ運航シテ連絡ヲ圖ル
 廿五日 山陰線兩部綫部間開通シ京都、大阪、神戸ト新舞鶴間ニ直通運轉ヲ開始ス
 卅一日 九州線内石炭運賃ノ割戻ヲ廢止ス
 (日不詳) 奥羽線庭坂赤岩間隧道崩壞シ線路不通トナル(後徒步連絡ヲ開始ス開通見込立タズ新線敷設ニ依リ翌年九月四日開通)
 九月十日 鐵道院汐留ヨリ麩町區永樂町二丁目ノ新廳舎ニ移轉ス
 南滿洲鐵道吉長鐵道ト長春ニテ接續セシムル線路ヲ建設シ連絡輸送ヲ開始スル爲

メ吉長南滿兩鐵道接續ニ關スル協定ヲ行フ
 九月十五日 有樂町ヨリ吳服橋(東京驛開業ト同時ニ廢止)迄電車運轉ヲ延長ス
 廿一日 新橋神戸間急行列車ニ二等寢臺車ヲ連結ス
 三十日 朝鮮鐵道朝鮮總督ノ監督ニ移ル
 十月一日 鐵道院ニ於テ初メテ小荷物取扱所ヲ金澤ニ開設ス
 朝鮮總督府ニ鐵道局ヲ設置ス
 朝鮮總督府鐵道平南線全通ス
 十一月(日不詳) 樺太廳鐵道大泊豐原間ヲ三呎六吋ニ改造工事竣工ス
 十二月一日 門司鹿兒島間及門司長崎間列車ニ一等寢臺車ヲ連結ス
 五日 南滿洲鐵道ニ於テ穀物囤積保管ノ制ヲ設ク
 十六日 臺灣總督府鐵道臺東北線花蓮港間開通ス
 (月日不詳) 鐵道院七噸積木製石炭車千二百六輛八噸積鋼製石炭車千四百輛ヲ九噸積ニ改造ス
 (月日不詳) 舊日本鐵道線及山陽線ニ於テ瓦斯燈ヲ使用ニ決シ瓦斯槽車各四輛宛新製配備ス
 (月日不詳) 北海道線用トシテ米國ラツセル社製單線用雪櫃車一輛ヲ購入ス
 明治四十四年(1911)
 一月一日 朝鮮行小荷物扱新聞雜誌ニ證票扱ヲ開始ス
 二月十一日 宇野土庄間航路ヲ廢止シ高松土庄間旅客運輸ヲ開始ス(十月三十日廢止)
 三月一日 露國セントピーターズブルグ及モスコート大阪商船、南滿洲鐵道、露國義勇艦隊及鐵道院線間ニ於テ大連又ハ浦鹽經由國際聯絡ヲ開始ス
 廿三日 輕便鐵道補助法ヲ公布ス(明治四十五年十一月實施)
 (日不詳) 國有鐵道主要驛及直通列車ニ救急函ヲ設備ス
 (日不詳) 南滿洲鐵道ニ於テ大連埠頭構内野積場内保管貨物ニ對シ貨主ノ爲メ其ノ委任ヲ俟タズ火災保險ニ附ス
 四月一日 新橋其ノ他主要驛ニ於テ手小荷物特別配達(通運請負)ヲ開始ス
 六日 廣軌鐵道改築準備委員會官制公布セラレ會長内閣總理大臣侯爵桂太郎以下委員幹事任命セラル
 五月一日 中央線宮ノ越木曾福島間開通ニ依リ同線全通東西連絡シ飯田町長野及名古屋間直通運轉ヲ開始ス
 二十日 鐵道院ニ於テ常磐病院ヲ開ク
 六月三十日 鹿兒島線眞幸吉松間ニ於テ一週間ニ亙リ連續シテ線路陥落ス
 七月一日 函館釧路間直通運轉ヲ開始シ初メテ寢臺車ヲ連結ス
 十四日 鐵道院ニ於テ被服工場ヲ設ケ被服調製ヲ直營ス
 十九日 佐野鐵道東武鐵道ニ合併ス
 八月一日 東京市市内電車ヲ買收シ市營トス
 七日 廣軌鐵道改築準備委員會調査報告ヲ終ル
 廿四日 南滿洲鐵道ノ監督權拓殖局ニ移ル
 三十日 内務大臣原敬鐵道院總裁ヲ兼ヌ
 九月十日 南滿洲鐵道ニ於テ倉庫營業規程ヲ制定シ正式ニ倉庫業ヲ開始ス
 十月一日 貨物専用ノ香月線ニ自動車ヲ運轉シ旅客ノ取扱ヲ開始ス
 下關小森江間貨車航送ヲ開始シ渡船ニ依リ貨車三輛搭載小蒸汽船ヲシテ曳航セシム(宮本高次請負)
 十五日 京元線龍山義政府間開通ス
 廿五日 山陰東線(福知山香住間)全通ス

十一月一日 鴨綠江架橋工事竣成シ開通式ヲ新義州ニ舉グ
安奉線標準軌間改築工事竣成シ南大門（現京城）奉天間ニ一週三回ノ鮮滿直通急
行列車ヲ運轉シ大連長春間急行列車ニ接續セシム
大分線（柳ヶ浦大分間）全通ス

二日 日清兩國ハ委員ヲ任命シ安奉線朝鮮線間ニ列車ヲ直通セシムル爲メ日清國境列車
直通運轉ニ關スル協約ヲ訂結ス
樺太廳鐵道富岡榮濱間開業シ泊榮線全通ス

十二月（日不詳） 手宮及室蘭ニ於ケル石炭船積棧橋竣成ス
（日不詳） 過熱機關車（八千八百號型）ヲ輸入使用ヲ開始ス

明治四十五年（1912）

一月一日 朝鮮總督府鐵道局列車運轉時刻ヲ内地標準時ニ依ルコトニ改ム
臺灣總督府鐵道ニ於テ臺灣私設軌道規程ヲ制定ス

二月三日 國有鐵道ニ於テ通過信號ニ關スル規程ヲ定ム

三月一日 團體旅客ノ割引率ハ四季ヲ通ジ同一率ナリシガ季節ニ依リ割引率ヲ異ニス
山陰線香住濱坂間開通ニ依リ同線京都出雲今市間全通シ京都及大阪ト出雲今市間
ニ直通運轉ヲ開始シ海舞鶴境間航路ノ運輸營業ヲ廢止ス

十一月 じゃパン、ツーリスト、ビューローヲ創立ス

四月一日 中央線昌平橋萬世橋間電車運轉ヲ開始シ昌平橋ヲ廢止ス
臺灣總督府鐵道臺北外四驛ト長崎、門司、神戸ノ三港間ニ日本郵船、大阪商船定
期航路ヲ經由シ旅客手荷物ノ連絡運輸ヲ開始ス

四日 日露貨物鐵道船舶聯絡運輸ニ關スル法律ヲ公布ス
（日不詳） 南滿洲鐵道大連埠頭ニ於テ豆油混合保管ヲ開始ス
（日不詳） 南滿洲鐵道ニ於テ北清輪船公司ヲシテ大連、安東、天津、芝罘間定期航路ヲ開始
セシム

五月一日 臺灣總督府鐵道臺北外四驛ト新橋外十四驛間ニ日本郵船、大阪商船航路ヲ介シ旅
客手小荷物ノ連絡輸送ヲ開始ス

十一月 信越線横川輕井澤間碓氷線ニ於テ客貨列車ノ一部ニ電氣機關車ヲ使用ス
十四日 南滿洲鐵道ニ於テ東支鐵道及烏蘇里鐵道間聯絡運輸ヲ開始ス
十五日 倫敦ヨリ北米合衆國及加奈陀ヲ經テ日本ニ來リ西比利亞ヲ經テ露都セントピータ
ースブルグ又ハモスコニ至ル全界一週連絡運輸ヲ開始ス

十六日 南滿洲鐵道ニ於テ内地標準時ニ依ルヲ改メ西部標準時ヲ採用ス（此ノ結果内地標
準時ト一時間ノ差異ヲ生ジ朝鮮ヲ經テ安東ニ於テ一時間後レ……滿洲ヨリスルト
キハ一時間進メ……トナル世ニ滿洲時刻ト謂ヒ支那北方ニ行ハル）

六月一日 大社線出雲今市大社間全通ス
臺灣總督府鐵道直行及夜行列車ニ食堂付一等車ヲ連結ス

十五日 朝鮮ニ於テ鐵道、輕便鐵道及軌道ノ營業ニ關スル制令、朝鮮輕便鐵道令並鐵道運
輸規程ヲ公布ス
東京下關間ニ一、二等特別急行列車ヲ運轉シ關釜間航路（火木土ノ三便ヲ九時間
半急行便トス）ヲ經テ釜山長春間鮮滿直通急行列車（京城釜山延長、奉天長春間
ハ大連長春間急行列車ニ聯結）ニ接續セシメ内地鮮滿連絡ヲ完成ス
東京下關間特別急行列車ニ特別急行券ヲ設ケ列車長ヲ乗務セシム（大正八年八月
十九日限り列車長廢止）
臺灣總督府鐵道臺東北線溪口鳳林間開通ス

六月十七日 東海道線大垣ニ於テ軍用列車及貨物列車衝突シ兵員五名即死五十三名負傷ス

七月十五日 朝鮮總督府鐵道釜山停車場旅館ヲ開業ス

三十日 大正ト改元

大正元年

八月三日 臺北ニ於テ臺灣官私設鐵道軌道一千哩祝賀會ヲ開催ス
十五日 朝鮮總督府鐵道新義州停車場旅館ヲ開業ス
鐵道院ニ於テ外國品製作監督ノタメ米國及獨逸國ニ駐在員ヲ派遣ス

廿一日 木更津線（蘇我木更津間）全通ス
廿五日 越後鐵道營業ヲ開始ス

九月十四日 青山假停車場ヨリ桃山マデ 明治天皇大喪列車ヲ運轉ス 此ノ月桃山街陵參拜團
體六十二萬人ヲ輸送ス
廿三日 備船うめが香丸關門海峽ニ於テ沈没ス

十月一日 貨物運賃ヲ改正シ同時ニ從來ノ發着手数料ノ制度ヲ廢止ス
五日 網走線野付牛網走間開通シ同線池田網走間全通ス
二十日 吉長鐵道全通營業ヲ開始ス

十二月一日 朝鮮總督府鐵道ニ於テ海港地行穀類ノ特定運賃ヲ設定ス
廿一日 遞信大臣男爵後藤新平鐵道院總裁ヲ兼ヌ
卅一日 足尾鐵道線足尾ニ達ス
（日不詳） 東京市電從業員罷業ニ伴ヒ山手線乗客激增シ輸送力ニ不足ヲ告グ

大正二年（1913）

一月十日 臺灣總督府鐵道寢臺五個ヲ具フル患者用寢臺車ヲ設備シ患者用寢臺車取扱規程ヲ
實施ス
卅一日 新造船高麗丸竣工シ下關發一便ヨリ運航開始ス（關釜間）
（日不詳） 太田輕便鐵道線（未成線）東武鐵道ニ買收セラル

二月一日 牛乳、野菜、鮮魚、鮮肉等ノ小荷物運賃ヲ特定ス
鐵道運輸規程ヲ改正シ犬、其ノ他小動物ヲ専用客車内ニ持込ミ得ルコトトス
二十日 床次竹二郎鐵道院總裁ニ任ゼラル

三月一日 大津線馬場濱大津間旅客、手小荷物ノ運輸營業ヲ廢止ス

四月一日 釜山新棧橋ニ初メテ列車ヲ發着セシム
臺灣總督府鐵道縱貫線ニ急行列車ヲ設ケ急行列車券ヲ發賣ス
北陸線青海糸魚川間開通シ同線米原直江津間全通ス
二十日 國有鐵道阿波國共同汽船會社所屬小松島德島間線路ヲ借入レ營業ヲ開始ス
（日不詳） 長野市善光寺開帳參拜團體十一萬九千人ヲ輸送ス

五月五日 鐵道院官制改正セラレ總裁官房、技術部、監督、運輸、經理ノ三局ヲ置キ職員中
新ニ鐵道手ヲ設ケ地方ニ東部、西部、九州及北海道ノ四鐵道管理區並中央倉庫ヲ
置キ工場ヲ直轄トシ官制掌理事項中ニ南滿洲鐵道會社ノ鐵道ニ關スルコトヲ加ヘ
ラル

六月一日 下關小森江間航路ニ於ケル宮本高次所有ノ貨車浮舟八隻及曳船小蒸汽船三隻ヲ買
收シ省直營トス
鐵道院中央倉庫所屬地方倉庫ヲ東京、神戸、九州（門司）、北海道（札幌）ニ置キ
各地ニ分庫及配炭所ヲ置ク
十日 日本内地、朝鮮、支那及露領沿海洲並ニ歐洲主要都市間ニ旅客及手荷物ノ聯絡運
輸ヲ開始ス

(24) 鐵道年表

六月十三日 拓殖局廢セラレ南滿洲鐵道ノ監督鐵道院ニ移ル
七月一日 朝鮮總督府鐵道主要驛ニ於テ倉庫營業ヲ開始ス
八月十日 國有鐵道ニ於テ滿洲行綿布綿絲ノ運費ヲ低減ス所謂三線連絡運費問題ヲ生ジ米國ノ抗議ニ遭フ
廿八日 函館本線目名熱乳間ニ於テ急行旅客列車築堤崩壞ノ爲メ脱線顛覆シ七名即死六十七名負傷ス
九月八日 國有鐵道ニ於テ旅客運費增拂制度ヲ廢止ス
十五日 日本内地、朝鮮、支那、露領沿海洲及西歐主要驛間ニ西比利亞及蘇土經由周遊券ニ依ル聯絡運輸ヲ開始ス
十月一日 苫小牧輕便鐵道營業ヲ開始ス
回数乗車券ハ特定驛ニ限リ發賣セシヨ各驛ニ於テ發賣スルコトニ改ム
急直及主要列車ヲ除キ一等車ノ連結ヲ廢止ス
東京其ノ他八都市ト支那國有鐵道京奉線中天津、北京トノ間ニ朝鮮、南滿洲線ヲ經由シ旅客及手荷物ノ直通聯絡運輸ヲ開始ス
五日 日本及支那兩政府間ニ滿蒙五鐵道借款大綱ヲ協定ス
十三日 車輛換算法ヲ改正シ院線一般ニ互リ機關車牽引定數ヲ統一ス
足尾鐵道會社所屬下新田足尾間線路ヲ借入レ營業ヲ開始ス
十七日 北陸本線東岩瀨驛ニ於テ四三列車到着ノ際行過ギ退行中七〇〇列車進入シ來リ衝突二十四名即死百六名負傷ス
廿五日 岩手輕便鐵道營業ヲ開始ス
(日不詳) 鐵道院ニ於テ英文東亞案内ヲ發行ス
(日不詳) 南滿洲鐵道ニ於テ營口大連ト香港廣東間貨物準定期航路ヲ開始ス(大正五年十月大連汽船ニ讓渡)
十一月一日 鐵道運輸規程ノ一部改正ト共ニ貨物增運費規程ヲ制定ス
南滿洲鐵道ニ於テ急行列車ノ急行列車券及寢臺券ヲ廢シ急行座席券ヲ新設シ同時ニ鮮滿直通列車ニ二等寢臺車ヲ連結ス
十日 臺灣總督府鐵道臺東北線鳳林馬太鞍間開通ス
廿五日 門司熊本間急行列車券ヲ發賣ス(大正六年十月一日鹿兒島ニ延長)
(日不詳) 鐵道省ニ於テハ鐵道手以下ノ從事員慰安ノ方法トシテ慰安會ヲ毎年一回恒例的ニ開催スルコトトス
十二月十九日 野村龍太郎南滿洲鐵道會社總裁仰付ケラル
二十日 臺灣總督府鐵道潮州線九曲堂屏東間開通ス
(月日不詳) 東北、北海道地方凶作、凶作地發着貨物中特種ノモノニ付無賃或ハ半減ノ取扱ヲ爲ス
大正三年(1914)
一月一日 露國東清鐵道(烏蘇里鐵道ヲ含ム)トノ間ニ朝鮮、南滿鐵道線及大阪商船並露國義勇艦隊ノ汽船ヲ介シ日滿貨物聯絡運輸ヲ開始ス
三月八日 臺灣總督府鐵道臺東北線馬太鞍拔子間開通ス
十六日 工學博士仙石貢鐵道院總裁ニ任ゼラル
廿日 大正博覽會ヲ東京ニ開催ス、各驛ヨリ往復二割引乗車券ヲ發賣ス
四月十日 樺太廳鐵道小沼ヨリ分岐スル川上支線ヲ開業ス
五月一日 大日本ホテル會社ヲシテ經營セシメタル奈良ホテルヲ省營トス
十四日 浦鹽斯德經由橫濱モスコ一間ニ生絲ノ直通聯絡輸送ヲ開始ス

鐵道年表 (25)

五月廿五日 代々木假停車場(原宿ヨリ分岐シ明治神宮神苑内引込線)ヨリ桃山マデ 照憲皇太后大喪列車ヲ運轉ス
六月一日 川内線(鹿兒島川内町間)全通ス
鐵道院救濟組合所屬常磐病院ヲ廢シ政府事業トシテ東京鐵道病院ヲ置ク
七月一日 關釜間航路用下關鐵道棧橋ノ使用ヲ開始ス
十五日 中村雄次郎南滿洲鐵道會社總裁仰付ケラル
(日不詳) 伊藤英一等輕便鐵道協會ヲ組織ス(大正五年私設鐵道同志會ト改稱)
八月十五日 京都新停車場ヲ開ク
十六日 朝鮮總督府鐵道京元線洗浦高山間竣工シ同線全通ス
東海道線水害ノ爲メ不通トナリ橫濱江尻間ニ船舶ヲ運行ス
八月廿三日 歐洲戰亂東洋ニ波及シドイツ國ニ對シ宣戰ノ詔勅下ル此ノ前後ニ於テ軍用臨時列車ヲ運轉ス
九月十六日 門司棧橋竣工シ使用ヲ開始ス
十月一日 **ブリチッシ・インディヤ**汽船會社ヲシテ船車振替乗車券ヲ發行セシム
十日 朝鮮總督府鐵道朝鮮ホテルヲ開業ス
廿一日 朝鮮總督府鐵道湖南線全通ス
廿二日 青函間航路ニ於テ車輛航送用トシテ幸運丸ヲ就航セシム
十一月一日 村上線(新津村上間)全通ス
岩越野澤津川間開通ニ依リ同線郡山新津間全通シ上野新潟間直通運轉ヲ開始ス
十一日 萬字輕便線(志文萬字炭山間)全通ス
十五日 長井輕便線(赤湯長井間)全通ス
、十二月十八日 東京驛新築落成シ東京橫濱間電車開通式ヲ行フ
二十日 東京驛開業シ吳服橋驛ヲ廢止シ烏森驛ヲ新橋、新橋ヲ汐留ト改稱シ同時ニ萬世橋中野間電車區間特定運費ヲ改正ス
廿四日 酒田線(新庄酒田間)全通ス
廿五日 東京、高島町間電車不幸ニシテ事故續出ノ爲メ一旦之ヲ中止ス
廿七日 品川赤羽間旅客列車ノ運轉ヲ廢シ電車ニ變更シ同時ニ東京、上野間ニ自動車(內國通運會社請負)ヲ以テ手小荷物ヲ連絡輸送ス
(日不詳) 黒川產原油ヲ運轉用燃料トシテ東海道線中東京、沼津間ニ石炭ト混用シテ之カ使用ヲ開始ス(重油ハ從來信越、中央線ノ隧道區間ニ使用セリ)
同 南滿洲鐵道上海航路汽船ヲ往復共青島ニ寄港セシム
同 南滿洲鐵道ニ於テ日清汽船會社航路揚子江主要港並山東鐵道間ニ貨物聯絡運輸ヲ開始ス
大正四年(1915)
一月一日 日支旅客聯絡交通ノ區域ヲ京漢、京張、津浦及滬寧ノ四鐵道ニ擴張シ、漢口、張家口、濟南府、浦口、南京、上海、新民府、山海關トノ間ニ旅客及手荷物ノ聯絡輸送ヲ開始ス
廿六日 臺灣總督府鐵道臺東北線拔子瑞穂間開通ス
(日不詳) 旅行案内社ニ於テ公認旅行案内ヲ發行ス
(日不詳) 南滿洲鐵道長春、開原及大連ニ於テ撤積大豆混合保管(試驗的)ヲ開始ス
二月一日 小荷物及貨物ニ對シ代金引換ノ取扱ヲ開始ス
關東洲移民ニ對シ運費半減扱ヲ開始ス
三月廿四日 日獨戰爭ノ結果我軍占領ノ山東鐵道管理ノ爲メ山東鐵道管理部編成セラレ同二十

- 八月業務一切ヲ繼承ス
- 四月一日 上野新潟間磐越線經由列車ニ二等寢臺車ヲ連結ス
- 十六日 有馬鐵道三田有馬間線路ヲ借入レ營業ヲ開始ス
- (日不詳) 高野山大法會參拜團體約十一萬二千人ヲ輸送ス
- (日不詳) 東海道線京都神戸間ニ聯動閉塞器ヲ使用ス
- 五月十日 前年來中止ノ京濱電車ヲ東京高島町(現橫濱)間運轉ヲ開始ス
- 六月廿三日 鐵道院官制中改正セラレ技監ヲ廢シ總裁官房及監督、運輸、工務、工作、經理ノ五局及地方ニ五鐵道管理局ヲ置キ中央倉庫ヲ廢シ工場ヲ管理局ニ屬セシム、同日東京改良事務所ヲ廢シ熱海線建設事務所ヲ置ク
- 南海鐵道阪堺鐵道ヲ合併ス
- (日不詳) 函館棧橋竣工ス
- 八月十五日 橫濱停車場ヲ開キ橫濱ヲ櫻木町ト改稱シ京濱電車ヲ櫻木町ニ延長シ平沼、高島町兩停車場ヲ廢ス
- (日不詳) 下關釜山間連絡船ニ無線電信局ヲ置ク
- 九月三日 法學博士添田壽一鐵道院總裁ニ任ゼラル
- 十日 田端停車場擴張工事中南部竣工シハンブヤードノ使用ヲ開始ス
- 十月一日 國有鐵道ニ於テ日支周遊券及日支巡遊券ヲ發賣ス
- 十日 大貨物運賃著拂ヲ全線ニ施行ス(從來京阪地方ト山陽沿線及九州方面間發著貨物ニ限レルモノヲ擴張)
- 十六日 代金引換小荷物ノ居宅引換ヲ開始ス
- 十九日 臺灣總督府民政長官下村宏鐵道部長ヲ兼ス
- 十一月六日 此日ヨリ二十八日迄大禮(大正天皇御即位式)列車ヲ運轉ス
- 十二月一日 御即位式場拜觀者ニ對シ京都行三等往復二割引乗車券ヲ發賣ス
- 十七日 滿蒙五鐵道借款大綱ニ基キ四平街洮南間ノ內四平街鄭家屯間鐵道建設ノ爲メ四鄰鐵道借款契約ヲ締結ス
- 廿三日 津和野線建設工事區間ニ於ケル木戸山隧道崩落シ工夫五十六名埋沒ス、翌五年一月一日迄三十三名救助セラレ其ノ他ハ坑内ニ死ス
- 三十日 東橫濱ヨリ高島ヲ經テ程ヶ谷ニ至ル貨物線開通シ橫濱程ヶ谷間線路ヲ廢線トス
- 東京橫濱間直通特定賃金ヲ改正ス
- 卅一日 東京市内ニ於ケル院線電車區間ト其ノ他ノ區間ニ發著スル旅客特定運賃ヲ制定ス
- 大正五年(1916)
- 二月十四日 田端停車場擴張工事中北部竣工シハンブヤードノ使用ヲ開始ス
- 四月一日 多度津線(多度津川之江間)全通ス
- 十日 軌制調査會ヲ置カレ、會長、副會長、委員、幹事任命セララル
- 北海道線函館札幌間列車ニ和食堂車ヲ連結ス
- 十五日 山手線大井大崎間線路ヲ廢線トス
- 五月一日 四鄰鐵道借款資金トシテ正金銀行ヲシテ五百萬圓ノ公債ヲ發行セシメ支那政府ニ之ヲ交付セシム
- 品川停車場擴張工事竣工シハンブヤードノ使用ヲ開始ス
- 十五日 途中下車驛ヲ廢シ乗車距離ニ依ル下車回数ヲ定メ任意驛ニ下車シ得ルコトニ改ム
- 八月廿五日 下關小森江間航路下關側第一可動橋竣工次デ六月二十四日第二可動橋竣工ニ付使用ヲ開始ス
- 十月六日 軌制調査會經過報告書ヲ提出ス

- 十月九日 內務大臣男爵後藤新平鐵道院總裁ヲ兼ス
- 廿五日 佐伯線(大分佐伯間)全通ス
- 宮崎線(吉松宮崎間)全通ス
- 十一月一日 朝鮮總督府鐵道南大門(現京城)其ノ他主要驛ニ於テ荷物代金引換ノ制ヲ開施ス
- 十五日 電車線吊架法ヲシングルカテナリー式ニ改メ一部之ヲ施行ス
- 十七日 京濱電車二等車ニ電氣暖房ヲ裝置シ之カ使用ヲ開始ス
- 廿九日 東北本線下田古間木間ニ於テ入營兵輸送臨時列車貨物列車ト正面衝突シ即死二十名負傷百八十名ヲ出ス
- 十二月十六日 船川輕便線(追分船川間)全通ス
- (日不詳) 熱海線ノ工事ヲ起ス
- (日不詳) 下旬ヨリ翌年一月ニ亙リ南滿洲ニ未曾有ノ酷寒襲來シ客貨車々軸發熱スルモノ多ク一時南滿洲鐵道全線數百輛ノ休車ヲ行フ
- 大正六年(1917)
- 三月廿六日 岩越線松野隧道崩壞ス、八月十七日該不通ノ箇所ニ玉村式索道ヲ架シ運轉シ翌七年六月線路工事成リ之ヲ撤ス
- 四月一日 門司鹿兒島間列車ニ二等寢臺車ヲ連結ス
- (日不詳) 四鄰鐵道建設工事ニ着手ス
- 五月(日不詳) 橫濱線原町田橋本間ニ於テ廣軌改築ニ關スル運轉試驗ヲ行フ
- 六月一日 金屬製手荷物用符合ヲ廢シ總テ紙製ニ改ム
- 鐵道院線及朝鮮總督府鐵道間ニ荷物代金引換ノ取扱ヲ開始ス
- 上野青森間列車ニ二等寢臺車ヲ連結ス
- 鐵道院職員休暇規程ヲ定ム
- 七月一日 日支協定驛間ニ往復乗車券ノ發賣ヲ開始ス
- 卅日 朝鮮總督府鐵道ノ經營ヲ南滿洲鐵道ニ委託ス(勅令第九十號)京城管理局ヲ置キ久保要藏局長トナル
- 七月卅一日 拓殖局ヲ置カレ南滿洲鐵道ニ關スル事項ハ同局ノ掌理ニ屬ス
- 國澤新兵衛南滿洲鐵道會社理事長仰付ケラル
- 九月一日 借入中ノ阿波國共同汽船所屬小松島德島間線路ヲ買收ス
- 廿一日 宮崎縣營宮崎妻間及宮崎川口間線路ヲ買收ス
- 十月一日 借入中ノ橫濱鐵道所屬東神奈川八王子間線路ヲ買收ス
- 門司長崎間急行列車ニ急行列車券ヲ發賣ス
- 十日 磐越東線平郡山間全通ス
- 十二日 改訂吉長鐵道借款契約ヲ締結シ南滿洲鐵道ニ於テ經營上ノ指揮及經理ヲ擔當ス
- 廿九日 中部鐵道管理局東京停車場本屋内ニ移轉ス
- 十一月一日 朝鮮總督府鐵道釜山安東間直通旅客列車ヲ奉天迄延長運轉ス
- 陸羽線小牛田新庄間全通ス
- 臺灣總督府鐵道臺東北線瑞穗玉里間開通ス
- 十二月一日 四洮鐵道四平街鄭家屯間假營業ヲ開始ス
- 廿五日 朝鮮總督府咸鏡北線會寧ニ達シ清津會寧間直通列車ヲ運轉ス
- 大正七年(1918)
- 一月一日 四洮鐵道四鄰線本營業ヲ開始ス
- 宮地輕便線(熊本宮地間)全通ス
- 三月廿五日 普通團體旅客ニ對スル割引ヲ停止ス(大正九年十一月一日復活)

四月廿五日 鐵道院副總裁中村是公鐵道院總裁=任ゼラル

五月十二日 歐洲戰亂ノ影響ヲ受ケ南滿洲鐵道本線急行及鮮滿直通急行列車ノ運轉ヲ休止ス

二十日 **ブラジル、ペルー及フキリツピン**移民=對シ運賃五割減ノ取扱ヲ開始ス

六月一日 借入中ノ足尾鐵道所屬下新田足尾間線路ヲ買收ス

函館本線列車函館瀧川間=二等寢臺車ヲ連結ス

六日 樺太廳鐵道事務所官制公布サル

三十日 京都市市内電氣鐵道ヲ買收シ市營トス

七月一日 朝鮮總督府鐵道金剛山探勝旅客輸送ノ爲メ平唐及葛麻=接續セシムル自動車ヲ直營ス

門司長崎間列車=二等寢臺車ヲ連結ス

十二日 山陽線湖山寶木間=於テ混合列車線路築堤陥没ノ爲メ顛覆四名重傷(後死亡)五十六名負傷翌十三日開通ス

十六日 旅客運賃ヲ改正シ約二割ノ引上ヲ爲シ八月一日ヨリ實施ス

廿六日 山陽本線下ノ關驛構内=於テ積込中ノ解内ニテ彈藥爆發ノ爲メ附近建物、車輛ヲ破壊シ旅客列車乗車中ノ旅客及職員五十九名負傷ス

八月一日 吹田神崎間大阪北方貨物線開通ス

五日 山手線惠比壽構内(當時踏切道)=於テ鑛山用火藥ヲ積載シタル荷車ト目黒ヲ發シタル電車ト衝突シ火藥爆發ノ爲メ三十八名負傷挽子即死ス

八日 富山縣滑川町=米騒動起リ(十日京都及岡山縣下、十一日名古屋及大阪市、十二日神戸及廣島市=起ル)米及木炭ノ指定輸送ヲ行フ

九月一日 國有鐵道=於テ小荷物運賃及貨物運賃ヲ改正シ約二割ノ引上ヲ爲ス但シ米外生活必需品十七品=對シテハ從來ノ普通運賃ヲ以テ特定運賃トシ同時=貨物運賃特約割引ヲ廢止ス

鐵道院共濟組合=購買部ヲ置ク

十日 東海道線熱田千種間及梅小路丹波口間線路ヲ營業=使用ス

十八日 山陰線水害不通ノ爲メ境海舞鶴間=十一月十八日迄臨時連絡船ヲ運航ス

十月三日 山陰線一部不通ノ爲メ津居山加露間=汽船ヲ運航ス

十一月一日 貨物特約割引ヲ廢止ス

二十日 南滿洲鐵道蘇家屯奉天間複線開通ス

十二月二十日 小荷物ノ荷造標準ヲ制定ス

(月日不詳) 隧道多キ區間及都市ヲ運轉スル列車ノ機號車燃料=ハ石炭=流動燃料ヲ混用スル方法ヲ採リ大正三年十二月=ハ東京沼津間、六年四月田端秋葉原間、十二月飯田町八王子間=使用シ更=本年度初ヨリ山手線使用機號車全部=モ之ヲ實施セリ

(月日不詳) 内地製強力ナル新造機號車百三十一輛ヲ各局ニ配屬セシムル列車ノ聯結車數ヲ増大セシム

大正八年(1919)

一月一日 寢臺料金ヲ改正シ上段ヲ下段ヨリ低廉ニス

十六日 國有鐵道=於テ引渡期間超過荷物運賃割戻ヲ開始ス

廿五日 中央線電車運轉ヲ吉祥寺マデ延長ス

三月一日 中央線東京萬世橋間電車線開通シ中野、東京、品川、新宿、上野ノ循環直通運轉ヲ開始シ、同時=電車區間特定旅客運賃ヲ改正實施ス

九日 臺灣總督府鐵道宜蘭線宜蘭蘇澳間開通ス

新元鹿之助臺灣總督府鐵道部長=任ゼラル

三月三十一日 借入中ノ有馬鐵道所屬三田有馬間線路ヲ買收ス

(日不詳) **シベリヤ**及北滿洲鐵道列國共同管理協約成リ爾來鐵道院職員七十餘名同囑託員四十餘名ヲ東清鐵道烏蘇里鐵道、黑龍江鐵道=派遣ス

(日不詳) 南滿洲鐵道=於テ社線經由吉長鐵道、四洮鐵道間三線聯絡運輸ヲ開始ス

四月一日 仙北輕便鐵道所屬小牛田石卷間線路ヲ買收ス

朝鮮總督府鐵道急行列車=對シ急行列車券ヲ發賣ス

朝鮮總督府鐵道京城鐵道學校ヲ開校ス

鐵道院職員中央敎習所=豫科ヲ置ク

十日 地方鐵道法ヲ公布ス

十二日 野村龍太郎南滿洲鐵道會社社長仰付ケラル

五月一日 鐵道院=建設局ヲ置キ地方=東京、名古屋、神戸、門司、仙臺、札幌=鐵道管理局ヲ置ク

五日 臺灣總督府鐵道宜蘭線八堵瑞芳間開業ス

廿四日 北條線(蘇我安房北條間)全通ス

卅一日 鐵道院=鐵道醫ヲ置キ其ノ待遇ヲ奏任又ハ判任トス

六月一日 高級品以下混載貨切扱貨物=對スル運賃割戻規程制定ス

十四日 鐵道院=於テ運送取扱人公認規程ヲ定メ運送店ノ公認制度ヲ實施ス

七月三日 下關小森江間航路新造自航貨車渡船二艘竣工シ七月二十五日ヨリ就航ス

廿三日 鐵道院=於テ運送取扱人公認規程實施=伴ヒ公認組合設置準則ヲ定メ組合規約聯合會々則、中央會々則ハ鐵道ノ認可ヲ得セシム

廿四日 米ノ無賃輸送ヲ行フ(八月二十五日迄)無賃取扱量三十二萬四千噸麥外四品=對シテハ運賃三割減ノ取扱ヲナス

八月十五日 地方鐵道法及附屬諸規程施行セラル

九月一日 旅客附隨小荷物ヲ行商品、旅客自用人力車、自動自轉車、自轉車、商品運搬車、小兒車及旅客ノ携行スル犬其ノ他ノ小動物=限定ス

八日 四洮鐵道鄭家屯洮南間鐵道建設ノ爲メ南滿洲鐵道ト支那政府間=四洮鐵道借款契約ヲ締結ス

十一日 朝鮮總督府鐵道大小荷物運賃料金ノ著拂及後拂扱ヲ開始ス

三十日 內國通運會社ノ小荷物及貨物ノ配達請負ヲ解キ各管理局ヲシテ十月一日ヨリ適當ノ運送業者=請負ハシム

十月一日 一等車ノ連結ヲ全國主要幹線急直行列車=限り連結スルコト=改ム

小荷物及貨物運賃豫納扱ヲ開始ス

鮮滿支周遊券ヲ發賣ス

十一日 樺太廳鐵道西海岸本斗真岡間開業ス

十二日 大森蒲田間電車線路上=群眾闖入シ蒲田方面ヨリ進行ノ電車=觸レ八名即死三名重傷(後=死亡)ス

十四日 南滿鐵道トノ連絡貨物以外ノ貨切扱貨物=對スル運賃及附帶費ノ立替拂ヲ廢止ス

十五日 速達便及倍賃扱ヲ廢止シ新=急行便扱ヲ開始ス

小荷物ノ重量、容積制限ヲ縮少シ重量五十斤、容積二十立方尺=改ム

廿二日 東京大阪兩市公設市場購入ノ穀物、薪炭及同府貸付住宅建築木材=限り貨切扱ヲ無償トス(十一月三十日限り)

十一月一日 臺灣總督府鐵道宜蘭線宜蘭礁溪間開通ス

六日 公認組合中央會創立セラレ全國運輸聯合會解散ス

(30) 鐵道年表

- 十一月八日 東京大阪兩市薪炭貨切扱無賃運送ヲ行フ(十一月三十日限り)
- 十二月一日 鮮滿連絡荷物通關規程ヲ制定ス
南滿洲鐵道ニ於テ大豆混合保管ノ取扱ヲ開始ス(四月一日以降試驗的ニ行ヒタルモノ)
安奉線陳相屯奉天間線路ヲ南滿本線蘇家屯ニ變更工事竣成開通シ陳相屯及撫順線撫安間線路ヲ廢棄ス
國有鐵道ニ於テ一八九〇〇形機關車落成ス
國有鐵道ニ於テ現場從事員ノ爲メ休憩所及慰安浴場ヲ設置ス
- (月日不詳)
大正九年(1920)
- 一月一日 國有鐵道山東鐵道ト日本郵船、大阪商船及原田汽船ノ青島航路ヲ介シ旅客手荷物ノ連帶運輸ヲ開始ス
- 廿七日 臺灣總督府鐵道宜蘭線瑞芳猴洞間開通ス
- 二月一日 旅客運賃ヲ改正シ約二割五分ノ引上ヲ爲ス
青函間航路急行便一、二便ニ急行料金ヲ設定シ且二等室ヲ甲乙トシ乙ハ寢臺料ヲ徴ス
東京市内中繼其ノ他手小荷物運搬用自動車ノ請負(内國通運)ヲ廢シ鐵道院直營トス
- 廿二日 臺灣總督府鐵道潮洲線竹田潮洲間開通ス
- (日不詳) 私設鐵道同志會其ノ組織ヲ社團法人トシ名稱ヲ鐵道同志會ト改ム
- 三月(日不詳) 奧羽線經由上野青森間直通列車ニ食堂車ヲ連結シ同時ニ車内賣店ヲ廢止ス
- 四月二日 牛乳其ノ他食料品特定運賃ノ差額制限ヲ撤廢ス
- 廿五日 臺灣總督府鐵道宜蘭線礁溪頭圍間開通ス
- 五月一日 國有鐵道現業委員會規程ヲ定ム
- 十五日 鐵道省及鐵道局官制公布セラレ鐵道省ニ大臣官房、研究所、監督、運輸、建設、工務、工作、經理ノ六局及地方ニ東京、名古屋、神戸、門司、仙臺、札幌ノ六鐵道局ヲ置キ南滿洲鐵道ノ鐵道及航路ニ關スル事務ノ監督鐵道大臣ニ歸ス
元田肇鐵道大臣ニ任ゼラル
- 六月一日 美濃輕便鐵道所屬伊佐重安間線路ヲ買收ス
- 七月廿三日 橫濱港驛ヲ開キ東橫濱驛ヲ通ジテ船車連絡運輸ヲ爲ス
- 八月十二日 東海道線夜行直通列車ノ三等客車ニ輕便枕貨貨營業ヲ許可ス(大正十五年八月十四日許可取消ニ依リ營業廢止)
- 九月一日 關釜間航路運賃中ニ食事料ヲ含ミタルモ別ニ一定ノ食事料金ヲ徴シ乘客運賃ヲ改正ス
中越鐵道所屬伏木城端間、伏木氷見間及能町新湊間線路ヲ買收ス
成田鐵道所屬我孫子佐倉間、成田佐原間線路ヲ買收ス
- 十月一日 團體割引規程ヲ改正シ七年三月以來停止シタル普通團體割引ヲ復活ス
- 十二月十日 臺灣總督府鐵道宜蘭線頭圍大里間開通ス
- 廿五日 臺灣總督府鐵道縱貫線海岸線王田清水間開通ス
- 大正十年(1921)
- 一月十一日 國有鐵道旅客及荷物運送規則ヲ實施シ旅客及荷物運送ニ關スル基本規則ノ統一ヲ完成ス從來ト異ナル要點ヲ擧グレバ下ノ如シ
イ 他ノ鐵道、軌道ヲ介スル前後ノ省線哩計算方改正シ哩ヲ通算ス
ロ 廻遊乘車券ヲ新設ス

鐵道年表 (31)

- ハ 一等定期、回数券ヲ廢止シ小兒回数券ヲ新設ス
- ニ 北海道移民ニ對スル北海道線内ノ無賃扱ヲ廢止ス
- ホ 手小荷物運賃ヲ改正ス
- ヘ 手荷物ノ制限ヲ擴張シ容積三十立方尺、重量二百五十斤ニ改正ス
- ト 手荷物無賃制限ヲ擴大シ一等百斤、二等七十斤、三等五十斤ニ改ム
- 一月十一日 貨物運賃料金規則ヲ實施ス
イ 等級表品目ヲ從來ノ約三倍即チ二百ニ増加ス
ロ 等級ノ分類ヲ一級ヨリ五級及級外品ニ改ム
ハ 運賃ヲ約二割八分引上ク
- 廿九日 鐵道敷設法改正法律案(豫定線百四十九線)ヲ第四十四帝國議會ニ提出、二月十七日衆議院ヲ通過シタルモ貴族院ニ於テ擱置シトナル
- 三月廿日 磐越西線五十島馬下間小島隧道東口土砂崩壞旅客列車之ニ乗上ケ顛覆シ郵便車燬爐ヨリ發火燒失シ十名燒死二十六名負傷(後郵便係員二名死亡)シ二十三日開通ス
- 三月廿九日 帝國鐵道會計法中改正法律公布セラレ本會計ヲ資本、用品、損益ノ三勘定ニ區分ス
- 四月一日 午後四時二十分熱海線丹那山隧道東口坑門ヨリ十五鑽ノ内部崩壞シ從業員三十三名(内二名女人夫)埋沒或ハ閉塞ノ難ニ遇フ八日午後十一時ニ至リ生存者十七名ヲ救助ス
- 十三日 軌道法公布セララル
- 五月十一日 橫川輕井澤間各列車ニ電氣機關車ヲ使用シ電化完成ス
- 廿日 小荷物扱魚類、野菜、果物ノ特別運送ノ取扱ヲ開始ス
- 卅一日 早川千吉郎南滿洲鐵道會社社長仰付ケラル
- 六月七日 鐵道省官制中改正セラレ新ニ電氣局ヲ置キ鐵道監察官ヲ設ケ技監ヲ廢ス是ノ日鐵道省分課規程中改正セラレ大臣官房ニ外國鐵道調査課、電氣局ニ電化課、電力課、通信課、經理局ニ購買第三課ヲ新設ス
- 八日 國有鐵道共濟組合貯金部規程ヲ定ム(鐵道五十年祝典紀念事業)
- 十八日 山陽線長府小月間水害不通ノ爲メ下關德山間二十九日迄博多丸ヲ臨時就航セシム
- (日不詳) 南滿洲鐵道大連長春間ニ急行列車ヲ復活運輸ス
- 七月廿日 京都明石間ニ三位式自動信號機ノ使用ヲ開始ス之ニ伴ヒ京都神戸間ニ使用セラレタル聯動閉塞機ノ使用ヲ廢止ス
- 八月一日 東海道本線大津京都間變更線(二哩九分短縮)及奈良線稻荷桃山間新設線路開通ス
- 五日 根室本線西和田根室間開業ニ依リ同線全通ス
- 卅一日 鐵道省ニ於テ日本鐵道史(上中下三卷)ヲ刊行ス
- 九月廿五日 大湊輕便線(野邊地大湊間)全通ス
- 十月五日 名寄線上興部與興部間開通シ同線名寄中湧別間全通ス
- 九日 東京下關間急行列車ニ新式二等車(座席ヲ列車進行方向ニ轉換シ得ル裝置)ヲ使用ス
- 十日 宇野高松間航路ニ於テ貨車航送(曳船ニ依ル)ヲ開始ス
- 十四日 鐵道省ニ於テ鐵道五十年祝典ヲ行フ當日東京驛前式場ニハ 天皇陛下 御名代トシテ 皇太子殿下(今上陛下)行啓アラセラレ勅語ヲ賜フ
鐵道省教習所及鐵道局教習所規程ヲ改正シ高等部ヲ新設ス(紀念事業)

(32) 鐵道年表

- 十月十四日 鐵道省給費生規程ヲ制定ス(記念事業)
- 財團法人鐵道育英會寄附行爲ヲ制定シ東京鐵道中學校ヲ設立ス(同上)
- 十一月一日 樺太廳鐵道西海岸線眞岡野田間開業シ同線全通ス
- 十五日 南滿洲鐵道奉天鐵嶺間復線開通ス
- 大正十一年(1922)
- 一月一日 四洮鐵道鄭通線(滿鐵借款)營業ヲ開始ス
- 下關小森江間航路=新造自航貨車渡船(第三號門丸)配屬ノ結果從來ノ一部船積ヲ廢止ス
- 二月三日 北陸本線親不知青海間勝山隧道西口ニ於テ雪崩ノ爲メ死車埋沒粉砕シ死者九十名四十名傷負ス同五日開通ス
- 廿一日 旅客荷物運送規則ヲ改正ス其ノ要項下ノ如シ
 - イ 免囚保護會被保護者=對シ運賃割引ヲ開始ス
 - ロ 内地開墾地行移民=對シ旅客運賃割引ヲ開始ス
 - ハ 學術研究用小動物運賃ヲ低減ス
 - ニ 小荷物制限斤量五十斤ヲ八十斤ニ改ム
 - ホ 貴重品中絹絲、絹織物類ノ配達ヲ開始ス
- 三月(日不詳) 樺太廳長官樺太鐵道會社發起人=榮濱敷香間鐵道敷設ヲ免許ス(大正十二年四月會社成立)
- 四月一日 連帶運輸規則、同取扱細則、連帶運輸機關相互計算手續ヲ實施ス
- 朝鮮總督府鐵道寢合客=對シ浴衣ヲ使用ニ供ス
- 臺灣總督府鐵道臺灣運輸業組合=關スル取扱心得ヲ制定ス
- 三日 山陰本線龜岡嵯峨間保津川橋梁上ニ於テ混合一〇列車脱線四十六名死傷シ五月五日復舊ス
- 九日 成田線下總松崎成田間ニ於テ混合四七二列車脱線大破シ九十一名傷負ス
- 十日 鐵道敷設法改正法律(豫定線百四十九線)ヲ公布ス
- 十二日 英國皇太子殿下 橫濱御上陸御入京、四月十九日ヨリ五月八日ニ亙リ日光、箱根、京都、奈良、瀬戸内海等御遊覽仰出サレ新造御料車ヲ御乘用ニ、新造景福丸ヲ御召船ニ充テ又奈良ホテルニ御一泊アラセラル
- 二十日 臺灣總督府鐵道臺東南線臺東黑龍間開通ス
- 廿一日 景福丸(關釜間航路用)竣工、五月十八日就航ス(德壽丸十月二十六日竣工十一月十二日就航、昌慶丸十二年二月二十八日竣工、十二年三月十二日就航)
- 廿二日 國有鐵道保線從事員=夏季ヘルメット帽ヲ着用セシム
- 五月一日 長野名古屋間列車ニ二等寢臺車ヲ連結ス
- 廿一日 臺灣總督府鐵道宜蘭線猴硯三貂嶺間開通ス
- 六月一日 金貨、金銀塊、補助貨幣ノ小荷物貸切扱ヲ開始ス
- 五日 汐留沼津線、汐留八王子線ヲ設ケ傳令用電話(デイスパツチャー)使用ヲ開始ス
- 十五日 魚沼輕便鐵道所屬來迎寺小千谷間線路ヲ買收ス
- (日不詳) 南滿洲鐵道及東支鐵道間ニ於テ東支南部線貨物競争運賃ニ付協定成立ス
- 七月卅日 豐州線列車ニ和食堂車ヲ連結ス
- 卅一日 山陽ホテル燒失、鐵道職員集會所及川卯旅館ヲ臨時充當ス
- 九月十五日 荷物代金引換規程ヲ改正實施シ車輛類及危險品ノ取扱、代金居宅引換、荷物配達日時指定及再配達ノ取扱ヲ廢止シ無料保管期間ヲ短縮ス
- 廿一日 臺灣總督府鐵道宜蘭線三貂嶺武丹抗間開通ス

鐵道年表 (33)

- 十月一日 樺太廳鐵道上川炭山會社ヨリ寄附ヲ受ケ上川支線奥川上川上炭山間ヲ開業ス
- 十一日 臺灣縱貫線(海岸線)全通シ竹南彰化間連絡線二線トナル
- 十三日 國有鐵道ニ於テ十月十四日ヲ鐵道紀念日ト定ム
- 廿四日 川村竹治南滿洲鐵道會社社長仰付ケラル
- (日不詳) 朝鮮總督府鐵道平壤柳屋ホテルヲ開業ス
- 十一月一日 宗谷線鬼志別稚内間開通シ同線旭川稚内間全通ス
- 廿日 中央線吉祥寺國分寺間電車運轉ヲ開始ス
- 十二月一日 大湯鐵道所屬大分小野屋間線路ヲ買收ス
- 十六日 橫濱線黑澤陸中川尻間開通シ同線全通ニ依リ東北本線及奥羽本線間橫斷連絡成ル
- 廿日 小濱線若狹高濱新舞鶴間開通シ同線敦賀新舞鶴間全通ス
- (日不詳) 南滿洲鐵道ニ於テ社線經由吉長及四洮線ト民國ニ有鐵道間聯絡運輸ヲ開始ス
- 大正十二年(1923)
- 一月一日 山東還付協定ニ基キ山東鐵道ヲ支那政府ニ返還シ同鐵道ニ運輸、會計總督ヲ政府ヨリ選任派遣ス
- 廿八日 筑豐本線折尾驛ニ於テ七二一旅客列車停車中一〇三石炭列車追突シ七十九名傷(後一名死亡)ス
- 二月十一日 鮮滿直通列車ニ三等寢臺車ヲ連結シ三等寢臺料金ヲ定ム
- 四月一日 關釜間航路新造汽船景福丸級三隻就航ニ付晝航便入時間夜航便九時間ニ短縮ス
- 十六日 參宮線下庄一身田間ニ於テ軌條作業ノ爲メ破線工事中列車進行シ機關車脱線傾倒客車顛落六名即死二〇〇名負傷シ翌十七日開通ス
- 攝政宮殿下(今上陛下)基隆ニ御上陸臺灣鐵道ニ於テハ二十七日迄御召列車ヲ運轉ス
- 五月一日 稚内大泊間連絡航路運輸營業ヲ開始ス(四月ヨリ十月迄隔日、十一月ヨリ翌年三月迄四回運航トス)
- 六月廿一日 山陽本線厚東宇部間又七月十一日三田尻大道間及宇部厚東間出水線路不通ニ付旅客及荷物連絡輸送ノ爲メ高麗丸ヲ下關德山間ニ臨時運航セシム
- 七月一日 東京下關間ニ三等特別急行列車ヲ新設シ同時ニ三等特別急行料金ヲ設定ス
- 關釜間航路ニ高速船就航ヲ機トシ釜山奉天間ニ鮮滿直通急行列車運轉ヲ復活ス
- 七日 朝鮮總督府鐵道京仁線ニ汽動車ノ運轉ヲ開始ス
- 十日 朝鮮總督府鐵道仁川ニ月尾島浴場ヲ開始ス
- 九月一日 千葉縣營久留里線木更津久留里間線路ヲ無償ニテ讓受ク
- 午前十一時五十八分關東地方ニ大震火災起リ國有鐵道、地方鐵道、軌道大破壊ヲ受ク 國有鐵道ニ於ケル線路及車輛ノ損害下ノ如シ
 - イ 線路障害……線路不通トナリ其ノ復舊シタル日時
 - 東北本線 九月十二日(日暮里以北ハ九月四日ヨリ開通)
 - 中央線 十月二十五日(飯田町以北ハ九月十七日開通但シ與瀬上野原間徒歩連絡)
 - 東海道本線 十月二十八日(九月二十一日ヨリ茅ヶ崎平塚間及山北谷峨間徒歩連絡ニ依リ開通)
 - 熱海線 十一月十五日(眞鶴早川間閉鎖)
 - 橫須賀線 十月一日
 - 總武線 十月八日(龜戶以東ハ九月四日ヨリ開通)
 - 房總線 十月十七日

北條線 十一月二十八日(十月十四日ヨリ岩井富浦間徒歩連絡ニテ開通)

ロ 車輛ノ損害

	燒損	破損	計
機關車	48輛	60輛	108輛
客車	424	62	486
電車	32	—	32
貨車	有蓋車	203	890
	無蓋車	94	378
	石炭車	4	4
計	971	301	1,272
合計	1,475	423	1,898

熱海線根府川驛乘降場=進入ノ際右方ノ山岳地滑ヲナシ建築物及列車埋没ス
朝鮮中央、西鮮殖産、南朝鮮、朝鮮産業、朝鮮森林及兩江拓林ノ六鐵道會社合併
シ朝鮮鐵道會社成ル

九月二日

關東地方大震火災=際シモナル施設

イ 震災地行救恤品應急必需品=對スル無賃扱並運賃五割減ノ輸送ヲ爲ス
無賃扱 九月三日…十一月三十日

169,993噸 此ノ減收運賃額 621,531圓

五割減 九月廿一日…十一月三十日

615,593噸 此ノ減收運賃額 1,507,871圓

ロ 震災地復舊復興貨物輸送ノ爲各種應急施設ヲナス

東海道及中央線不通中關東及關西相互發着貨物ハ中央線又ハ北陸線、碓氷
線(一部磐越西線)經由ニ依ル

米原以西方面ト東北線郡山以東方面トノ關係ハ運賃計算經路ニ移ス

ハ 震災地ノ秩序ヲ維持スル爲メ入京ヲ制限シ乗車券ノ發賣ヲ停止ス

ニ 避難者=對シテハ避難地迄無賃乗車ヲ許容ス

ホ 救援ノ爲メ入京スル者=對シテハ無賃乗車ヲ許容ス

ヘ 避難者=對スル無賃輸送期間經過後ニ於テハ運賃ヲ低減シ若ハ着地拂ヲ認
ム

高麗丸及景福丸ヲ救援トシテ品川=廻航シ避難者及芝浦清水港間又ハ横濱、清
水港間連絡輸送ヲ爲ス、

六日

臨時貨物列車御殿場發後制動力ヲ失ヒ車輛滑走シテ裾野驛=進入シ同驛轉轆器附
近ニテ脱線粉碎シ六名即死、十三名負傷ス

十七日

高崎線本宿驛=於テ旅客列車脱線顛覆シ十名即死四十三名負傷(後三名死亡)ス

十月一日

少年法ニ依リ保護處分ヲ受クル者=對シ三等運賃五割ヲ低減ス

失業者ニシテ職業紹介所ノ紹介ニ依リ就職スル者=對シ運賃五割減ノ制ヲ設ク

荷物代金引換規程ヲ改正ス其ノ要項下ノ如シ

イ 配達付代金引換荷物ノ代金ハ總テ居宅ニ於テ荷物ト引換トスルコト

ロ 配達付代金引換荷物ノ到着通知ハ電話又ハ便宜ノ方法ニテ通知シ得ル場合
ノ外之ヲ爲ササルコト

ハ 代金引換荷物ノ預保保管期間ヲ十日ニ短縮ス

ニ 代金引換料中驛引換ノモノヲ居宅引換ノ分ト同様ニ引上ケ引換代金ノ追

付、取消料ヲ倍額トス

十月廿一日

臺灣總督府鐵道宜蘭線武丹坑頂雙溪間開通ス

臺灣總督府鐵道潮州線潮州溪洲間開通ス

十一月一日

四洩鐵道鄭桃線(滿鐵借款)竣工旅客ノ假營業ヲ開始ス(貨物ハ十二月五日)

三十日

中央線第七〇六旅客列車運轉中臨川寺橋梁上ニ崩落セル土留石垣ニ乗上ケ機關車
及客車顛落破砕シ三名即死、二十九名負傷ス

十二月一日

安奉線蘇家屯吳家屯間復線開通ス

十五日

青森築港岸壁工事竣工シ旅客船各便ヲ繋留シ旅客手、小荷物、貨物ノ取扱ヲ開始
ス

宮崎本線軍岡市棚間開通豊州本線ト宮崎本線ト接續シタルニ依リ兩線ヲ日豊本線
ト改稱ス

廿六日

山陰本線三保三隅石見益田間開通山口線ト接續シ陰陽連絡線完成ス

廿八日

國有鐵道ノ驛長、助役、車掌監督、同助役ニ對シ司法警察官又ハ司法警察吏ノ職
務ヲ行フモノノ指定ニ關スル勅令公布セラル

(日不詳)

運輸統計(主要貨物統計)=機械使用ノ議決シパワー一臺ヲ輸入研究ニ着手ス

大正十三年(1924)

一月六日

震災後東京市ニ於ケル木炭貯藏激減シ市價昂騰ノ傾向アリタルヲ以テ之カ救濟ノ
爲メ東京着木炭ニ對シ貨車優先配給、輸送列車、輸送噸數ヲ指定ス

二月廿六日

山手線惠比壽驛ニ於テ電車停車中續行電車進入追突シ六十三名負傷ス

三月三十日

高知線須崎日下間開業シ高知市ニ神戸鐵道局出張所ヲ置ク

四月一日

電車區間ニ發着スル旅客ノ爲メ特種回数乗車券ヲ發賣ス

十一日

宮津線舞鶴宮津間線路開通ニ依リ海舞鶴宮津間航路ノ運輸營業ヲ廢止ス

十九日

青函航路新造客載貨車渡船翔鳳丸ヲ配屬シ五月二十一日ヨリ就航ス

五月一日

臺灣總督府鐵道臺東北線玉里大庄間開通ス

六月廿二日

安廣伴一郎南滿洲鐵道會社社長仰付ケラル

七月卅一日

村上鼠ヶ關間開通シ村上線ト羽越線ト接續シタルニ依リ兩線ヲ羽越線ト改稱ス

(日不詳)

樺太廳長官南樺鐵道發起人ニ新城留多加間鐵道敷設ヲ免許ス(十四年二月會社成
立)

(日不詳)

四洩鐵道鄭桃線本營業ヲ開始ス

八月三日

日本郵船會社歐洲航路神戸出帆當日ニ限り京都神戸港間ニ船車連絡列車ヲ運轉ス

五日

山手線新宿驛ニ於テ第三四電車信號冒進脱線轉轆器ニ突入シ電車橫倒三十六名
負傷ス、之ト同時ニ雁行シ來レル貨物第四六一列車モ亦脱線ス

九月一日

中華民國學校教員、學生ニ對シ本邦内學校教員、學生ト同様ノ割引ヲ爲ス

十一月十一日

臺灣總督府鐵道臺東南線里豐池上間開通ス

山陽本線己斐五日市間ニ於テ線路埋没ノ爲メ急行旅客四列車乗上ケ機關車顛覆、
客車大破即死九名、負傷四十九名ヲ出ス

十一月十三日

帝國運送協會創立セラレ公認組合中央會解散ス

十五日

陸中川尻和賀仙人間開通シ東西橫黑線連絡シタルニ依リ兩線ヲ橫黑線ト改稱ス

青函航路旅客運賃、寢臺料金ヲ改正シ急行料金ヲ廢止ス

十八日

青森岸壁連絡待合室ノ使用ヲ開始ス

十二月一日

稚内港旅客ノ小運送請負ナリシヲ省直營トス

臺灣總督府鐵道宜蘭線草嶺隧道及頂雙溪大里間開通ニ依リ同線全通シ臺北蘇澳間
直通列車ヲ運轉ス

(36) 鐵道年表

十二月十五日 青函航路新造客載貨車渡船飛鸞丸ヲ配屬シ十二月三十日ヨリ就航ス(之ニテ客載貨車渡船全部就航ス)
 臺灣總督府鐵道臺東北線大庄頭人埔間開通ス
 廿五日 臺灣總督府交通局官制公布セラレ鐵道部ヲ置キ白勢黎吉鐵道部長トナリ臺灣總督府鐵道部官制廢止サル
 廿七日 手宮線手宮驛構内ニ於テ「ダイナマイト」及導火線陸上ゲ中爆發シ客貨車五十四輛、機關車一輛大破線路其ノ他破損ノ爲メ職員一名即死、五十三名負傷、仲仕其ノ他二百五十名負傷ス

大正十四年(1925)

二月一日 小荷物切符自宅扱ノ制ヲ設ク
 十三日 中央本線野尻須原間鬮山隧道内及同西口ニ於テ貨物六七三列車牽引ノ貨車七輛脱線ハ輛粉碎、七輛頽倒シ翌日開通ス
 廿日 旅客荷物運送規則ヲ改正ス其ノ要項下ノ如シ
 イ 環狀線旅客運賃計算方ヲ改正ス
 ロ 學校教員、生徒ニ對スル旅客運賃ノ割引ヲ三十哩以上旅行スル者ニ制限ス
 ハ 小荷物制限斤量ヲ特殊ノモノヲ除キ五十斤ニ改ム
 ニ 小荷物ノ受託時間ヲ制定ス
 四月一日 朝鮮總督府鐵道ノ南滿洲鐵道委任經營ヲ解除シ總督府ニ鐵道局ヲ置キ亞テ大村卓一局長トナル
 五月一日 博多小荷物取扱所ヲ廢止ス(直營小荷物取扱所ハ之ニテ全部廢止セラル) 警察官吏及少年保護司ニ對シ運賃後拂乘車證ヲ以テ乘車ノ取扱ヲ開始ス
 十八日 名勝地、遊覽地等多數旅客ノ集合スル地ニ向ケ臨時列車又ハ特定列車ニ乘車スル旅客ニ對シ團體旅客ニ對スル割引率ニ準シ旅客運賃ノ割引ヲ爲ス
 廿一日 青函航路ニ於テ貨車試航送ヲ爲ス
 (日不詳) 山陰震災地著寄贈救恤品、罹災民救恤品及應急必需品ニ對シ無貨扱並運賃五割減ノ輸送ヲナス、尙豐岡地方主要產物タル行李材料杞柳ニ對シ運賃(貨切扱四級品ノ)三割ヲ低減ス
 六月一日 長州鐵道所屬幡生小串間線路ヲ買收シ小串線ト稱ス
 函館棧橋第二岸壁竣工シ使用ヲ開始ス(第一岸壁ハ大正十三年十月一日使用開始)
 廿九日 團體旅客取扱業者ニ手数料ヲ交付スルコトトス
 七月一日 北海道線列車ニ對シ空氣制動機(大正十年着手)ノ使用ヲ開始ス
 十七日 京城附近連日ノ豪雨ノ爲メ漢江出水四十尺ヲ越ヘ附近一帶浸水シ鐵道ヲ始メトシ未曾有ノ被害ヲ受ク
 十五日 本州線一齊ニ自動聯結器ノ付替作業ヲ施行ス(九州線ハ二十一日)
 十八日 關門航路下關丸新造配屬セラレ四隻配船トナル
 卅日 宮津線丹後山田迄開通ニ依リ宮津灣内航路ヲ廢止ス
 八月一日 青函航路ニ於テ貨車航送ヲ開始シ更ニ貨車専用便イ、ロ便ヲ増設ス
 四日 樺太島巡遊團體乘船下關出帆ス、神戸、橫濱、小樽ニ寄港シ十日間ノ行程ニテ樺太巡航ヲ終ヘ八月二十八日下關ニ歸着ス
 廿八日 南滿洲鐵道民國政府ト洮昂鐵道請負建造契約ヲ締結ス
 九月一日 內國通運會社、國際運送會社ニ手荷物ノ集荷及託送代理ノ營業ヲ許可ス(昭和二年九月限リ廢止)
 二日 東京松屋吳服店內ニ鐵道案内所ヲ設置シ乘車券ノ出張販賣ヲ兼ネシム此種案内所

鐵道年表 (37)

ハ同所ヲ以テ嚙矢トス
 九月(日不詳) 南滿洲鐵道烏蘇里鐵道間ニ於テ北滿貨物數量配分協定ヲ締結ス
 十月一日 樺太廳鐵道豐原東線豐原鈴谷間開業ス
 廿四日 南滿洲鐵道民國政府ト吉敦鐵道請負建造契約ヲ締結ス
 (日不詳) 遊覽旅客ノ便利ヲ圖リ鐵道乘車券、汽船券、自動車券、宿泊券、食事券ヲ包含スル遊覽券ヲ「ジヤパン ツーリスト ビューロー」ヲシテ代理發賣セシム
 十一月一日 神田上野間高架鐵道開通ス之ニ伴ヒ山手線電車ハ東京、上野、澁谷經由環狀運轉トシ京濱電車ハ東京上野間延長運轉ス
 神田上野間開通ト共ニ東北本線ヲ東京起點ニ改ム
 電車區間特定運賃ヲ改正ス
 南滿洲鐵道撫順線複線開通ス
 廿日 新發田赤谷間(赤谷線)ヲ製鐵所ヨリ無償讓受ケ運輸營業ヲ開始ス
 廿一日 阪神急行電鐵會社ニ於テ「オール、スチール、カー」ノ使用(試驗的)ヲ開始ス(大正十五年七月三日十七輛使用開始)
 十二月一日 スキー、スケート、觀梅、登山、海水浴、觀楓其ノ他季節的旅客ニ對シ其ノ時々二、三等運賃一割ヲ爲スコトトス(割引區間、期間等ハ鐵道局長ニ於テ指定)
 七日 モスコニ於テシベリヤ經由歐亞聯絡運輸第一回會議開催日本側ヨリ鐵道省、朝鮮總督府鐵道局、南滿洲鐵道會社、大阪商船會社ノ各代表者出席ス
 十三日 東京橫須賀、東京小田原間電化工事完了シタルニ依リ東京機關車仕業機關車ノ前頭ニ電氣機關車ヲ重聯シ電氣機關車ノ運轉ヲ開始ス
 十七日 對馬丸野寒岬燈臺下沖合ニ坐礁沈没ス

大正十五年(1926)

一月一日 朝鮮總督府鐵道運賃ノ發賣ヲ開始ス
 十五日 臺灣總督府鐵道臺東北線頭人埔公埔間開通ス
 (日不詳) 天理教々祖四十年祭執行ニ付其ノ參拜信徒約四十四萬八千人ヲ輸送ス
 (日不詳) 大連長春間直通列車ニ三等寢臺車ヲ連結ス
 三月十五日 東海道、山陽線貨物列車九百噸牽引(在來ニ比シ二百五十噸三割八分強増)運轉開始、其ノ他各線ニ亙リ輸送力著シク増大ス
 廿五日 臺灣總督府鐵道臺東線公埔(北)池上(南)間開通シ同線南北連絡全通ス
 四月廿一日 東京橫須賀間ノ旅客列車ノ一部ニ電氣機關車(重聯)ヲ使用シ電蒸重聯ヲ廢止ス(五月十六日東京橫須賀、東京小田原間全部電蒸重聯廢止)
 (日不詳) 專修寺立教開宗七百年紀念法要參詣信徒約八萬三千人ヲ輸送ヲナス
 五月一日 鐵道司法警察ノ制度ヲ實施ス
 (日不詳) 鐵道省線ヲ介スル三線連帶以上ノ連帶收支清算事務ハ關係者ノ依囑ニ依リ鐵道省ニ於テ其ノ取扱ヲナス
 六月一日 吉敦鐵道建設工事(滿鐵請負建造)ヲ開始ス
 九日 鐵道省ニ於テ小運送機關合同ニ關スル聲明ヲ發表ス
 七月十五日 洮昂鐵道全線竣工シ假營業ヲ開始ス
 八月一日 青森函館間航路ニ於テ手荷物車、郵便車ノ航送ヲ開始ス
 二日 東京橫須賀間一部電氣機關車ノ重聯ヲ廢止シ單電トナル(十月二十六日東京小田原間一部單電)
 十四日 大正九年八月以來許可シタル三等客車内ノ輕便枕貨營業ヲ廢止ス
 十五日 全線ニ渉リ列車運轉時間改正ト同時ニ東北本線及釧路線急行列車ノ一等車連結及

鹿兒島本線及長崎線 = 於テ各一往復ノ一等車連結ヲ廢止ス羽越線(青森神戸間)急行列車ヲ新設ス

九月廿三日 山陽本線安藝中野海田市間 = 於テ特急一列車築堤崩壞ノ爲脱線顛覆シ即死三十七名、負傷四十七名ヲ出ス

廿五日 幌延兜沼間開通シ天鹽南北線連絡シタルニヨリ兩線ヲ天鹽線ト改稱ス東濃鐵道所屬線新多治見廣見間線路ヲ買收シ太多線ト稱ス

廿八日 櫻木町上野間電車ノ一部 = ドアエンヂン(自動戸閉裝置)裝置車ノ使用ヲ開始ス

十月一日 改正貨物運送規則ヲ實施ス南樺鐵道線(樺太)新場留多加間開業シ同時ニ樺太廳鐵道線ト連帶運輸ヲ開始ス鐵道省小運送機關合同ニ關スル協調案ヲ作製シ裁定ヲ試ム

六日 樺太廳鐵道豐西線手井逢坂間開業ス

十五日 伯林 = 於テシベリヤ經由歐亞聯絡運輸第二回會議ヲ開キ日本側ヨリ鐵道省、朝鮮總督府鐵道局、南滿洲鐵道會社及大阪商船會社ノ各代表者出席ス

廿二日 朝鮮總督府鐵道嶺海線開通ス

十一月十一日 貨車專用船第一青函丸ヲ新造シ同船ハ十月十二日ヨリ就航ス

卅日 神田驛前 = 東京鐵道局運輸課派出東京鐵道案内所ヲ新設ス

十二月一日 移動警察官吏ノ無賃乘車證發行ヲ復活ス

(日不詳) 昭和三改元

廿五日 昭和三改元

昭和元年 鐵道小運送及其ノ他ノ運輸機關ノ貨物運送改善ノ調査研究並鐵道ノ諮問機關トシテ各鐵道局ニ鐵道運輸委員會ヲ設置ス

十二月廿八日 鐵道小運送及其ノ他ノ運輸機關ノ貨物運送改善ノ調査研究並鐵道ノ諮問機關トシテ各鐵道局ニ鐵道運輸委員會ヲ設置ス

昭和二年(1927) 二月一日 特別小口扱(集貨)ノ制ヲ設ケ鐵道ノ責任ニヨリ集貨配達ノ取扱ヲ開始シ普通便及急行便扱ヲ廢止ス小口扱 = 對シ貨主ノ希望ニヨリ集貨及配達ノ取扱ヲ開始シ同時ニ米外十四品ヲ除キタル小口扱貨物ノ運賃計算最低斤量ヲ百五十斤ニ引上グ

二月八日 新宿御苑假停車場東淺川假停留場間 = 大正天皇大喪列車ヲ運轉ス

廿五日 山手線(池袋赤羽間ヲ除ク)電車運轉區間 = 對シ荷扱専用電車ノ運轉ヲ開始ス

三月卅一日 新造客車ハ骨組及外部ヲ鋼製トシ室内ヲ木製トスル半鋼製客車トスルコトニ決ス筑豐本線筑前植木新入間 = 於テ石炭一六三列車ト火藥ヲ積載セル荷車ト衝突シ火藥爆發ノタメ機號車其ノ他大破即死二名、負傷九名ヲ出ス

(日不詳) 山陰本線花園驛附近臨濟宗大本山妙心寺 = 於テ二世眞鑑國師(藤原藤房)五百五十年忌法要參詣信徒四萬九千人ノ輸送ヲナス

四月一日 小口混載貨物 = 對シ割戻制度ヲ設ク東京國府津間急直行列車ノ一部電氣機號車ノ重聯運轉ヲ開始ス

二十二日 銀行界未曾有ノ取付 = 遭遇シ休業銀行續出シ財界ノ不安極度ニ達シタルヲ以テ安定策トシテ支拂猶豫令施行セラル該期間中合同運送店 = 對シテハ後拂ノ方法ニヨリ支拂ヲ猶豫シ又大貨主 = 對シテハ國債ヲ擔保トシ後拂ノ取扱ヲ開始ス

五月十一日 湘南列車全部 = 瓦リ電氣機號車ノ單機運轉ヲ開始ス

(日不詳) 京都西本願寺明如上人二十五回忌參詣信徒三萬五千人ノ輸送ヲ爲ス

六月一日 陸奥鐵道所屬川部五所川原間線路ヲ買收ス

、七月一日 東京橫須賀間、東京小田原間及東京國府津間急直行列車全部ヲ電氣機號車單機運

轉トス

七月五日 東京日々及大阪毎日新聞社主催鐵道省後援ノ下ニ日本新八景(狩勝峠、十和田湖、華嚴ノ瀧、上高地、木曾川、室戸岬、別府、雲仙嶽)ヲ選定ス鐵道揭示例規ヲ制定ス

八月一日 シベリア經由歐亞聯絡旅客手荷物ノ運輸ヲ開始ス歐亞聯絡旅客ノ便利ヲ圖ルタメ展望車連結區間ヲ京都下關間七、八列車、東京神戸間一、二列車ニ變更ス日高殖線佐瑠太靜内間及苫小牧輕便線苫小牧佐瑠太間線路ヲ買收シ日高線ト稱ス國有鐵道廣告取扱規程ヲ制定ス(大正十三年八月末日線路廢セルヲ内容ヲ改メ復活)

九月十五日 一驛一店 = 運送店合同成立シ運送取扱人公認規定ヲ廢止ス

三十日 委託小荷物扱所 = 於テ代金引換小荷物取扱ヲ開始ス

十月一日 特別小口扱ノ從來配達ノミナリシヲ原則トシテ集貨配達ヲ爲スコトニ改メ集配ヲ國際通運會社ニ請負ハシム特別小口扱貨物割増付品名ヲ改正ス荷主ノ希望ニヨリ小口扱貨物 = 就テモ集貨配達ノ取扱ヲ創設ス小口扱貨物ノ運賃計算斤量ヲ百斤ニ低下ス越後鐵道所屬柏崎白山間及東三條彌彥間線路ヲ買收シ越後線及彌彥線ト稱ス小動物(鳥類及蟲類)ニシテ一斤ノ價格二十圓ヲ超ユルモノハ總テ之ヲ第二種貴重品ニ指定ス全北鐵道會社所屬裡里全州間線路ヲ朝鮮總督府鐵道 = 於テ買收ス金福鐵道(南滿本線錦州城子囉間六十三哩四、標準軌間)營業ヲ開始ス

十二月一日 吉敦鐵道吉林六道河子間假營業ヲ開始ス

十一月一日 新聞紙包裝布ハ特定者ニ特定區間ヲ限り無賃返送シ來レルモ總テ特約ヲ以テ區間ニ制限ナク一般ニ承認ス朝鮮總督府鐵道 = 於テ川内里鐵道所屬龍潭川内里間ヲ借受ケ經營ス

十五日 朝邊總督府鐵道京城市内營業所ヲ設置ス

廿五日 樺太鐵道會社線榮濱知取間開業ス

十二月一日 朝鮮總督府鐵道咸鏡線龍洞吉州間開通シ同線中部及北部線連絡全通ス朝鮮總督府鐵道咸鏡線南北ヲ連絡スル爲メ盤松群仙間 = 自動車ヲ運轉ス小荷物切符自宅扱制度ヲ廢止ス商品見本ノ手荷物扱ハ大正十四年二月以來之ヲ廢止セルヲ商業會議所會頭、同業組合長及同聯合組合長ノ證明ノモノニ限リ取扱ヲ復活ス水戸鐵道所屬水戸常陸太田間線路ヲ買收ス

三十日 東京地下鐵道所屬上野淺草間開業ス之ヲ本邦ニ於ケル地下鐵道ノ嚆矢トス東京地下鐵道改札口 = ターン・スタイルヲ設置シ出札所ヲ設備セシテ乘車シ得ルノ設備ヲ採用ス

昭和三年(1928) 一月一日 朝鮮鐵道所屬全南線松汀里潭陽間線路ヲ朝鮮總督府鐵道 = 於テ買收ス南滿洲鐵道旅館營業ヲ分離シ南滿洲旅館會社ヲ設立ス

二月一日 田端赤羽間電車運轉開始ス

廿五日 小田原熱海間電化ス

主要國鐵道

國名	年度	營業哩	總資本	總收入	營業費	旅客運	
						輸送人員	延人哩
日本 (國有鐵道)	1913	5,473	973,091	111,236	52,172	167,773	3,690,965
	1926	7,993	2,688,670	484,083	270,839	735,706	11,953,203
英國 (愛蘭ヲ含マズ)	1913	20,246	9,798,567	1,166,930	737,357	1,549,791	—
	1926	20,393	11,747,414	1,673,320	1,499,960	1,541,455	18,111,450
米國 (全鐵道)	1913	253,470	39,592,251	6,250,272	4,339,938	1,034,000	34,576,000
	1926	249,421	48,309,130	13,010,327	10,465,405	856,980	35,535,073
獨逸 (國有鐵道會社)	1913	31,536	7,790,970	1,455,465	1,049,675	1,577,000	22,746,426
	1926	33,149	11,662,000	2,161,421	1,751,948	1,819,400	26,676,445
佛蘭西 (全鐵道)	1913	25,378	7,790,970	793,378	504,236	541,342	12,220,195
	1925	27,760	—	941,458	792,226	745,277	17,706,324
伊太利 (國有鐵道)	1915	8,593	2,669,856	265,523	240,604	82,403	—
	1925	9,809	5,222,240	348,467	334,227	102,608	—
ソヴェト聯邦 (全鐵道)	1913	43,822	—	1,164,538	700,596	244,264	18,446,000
	1926	46,360	※ 5,737,000	1,365,681	1,175,655	232,686	14,522,000

備考 本表ハ各單位ヲ本邦ノ標準ニ換算セルモノトス
 ※(獨逸)兩年度共新領土ニ對スルモノニシテ客車數、貨車數1913年ハ舊領土ノ分ニヨ
 ※(佛蘭西)1925年ノモノハアルサスローレン鐵道ヲ含ム、從業員數1925年ハ國有及五
 ※(ソヴェト聯邦)總資本1926年ハ建設資本及所有財產價格ノ合計ニシテ1926年10月

鐵道延長

年度	内地			朝鮮			臺
	國有	私鐵	計	國有	私鐵	計	
明治 5	18.0		18.0				
6	18.0		18.0				
7	38.3		38.3				
8	38.3		38.3				
9	65.1		65.1				
10	65.1		65.1				
11	65.1		65.1				
12	73.3		73.3				
13	76.5	21.8	98.3				
14	100.5	21.8	122.3				
15	114.8	53.0	170.8				
16	125.6	119.1	244.7				
17	125.6	133.9	259.5				
18	167.8	199.7	367.5				

比較統計

輪	貨物運輸			機關車數	客車數	貨車數	從業員數	營業一哩當	
	收入	輸送噸數	延噸哩					收入	人員
千円	千噸	千噸哩	千円				千人	千噸	
55,931	36,348	3,053,853	52,862	2,609	6,785	43,702	109,733	674	558
271,249	73,603	7,265,266	205,079	3,965	10,058	61,897	200,500	1,495	909
531,054	364,424	14,205,025	625,844	23,664	55,024	735,294	615,985	—	702
828,874	233,641	14,041,751	828,100	24,037	51,200	719,135	702,062	888	689
1,391,976	2,058,000	301,399,000	4,397,862	62,211	52,717	2,273,564	1,864,303	136	1,189
2,152,596	2,549,477	444,500,146	10,563,948	64,472	55,847	2,412,092	1,833,398	142	1,782
430,304	399,000	35,600,994	917,252	26,966	※ 65,150	※ 669,479	692,714	721	1,129
628,403	381,868	40,262,896	1,347,375	26,474	63,476	670,307	707,570	805	1,215
257,177	208,019	16,021,615	412,048	14,344	31,824	393,268	359,308	482	631
230,937	275,529	23,730,419	569,954	20,612	35,326	542,861	※ 507,238	638	855
80,020	—	—	161,648	5,354	10,024	103,117	154,856	—	—
114,672	57,058	7,385,066	211,293	7,063	14,539	155,213	176,553	—	753
221,504	158,196	47,721,000	827,667	20,030	30,858	475,486	823,010	421	1,089
273,177	116,750	42,824,000	880,980	20,552	29,865	448,402	1,040,237	313	924

ル 大會社467,836(1924年)及アルサスローレン鐵道39,402(1923年)ノ合計ヲ計上ス
 1日ノ評價ニヨルモノトス

累年表

私鐵	計	樺太		滿鐵	合計		
		國有	私鐵		國有	私鐵	計
哩分	哩分	哩分	哩分	哩分	哩分	哩分	哩分
					18.0		18.0
					18.0		18.0
					38.3		38.3
					38.3		38.3
					65.1		65.1
					65.1		65.1
					65.1		65.1
					73.3		73.3
					76.5	21.8	98.3
					100.5	21.8	122.3
					114.8	56.0	170.8
					125.6	119.1	244.7
					125.6	136.9	262.5
					167.8	190.7	358.5

軌道延長累年表

年 度	内 地	朝 鮮	臺 灣	樺 太	合 計
	哩分	哩分	哩分	哩分	哩分
大 正 1	1,059.3	16.5	381.5		1,457.3
2	1,138.6	17.9	486.0		1,642.5
3	1,195.6	23.2	636.2		1,855.0
4	1,255.1	34.8	997.0		2,286.9
5	1,292.3	34.7	675.0		2,002.0
6	1,296.7	28.1	618.0		1,942.8
7	1,271.0	28.4	600.6		1,900.0
8	1,288.3	35.1	578.5		1,901.9
9	1,320.8	31.6	550.5		1,902.9
10	1,360.6	33.0	554.4		1,948.0
11	1,400.9	33.0	547.4		1,981.3
12	1,470.0	36.8	586.2		2,093.0
13	1,530.1	36.8	586.6	8.7	2,162.2
14	1,578.6	39.2	613.4	8.7	2,239.9
昭和 1	1,668.1	39.8	635.2	15.4	2,358.5

百方里當り鐵道延長

年 度	内 地	朝 鮮	臺 灣	樺 太	南 滿	合 計
	哩分	哩分	哩分	哩分	哩分	哩分
大正 1	24.3	5.9	21.6	2.5	309.7	18.5
2	23.6	6.8	23.3	2.8	312.0	20.2
3	23.8	7.1	24.8	2.9	306.1	21.6
4	30.3	7.3	25.1	2.9	306.1	22.5
5	31.1	7.8	24.7	2.9	306.1	23.1
6	31.7	8.2	25.3	2.9	306.1	23.6
7	32.4	8.7	24.7	2.9	306.1	24.2
8	33.2	9.3	29.2	2.9	305.7	25.0
9	34.3	9.5	30.3	4.2	305.6	25.8
10	35.9	9.8	30.6	5.3	305.6	26.9
11	37.8	10.2	32.9	5.8	305.6	28.2
12	40.4	10.7	33.4	6.0	309.5	29.9
13	42.1	11.9	35.2	6.1	309.5	31.3
14	43.9	12.4	35.7	6.4	309.5	32.6
昭和 1	45.8	12.6	36.2	7.7	307.5	33.9

備考 南滿ノ欄ハ關東州ノ面積ニ依ル

鐵道一哩當り人口

年 度	内 地	朝 鮮	臺 灣	樺 太	南 滿	合 計
大正 9	6,609	12,798	5,169	1,088	1,340	6,883
14	5,494	11,008	4,795	1,367	1,517	5,901

備考 本表ノ人口ハ大正九年及同十四年施行ノ國勢調査ニ基キタリ

主要國鐵道延長及密度 (1924年末)

國 名	延 長 基 米	面積百平方基米 當 基 米 程	人口一萬人當 基 米 程
大 英 國	39,262	16.0	8.8
北 米 合 衆 國	403,891	4.3	38.0
獨 逸	57,983	12.3	9.7
佛 蘭 西	53,561	9.7	13.7
伊 太 利	20,664	6.7	5.3
ソヴイェト聯邦 (歐露)	57,466	1.5	8.5
日 本 (朝鮮、臺灣、關東州、樺太ヲ含ム)	21,342	3.1	2.7
支 那	11,544	0.1	0.3
波 蘭	19,271	5.0	0.7
奧 地 利	7,038	8.4	10.6
白 耳 義	11,093	36.5	14.5
西 班 牙	15,572	3.1	7.2
加 奈 陀	64,523	0.7	73.4
墨 西 哥	23,462	1.3	18.6
ア ル セ ン チ ン	37,790	1.2	39.0
ブ ラ ジ ル	30,101	0.3	9.8
印 度	61,294	1.3	1.9
南 阿	18,901	1.5	2.7
*	*	*	*
亞 細 亞 洲	131,072	0.3	1.2
歐 羅 巴 洲	382,484	4.3	9.3
亞 米 利 加 洲	600,134	1.5	28.6
阿 弗 利 加 洲	58,672	0.3	5.7
濠 洲	48,257	0.6	36.0
*	*	*	*
全 世 界 計	1,220,619	1.0	6.8

京濱間鐵道開通當時ノ時刻表

明治五年五月品川橫濱間ニ於テ列車運轉ヲ開始セシ當時ノ時刻表及賃金表ハ下ノ通りニシテ此ノ表ニ依ツテ當時時間ヲ表ハスニ「字」ノ字ヲ用ヒタルコト、各等間ノ賃金比率、關係規則ノ一斑ヲ知ルコトヲ得ベシ

表金賃及刻時發出車列道鐵

表 金 賃			車 ノ 等 級	上				定	
				午後 四 字					午前 八 字
下 等	中 等	上 等	道	午後 四 字 三 十 五 分				午前 八 字 三 十 五 分	品川到着
同	同	片		下					
				午後 五 字				午前 九 字	品川發車
五 拾 錢	壹 圓	壹 圓 五 拾 錢		午後 五 字 三 十 五 分				午前 九 字 三 十 五 分	橫濱到着

旅客車上中下三等之内乗ラント欲スル所ノ賃金ヲ過金取引ナキ様ニ用意致シ來ル可シ

明治五年
鐵 道 寮

來ル五月七日ヨリ此表示ノ時刻ニ日々
 橫濱並ニ品川ステイションヨリ列車
 出發ス
 乗車セムト欲スル者ハ遅クトモ此表次
 ノ時刻ヨリ十五分前ニステイション
 ニ來リ切手買入其他ノ手都合ヲ爲スベ
 シ
 但シ發車並ニ着車共必ズ此表示ノ時刻
 ヲ違ハザル様ニハ請合難ケレドモ可成
 丈遲滞ナキ様取行フ可シ
 手形ハ其日限り乗車一度ノ用タル可シ
 小兒四歳迄ハ無賃其餘十二歳迄ハ半賃
 金ノ事
 旅客ハ總テ鐵道規則ニ隨ヒ旅行ス可シ
 手形檢査之節ハ手形ヲ出シ改メヲ受ケ
 又手形取集ノ節ハ之ヲ渡ス可シ
 旅客自カラ携フ小包ミドウランノ類ハ
 無賃ナレドモ若シ損失アラバ自ラ負フ
 可シ其餘ノ手廻リ荷物ハ日方三十斤迄
 ハ二十五斤以上六十斤迄ハ五拾
 斤ヲ拂ヒ荷物掛リヘ引渡受取證書ヲ求
 メ置ク可シ尤モ一人ニ付目方六十斤迄
 ヲ限トス
 手廻リ荷物ハ總テ姓名カ又ハ目印ヲ記
 ス可シ
 旅客中乗車ヲ得ルト得ザルハ車内場所
 ノ有無ニヨル可シ
 犬一疋ニ付片道賃或二十五斤ヲ拂フ可
 シ併シ旅客車ニ載スルヲ許サズ犬箱或
 ハ車長ノ車ニテ運送ス可シ首輪首綱口
 網ヲ備ヘテ相渡ス可シ
 發車時刻ヲ惰タラサルタメ時限ノ五分
 前ニステイションノ戸ヲ扃サス可シ
 吸烟車ノ外ハ烟草ヲ許サス

第 二 篇

內 地 鐵 道

內地鐵道一般
 國有鐵道
 地方鐵道及軌道

國有鐵道工事中線

Table with 6 columns: 線名, 區, 間, 哩程, 線名, 區, 間, 哩程. Lists various railway lines and their segments with distances.

國有鐵道工事未着手線

Table with 6 columns: 線名, 區, 間, 哩程, 線名, 區, 間, 哩程. Lists railway lines and segments that have not yet started construction.

國有鐵道工事未着手線 (續)

Table with 6 columns: 線名, 區, 間, 哩程, 線名, 區, 間, 哩程. Continuation of the previous table, listing more railway lines and segments.

昭和二年度以降鐵道

科 目	區 分	總 費 額	支	
			二 年 度	三 年 度
建 設 費	既 定 額	481,019	46,300	47,560
	計畫變更ニ依ル増減	—	2,678	3,089
	追 加 額	62,600	322	911
	改 定 額	543,619	49,300	51,560
總 係 費	既 定 額	30,240	3,500	3,550
	計畫變更ニ依ル増減	—	248	269
	追 加 額	4,003	22	61
	改 定 額	34,243	3,770	3,880
濱田山口及益田萩間鐵道	既 定 額	4,091	930	1,000
伯備線	既 定 額	2,901	2,460	441
肥薩線	既 定 額	753	753	—
長岡高崎間鐵道	既 定 額	6,287	3,385	2,902
岐阜高山間鐵道	既 定 額	6,847	1,000	1,000
小串萩間鐵道	既 定 額	1,699	500	700
釧路網走間鐵道	既 定 額	3,386	300	100
	計畫變更ニ依ル増減	—	600	600
琴平池田山田間鐵道	改 定 額	3,386	900	700
和歌山相可間鐵道	既 定 額	11,317	1,672	1,120
長萬部輪西間鐵道	既 定 額	28,924	1,800	2,600
久留米大分間鐵道	既 定 額	1,228	1,228	—
松田勝浦間鐵道	既 定 額	6,791	1,000	1,500
高山富山間鐵道	既 定 額	800	800	—
盛岡山田間鐵道	既 定 額	9,788	500	800
宮地犬飼間鐵道	既 定 額	15,457	1,397	800
津山新見間鐵道	既 定 額	1,490	900	590
鳥取津山間鐵道	既 定 額	1,898	600	800
一ノ關大船渡間鐵道	既 定 額	4,290	1,150	1,400
郡山大宮間鐵道	既 定 額	4,742	700	1,000
好摩花輪間鐵道	既 定 額	5,843	1,000	1,000
	計畫變更ニ依ル増減	3,312	863	100
川口十日町間鐵道	改 定 額	—	—	200
深川雨龍間鐵道	既 定 額	3,312	863	300
	計畫變更ニ依ル増減	260	260	—
八戸久慈間鐵道	既 定 額	2,180	600	300
	計畫變更ニ依ル増減	—	100	200
留萌羽幌間鐵道	改 定 額	2,180	700	500
	既 定 額	1,967	500	800
留萌羽幌間鐵道	既 定 額	1,739	234	200
	計畫變更ニ依ル増減	—	300	300
留萌羽幌間鐵道	改 定 額	1,739	534	500

建設費豫算年度割表

(千圓單位) △印ハ減ヲ示ス

出 年 度	割					
	四 年 度	五 年 度	六 年 度	七 年 度	八 年 度	九 年 度
49,650	51,180	55,106	59,827	62,813	62,206	46,377
5,435	2,738	67	△ 1,483	△ 3,415	△ 3,594	△ 5,515
1,565	5,262	8,755	11,061	12,415	12,594	9,715
56,650	59,180	63,928	69,405	71,813	71,206	50,577
3,620	3,650	3,712	3,720	3,700	3,660	1,128
355	169	△ 15	△ 123	△ 240	△ 254	△ 406
105	338	575	716	806	795	585
4,080	4,157	4,272	4,310	4,266	4,201	1,307
1,100	1,061	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
1,000	1,000	1,200	1,125	522	—	—
499	—	—	—	—	—	—
400	500	500	500	500	586	—
300	100	△ 14	△ 500	△ 500	△ 586	—
700	600	486	—	—	—	—
1,600	1,200	1,000	1,000	1,200	1,280	1,245
3,130	3,100	3,400	3,400	3,600	3,900	3,994
—	—	—	—	—	—	—
1,591	1,000	862	838	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
1,000	1,000	1,400	2,600	2,488	—	—
600	1,000	2,000	2,500	2,500	2,400	2,260
—	—	—	—	—	—	—
498	—	—	—	—	—	—
1,200	540	—	—	—	—	—
1,100	800	750	392	—	—	—
1,200	1,000	1,054	589	—	—	—
400	600	500	500	349	—	—
200	—	100	△ 151	△ 349	—	—
600	600	600	600	349	—	—
—	—	—	—	—	—	—
100	300	500	380	—	—	—
400	180	△ 500	△ 380	—	—	—
500	480	—	—	—	—	—
667	—	—	—	—	—	—
300	300	300	300	105	—	—
150	△ 45	△ 300	△ 300	△ 105	—	—
450	255	—	—	—	—	—

昭和二年度以降鐵道建設費豫算年度割表 (其の二)

科 目	區 分	總 費 額	支	
			二 年 度	三 年 度
能代五所川原間鐵道	既 定 額	6,980	300	500
	計畫變更ニ依ル増減額	—	200	100
	改 定 額	6,980	500	600
柳津若松田島間鐵道	既 定 額	4,399	700	795
七尾輪島間鐵道	既 定 額	5,575	500	900
太田福井間鐵道	既 定 額	15,307	945	1,000
高松徳島間鐵道	既 定 額	3,478	600	720
大口川内間鐵道	既 定 額	2,705	100	300
	計畫變更ニ依ル増減額	—	—	—
	改 定 額	2,705	100	300
長尾原田間鐵道	既 定 額	2,750	900	1,000
太田多治見間鐵道	既 定 額	408	408	—
ルベシベ遠輕間鐵道	既 定 額	4,722	600	400
	計畫變更ニ依ル増減額	—	450	500
	改 定 額	4,722	1,050	900
峰山豊岡間鐵道	既 定 額	3,544	800	800
松山八幡濱間鐵道	既 定 額	8,257	400	1,000
國縫瀬棚間鐵道	既 定 額	3,456	550	800
	計畫變更ニ依ル増減額	—	350	—
	改 定 額	3,456	900	800
江津三次間鐵道	既 定 額	13,901	1,200	1,200
坂町今泉間鐵道	既 定 額	10,100	300	500
大町糸魚川間鐵道	既 定 額	7,999	300	800
新見三次間鐵道	既 定 額	9,222	300	1,000
落合木次間鐵道	既 定 額	8,131	500	1,000
伊萬里佐世保間鐵道	既 定 額	8,742	300	800
橋場生保内間鐵道	既 定 額	5,473	—	—
	計畫變更ニ依ル増減額	—	—	—
	改 定 額	5,473	—	—
菱川標茶間鐵道	既 定 額	2,540	—	—
下北條倉吉間鐵道	既 定 額	798	—	—
木更津大原間鐵道	既 定 額	4,066	500	600
	計畫變更ニ依ル増減額	—	300	100
	改 定 額	4,066	800	700
名張松阪間鐵道	既 定 額	8,080	400	500
姫路津山間鐵道	既 定 額	8,307	400	400
三原吳間鐵道	既 定 額	11,607	400	450
岩國徳山間鐵道	既 定 額	6,646	500	600
	計畫變更ニ依ル増減額	—	100	400
	改 定 額	6,646	600	1,000
肥前山口諫早間鐵道	既 定 額	7,553	400	582
	計畫變更ニ依ル増減額	—	100	18
	改 定 額	7,553	500	600

出 年 度	割						
	四 年 度	五 年 度	六 年 度	七 年 度	八 年 度	九 年 度	十 年 度
800	800	1,000	1,000	1,000	1,000	580	
300	300	—	—	—	△ 320	△ 580	
1,100	1,100	1,000	1,000	1,000	680	—	
800	750	700	654	—	—	—	
500	200	500	700	800	800	675	
700	400	1,500	2,300	2,800	2,855	2,807	
1,000	600	558	—	—	—	—	
500	300	300	500	500	205	—	
—	200	200	—	△ 195	△ 205	—	
500	500	500	500	305	—	—	
850	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	
300	600	700	700	700	722	—	
500	100	—	△ 128	△ 700	△ 722	—	
800	700	700	572	—	—	—	
800	800	344	—	—	—	—	
1,200	1,200	1,200	1,100	1,100	1,057	—	
800	600	500	206	—	—	—	
—	△ 100	△ 44	△ 206	—	—	—	
800	500	456	—	—	—	—	
1,200	1,000	600	1,200	2,400	2,600	2,501	
950	600	1,000	1,200	1,800	2,100	1,650	
800	800	300	800	1,200	1,593	1,406	
1,175	1,100	1,000	1,000	1,200	1,209	1,238	
1,200	1,000	1,000	1,000	1,200	1,231	—	
400	300	1,000	1,200	1,400	1,700	1,642	
—	300	600	800	1,000	1,400	1,373	
300	300	200	200	400	△ 27	△ 1,373	
300	600	800	1,000	1,400	1,373	—	
—	—	300	500	600	600	540	
—	—	300	498	—	—	—	
700	500	600	600	566	—	—	
△ 400	—	—	—	—	—	—	
300	500	600	600	566	—	—	
670	1,000	1,200	1,300	1,500	1,510	—	
770	1,200	1,300	1,400	1,400	1,437	—	
900	1,350	1,350	1,350	1,500	2,200	2,107	
800	1,100	1,100	861	859	826	—	
600	300	100	185	△ 859	△ 826	—	
1,400	1,400	1,200	1,046	—	—	—	
600	800	800	900	1,000	1,200	1,271	
600	400	400	100	—	△ 347	△ 1,271	
1,200	1,200	1,200	1,000	1,000	853	—	

昭和二年度以降鐵道建設費豫算年度割表 (其の三)

科 目	區 分	總 費 額	支	
			二 年 度	三 年 度
國分都城間鐵道	既 定 額	5,073	400	500
	計畫變更ニ依ル増減	—	100	100
	改 定 額	5,073	500	600
仙臺山形間鐵道	既 定 額	11,753	300	700
郡家若櫻間鐵道	既 定 額	1,619	300	500
佐賀矢部川間鐵道	既 定 額	2,492	300	600
小梅小淵澤間鐵道	既 定 額	6,274	400	600
札幌沼田間鐵道	既 定 額	5,560	500	700
八王子高崎間鐵道	既 定 額	8,828	300	500
	計畫變更ニ依ル増減	—	200	100
	改 定 額	8,828	500	600
鹿兒島指宿間鐵道	既 定 額	4,095	300	500
貴生川加茂間鐵道	既 定 額	5,342	30	300
山野水俣間鐵道	既 定 額	4,882	—	30
	計畫變更ニ依ル増減	—	30	370
	改 定 額	4,882	30	400
上磯木古内間鐵道	既 定 額	2,323	300	500
	計畫變更ニ依ル増減	—	300	100
	改 定 額	2,323	600	600
帶廣廣尾間鐵道	既 定 額	4,301	300	500
	計畫變更ニ依ル増減	—	400	200
	改 定 額	4,301	700	700
鷹ノ巣阿仁合間鐵道	既 定 額	3,355	—	—
喜多方日中間鐵道	既 定 額	1,225	—	—
	計畫變更ニ依ル増減	—	—	30
	改 定 額	1,225	—	30
佐原松岸間鐵道	既 定 額	1,977	—	—
	計畫變更ニ依ル増減	—	—	300
	改 定 額	1,977	—	300
掛川二俣間鐵道	既 定 額	2,630	—	30
近永中村間鐵道	既 定 額	7,463	—	—
大洲近永間鐵道	既 定 額	8,430	—	—
五條阪本間鐵道	既 定 額	7,973	—	—
關ヶ原木ノ本間鐵道	既 定 額	2,335	—	—
小郡大田間鐵道	既 定 額	2,111	—	—
白杵三重間鐵道	既 定 額	2,872	—	—
立野高森間鐵道	既 定 額	285	285	—
厚木標津間鐵道	既 定 額	4,125	—	—
内海志布志間鐵道	既 定 額	9,813	—	—
二俣佐久間鐵道	既 定 額	7,382	—	—
苫小牧浦河間鐵道	追 加 額	9,183	300	850
下沙流別遠別間鐵道	追 加 額	2,533	—	—
上士幌三股間鐵道	追 加 額	3,899	—	—

出	年 度 割						
	四 年 度	五 年 度	六 年 度	七 年 度	八 年 度	九 年 度	十 年 度
600	1,000	1,000	950	623	—	—	—
400	—	—	23	△ 623	—	—	—
1,000	1,000	1,000	973	—	—	—	—
900	1,500	1,200	1,232	1,500	2,300	2,121	—
500	319	—	—	—	—	—	—
600	600	392	—	—	—	—	—
800	800	800	800	1,000	1,074	—	—
1,000	1,000	600	600	600	650	—	—
600	900	1,000	1,000	1,200	1,700	1,628	—
600	400	400	300	100	△ 472	△ 1,628	—
1,200	1,300	1,400	1,300	1,300	1,228	—	—
500	500	800	800	695	—	—	—
500	900	400	600	900	900	812	—
400	600	700	800	800	800	752	—
200	100	100	—	—	△ 48	△ 752	—
600	700	800	800	800	752	—	—
600	600	323	—	—	—	—	—
—	△ 77	△ 323	—	—	—	—	—
600	523	—	—	—	—	—	—
600	800	800	800	501	—	—	—
100	—	—	△ 199	△ 501	—	—	—
700	800	800	601	—	—	—	—
300	600	900	900	655	—	—	—
20	300	500	405	—	—	—	—
280	200	△ 105	△ 405	—	—	—	—
300	500	395	—	—	—	—	—
300	700	700	277	—	—	—	—
400	—	△ 423	△ 277	—	—	—	—
700	700	277	—	—	—	—	—
600	900	800	300	—	—	—	—
50	500	800	800	1,200	2,170	1,943	—
50	800	800	1,000	1,500	2,100	2,180	—
—	30	300	800	2,200	2,300	2,343	—
—	—	30	30	600	800	605	—
—	—	30	30	500	800	781	—
—	—	—	30	400	800	800	842
—	—	—	—	—	—	—	—
30	500	700	800	700	700	695	—
30	600	1,500	1,800	2,000	2,000	1,883	—
—	30	500	1,500	2,200	1,800	1,552	—
—	—	—	—	—	—	—	—
1,250	1,700	1,700	1,200	900	800	483	—
30	300	500	500	500	400	303	—
30	300	600	900	900	800	369	—

昭和二年度以降鐵道建設費豫算年度割表(其の四)

科	目	區	分	總	費	額	支	
							二	三
							年	年
							度	度
熟海伊東間鐵道	追	加	額	4,657	—	—		
大井明知間鐵道	追	加	額	3,697	—	—		
鹽町上下間鐵道	追	加	額	3,600	—	—		
廣島坪野間鐵道	追	加	額	5,692	—	—		
延岡日平間鐵道	追	加	額	3,822	—	—		
濱頓別枝幸間鐵道	追	加	額	2,300	—	—		
木古内江差間鐵道	追	加	額	3,971	—	—		
倉吉南谷間鐵道	追	加	額	1,065	—	—		
興部雄武間鐵道	追	加	額	1,772	—	—		
田名部大畑間鐵道	追	加	額	1,580	—	—		
平小名濱間鐵道	追	加	額	1,760	—	—		
濱田今福間鐵道	追	加	額	2,065	—	—		
山田炭野間鐵道	追	加	額	2,051	—	—		
宇土萱野間鐵道	追	加	額	1,932	—	—		
			既	23,525	2,250	2,250		
			計畫變更ニ依ル増減	—	△ 1,100	△ 798		
車	輛	費	追	3,018	—	—		
			改	26,543	1,150	1,452		

(備考) 昭和二年度以降建設線施行計畫 (昭和元年十二月末日)

豫算總額

昭和二年度ヨリ昭和十年度ニ至ル建設費豫算總額ハ五億四千三百六十一萬九千圓ニシテ總計九十四線路ヲ完成シ二千九百八哩一分ノ營業ヲ開始スル豫定ナリ

昭和二年度豫算額四千九百三十萬圓

前年度ヨリ工事中線路五十三線ノ工事ヲ續行シ新ニ九線路ニ着手ス本年度ニ於テ全通スル線路ハ六線、未着手線三十二線ニシテ百二十七哩五分ノ營業ヲ開始スル豫定ナリ

昭和三年度豫算額五千五百五十六萬圓

前年度ヨリ工事中線路五十六線ノ工事ヲ續行シ新ニ三線路ニ着手ス本年度ニ於テ全通スル線路ハ三線、未着手線二十九線ニシテ百六十二哩ノ營業ヲ開始スル豫定ナリ

昭和四年度豫算額五千六百六十五萬圓

前年度ヨリ工事中線路五十六線ノ工事ヲ續行シ新ニ十三線路ニ着手ス本年度ニ於テ全通スル線路ハ四線、未着手線十六線ニシテ二百六十六哩七分ノ營業ヲ開始スル豫定ナリ

昭和五年度豫算額五千九百十八萬圓

前年度ヨリ工事中線路六十五線ノ工事ヲ續行シ新ニ五線路ニ着手ス本年度ニ於テ全通スル線路ハ六線、未着手線十一線ニシテ三百十哩六分ノ營業ヲ開始スル豫定ナリ

出							割						
四	五	六	七	八	九	十	四	五	六	七	八	九	十
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度
30	500	800	800	900	900	727							
30	400	600	600	700	700	667							
30	400	600	600	700	700	570							
30	500	1,000	1,000	1,100	1,100	962							
30	500	600	600	700	700	692							
30	30	300	500	600	500	370							
—	30	600	900	1,100	900	441							
—	30	500	535	—	—	—							
—	—	30	300	600	500	342							
—	—	30	300	400	500	350							
—	—	30	300	700	730	—							
—	—	30	300	500	600	635							
—	—	30	300	500	600	621							
—	—	30	300	400	600	602							
2,250	2,350	2,571	2,850	3,050	3,350	2,604							
150	211	291	381	157	213	495							
—	234	200	410	409	769	996							
2,400	2,795	3,062	3,641	3,616	4,332	4,095							

昭和六年度豫算額六千三百九十二萬八千圓

前年度ヨリ工事中ノ線路六十四線ノ工事ヲ續行シ新ニ十一線路ニ着手ス本年度ニ於テ全通スル線路ハ七線ニシテ三百四十哩二分ノ營業ヲ開始スル豫定ナリ

昭和七年度豫算額六千九百四十萬五千圓

前年度ヨリ工事中線路六十八線ノ工事ヲ續行シ本年度ニ於テ全通スル線路ハ十二線ニシテ四百四哩六分ノ營業ヲ開始スル豫定ナリ

昭和八年度豫算額七千八百八十一萬三千圓

前年度ヨリ工事中ノ線路五十六線ノ工事ヲ續行シ本年度ニ於テ全通スル線路ハ六線ニシテ四百一哩八分ノ營業ヲ開始スル豫定ナリ

昭和九年度豫算額七千二百二十萬六千圓

前年度ヨリ工事中ノ線路五十線ノ工事ヲ續行シ本年度ニ於テ全通スル線路ハ十三線ニシテ四百三十九哩七分ノ營業ヲ開始スル豫定ナリ

昭和十年度豫算額五千五十七萬七千圓

前年度ヨリ工事中ノ線路三十七線ノ工事ヲ續行シ本年度ニ於テ全通スル線路ハ三十七線ニシテ四百五十五哩ノ營業ヲ開始スル豫定ナリ

國有鐵道豫定線

Table of proposed railway lines with columns for route name, distance, and other details. Includes routes like 大青弘三三久山小落花川一乘一阿仁生本十氣津松仙川長白鶴楯左米福丸川柳只須石今高日鹿茂大市水阿野澤, 畑森前戶三久山小落花川一乘一阿仁生本十氣津松仙川長白鶴楯左米福丸川柳只須石今高日鹿茂大市水阿野澤, 大間川原代千花宮大船渡野市間, 水戸鹿島大宮大上菅谷間, 中津川下呂間, etc.

國有鐵道豫定線(續)

Continuation of the railway line table from page 58, listing routes like 八雲利別間, 宇佐間, 宇佐間, etc., with distances and other metrics.

昭和二年度中開業線

Table of railway lines opening in the second year of the Showa era, listing line names, routes, distances, and opening dates. Includes routes like 東海道本線, 越前線, 水郡線, etc.

昭和二年度中廢止線

Table of railway lines closed in the second year of the Showa era, listing line names, routes, and closing dates. Includes the 伊田線.

鐵道營業法

明治三十三年三月十六日法律第六五號

第一章 鐵道ノ設備及運送

- 第一條 鐵道ノ建設、車輛器具ノ構造及運轉ハ命令ヲ以テ定ムル規程ニ依ルヘシ
- 第二條 本法其ノ他特別ノ法令ニ規定スルモノノ外鐵道運送ニ關スル特別ノ事項ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依ル
- 鐵道運輸規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第三條 運賃其ノ他ノ運送條件ハ關係停車場ニ公告シタル後ニ非サレハ之ヲ實施スルコトヲ得ス
- 運賃其ノ他ノ運送條件ノ加重ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ前項ノ公告ハ一月以上之ヲ爲スコトヲ要ス
- 第四條 傳染病患者ハ主務大臣ノ定ムル規程ニ依ルニ非サレハ乘車セシムルコトヲ得ス
- 附添人ナキ重病者ノ乘車ハ之ヲ拒絶スルコトヲ得
- 第五條 火藥其ノ他爆發質危險品ハ鐵道カ其ノ運送取扱ノ公告ヲ爲シタル場合ノ外其ノ運送ヲ拒絶スルコトヲ得
- 第六條 鐵道ハ左ノ事項ノ具備シタル場合ニ於テハ貨物ノ運送ヲ拒絶スルコトヲ得ス
 - 一 荷送人カ法令其ノ他鐵道運送ニ關スル規定ヲ遵守スルトキ
 - 二 貨物ノ運送ニ付特別ナル責務ノ條件ヲ荷送人ヨリ求メサルトキ
 - 三 運送カ法令ノ規定又ハ公ノ秩序若ハ善良ノ風俗ニ反セサルトキ
 - 四 貨物カ成規ニ依リ其ノ線路ニ於ケル運送ニ適スルトキ
 - 五 天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ基因シタル運送上ノ支障ナキトキ
- 前項ノ規定ハ旅客運送ニ之ヲ準用ス
- 第七條 運送ニ付特別ノ設備ヲ要スル貨物ニ關シテハ鐵道ハ其ノ設備アル場合ニ限り之ヲ引受クルノ義務ヲ負フ
- 第八條 鐵道ハ直ニ運送ヲ爲シ得ヘキ場合ニ限り貨物ヲ受取ルヘキ義務ヲ負フ
- 第九條 貨物ノ運送ノ爲受取リタル順序ニ依リ之ヲ運送スルコトヲ要ス但シ運輸上正當ノ事由若ハ公益上ノ必要アルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 第十條 鐵道ハ貨物ノ種類及性質ヲ明告スヘキコトヲ荷送人ニ求ムルコトヲ得若シ其ノ種類及性質ニ付疑アルトキハ荷送人ノ立會ヲ以テ之ヲ點檢スルコトヲ得
- 點檢ニ因リ貨物ノ種類及性質カ荷送人ノ明告シタル所ト異ナラサル場合ニ限り鐵道ハ點檢ニ關スル費用ヲ負擔シ且之カ爲生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス
- 前二項ノ規定ハ火藥其ノ他爆發質危險品ヲ成規ニ反シ手荷物中ニ收納シタル疑アル場合ニ之ヲ準用ス
- 第十一條 貨幣、有價證券其ノ他ノ高價品ニ付テハ荷送人カ運送委託ノ際其ノ物品ノ種類、性質及價格ヲ明告シ且増賃金ヲ支拂ヒタル場合ノ外鐵道ハ損害賠償ノ責ニ任セス但シ鐵道カ増賃金ノ支拂ヲ請求セサルニ因リ荷送人ニ於テ其ノ支拂ヲ爲ササルトキハ此ノ限ニアラス
- 前項増賃金ノ割合ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依ル
- 第十二條 牛馬其ノ他ノ獸類ニ付テハ荷送人カ運送委託ノ際價格ヲ明告セサルトキ又ハ明告スルモ鐵道運輸規程ニヨリ鐵道ノ請求スル増賃金ヲ支拂ハサルトキハ其ノ損害ニ付鐵道ハ鐵道運輸規程ニ定ムル最高金額迄ヲ限り賠償ノ責ニ任ス
- 前項賠償金額ノ制限ハ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ損害ヲ生シタル場合ニハ之ヲ適用セス
- 第十三條 惡意又ハ重大ナル過失ニ因ラサル手荷物ノ滅失、毀損ニ付テハ鐵道ハ鐵道運輸規程ニ定ムル最高金額迄ヲ限り損害賠償ノ責ニ任ス
- 第十三條ノ二 荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル運送品ハ主務大臣ノ定ムル所ニヨリ公告ヲ爲シタル後六月内ニ其ノ權利者ヲ知ルコト能ハサル場合ニ於テハ鐵道其ノ所有權ヲ取得スル送手荷物及一時預リ品ニ付亦同シ
- 第十三條ノ三 鐵道カ其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ貨物ノ引渡ヲ爲スコト能ハサルトキハ貨主ノ費用ヲ以テ之ヲ倉庫營業者ニ委託スルコトヲ得
- 貨物ヲ寄託シタルトキハ鐵道ハ運帶ナク荷送人及荷受人ニ對シ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス
- 貨物ヲ寄託シタル場合ニ於テ倉庫證券ヲ作製セシメタルトキハ其ノ證券ノ交付ヲ以テ貨物ノ引渡ニ代フルコトヲ得

- 鐵道ハ第一項ノ費用ノ辨濟ヲ受クル迄倉庫證券ヲ留置スルコトヲ得
 - 前四項ノ規定ハ貨物ノ引取期間内ニ其ノ引取ナキ場合ニ之ヲ準用ス
 - 第十四條 運賃償還ノ債權ハ一年間之ヲ行ハサルトキハ時効ニ因リテ消滅ス
 - 第十五條 旅客ハ營業上別段ノ定アル場合ノ外運賃ヲ支拂ヒ乘車券ヲ受クルニ非サレハ乘車スルコトヲ得ス
 - 乘車券ヲ有スル者ハ列車中座席ノ存在スル場合ニ限り乘車スルコトヲ得
 - 第十六條 旅客カ乘車前旅行ヲ止メタルトキハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得
 - 乘車後旅行ヲ中止シタルトキハ運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス
 - 第十七條 天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ運送ニ著手シ又ハ之ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ旅客及荷送人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ鐵道ハ既ニ爲シタル運送ノ割合ニ應ジ運賃其ノ他ノ費用ヲ請求スルコトヲ得
 - 第十八條 旅客ハ鐵道係員ノ請求アリタルトキハ何時ニテモ乘車券ヲ呈示シ検査ヲ受クヘシ
 - 有效ノ乘車券ヲ所持セス又ハ乘車券ノ検査ヲ拒ミ又ハ取集ノ際之ヲ渡ササル者ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ罰金又ハ乘車券ノ没収ヲ受ケル
 - 前項ノ場合ニ於テ乘車停車場不明ナルトキハ其ノ列車ノ出發停車場ヨリ運賃ヲ計算ス
 - 乘車等級不明ナルトキハ其列車ノ最優等級ニ依リ運賃ヲ計算ス
- 第二章 鐵道係員
- 第十九條 鐵道係員ノ職制ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
 - 第二十條 地方鐵道業者ハ鐵道係員ノ服務規程ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス
 - 第二十一條 主務大臣ハ鐵道係員タルニ要スル資格ヲ定ムルコトヲ得
 - 第二十二條 旅客及公衆ニ對スル職務ヲ行フ鐵道係員ハ一定ノ制服ヲ著スヘシ
 - 第二十三條 地方鐵道係員ハ職務上ノ義務ニ違背シ若ハ職務ヲ怠リ又ハ失行アリタルトキハ懲戒ヲ受ク
 - 地方鐵道業者ハ懲戒ニ關スル規程ヲ定メ監督官

- 廳ノ認可ヲ受クヘシ
 - 懲戒ヲ爲スヘキ場合ニ於テ地方鐵道業者之ヲ爲ササルトキハ監督官廳ニ於テ懲戒ヲ爲スコトヲ得
 - 第二十四條 鐵道係員職務取扱中旅客若ハ公衆ニ對シ失行アリタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 - 第二十五條 鐵道係員職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リ旅客若ハ公衆ニ危害ヲ與スル處アル所爲アリタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
 - 第二十六條 鐵道係員旅客ヲ強ヒテ定員ヲ超エ車中ニ乘込マシメタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 - 第二十七條 鐵道係員旅客又ハ荷送人若ハ荷受人ト通謀シ運賃ノ一部若ハ全部ヲ免レシメタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス
 - 第二十八條 鐵道係員道路踏切ノ開通ヲ怠リ又ハ故ナク車輛其ノ他ノ器具ヲ踏切ニ留置シ因テ往來ヲ妨害シタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 - 第二十八條ノ二 第十九條及第二十一條ノ規定ハ政府及公共團體ノ鐵道ニ、第二十條及第二十三條ノ規定ハ公共團體ノ鐵道ニ之ヲ適用セス
- 第三章 旅客及公衆
- 第二十九條 鐵道係員ノ許諾ヲ受ケシテ左ノ所爲ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 - 一 有效ノ乘車券ナクシテ乘車シタルトキ
 - 二 乘車券ニ指示シタルモノヨリ優等ノ車ニ乘リタルトキ
 - 三 乘車券ニ指示シタル停車場ニ於テ下車セサルトキ
 - 第三十條 運送品ノ種類若ハ性質ヲ詐稱シ又ハ運賃ヲ免ルルノ目的ヲ以テ詐僞ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
 - 第三十條ノ二 前二條ノ所爲ハ鐵道ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス
 - 第三十一條 鐵道運送ニ關スル法令ニ背キ火藥類其ノ他爆發質危險品ヲ託送シ又ハ車中ニ携帶シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 - 第三十二條 列車警報機ヲ濫用シタル者ハ五十圓

以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十三條 旅客左ノ所爲ヲ爲シタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 列車運轉中乗降シタルトキ

二 列車運轉中車輛ノ側面ニ在ル車扉ヲ開キタルトキ

三 列車中旅客乗用ニ供セサル箇所ニ乗リタルトキ

第三十四條 制止ヲ背セシテ左ノ行爲ヲ爲シタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス

一 停車場其ノ他鐵道地内吸煙禁止ノ場所及吸煙禁止ノ車内ニ於テ吸煙シタルトキ

二 婦人ノ爲ニ設ケタル待合室及車室等ニ男子妄ニ立入りタルトキ

第三十五條 鐵道係員ノ許諾ヲ受ケスシテ車内、停車場其ノ他鐵道地内ニ於テ旅客又ハ公衆ニ對シ寄附ヲ請ヒ、物品ノ購買ヲ求メ、物品ヲ配付シ其ノ他演說勸誘等ノ所爲ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第三十六條 車輛、停車場其ノ他鐵道地内ノ標識揭示ヲ改竄、毀棄、撤去シ又ハ燈火ヲ滅シ又ハ其ノ用ヲ失ハシメタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

信號機ヲ改竄、毀棄、撤去シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第三十七條 停車場其ノ他鐵道地内ニ妄ニ立入りタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス

第三十八條 暴行脅迫ヲ以テ鐵道係員ノ職務ノ執行ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第三十九條 車内、停車場其ノ他鐵道地内ニ於テ發砲シタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十條 列車ニ向テ瓦石類ヲ投擲シタル者ハ科料ニ處ス

第四十一條 第四條ノ規定ニ違反シ傳染病患者ヲ乗車セシメタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス傳染病患者其ノ病症ヲ隠蔽シテ乗車シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ途中下車セシメタルトキト雖既ニ支拂ヒタル運賃ハ之ヲ還付セス

第四十二條 左ノ場合ニ於テ鐵道係員ハ旅客及公衆ヲ車外又ハ鐵道地外ニ退去セシムルコトヲ得

一 有效ノ乗車券ヲ所持セズ又ハ檢査ヲ拒ミ運

賃ノ支拂ヲ背セサルトキ

二 第三十三條第三號ノ罪ヲ犯シ鐵道係員ノ制止ヲ背セサルトキ又ハ第三十四條ノ罪ヲ犯シタルトキ

三 第三十五條、第三十七條ノ罪ヲ犯シタルトキ

四 其ノ他車内ニ於ケル秩序ヲ紊ルノ所爲アリタルトキ

前項ノ場合ニ於テ既ニ支拂ヒタル運賃ハ之ヲ還付セス

第四十三條 前諸條ノ犯罪及鐵道保安ニ關スル犯罪ニシテ罰金、拘留又ハ科料ノ刑ニ該ルヘキ罪ノ現行犯アリタルトキ被告人カ其ノ住所氏名ヲ分明ニ告知セズ又ハ逃亡ノ虞アルトキハ鐵道係員ハ司法警察官ニ之ヲ引致スルコトヲ得

附 則

第四十四條 削除

第四十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(明治三十三年八月十日勅令第三三〇號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

鐵道略則、鐵道犯罪罰例、明治十六年七月第二十三號布告ハ之ヲ廢止ス

鐵道運輸規程

明治三十三年八月十日遞信省令第三六號

第一章 總 則

第一條 鐵道係員ハ運輸上ノ安全便益ヲ旨トシ旅客及公衆ニ對シ懇切ニ其ノ職務ヲ行フヘシ

第二條 旅客及公衆ハ鐵道係員ノ職務上ノ指圖ニ從フヘシ

第三條 鐵道ハ主要ナル停車場ニ申告簿ヲ備置クコトヲ要ス

第四條 旅客貨物ノ取扱ニ關シ鐵道ノ處置ニ不當ノ虞アリト認ムル者ハ前條ノ申告簿ニ記載シ抗告ヲ爲スコトヲ得

申告簿ニ依リ抗告ヲ爲ス者ハ事實ヲ詳記シ其ノ住所ヲ記シ署名スルコトヲ要ス

鐵道ハ氏名住所ヲ明示シタル抗告ニ付テハ遲滞ナク辯明ヲ與フヘシ

第五條 停車場ニハ見易キ場所ニ驛名ヲ明示シ其ノ他旅客ノ指導タルヘキ標示ヲ爲スヘシ

第六條 停車場ニハ旅客及貨物ノ運賃表、列車時

刻表其ノ他運輸上必要ナル諸表規則等ヲ備付ケ公衆ノ閱覽ニ供スヘシ

第七條 停車場ニハ旅客及貨物ノ運送ニ必要ナル事項及鐵道ノ取締ニ關スル法令其ノ他ノ條項ヲ摘要シテ之ヲ揭示スヘシ

第八條 效用ヲ失ヒタル諸揭示類ハ即時ニ之ヲ撤去スヘシ

第九條 停車場ニハ時計ヲ備付ケ正確ニ時刻ヲ齊正スヘシ

第二章 旅客運送

第十條 停車場ニハ見易キ場所ニ當該停車場ヨリノ列車出發時刻及終著驛名並宜宜連路列車ノ終著驛名ヲ揭示スヘシ

第十一條 停車場ニハ當該線路ニ於ケル列車時刻表、運賃表及必要ニ應ヒ他ノ關係線路ニ於ケル時刻表及運賃表ノ摘要ヲ揭示スヘシ

前項ノ時刻表ニハ列車ニ聯結スル客車ノ等級及種類ヲ表示スヘシ

第十二條 停車場ニハ見易キ場所ニ當該停車場ヨリノ旅客運賃表ヲ揭示スヘシ

第十三條 四年未滿ノ小兒ハ無賃、滿四年以上十二年未滿ノ小兒ハ半賃金ヲ以テ運送スヘシ

特別ノ事由アル場合ニ於テハ監督官廳ノ認可ヲ得テ小兒ノ半賃金ノ運送ヲ爲ササルコトヲ得

第十四條 乗車券ニハ通用區間及期限、客車ノ等級、運賃額並ニ發行ノ日附ヲ記載スヘシ特種及臨時發行ノ乗車券ニ在リテハ前項ノ記載事項ヲ省略スルコトヲ得

第十五條 停車場ニ於テハ少クとも列車ノ出發時刻十五分前ニ乗車券ヲ賣出ヲ開始スヘシ交通頻繁ナル停車場ニ於テハ少クとも一時間前ニ之ヲ開始スヘシ

出札ハ列車出發時刻五分前迄ハ之ヲ停止スルコトヲ得ス

改札口ハ同一分前迄ハ之ヲ閉鎖スルコトヲ得ス

第十六條 鐵道ハ旅客ニ對シ運賃金額正算拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第十七條 旅客ハ改札前ニ在リテハ其ノ買受ケタル乗車券ヲ他級ノ乗車券ト交換シ又ハ之ヲ返還シテ運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得但シ運賃拂戻ノ請求ハ乗車券發行ノ當日ニ限ル

乗車券相當ノ坐席ナキ場合ニ於テ鐵道係員カ優等車ニ一時便乘ノ取扱ヲ爲ササルトキハ旅客ハ

選擇ニ依リ旅行ヲ止メ又ハ劣等車ニ移乘シテ運賃ノ全額又ハ差額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ直ニ鐵道係員ニ申告スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ノ外旅客ハ乗車券ヲ返還シ運賃ノ拂戻ヲ受ケ又ハ劣等車ニ乗換ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

改札後ト雖坐席ノ餘裕アルトキハ旅客ハ何時ニテモ運賃差額ヲ支拂ヒ優等車ニ乗換ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第十八條 乗車券ハ其ノ通用區間中何レノ部分ニ付テモ之ヲ使用スルコトヲ得但シ特種ノ列車ニ付監督官廳ノ認可ヲ得テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ乘繼驛限定ノ效ヲ妨ケス

第十九條 天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ列車ノ運轉ヲ中斷シタルトキハ旅客ニ對シ相當ノ便宜ヲ與ヘ及保護ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ旅客ノ請求アルトキハ既ニ通過セル線路ニ對スル運賃ヲ控除シ殘額ノ拂戻ヲ爲シ且出發停車場ニ無賃送還スヘシ

第二十條 列車運延ノ爲相當ノ時間中ニ接續スル列車ニ乗車スルコトヲ得サルトキハ連絡乗車券ヲ有スル旅客ニ限リ其ノ請求ニ因リ無賃ニテ出發停車場(途中下車セルトキハ其ノ最近下車停車場)ニ送還シ出發停車場ヨリノ運賃(途中下車セルトキハ其ノ最近下車停車場ト出發停車場トノ間ニ對スル運賃ヲ控除シ殘額)ヲ拂戻スヘシ但シ旅客カ次回ノ返リ列車ヲ以テ中斷ナク復歸スルトキニ限ル

第二十一條 旅客カ任意ニ劣等車ニ便乘シタルトキハ運賃差額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十二條 事故ノ爲列車發著ノ遲延、運轉ノ中斷等アリタルトキハ關係停車場ニ遲滞ナク之カ揭示ヲ爲スヘシ

第二十三條 乗車券ヲ所持セズ又ハ無効ノ乗車券ヲ以テ乗車シ若ハ檢査ノ際乗車券ノ呈示ヲ拒ミ又ハ取集ノ際ニ之ヲ渡ササル旅客ニ對シ鐵道ハ普通運賃二倍以內ノ割増運賃ヲ請求スルコトヲ得

乗車券ヲ買受クルノ暇ナク鐵道係員ノ許諾ヲ得テ乗車シタル旅客ニ對シ鐵道ハ二十錢以內ノ割増運賃又ハ割増拂ノ支拂ヲ受ケタルトキハ之ニ

對スル證券ヲ交付スヘシ

第二十四條 列車出發時刻五分前ニ至ルトキハ鐵道係員ハ鳴鈴其ノ他便宜ノ方法ニテ發車ノ注意ヲ與フヘシ

第二十五條 列車ハ揭示時刻表ニ示サレタル時刻前ニ出發セシムルコトヲ得ス

揭示時刻表ニ掲ケタル列車ノ運轉ハ天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ基因シタル運送上ノ支障アルトキ若ハ之ヲ豫知シタルトキノ外休止スルコトヲ得ス

第二十六條 鐵道係員ハ旅客ノ請求アリタルトキハ坐席ヲ指定スヘシ

必要ト認ムルトキハ旅客ノ請求ナキ場合ト雖坐席ノ指定ヲ爲スコトヲ得

旅客乘車中坐席ヲ離レ特ニ之ヲ占置カサルトキハ他人ノヲ占取スルモ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十七條 囚徒ヲ乘車セシムルトキハ普通旅客ト之ヲ區別スヘシ

第二十八條 列車出發ノ合圖アリタル後ハ旅客ハ乘車スルコトヲ得ス

出發時刻ニ後レタル爲發行當日限り通用ノ乘車券ノ效用ヲ失フニ至リタルトキハ其ノ翌日內ニ限り該乘車券ヲ以テ目的地ニ向ヒ發スル列車ニ乘車スルコトヲ得但シ乘後レノ際運滞ナク其ノ乘車券ヲ鐵道係員ニ提出シ有效ノ證明ヲ受ケタルトキニ限ル

特ニ列車ヲ指定シタル乘車券ノ通用期限ハ前項ノ規定ニ依リテ延長セララルコトナシ

第二十九條 旅客ハ同乗者ニ迷惑ヲ及ホス風體、行爲ヲ爲スヘカラス

車扉ニ凭リ又ハ肢體ヲ車外ニ出タスヘカラス
車内ノ器具、裝飾物ヲ汚損セサル様注意ヲ爲スヘシ

燐寸ノ燃差、煙草ノ吸殻及唾等ヲ唾壺ノ外ニ投スヘカラス

線路係員、通行人等ノ危險ヲ與フルノ虞アル物品ハ猥ニ之ヲ投棄スヘカラス

第三十條 途中客車ニ不足ヲ生シタルトキハ運帶ナク之ヲ補充ノ準備ヲ爲スヘシ

第三十一條 列車カ停車場ニ到着シタルトキハ鐵道係員ハ停車場ノ名稱、乘換アルトキハ其ノ旨並停車時間五分以上アルトキハ其ノ時間ヲ喚呼スヘシ

鐵道係員ハ停車場ニ下車スル旅客ノ爲速ニ車扉ヲ開クヘシ

列車カ停車場外ニ於テ停止スルトキハ縱令長時間ニ涉ルト雖鐵道係員ノ許諾ヲ得ルニ非サレハ下車スルコトヲ得ス

第三十二條 三時間ニ少クトモ一回五分以上停車セサル列車ニハ各客車ニ便所ノ備アルコトヲ要ス

第三十三條 旅客自ラ携帶シ得ル物品ニシテ坐席ヲ塞カス且ノ不潔、臭氣等ノ爲同乗車ニ迷惑ヲ及ホササルモノハ客車内ニ持込ムコトヲ得
前項ノ物品ニ對シテハ旅客自ラ保管ノ責ニ任スルモノトス

第三十四條 犬其ノ他ノ動物ハ客車内ニ携伴スルコトヲ得但シ特約ニ依リ車室ヲ専用スル場合ニ於テ鐵道係員ノ許諾ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 携帶制限ヲ超ユル火藥及危害ヲ他ニ及ホスヘキ虞アル物品ハ客車内ニ持込ムコトヲ得ス

第三章 託送手荷物

第三十六條 旅客カ其ノ旅行ニ必要ナル物品ハ手荷物トシテ之ヲ託送スルコトヲ得但シ貨幣、有價證券其ノ他ノ高價品及動物ハ此ノ限ニ在ラス
特種ノ鐵道又ハ列車ニ付テハ監督官廳ノ認可ヲ得テ手荷物ノ運送ヲ取扱ハサルコトヲ得

第三十七條 火藥類及危害ヲ他ニ及ホスヘキ虞アル物品、臭氣ヲ發シ若ハ不潔ナル物品及容積重量過大ナル物品ハ手荷物トシテ託送スルコトヲ得ス

第三十八條 鐵道ハ旅客一人ニ付少クトモ三十斤迄ノ手荷物ヲ無賃ニテ運送スルノ便ヲ與フヘシ
半賃金ニテ運送スル小兒ノ無賃手荷物斤量ハ前記斤量ノ半ヲ以テ制限トス

劃引乘車券ヲ以テ乘車スル旅客ノ手荷物ニ付テハ監督官廳ノ認可ヲ得テ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第三十九條 斤量ニ依リ運賃ヲ定メサル特定物品ハ小荷物トシテ託送ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ物品ニ付テハ鐵道ハ其ノ種類及運賃ヲ特定シテ監督官廳ノ認可ヲ得之ヲ停車場ニ揭示スルコトヲ要ス

第四十條 託送手荷物ハ物品ノ散逸セサル様鎖錠

緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附著スヘカスラ

第四十一條 手荷物ヲ託送スル者ハ第十五條ニ規定スル乘車券賣出時間内ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ但シ列車出發時刻ヨリ少クトモ五分前ニ之カ手續ヲ爲ササルトキハ次回ノ列車ヲ以テ運送セララルモ故障ヲ述フルコトヲ得ス

第四十二條 手荷物ヲ託送スル者ハ其ノ乘車券ヲ鐵道係員ニ呈示スヘシ

第四十三條 手荷物ヲ託送ヲ受ケタルトキハ引換ノ符票ヲ交付シ之ヲ引換ニ引渡ヲ爲スモノトス

第四十四條 手荷物受取ノ際前條引換ノ符票ヲ所持セサルトキハ其ノ受取ルヘキ權利アルコトヲ證明シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ之カ引渡ヲ請求スルコトヲ得ス

第四十五條 託送手荷物ハ其ノ到達停車場ニ於テ之カ引渡ヲ爲スヘキモノトス但シ時間其ノ他取扱ニ差支ナキトキハ旅客ノ請求ニ應シ中間停車場ニ於テモ之カ引渡ヲ爲スヘシ

前項但書ノ場合ニ於テハ旅客ハ豫メ鐵道係員ニ乘車券ヲ呈示シ引渡ノ請求ヲ爲スヘシ
第一項但書ノ場合ニ於テハ手荷物運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス

第四十六條 第十九條及第二十條ノ場合ニ於テ旅客ヲ送還スルトキハ該旅客ノ託送セル手荷物ハ旅荷ト共ニ之ヲ無賃送還スヘシ此ノ場合ニ於テ手荷物運賃ノ償還ハ旅客運賃ノ例ニ依ル

第四十七條 手荷物到達後二十四時間内ニ引取ラサルトキハ保管料ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ保管料ハ監督官廳ノ認可ヲ得且運賃表ニ附記シテ停車場ニ揭示スルコトヲ要ス

第四十八條 鐵道ハ惡意又ハ重大ナル過失ニ因ラサル手荷物ノ滅失又ハ毀損ニ付テハ旅客一人ニ對シ價格百圓以內ニ限り損害賠償ノ責ニ任スルモノトス

第四十九條 紛失手荷物ニ對シ賠償ヲ爲シタル後豫メ請求アリタル場合ニ於テハ其ノ手荷物ヲ發見シタルトキ速ニ旅客ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ三十日以内ニ賠償金ヲ還付シ手荷物到達地又ハ託送地迄無料ニテ該手荷物ノ送付返還ヲ請求スルコトヲ得
旅客カ本條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ賠償金

領收ノ際書面ヲ以テ之カ豫告ヲ爲スコトヲ要ス

第四章 小荷物(小貨物)運送

第五十條 手荷物車ヲ以テ運送スルニ適スル貨物ハ小荷物トシテ旅客列車(混合列車亦同シ)ヲ以テ運送ノ便ヲ開クヘシ

第三十六條第二項ノ規定ハ小荷物ニ之ヲ準用ス

第五十一條 第三十九條ノ物品ハ旅客ノ請求ニ因リ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スヘシ

第五十二條 行商人及呼賣商人ノ携帶スル商品ハ其ノ請求ニ因リ小荷物トシテ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スヘシ

第五十三條 小荷物ヲ託送セムトスル者ハ列車出發時刻ヨリ少クトモ二十分前迄ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ但シ第五十一條及第五十二條ノ小荷物ニ付テハ第四十一條ノ規定ヲ準用ス

第五十四條 第三十七條、第四十條、第四十三條及第四十四條ノ規定ハ小荷物ノ運送ニ之ヲ準用ス

第五十五條 第四十二條、第四十五條乃至第四十七條ノ規定ハ第五十一條及第五十二條ノ小荷物ニ之ヲ準用ス

第五十六條 小荷物ノ運送ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外第八章ノ規定ヲ準用ス

第五章 死體運送

第五十七條 死體ヲ託送セムトスル者ハ列車始發停車場ニ於テハ其ノ出發時刻ヨリ少クトモ六時間前迄ニ、中間停車場ニ於テハ同時刻ヨリ少クトモ十二時間前迄ニ其ノ申込ヲ爲スヘシ

第五十八條 死體ハ堅固ナル棺槨ニ納メ密塞スヘシ

第五十九條 死體ヲ託送セムトスル者ハ死亡證書ヲ呈示シ且運送狀ニ其ノ寫ヲ添ヘ差出スヘシ

第六十條 死體ノ運送ニハ託送人ニ於テ附添人ヲ附スヘシ

第六十一條 死體ハ手荷物車又ハ有蓋貨車ヲ以テ運送スルモノトス但シ特約ニ因リ特別車ヲ用フル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條 死體ハ他ノ荷物ト離隔搭載スヘシ
飲食物及其ノ原料等ハ死體ト同一車中ニ共載スルコトヲ得ス

第六十三條 死體搭載ノ車輛ハ託送人ノ請求アル場合ノ外旅客列車(混合列車亦同シ)ニ聯結スヘシ

死體ハ成ルヘク到達停車場迄直通スル列車ヲ以テ運送スヘシ又已ムヲ得サル場合ノ外運送中ノヲ轉載スルコトヲ得ス

第六十四條 死體ハ到達後速ニ之ヲ引取ルヘシ若シ六時間内ニ引取ラサルトキハ鐵道ハ所轄警察官署ニ之ヲ届出ツヘシ

第六章 貴重品運送

第六十五條 金銀貨並貴金屬、紙幣、郵便切手、同葉書、印紙、有價證券、寶玉石等貴重品ノ運送ニ付請求スル増賃金ハ左ノ割合ヲ超過スヘカラス

- 一 二十五哩未滿 價格金百圓ニ付(金百圓未滿亦同シ) 金 十 錢
- 一 二十五哩以上五十哩未滿 同 金 十 五 錢
- 一 五十哩以上百哩未滿 同 金 二 十 錢
- 一 百哩以上二百哩未滿 同 金 二 十 五 錢
- 一 二百哩以上ハ二百哩ヲ増ス毎ニ 同 金 五 錢

前項ノ規定ニ準據シ増賃金ノ割合ヲ定ムルトキハ監督官廳ニ届出ツヘシ

増賃金ハ停車場中見易キ場所ニ揭示スルコトヲ要ス

第六十六條 前條ニ明記シタル品目ノ外貴重品ノ品目ヲ定メムルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

貴重品ノ品目ハ停車場見易キ場所ニ揭示スヘシ

第六十七條 貴重品ハ嚴重ニ包裝封印シ列車出發時刻ヨリ少クモ三十分前迄ニ託送ノ手續ヲ爲スヘシ

貴重品託送者ハ運送狀ヲ差出スヘシ

増賃金ノ支拂ニ對シテハ受領書ヲ交付スヘシ

第六十八條 貴量品ノ運送ハ特ニ定メタル列車ニ限ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ其ノ旨ヲ停車場ニ揭示スルコトヲ要ス

第六十九條 貴重品ノ運送ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外第八章ノ規定ヲ準用ス

第七章 動物運送

第七十條 手荷物車ヲ以テ運送スルニ適スル小動物ハ旅客列車(混合列車亦同シ)ヲ以テ運送ノ便ヲ開クヘシ

第七十一條 旅客ノ携帶スル小動物ハ旅客ノ請求ニ因リ旅客ト同一列車ヲ以テ運送スヘシ

第七十二條 小動物ハ其ノ到達停車場ニ於テ即時ニ之ヲ引取ヲ爲スヘシ之ヲ引取ヲ爲ササルトキハ鐵道ハ之ヲ飼養スルノ義務ナシ

第七十三條 旅客ノ携帶スル犬ヲ除ク外小動物ハ逸出ノ虞ナキ籠籠、網若クハ箱等ニ納レ託送スヘシ

第七十四條 旅客列車(混合列車亦同シ)ニ依ル小動物ノ運送ニ付テハ前各條ニ定アル場合ヲ除ク外小荷物運送ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十五條 鐵道ハ動物ノ運送ニ付附添人ヲ請求スルコトヲ得

附添人ノ乘車費ハ下等旅客運賃ノ定額ヲ超過スルコトヲ得ス

附添人ハ動物ヲ監視シ驛長ノ認諾ヲ受クルニ非サレハ他車ニ轉乘スルコトヲ得ス

附添人ハ糞、枯草等燃エ易キ物品アルトキハ喫煙具及發火シ易キ物品ヲ車中ニ携帶スルコトヲ得ス

第七十六條 猛獸ヲ託送セムトスル者ハ逸走其ノ他危害防止ノ爲充分ナル羈絆ヲ施スヘシ

第七十七條 動物ヲ託送セムトスル者ハ豫メ其ノ申込ヲ爲シ列車出發時刻ヨリ少クモ一時間前迄ニ之ヲ停車場ニ送致スヘシ

鐵道カ動物運送列車ヲ定メテ公告シタルトキハ託送人ハ前項ノ申込ヲ爲スコトヲ要セス

第七十八條 動物ノ積卸ハ鐵道ノ請求アルトキハ託送人、受取人ニ於テ之ヲ擔當シ且ニ之ニ要スル材料ヲ準備スヘシ

第七十九條 小動物ノ外動物ノ到達ノ通知ヲ受ケタル後速ニ之ヲ引取ヲ爲スヘシ之ヲ引取ヲ爲ササルトキハ鐵道ハ之ヲ飼養スルノ義務ナシ

第八十條 託送ノ際價格ヲ明告シ鐵道ノ請求ニ因リ増賃金ヲ支拂ヒタル場合ノ外鐵道ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因ラサル獸類ノ紛失損傷ニ付テハ左ニ掲クル金額以内ニ限リ賠償ヲ請求スルコトヲ得

- 一 馬 一頭ニ付 金七十圓
- 一 乳牛 同 金百圓
- 一 牛 同 金三十圓
- 一 犢 同 金十圓
- 一 羊 同 金十圓

- 一 豚 同 金五圓
- 一 山羊 同 金十圓
- 一 其ノ他ノ獸類 同 金五圓

第八十一條 託送ノ際明告セラレタル價格前條制限額ヲ超ユルトキハ鐵道ハ其ノ超過額ニ對シ左ニ掲クル割合以内ニ於テ増賃金ヲ請求スルコトヲ得

- 一 五十哩未滿 價格金十圓ニ付(金十圓未滿亦同シ) 金 十 錢
- 一 五十哩以上百哩未滿 同 金 十 五 錢
- 一 百哩以上二百哩未滿 同 金 二 十 錢
- 一 二百哩以上ハ二百哩ヲ増ス毎ニ 同 金 五 錢

前項ノ規程ニ準據シ増賃金ヲ定ムルトキハ監督官廳ニ届出ツヘシ

増賃金ハ停車場中見易キ場所ニ揭示スルコトヲ要ス

第八十二條 動物ノ運送ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外第八章ノ規定ヲ準用ス

第八章 大荷物(大貨物)運送

第八十三條 鐵道カ直ニ運送ヲ爲スコトヲ得サル場合ニ於テ特約ヲ以テ發送迄保管ノ爲貨物ノ引渡ヲ受ケタルトキハ運送狀ニ特約ノ條件ヲ明記スルコトヲ要ス

荷送人ハ鐵道ノ承諾ヲ得テ停車場其ノ他ノ鐵道地内ニ自己ノ責任ヲ以テ發送迄一時貨物ヲ留置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ鐵道ハ相當ノ留置料ヲ請求スルコトヲ得

第八十四條 貨物ヲ託送セムトスル者ハ貨物取扱時間内ニ運送狀ヲ添ヘ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第八十五條 運送狀ニハ左ノ事項ヲ掲クルコトヲ要ス

- 一 運送狀作成ノ地及年月日
- 二 發送停車場ノ名稱
- 三 到達停車場及所屬鐵道名
- 四 届先、荷受人ノ氏名又ハ商號及住所
- 五 貨物ノ品名、重量又ハ容積及其ノ荷造ノ種類、箇數並記號
- 六 價格ヲ明告スヘキトキハ其ノ價格
- 七 運送便ノ種類
- 八 運賃ノ支拂方法

- 九 貨物引換證請求ノ有無
- 十 特約ノ條件アルトキハ其ノ事項
- 十一 荷造人ノ氏名又ハ商號及住所

第八十五條ノ二 運送狀ニ記載シタル貨物ノ品名、重量、容積又ハ箇數ニ基キ計算シタル運賃カ正當運賃ニ不足スル場合ニハ鐵道ハ不足額ノ外其ノ十倍以内ノ増運賃ヲ請求スルコトヲ得

荷送人カ火藥類其ノ他危害ヲ他ニ及ホスヘキ處アル物品ヲ他ノ品名ニ依リ託送シタルトキハ前項ノ規定ニ依ルノ外鐵道ハ其ノ實斤量ニ對シ一斤ニ付キ金三圓以内ノ増運賃ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ損害賠償ノ請求ヲ妨ケス

第八十六條 鐵道ハ運送狀ノ式紙ヲ停車場ニ備置キ荷送人ノ使用ニ供スヘシ

第八十七條 託送ノ際荷送人ノ請求アルトキハ鐵道ハ運送狀ノ謄本ヲ交付スヘシ此ノ場合ニ於テハ金五錢以内ノ手数料ヲ請求スルコトヲ得

第八十八條 鐵道ハ貨物ノ運送ヲ引受ケタルトキハ運送狀ニ其ノ受付番號ヲ記入スヘシ

第八十九條 貨物引換證ニハ左ノ事項ヲ掲クルコトヲ要ス

- 一 貨物引換證作成ノ地及年月日
- 二 第八十五條第二號乃至第八號第十號及第十一號ニ掲ケタル事項
- 三 第八十八條ノ受付番號
- 四 運賃、増賃金、料金ノ額及其ノ受否

第九十條 荷送人ハ貨物ノ性質ニ依リ運送中ノ減量又ハ毀損ヲ防クニ必要ナル荷造ヲ爲スヘシ

貨物ニハ各箇ニ箇數、記號、宛名等ヲ明瞭ニ其ノ外面ニ標記シ他物ト取違ハサル様注意ヲ爲スヘシ且成ルヘク到達停車場名ヲ附記スヘシ

第九十一條 貨主カ貨物ノ積卸ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ鐵道ハ積卸時間ヲ定メ貨主ニ其ノ通知ヲ發スヘシ

鐵道ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ前項ノ通知ヲ發スルコト能ハサルトキハ當該停車場ノ揭示ヲ以テ之ニ代フコトヲ得

貨主カ第一項ノ時間内ニ積卸ヲ爲ササルトキハ鐵道ハ監督官廳ノ認可ヲ得タル貨車留置料ヲ請求シ又ハ荷受人ノ費用ヲ以テ貨物ノ積卸ヲ爲スコトヲ得

第九十二條 貸切貨車積貨物及一箇ノ長二十尺、

重量五百斤又ハ容積四十立方尺ヲ超ユル貨物ノ積卸ハ貨主ノ負擔トス

第九十三條 貨主カ積卸ヲ負擔スル場合ニ於テ鐵道所屬ノ器具ヲ使用スルキハ鐵道ハ監督官廳ノ認可ヲ得タル料金ヲ請求スルコトヲ得

第九十四條 貨物ノ運賃其ノ他運送ノ爲受クル料金ハ鐵道ノ認諾アルトキノ外貨物託送ノ際ニ之ヲ支拂フヘシ

運賃金額ヲ確定スルコトヲ得サルトキハ鐵道ハ概算拂ヲ請求スルコトヲ得

第九十五條 錠鎖保護ヲ要シ又ハ雨浸ヲ避クルノ必要アルモノ若ハ火氣ニ感シ易キ物品ハ有蓋貨車ニ搭載スヘシ但シ特約アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十六條 鐵道ハ無蓋貨車用ノ覆布及綱ヲ準備スヘキモノトス其ノ使用ニ對シ料金ヲ請求スルコトヲ得但シ貨車貸切ノ場合ニ於テ特約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十七條 貨物カ到達停車場ニ到達シタルトキハ鐵道ハ遲滞ナク引取時間ヲ定メテ到達ノ通知ヲ發スヘシ但シ配達ヲ爲スヘキ貨物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十一條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十八條 荷受人カ前條ノ引取時間内ニ貨物ノ引渡ニ應セサルトキハ鐵道ハ監督官廳ノ認可ヲ得タル貨物保管料ヲ請求スルコトヲ得荷受人カ貨物ノ引渡ヲ受ケタル後其ノ引取ヲ爲ササルトキハ鐵道ハ貨物留置料ヲ請求スルコトヲ得但シ引取時間内ハ此ノ限ニ在ラス

第九十九條 貨物ノ滅失又ハ毀損アルトキハ鐵道ハ速ニ調査ヲ遂ケ之ヲ書面ニ具シ荷受人及荷受人ニ通知スヘシ

第一百條 貨物引換證ヲ交付シタル場合ニ於テ該證ノ紛失等ニ因リ之ト引換ニ貨物ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得サルトキハ鐵道ハ引渡請求人ニ於テ其ノ權利ヲ證明シ又ハ相當ノ擔保ヲ供シタルトキニ限り貨物引渡ノ義務アルモノトス

第一百一條 貨物引渡ノ際重量ノ検査若ハ貨物ノ狀態ニ付證明ヲ請求セラレタルトキハ鐵道ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第一百二條 第十九條ノ規定ハ貨物ノ運送ニ之ヲ準用ス

附 則

第一百三條 本規程ハ鐵道營業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一百四條 鐵道カ外國ト連絡運輸ヲ爲ス場合ニ於テハ本規程ニ依ラサルコトヲ得但シ私設鐵道ニ在リテハ監督官廳ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス

鐵道敷設法

大正十一年四月十日法律第三七號

第一條 帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲政府ノ敷設スヘキ豫定鐵道線路ハ別表ニ掲グル所ニ依ル

第二條 政府ハ前條豫定鐵道線路ヲ調査敷設セムトスルトキハ經費ヲ豫算ヲ定メ漸次繼續費トシテ帝國議會ノ協賛ヲ求ムヘシ

第三條 豫定鐵道線路ニ該當スルモノト雖一地方ノ交通ヲ目的トスルモノニ在リテハ政府ハ地方鐵道トシテ其ノ敷設ヲ免許スルコトヲ得

第四條 豫定鐵道線路ヲ變更シ又ハ豫定鐵道線路中新ニ工事ニ著手スルモノヲ定ムルトキハ鐵道會議ノ諮詢ヲ經ヘシ

第五條 鐵道會議ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法、北海道鐵道施設法、明治二十七年法律第六號乃至第十號、同年法律第十二號乃至第十五號、明治二十九年法律第七十二號乃至第七十七號、明治三十年法律第十一號、同年法律第三十二號、同年法律第三十三號及同年法律第三十五號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前鐵道建設費豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經タル鐵道線路ハ本法ニ依リ敷設スルモノト看做ス

(別表)

- 一 青森縣田名部ヨリ大畑ヲ經テ大間ニ至ル鐵道
二 青森縣青森ヨリ三厩、小泊ヲ經テ五所川原ニ至ル鐵道
三 青森縣弘前ヨリ田代ニ至ル鐵道
四 青森縣三戸ヨリ七戸ヲ經テ千曳ニ至ル鐵道
五 青森縣三戸ヨリ秋田縣毛馬内ヲ經テ花輪ニ至ル鐵道

六 岩手縣久慈ヨリ小本ヲ經テ宮古ニ至ル鐵道
七 岩手縣山田ヨリ釜石ヲ經テ大船渡ニ至ル鐵道

八 岩手縣小島谷ヨリ葛巻ヲ經テ裏野附近ニ至ル鐵道及落合附近ヨリ分岐シテ茂市ニ至ル鐵道
八ノ二 岩手縣花巻ヨリ遠野ヲ經テ釜石ニ至ル鐵道

九 岩手縣川井ヨリ遠野ヲ經テ高田ニ至ル鐵道
十 岩手縣一戸ヨリ荒屋ニ至ル鐵道

十一 岩手縣雫石ヨリ川尻ニ至ル鐵道
十二 岩手縣一ノ關ヨリ槻木附近ニ至ル鐵道

十三 秋田縣鷹ノ巣ヨリ阿仁合ヲ經テ角館ニ至ル鐵道
十四 秋田縣生保内ヨリ鳩ノ湯附近ニ至ル鐵道

十五 秋田縣本莊ヨリ矢島ヲ經テ院内ニ至ル鐵道
十六 秋田縣十文字ヨリ檜山臺附近ニ至ル鐵道

十七 宮城縣氣仙沼ヨリ津谷、志津川ヲ經テ前田尻ニ至ル鐵道
十八 宮城縣松島ヨリ石巻ヲ經テ女川ニ至ル鐵道

十九 宮城縣仙臺ヨリ古川ニ至ル鐵道
二十 宮城縣仙臺ヨリ山形縣山寺ヲ經テ山形ニ至ル鐵道及宮城縣川崎附近ヨリ分岐シテ山形縣神町ニ至ル鐵道

二十一 宮城縣長町ヨリ青根附近ニ至ル鐵道
二十二 宮城縣白石ヨリ山形縣上ノ山ニ至ル鐵道

二十三 山形縣鶴岡ヨリ大鳥ニ至ル鐵道
二十四 山形縣楯岡ヨリ寒河江ニ至ル鐵道

二十五 山形縣左澤ヨリ荒砥ニ至ル鐵道
二十六 山形縣米澤ヨリ福島縣喜多方ニ至ル鐵道

二十七 福島縣福島ヨリ宮城縣丸森ヲ經テ福島縣中村ニ至ル鐵道及丸森ヨリ分岐シテ白石ニ至ル鐵道

二十八 福島縣川俣ヨリ浪江ニ至ル鐵道
二十九 福島縣柳津ヨリ只見ヲ經テ新瀉縣小出ニ至ル鐵道及只見ヨリ分岐シテ古町ニ至ル鐵道

三十 福島縣須賀川ヨリ長沼ニ至ル鐵道

三十一 福島縣平ヨリ小名濱ニ至ル鐵道

三十二 福島縣石川ヨリ植田ニ至ル鐵道

三十三 栃木縣今市ヨリ高德ヲ經テ福島縣田島ニ至ル鐵道及高德ヨリ分岐シテ矢板ニ至ル鐵道

三十四 栃木縣日光ヨリ足尾ニ至ル鐵道

三十五 栃木縣鹿沼ヨリ栃木ヲ經テ茨城縣古河ニ至ル鐵道

三十六 栃木縣茂木ヨリ烏山ヲ經テ茨城縣大子ニ至ル鐵道及栃木縣大榎附近ヨリ分岐シテ黒磯ニ至ル鐵道

三十七 栃木縣市塙ヨリ寶積寺ニ至ル鐵道

三十八 茨城縣水戸ヨリ阿野澤ヲ經テ東野附近ニ至ル鐵道及阿野澤ヨリ分岐シテ栃木縣茂木ニ至ル鐵道

三十九 茨城縣水戸ヨリ鉦田ヲ經テ鹿島ニ至ル鐵道

四十 茨城縣常陸大宮ヨリ太田ヲ經テ大甕ニ至ル鐵道

四十一 茨城縣縣田ヨリ上菅谷ニ至ル鐵道

四十二 茨城縣高濱ヨリ玉造ヲ經テ延方ニ至ル鐵道及玉造ヨリ分岐シテ鉦田ニ至ル鐵道

四十三 茨城縣土浦ヨリ水海道、境、埼玉縣久喜、鴻巣、坂戸ヲ經テ飯能ニ至ル鐵道及水海道ヨリ分岐シテ佐貫ニ至ル鐵道及境ヨリ分岐シテ古河ニ至ル鐵道

四十五 茨城縣土浦ヨリ江戸崎ニ至ル鐵道

四十五 茨城縣古河ヨリ栃木縣佐野ニ至ル鐵道

四十六 千葉縣佐原ヨリ小見川ヲ經テ松岸ニ至ル鐵道及小見川ヨリ分岐シテ八日市場ニ至ル鐵道

四十七 千葉縣八幡宿ヨリ大多喜ヲ經テ小湊ニ至ル鐵道

四十八 千葉縣木更津ヨリ久留里、大多喜ヲ經テ大原ニ至ル鐵道

四十九 千葉縣上總湊ヨリ鴨川ニ至ル鐵道

五十 千葉縣船橋ヨリ佐倉ニ至ル鐵道

五十ノ二 千葉縣我孫子ヨリ埼玉縣大宮ニ至ル鐵道

五十ノ三 埼玉縣與野ヨリ東京府立川ニ至ル鐵道

五十一 東京府八王子ヨリ埼玉縣飯能ヲ經テ群馬縣高崎ニ至ル鐵道

- 五十二 東京府大崎ヨリ神奈川県長津田ヲ經テ松田ニ至ル鐵道
- 五十三 神奈川県横須賀ヨリ浦賀ニ至ル鐵道
- 五十四 群馬縣澁川ヨリ中之條ヲ經テ長野原ニ至ル鐵道
- 五十五 新潟縣來迎寺ヨリ小千谷ヲ經テ岩澤ニ至ル鐵道
- 五十五ノ二 新潟縣白山ヨリ新發田ニ至ル鐵道
- 五十六 佐渡國夷ヨリ河原田ヲ經テ相川ニ至ル鐵道
- 五十七 長野縣豊野ヨリ飯山ヲ經テ新潟縣十日町ニ至ル鐵道及飯山ヨリ分岐シテ屋代ニ至ル鐵道
- 五十八 長野縣小海附近ヨリ山梨縣小淵澤ニ至ル鐵道
- 五十九 長野縣松本ヨリ岐阜縣高山ニ至ル鐵道
- 六十 長野縣長野ヨリ飯田ヲ經テ静岡縣濱松ニ至ル鐵道及飯田ヨリ分岐シテ三留野ニ至ル鐵道
- 六十一 静岡縣熱海ヨリ下田、松崎ヲ經テ大仁ニ至ル鐵道
- 六十二 静岡縣御殿場ヨリ山梨縣吉田ヲ經テ静岡縣大宮ニ至ル鐵道及吉田ヨリ分岐シテ大月ニ至ル鐵道
- 六十三 静岡縣掛川ヨリ二俣、愛知縣大野、静岡縣浦川、愛知縣武節ヲ經テ岐阜縣大井ニ至ル鐵道及大野附近ヨリ分岐シテ長篠ニ至ル鐵道及浦川附近ヨリ分岐シテ静岡縣佐久間附近ニ至ル鐵道
- 六十四 富山縣猪谷ヨリ岐阜縣船津ニ至ル鐵道
- 六十五 富山縣八尾ヨリ福光ヲ經テ石川縣金澤附近ニ至ル鐵道
- 六十六 富山縣氷見ヨリ石川縣羽咋ニ至ル鐵道
- 六十七 石川縣羽咋ヨリ高濱ヲ經テ三井附近ニ至ル鐵道
- 六十八 石川縣穴水ヨリ宇出津ヲ經テ飯田ニ至ル鐵道
- 六十九 愛知縣千種ヨリ學母ヲ經テ武節ニ至ル鐵道
- 七十 愛知縣豐橋ヨリ伊良湖岬ニ至ル鐵道
- 七十ノ二 愛知縣岡崎ヨリ學母ヲ經テ岐阜縣多治見ニ至ル鐵道
- 七十一 愛知縣武豐ヨリ師崎ニ至ル鐵道

- 七十二 愛知縣名古屋ヨリ岐阜縣太田ニ至ル鐵道
- 七十三 岐阜縣中津川ヨリ下呂附近ニ至ル鐵道
- 七十四 岐阜縣大垣ヨリ福井縣大野ヲ經テ石川縣金澤ニ至ル鐵道
- 七十五 三重縣四日市ヨリ岐阜縣關ヶ原ヲ經テ滋賀縣木ノ本ニ至ル鐵道
- 七十六 滋賀縣貴生川ヨリ京都府加茂ニ至ル鐵道
- 七十七 滋賀縣濱大津ヨリ高城ヲ經テ福井縣三宅ニ至ル鐵道及高城ヨリ分岐シテ京都府二條ニ至ル鐵道
- 七十八 京都府園部ヨリ兵庫縣篠山附近ニ至ル鐵道
- 七十九 京都府殿田附近ヨリ福井縣小濱ニ至ル鐵道
- 八十 京都府山田ヨリ兵庫縣出石ヲ經テ豐岡ニ至ル鐵道
- 八十一 奈良縣櫻井ヨリ榛原、三重縣張名ヲ經テ松阪ニ至ル鐵道及名張ヨリ分岐シテ伊賀上野附近ニ至ル鐵道及榛原ヨリ分岐シテ松山ヲ經テ吉野ニ至ル鐵道
- 八十二 奈良縣五條ヨリ和歌山縣新宮ニ至ル鐵道
- 八十三 兵庫縣谷川ヨリ西脇、北條ヲ經テ姫路附近ニ至ル鐵道
- 八十四 兵庫縣姫路ヨリ岡山縣江見ヲ經テ津山ニ至ル鐵道
- 八十五 兵庫縣上郡ヨリ佐用ヲ經テ鳥取縣智頭ニ至ル鐵道
- 八十六 兵庫縣有年ヨリ岡山縣伊部ヲ經テ西大寺附近ニ至ル鐵道
- 八十七 淡路國岩屋ヨリ洲本ヲ經テ福良ニ至ル鐵道
- 八十八 鳥取縣郡家ヨリ若櫻ヲ經テ兵庫縣八鹿附近ニ至ル鐵道
- 八十九 岡山縣勝山ヨリ鳥取縣倉吉ニ至ル鐵道
- 九十 岡山縣倉敷ヨリ茶屋町ニ至ル鐵道
- 九十一 廣島縣福山ヨリ府中、三次、島根縣來島ヲ經テ出雲今市ニ至ル鐵道及來島附近ヨリ分岐シテ木次ニ至ル鐵道
- 九十二 廣島縣吉田口附近ヨリ大朝附近ニ至ル鐵道

- 九十三 廣島縣三原ヨリ竹原ヲ經テ吳ニ至ル鐵道
- 九十四 廣島縣廣島ヨリ加計ヲ經テ島根縣濱田附近ニ至ル鐵道
- 九十五 島根縣瀧原附近ヨリ大森ヲ經テ石見大田ニ至ル鐵道
- 九十六 山口縣岩國ヨリ島根縣日原ニ至ル鐵道
- 九十七 山口縣岩國ヨリ玖珂ヲ經テ徳山ニ至ル鐵道
- 九十八 山口縣徳佐ヨリ大井ニ至ル鐵道
- 九十九 山口縣小郡ヨリ大田ヲ經テ萩ニ至ル鐵道及大田附近ヨリ分岐シテ於福ニ至ル鐵道
- 四國ノ部
- 百 香川縣高松ヨリ琴平ニ至ル鐵道
- 百一 愛媛縣川之江ヨリ徳島縣阿波池田附近ニ至ル鐵道
- 百二 愛媛縣松山附近ヨリ高知縣越知ヲ經テ佐川ニ至ル鐵道
- 百三 愛媛縣入幡濱ヨリ卯ノ町、宮野下、宇和島ヲ經テ高知縣中村ニ至ル鐵道及宮ノ下ヨリ分岐シテ高知縣中村ニ至ル鐵道
- 百四 愛媛縣大洲附近ヨリ近永附近ニ至ル鐵道
- 百五 高知縣江川崎附近ヨリ窪川ヲ經テ崎山附近ニ至ル鐵道
- 百六 高知縣川内附近ヨリ高岡ヲ經テ宇佐ニ至ル鐵道
- 百七 高知縣後免ヨリ安藝、徳島縣日和佐ヲ經テ古庄附近ニ至ル鐵道
- 百八 高知縣山田ヨリ巖野附近ニ至ル鐵道
- 九州ノ部
- 百九 福岡縣博多ヨリ佐賀縣山本ニ至ル鐵道
- 百十 福岡縣篠栗ヨリ長尾附近ニ至ル鐵道
- 百十一 福岡縣久留米ヨリ熊本縣山鹿ヲ經テ宮原附近ニ至ル鐵道
- 百十二 佐賀縣岸嶽ヨリ伊萬里ニ至ル鐵道
- 百十三 佐賀縣佐賀ヨリ福岡縣矢部川、熊本縣隅府ヲ經テ肥後大津ニ至ル鐵道及隅府ヨリ分岐シテ大分縣森附近ニ至ル鐵道
- 百十四 佐賀縣肥前山口附近ヨリ鹿島ヲ經テ長崎縣諫早ニ至ル鐵道
- 百十四ノ二 長崎縣喜々津ヨリ矢ヒヲ經テ浦上ニ至ル鐵道
- 百十五 大分縣中津ヨリ日田ニ至ル鐵道

- 百十六 大分縣杵築ヨリ富來ヲ經テ宇佐附近ニ至ル鐵道
- 百十七 大分縣幸崎ヨリ佐賀關ニ至ル鐵道
- 百十八 大分縣臼杵ヨリ三重ニ至ル鐵道
- 百十九 熊本縣高森ヨリ宮崎縣三田井ヲ經テ延岡ニ至ル鐵道
- 百二十 熊本縣高森ヨリ瀧水附近ニ至ル鐵道
- 百二十一 熊本縣宇土ヨリ濱町ヲ經テ宮崎縣三田井附近ニ至ル鐵道
- 百二十二 熊本縣湯前ヨリ宮崎縣杉安ニ至ル鐵道
- 百二十三 宮崎縣小林ヨリ宮崎ニ至ル鐵道
- 百二十四 鹿兒島縣山野ヨリ熊本縣水俣ニ至ル鐵道
- 百二十五 鹿兒島縣國分ヨリ宮崎縣都城ニ至ル鐵道
- 百二十六 鹿兒島縣國分ヨリ高須、志布志、宮崎縣福島ヲ經テ内海附近ニ至ル鐵道及高須ヨリ分岐シテ鹿兒島縣川北附近ニ至ル鐵道
- 百二十七 鹿兒島縣鹿兒島附近ヨリ指宿、枕崎ヲ經テ加世田ニ至ル鐵道
- 北海道ノ部
- 百二十八 渡島國函館ヨリ釜谷ニ至ル鐵道
- 百二十九 渡島國上磯ヨリ木古内ヲ經テ江差ニ至ル鐵道及木古内ヨリ分岐シテ福山ニ至ル鐵道
- 百三十 膽振國八雲ヨリ後志國利別ニ至ル鐵道
- 百三十一 膽振國京極ヨリ喜茂別、壯瞥ヲ經テ紋鼈ニ至ル鐵道
- 百三十二 膽振國京極ヨリ留壽都ヲ經テ壯瞥ニ至ル鐵道
- 百三十三 膽振國苫小牧ヨリ鶴川、日高國浦河十勝國廣尾ヲ經テ帶廣ニ至ル鐵道
- 百三十四 膽振國鶴川ヨリ石狩國金山ニ至ル鐵道及「ペンケオロロツブナイ」附近ヨリ分岐シテ石狩國登川ニ至ル鐵道
- 百三十五 石狩國札幌ヨリ石狩ヲ經テ天鹽國増毛ニ至ル鐵道
- 百三十六 石狩國札幌ヨリ當別ヲ經テ沼田ニ至ル鐵道
- 百三十七 石狩國白石ヨリ膽振國廣島ヲ經テ追分ニ至ル鐵道及廣島ヨリ分岐シテ苫小牧ニ至ル鐵道

(72) 關係法規

- 百三十八 石狩國比布ヨリ下愛別附近ニ至ル鐵道
- 百三十九 石狩國「ルベシベ」ヨリ北見國瀧ノ上ニ至ル鐵道
- 百四十 日高國高江附近ヨリ十勝國帶廣ニ至ル鐵道
- 百四十一 十勝國上士幌ヨリ石狩國「ルベシベ」ニ至ル鐵道
- 百四十二 十勝國芽室ヨリ「トムラウシ」附近ニ至ル鐵道
- 百四十三 天鹽國名寄ヨリ石狩國雨龍ヲ經テ天鹽國羽幌ニ至ル鐵道
- 百四十四 天鹽國羽幌ヨリ天鹽ヲ經テ下沙流別附近ニ至ル鐵道
- 百四十五 北見國興部ヨリ幌別、枝幸ヲ經テ濱頓別ニ至ル鐵道及幌別ヨリ分岐シテ小頓別ニ至ル鐵道
- 百四十六 北見國中湧別ヨリ常呂ヲ經テ網走ニ至ル鐵道
- 百四十七 北見國留邊藥ヨリ伊頓武華ニ至ル鐵道
- 百四十八 釧路國釧路ヨリ北見國相生ニ至ル鐵道
- 百四十九 根室國厚床附近ヨリ標津ヲ經テ北見國斜里ニ至ル鐵道

鐵道會議官制

大正十一年七月廿六日勅令第三四四號

- 第一條 鐵道會議ハ鐵道大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮詢ニ應シ鐵道敷設法第四條ニ規定スル事項ヲ調査審議ス
- 前項ノ外鐵道會議ハ鐵道ニ關スル事項ニ付鐵道大臣ノ諮詢ニ應シテ意見ヲ開申シ又ハ關係各大臣ニ建議スルコトヲ得
- 第二條 鐵道會議ハ議長一人及議員四十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス
- 前項定員ノ外必要アル場合ニ於テハ臨時議員ヲ置クコトヲ得
- 第三條 議長ハ鐵道大臣ヲ以テ之ニ充ツ
- 議員及臨時議員ハ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ鐵道大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス

- 第四條 議長ハ議事ヲ整理シ會務ヲ總理ス
- 議長事故アルトキハ鐵道大臣ノ指名シタル議員其ノ職務ヲ代理ス
- 第五條 鐵道會議ニ幹事一人ヲ置ク鐵道省高等官ノ中ヨリ鐵道大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス
- 幹事ハ議長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
- 第六條 鐵道會議ニ書記ヲ置ク鐵道省判任官ノ内ヨリ鐵道大臣ノ命ス
- 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 附則
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 鐵道會議規則ハ之ヲ廢止ス

鐵道會議議員

(昭和二年十二月十日現在) (いろは順)

議長	鐵道大臣	小川平吉
議員	正三位 勳一等	犬塚勝太郎
	正四位 勳三等	井出繁三郎
		伊坂秀五郎
	從四位 勳一等	馬場鏞一
	內閣書記官長	鳩山一郎
	陸軍次官	畑英太郎
	鐵道次官	八田嘉明
	正三位 勳三等 子爵	大河内正敏
	從六位 勳五等	太田光熙
	海軍次官	大角岑生
	正四位 勳二等 伯爵	小笠原長幹
	勳三等	横山金太郎
	正四位 勳二等	根津嘉一郎
	鐵道省建設局長男爵	鍋島桂次郎
	從三位 勳一等	中村謙一
	勳三等	内田嘉吉
	海軍中將	植場平
	大藏次官	野村吉三郎
		黒田英雄
		熊谷巖
	遞信次官	桑山鐵男
	鐵道省經理局長	矢田部良造
	從二位 勳一等 男爵	山根武亮

關係法規 (73)

正八位	山本条太郎	商工政務次官	吉植庄一郎
從五位 勳四等	山本厚三	陸軍政務次官	竹内友治郎
法制局長官	馬越恭平	從四位 勳三等 男爵	辻太郎
正六位 勳三等	前田米藏	從五位	武藤山治
從三位 勳一等 男爵	藤山雷太	內務政務次官	武藤金吉
正四位 勳三等 男爵	古市公威	勳三等	村松龜一郎
從三位 勳一等	福原俊丸	海軍政務次官	内田信也
農林次官	小松謙次郎	鐵道政務次官	上埜安太郎
正三位 勳三等 子爵	阿部壽進	正三位 勳二等	野村龍太郎
勳四等	青木信光	從三位 勳一等	古川阪次郎
勳四等	齋藤隆夫	鐵道省監督局長	福富正男
陸軍中將	佐々木平次郎	農林政務次官	東武
商工次官 男爵	南次郎	遞信政務次官	秋田清
陸軍少將	四條隆英	從四位 勳三等	佐竹三吾
從三位 勳一等	廣瀬壽助	正四位 侯爵	佐佐木行忠
內務次官	元田肇	鐵道參與官	志賀和多利
	杉山四五郎		重松重治
臨時議員		正五位 勳六等	關一
大藏政務次官	大口喜六	幹事	
從三位 勳二等	若宮貞夫	鐵道書記官	大江武男
鐵道省工務局長	加賀山學		

鐵道創業當時ノ運送法規 (參考)

鐵道略則 (明治五年五月四日 第百四十六號布告)

- 第一條 賃金ノ事
- 何人ニ限ラズ鐵道ノ列車ニテ旅行セント欲スル者ハ先ヅ賃金ヲ拂ヒ手形ヲ受取ルベシ然ラザレバ決シテ列車ニ乗ルベカラズ。
- 第二條 手形検査及渡方ノ事
- 手形検査ノ節ハ改ヲ受ケ取集ノ節ハ渡スベシ若シ検査ノ節手形ヲ出サズ或ハ取集ノ節手形ヲ渡サマル者ハ更ニ最初發車ノ「ステーション」(ステーショントハ列車ノ立場ニテ旅客ノ乗リ下リ荷物ノ積ミ下シヲ爲ス所ヲ云フ)ヨリノ賃金ヲ拂ハシムベシ最モ途中ヨリ乗リ來リシ者ニテ其確證判然タルトキハ其乗リタル場所ヨリノ賃金ヲ拂ハシムベシ。
- 第三條 途中「ステーション」ニテ乗組並ニ手形ノ事
- 途中「ステーション」ニ於テハ列車中餘地ノ有無ニ應ジテ乗組ムコトヲ得ベシ若シ其手形ヲ買取シ總人數ヲ容ルベキ餘地ナキトキハ其中ニテ最

- モ遠キ地ニ趣ク手形所持ノ人丈先ヅ乗組ムコトヲ得ベシ若又同哩程ノ地ニ趣ク客數人アル時ハ其手形ノ番號ノ順序ヲ以テ乗ルコトヲ得ベシ。
- 第四條 欺偽ノ者扱方ノ事
- 何人ニ限ラズ賃金ヲ拂ハズ列車ニテ旅行セント計リ或ハ遂ニ旅行シ又ハ拂ヒシ賃金高相當ノ車ニ乗ラスシテ更ニ上等ノ車ニ乗組又ハ既ニ車ヨリ下ルベキ場所ヲ過ギ増賃金ヲ拂ハズシテ遠キ場所ニ至リ遂ニ其賃金ヲ免レント計リ又ハ既ニ拂ヒタル賃金ニテ到ルベキ場所ニ到リ乍ラ車ヨリ下リ去ル事ヲ肯ゼズ其外如何ナル仕方ニテモ賃金拂方ヲ逃レントスル者ハ夫々法ニ隨テ罰スベシ。
- 第五條 列車運轉中出入禁止ノ事
- 總ジテ列車ノ運轉中出入スルコト又ハ車内旅客ノ居ル可キ場所ノ外ニ乗ルコトヲ禁ズ。
- 第六條 抱擔等ノ病人ヲ禁止スル事
- 抱擔及傳染病ヲ煩フ者ハ乗車ヲ禁ズ若シ此等ノ病人車中ニ在ラバ見當リ次第鐵道掛リノモノヨリ車外並ニ鐵道構外ヘ退去セシムベシ。

第七條 吸煙竝ニ婦人部屋男子出入禁止ノ事
 何人ニ限ラズ「ステーション」構内吸煙ヲ禁ゼシ
 場所竝ニ吸煙ヲ禁ゼシ車内ニテ吸煙スルコトヲ
 許サズ且ツ婦人ノ爲ニ設ケアル車及部屋等ヘ男
 子妄リニ立入ルヲ許サズ若シ右等ノ禁ヲ犯シ掛
 リノモノ、戒メヲ用キザル者ハ車外竝ニ鐵道構
 外ヘ直ニ退去セシムベシ。

第八條 醉人及不行狀人扱方ノ事
 何人ニ限ラズ總テ列車ノ乗組中又ハ「ステーシ
 ョン」竝ニ鐵道構内ニテ醉ニ乗ジ安狀ヲ現ハス
 者又ハ不良ノ行狀ヲ爲ス者ハ鐵道掛リノ者ヨリ
 車外及鐵道構外ヘ直ニ退去セシムベシ。

第九條 鐵道ニ屬スル物品ヲ毀損スル時ノ事
 何人ニ限ラズ限リ「ステーション」其他鐵道構
 内ニ標識指示セル書附等剝シ或ハ破リ又ハ列車
 ノ番號札ヲ取除キ或ハ車燈ヲ消シ又ハ各車ノ諸
 器械倉庫建家柵欄其他鐵道一切ノ附屬品ヲ毀損
 スルモノハ都テ法ニ隨テ處置スベシ。

第十條 機關車等ヘ乗込ヲ禁ズル事
 機關方竝ニ火夫ノ外ハ其筋ノ許ヲ得ズシテ機關
 車又ハ炭水車ニ乗リ或ハ乘ラント爲スベカラズ
 且ツ車長及車掛リノ外其筋ノ許ヲ得ズシテ荷物
 又ハ旅客ノ爲ニ設ケザル車ニ乗リ又ハ乘ラント
 爲スベカラズ若シ此禁ヲ犯シ鐵道掛リノ者ノ制
 止ヲ用キザル者ハ直ニ其場ヨリ退去セシムベシ。

第十一條 鐵道地所ヘ妄リニ立入者取扱方ノ事
 何人ニ限ラズ「ステーション」又ハ鐵道構内ヘ妄
 ニ立入ル者ハ鐵道掛リノ者ヨリ即刻構外ヘ立去
 ラシムベシ。

第十二條 旅客ノ荷物紛失毀損取扱方ノ事
 旅客ノ手廻リ荷物其外所持品タリトモ總テ之ガ
 爲ニ別段ニ賃金ヲ拂ヒ其受取證書ヲ取置カザレバ
 若シ紛失毀損等アルモ政府ニ於テ關係セザルベシ。
 タトヒ賃金ヲ拂ヒ證書ヲ取置トモ其毀損紛
 失等ヲ償フハ只旅客自用衣服ノミニ止リ且ツ償
 金モ五拾圓ヲ過グルコトナシ。

第十三條 高金及大切ノ物品紛失毀損ニ關不關アル事
 金銀貨幣、郵便切手、爲替、會社通用券、爲
 替手形、約定證書、金銀諸拂證書、地所建家沽
 券、諸繪圖、書畫、古器、金銀、玉石、鍍金及
 諸彫、細工、時計類其餘衣類或ハ玩佩物ノ粧飾
 ニ混作ノ品類及硝子器類、陶器、漆器、酒類、
 蠶種、繭、絹布、生熟絲等ノ品物運送方ニ付テ
 ハ其品類竝ニ價高等ヲ明白ニ其掛リヘ申立増賃
 金ヲ拂ヒ紛失毀損等ヲ請合シ分ノ外ハ總テ政府
 ニ於テ之ヲ償ハズ。

第十四條 牛馬獸類運送ノ事
 牛馬及其他獸類ヲ運送スルニ其持主或ハ送り人
 ヨリ其獸類ノ價ヲ運送掛リヘ申出相當ノ増賃金

ヲ拂ヒ請合證書ヲ取置クベシ若シ増賃金ヲ拂ハ
 ズ請合ヲ爲サル分ハ如何程高價ノ獸類紛失損
 害アルモ牛一匹金二十圓以上馬一匹或ハ乳牛一
 匹金五十圓以上羊或ハ豚一匹五圓以上ヲ政府ニ
 於テ償フコトナシ。

第十五條 砲發ヲ禁ズル事
 何人ニ限ラズ車内ハ勿論鐵道線及其構内ニ於テ
 砲發スルヲ禁ズ

第十六條 爆發質アル危害物運輸ヲ禁ズル事
 鐵道寮ヨリ追テ公布スルマデハ火藥及ビ(ピト
 ローリヤム)(ケロシンオイル)(トルペンタイ)
 (石炭油等ヲ云フ)硝性竝ニ爆發質燃燒質等ノ物
 品ハ運輸セザルベシ。

第十七條 荷物目錄ヲ渡スベキ事
 運送ノ諸荷物ヲ鐵道掛リノ者ヘ引渡シ又ハ請取
 ノ度毎ニハ右荷主或ハ率領人ヨリ其品柄數量及
 姓名ヲ記シテ掛リノ者ヘ差出スベシ。

第十八條 物品竝ニ畜類損害償方定限ノ事
 鐵道ニテ運送スル物品竝ニ畜類紛失損害アリト
 モ鐵道掛リノ怠惰疎漏ヨリ起リシニ非ザレバ政
 府ニ於テ之ヲ償フコトナシ。

第十九條 荷物運送賃金ノ事
 何人ニ限ラズ荷物運賃ノ催足ヲ受ケテ尙拂ハザ
 ル時ハ其荷物ノ全部又ハ部分ヲ留置キ若シ又其
 荷物已ニ他所ヘ運送セシ時ハ其後同人附屬ノ荷
 物鐵道掛リヘ送り來ルコトアル時ハ之ヲ留置キ
 同人ヘ告知ラセタル上ニテ滞金高程ノ品ヲ入札
 公賣シ其滞金ト諸入費トヲ取リ殘金品ヲ同人
 ヘ返スベシ又時宜ニヨリ右ノ取計ヒヲ爲サズ法
 官ニ訴ヘテ賃金竝ニ入費等ヲ取立ツル事アルベシ。

第二十條 規則ニ隨ハザル者ノ事
 何人ニ限ラズ諸事前條ノ規則ニ隨ハズンバ乗車
 及荷物ノ運送ヲ許サルベシ。

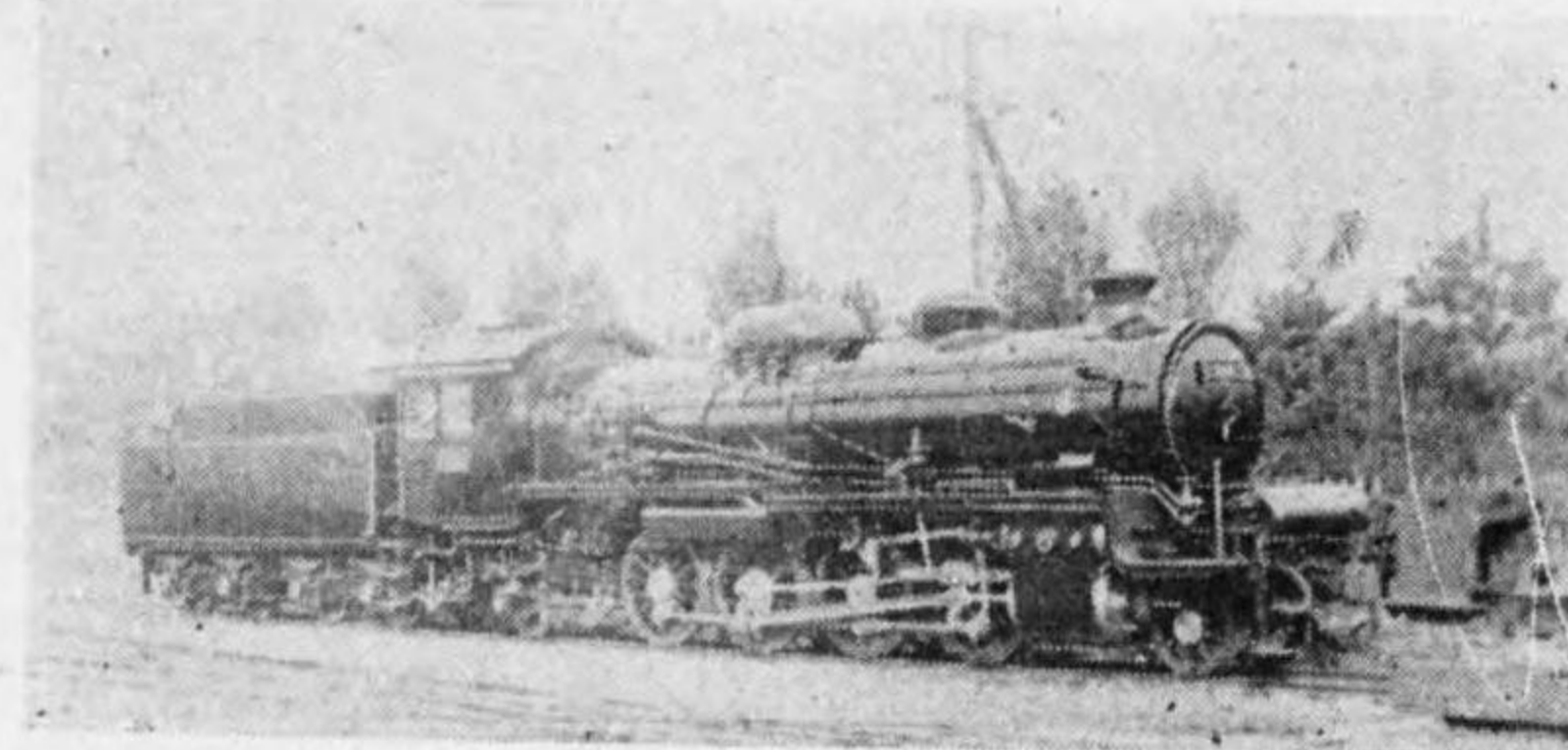
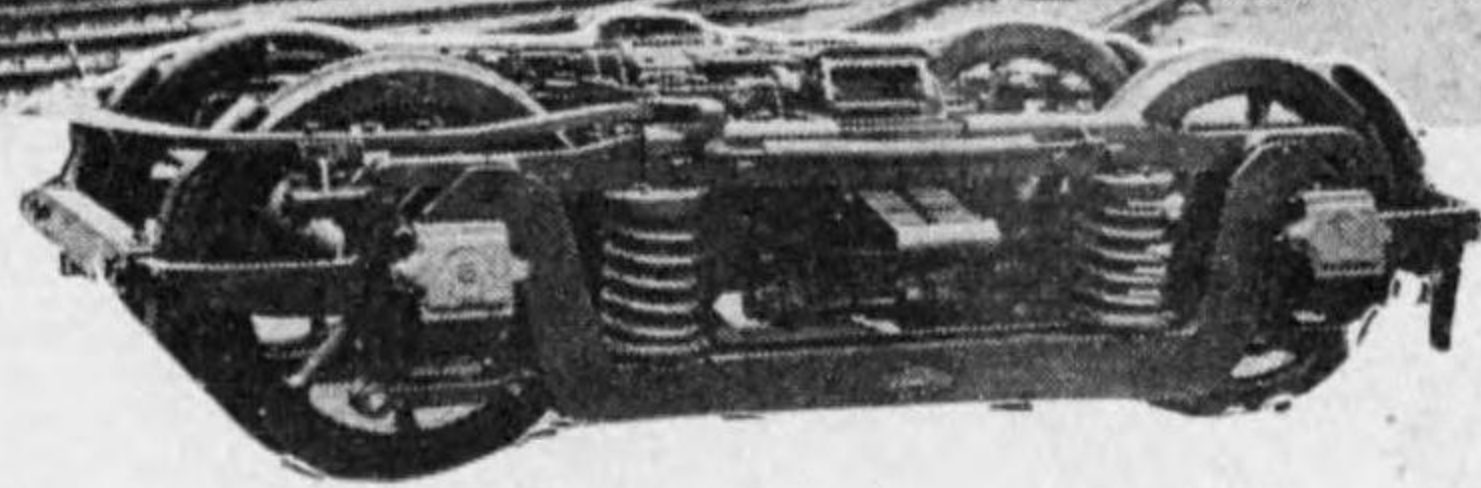
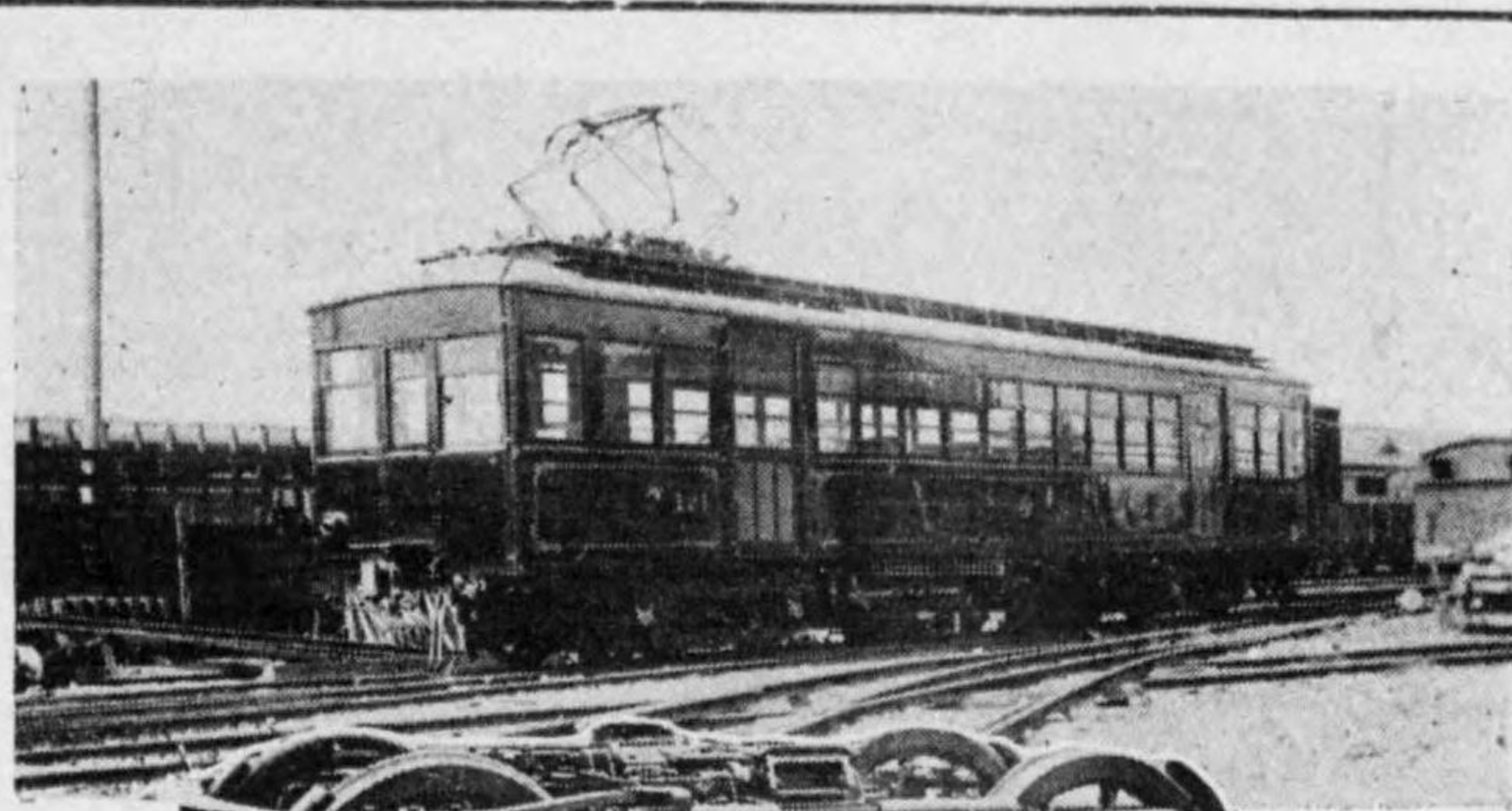
第二十一條 規則等ノ變革布達ノ事
 此規則中變革及加除アルトキハ遍ク告達スベシ。

第二十二條 荷物運送引請方ノ事
 諸荷物ノ運送ヲ引請ルコトハ列車中餘地ノ有無
 ニ應ズベシ。

第二十三條 此規則ヲ施行スルガ爲ニ夫々法官ニ
 訴ヘ犯罪人罰シ方等ノ裁判ヲ乞フ手順ハ鐵道頭
 鐵道支配人ノ間ニテ其取扱ヒアルベシ

第二十四條 旅客竝ニ荷物ノ運賃ノ時宜ニ隨ヒ變
 革アルト雖モ其變革毎ニハ二週日前ニ廣達スベシ
 尤モ鐵道頭鐵道支配方及運輸頭取ノ間ニ於テ
 前條ノ如キ廣達ナク臨時ニ常例ヨリ下等ノ運賃
 ヲ以テ別ニ列車ヲ仕立ルコトモアルベシ。

第二十五條 此規則來ル五月七日ヨリ施行スベシ。



蒸 汽 機 關 車	轉 轍 器 轍 叉
電 氣 機 關 車	鐵 橋 梁
客 車 貨 車	車 輛 部 分 品
電 車 車 體	鑄 鋼 品
電 車 用 ト ラ ッ ク	機 械 器 具

日本車輛製造株式會社

本 店 名古屋市南區熱田東町
 電話代表南二七四 電信略號ニシヤ

東 京 支 店 東京府南葛飾郡隅田町
 電話墨田三七一、三七二

丸ノ内出張所 東京驛前 丸ノ内ビルヂング三六四區
 電話丸ノ内七五七

鐵道省指定工場

營業品目

信號機 聯動機 車輪 橋桁 送電塔

富山縣下新川郡東岩瀨町

富山合名會社經營

岩瀨鐵工所

營業所 電話一九番
本社 電話三二番

鐵道用諸材料
電氣工業用諸機械
チーゼル機關車
鐵道用諸機械
アライ自働連結器
煖房、冷藏裝置
土木、鑛山用諸機械
其他材料及機械一般

本社

東京市京橋區銀座二丁目

大阪支店

大阪市東區釣鐘町二丁目

大倉商事株式會社

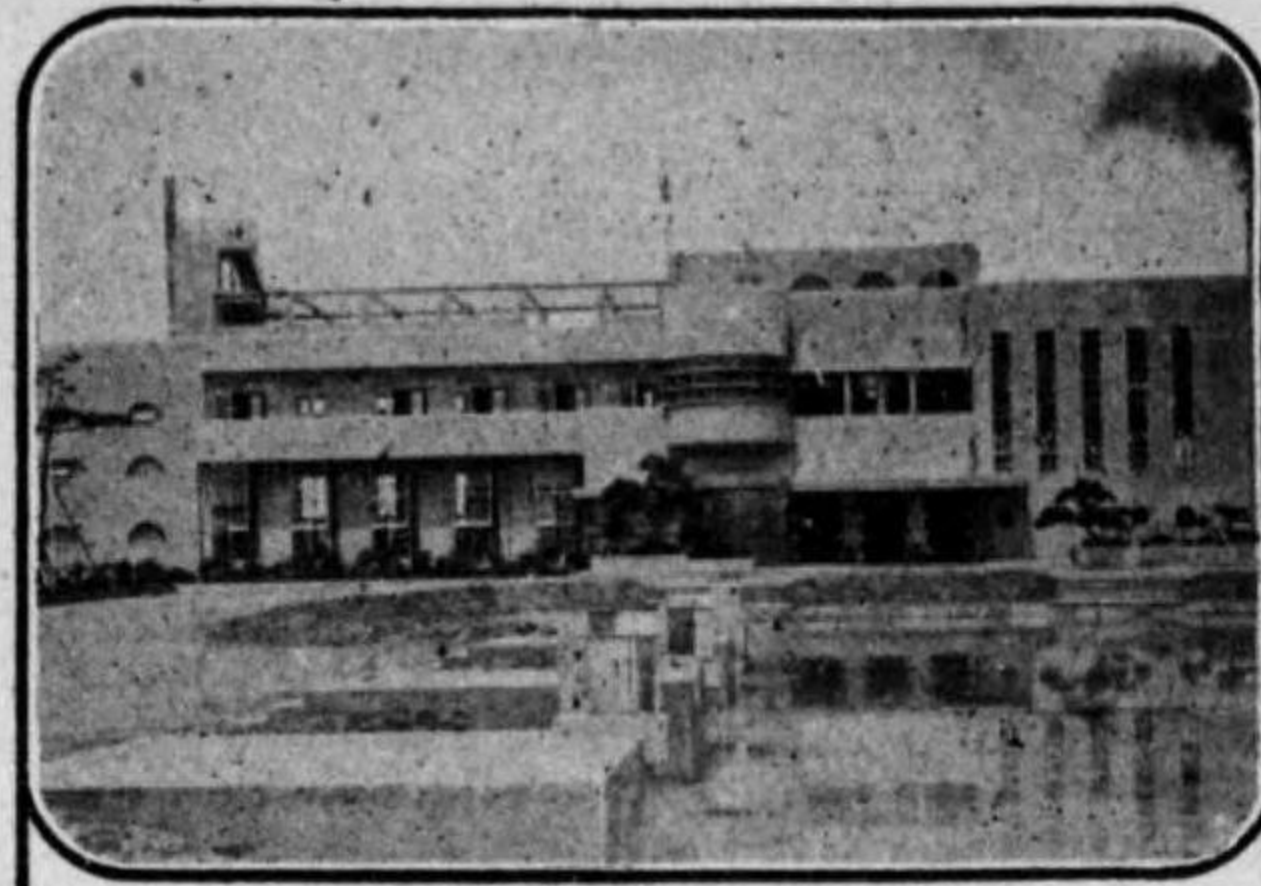
支店出張所

橫賀須、吳、佐世保、舞鶴、橫濱、名古屋、神戶、門司、函館、臺北、京城、奉天、大連、漢口、青島、上海、天津、シドニー、紐育、倫敦、伯林、巴里、

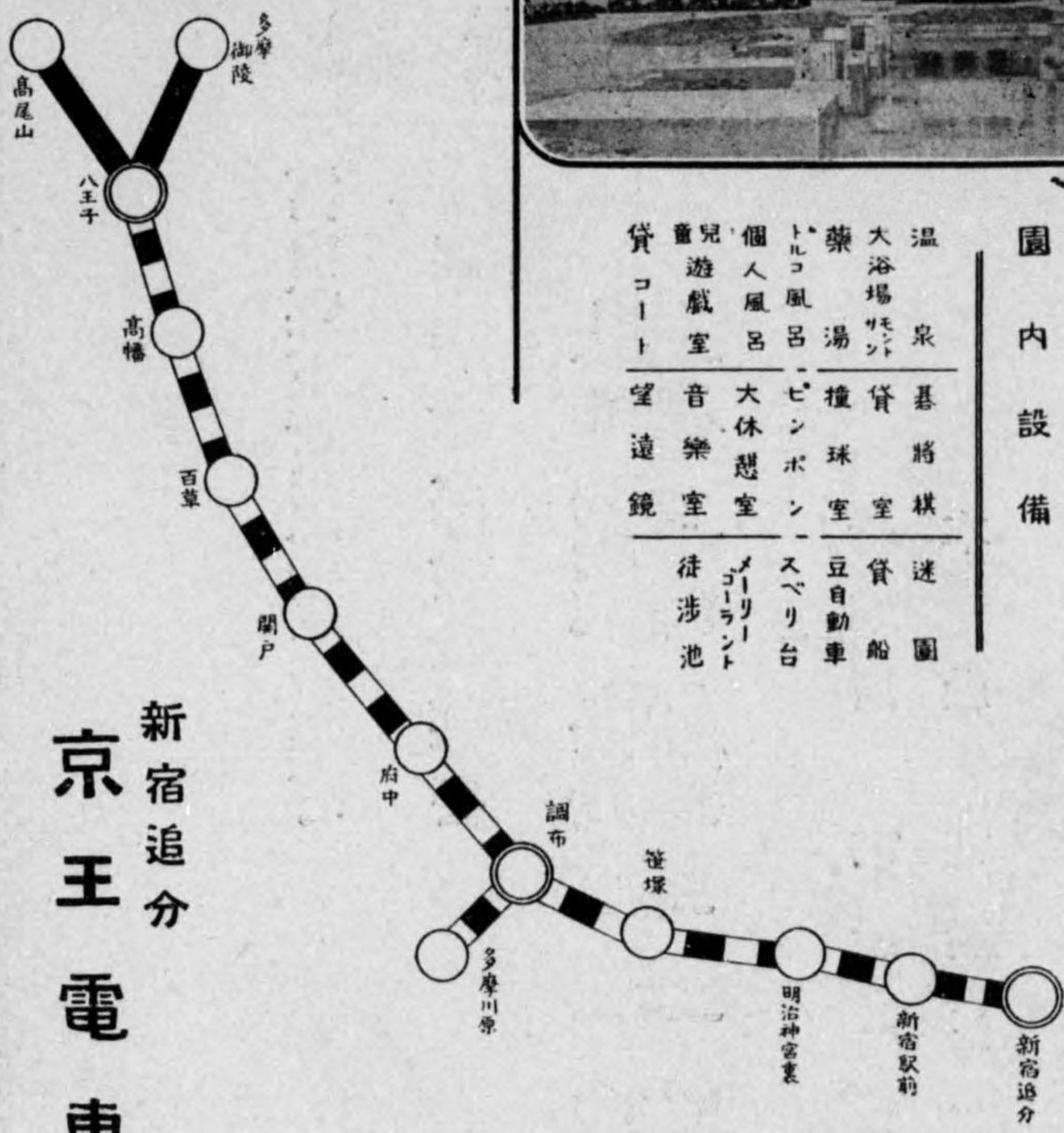
國有鐵道

沿線車運運船連事電鐵從勞鐵
 革及組織
 路輛輸轉舶
 運輸故氣
 聯絡運輸
 及國際
 本及收支
 對スル
 問題
 支關係
 施設
 記錄
 問題

關王京



貸	童	個	藥	大	温	園
コ	兒	人	ト	浴	泉	内
ー	遊	風	ル	場	基	設
ト	戲	呂	カ	マ	將	備
望	室	大	ン	ン	棋	
遠	音	休	球	室	迷	
鏡	樂	憩	室	豆	園	
	室	室	ス	自		
	徒	ゴ	ペ	動		
	涉	ー	リ	車		
	池	ラ	台			
		ン				



新宿追分
 京王電車



國有鐵道の沿革

明治二年十一月鐵道起業ノ廟議決シ先ヅ東京横濱間ノ起工ヲ令セラレ明治三年三月十九日 初メテ民部大藏省ニ鐵道掛ヲ置カレテヨリ六十年、昭和二年ニ於ケル國有鐵道ハソノ營業哩 八千哩ニ達シ資本總額二十七億、營業收入五億、從事員 又二十萬ヲ超ユルノ盛況ヲ呈スルニ至レリ。ソノ發展ノ道程ニ於ケル重要ナル出來事ハ卷頭鐵道年表中ニ收録シタルヲ以テ此ニハ明治十九年以降 國有鐵道ノ營業哩程ソノ他ノ數字ヲ記録シテソノ變遷ノ大要ヲ知ルニ便セントス。

年 度	營業哩	資本總額	營 業		職 員	
			收 入	支 出	人 員	平均月給
明治十九年度	208	21,134,853	1,301,118			
明治二十四年度	550	36,610,529	4,110,141	2,739,758		
明治二十九年度	631	51,764,265	8,273,652	4,285,702	14,000	11.60
明治三十四年度	905	127,649,232	16,334,310	8,558,577	22,414	14.88
明治三十九年度	3,093		35,478,317	19,086,838	59,617	15.91
明治四十四年度	5,044	872,229,998	100,179,818	47,868,192	103,418	18.75
大正五年度	5,858	1,108,060,237	141,255,333	65,196,299	115,282	19.55
大正十年度	6,723	1,779,563,007	397,599,494	227,246,294	168,371	52.24
昭和元年度	7,993	2,688,669,616	484,082,956	276,714,159	200,500	51.95

十八年十二月工部省廢セラレ鐵道局ハ内閣ニ屬ス。二十三年九月鐵道廳ヲ置キ内務大臣ニ屬ス。二十五年五月鐵道敷設法公布。同年七月鐵道廳ハ遞信大臣ノ管轄ニ屬ス。二十六年鐵道局ト改稱。三十年八月遞信省鐵道局ノ掌理事項ヲ局限シ別ニ鐵道作業局ヲ設ク。三十八年四月北海道官設鐵道ハ遞信大臣ノ管理監督ニ屬シ同日札幌ニ鐵道作業局出張所ヲ設ク。三十九年三月鐵道國有法公布。同年十月以降北海道炭礦、甲武、日本等ノ各鐵道國有ニ歸ス。四十年四月官制改正帝國鐵道廳ヲ置ク。四十一年十二月鐵道院官制公布。四十二年十二月韓國鐵道鐵道院ニ屬ス。四十三年九月朝鮮鐵道朝鮮總督府ニ屬ス。大正九年五月十五日鐵道省官制公布。

國有鐵道ノ組織

各省官制通則

(明治二十六年十月三十一日勅令第百二十二號)

- 第一條 本則ハ外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農林、商工、遞信及鐵道ノ各省ニ適用ス
- 第二條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付其ノ責ニ任ス主任ノ明瞭ナラサル事務ニシテ兩省以上ニ關涉スルモノアルトキハ閣議ニ提出シテ其ノ主任ヲ定ム
- 第三條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付法律勅令ノ制定、廢止及改正ヲ要スルコトアルトキハ案ヲ具

〜閣議ニ提出スヘシ

- 第四條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付其ノ職權若クハ特別ノ委任ニ依リ省令ヲ發スルコトヲ得
- 第五條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付警視總監、北海道廳長官、府縣知事ニ指令又ハ訓令ヲ下スコトヲ得
- 第六條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付警視總監、北海道長官、府縣知事ヲ監督ス若シ警視總監、北海道廳長官府縣知事ノ命令又ハ處分ノ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ其ノ命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消ス

コトヲ得

第七條 各省大臣ハ所部ノ官吏ヲ統督シ奏任官ノ進退ハ内閣總理大臣ヲ經テ之ヲ上奏シ判任官以下ハ之ヲ專行ス地方官廳奏任官ノ進退ハ内閣總理大臣ヲ經テ内務大臣之ヲ上奏ス

第八條 各省大臣ハ内閣總理大臣ヲ經テ所部ノ官吏ノ叙位叙勳ヲ上奏ス
地方官廳官吏ノ叙位叙勳ハ前條第二項ノ例ニ依ル

第九條 (削除)

第十條 各省ニ大臣官房ヲ置ク

大臣官房ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 機密ニ屬スル事項

二 官吏ノ進退身分ニ關スル事項

三 大臣ノ官印及省印ノ管守ニ關スル事項

四 公文書類及成案文書ノ接受發送ニ關スル事項

五 統計報告ノ調製ニ關スル事項

六 公文書類ノ編纂保存ニ關スル事項

七 本省所管ノ經費及諸收入ノ豫算、決算並會計ニ關スル事項

八 會計ノ監査ニ關スル事項

九 本省所管ノ官有財産及物品ニ關スル事項

十 其ノ他各省官制ニヨリ特ニ大臣官房ノ所掌ニ屬セシムル事項

各省ノ便宜ニ從ヒ大臣官房ノ事務ハ各局ニ於テ又ハ特ニ局ヲ設ケテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第十一條 (削除)

第十二條 各省中省務ヲ分掌スル爲局ヲ置ク其ノ分掌事務ハ各省官制ニ於テ之ヲ定ム

第十三條 大臣官房及各局ノ分課ハ各省大臣ノ定ムル所ニ依ル

陸軍省海軍省中ノ分課ハ各其ノ省官制ニ於テ之ヲ定ム

第十四條 各省ニ左ノ職員ヲ置ク

政務次官

次官

參與官

局長

秘書官

書記官

屬

第十四條ノ二 各省政務次官ハ一人勅任トス

第十四條ノ三 政務次官ハ大臣ヲ佐ケ政務ニ參與シ帝國議會トノ交渉事項ヲ掌理ス

第十五條 各省次官ハ一人勅任トス

第十六條 次官ハ大臣ヲ佐ケ省務ヲ整理シ各局ノ事務ヲ監督ス

第十七條 各省參與官ハ一人勅任トス大臣ノ命ヲ承ケ帝國議會トノ交渉事項其ノ他ノ政務ニ參與ス

第十八條 各局局長ハ一人勅任トス大臣ノ命ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌理シ及局中各課ノ事務ヲ指揮監督ス

第十九條 (削除)

第二十條 (削除)

第二十一條 秘書官ハ奏任トス大臣ノ命ヲ承ケ機密事務ヲ掌リ又ハ臨時命ヲ承ケ各局課ノ事務ヲ助ク

第二十二條 書記官ハ奏任トス大臣ノ命ヲ承ケ大臣官房ノ事務ヲ掌リ又ハ各局ノ事務ヲ助ク

第二十三條 各省專任秘書官ハ一人トス

第二十四條 大臣官房及局中各課ニ課長一人ヲ置キ高等官ヲ以テ之ニ充ツ課長ハ命ヲ上官ニ承ケ課務ヲ掌理ス

陸軍省海軍省中ノ課長ハ各其ノ省官制ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條 屬ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第二十六條 (削除)

第二十七條 本則ニ據クルモノノ外各省特別ノ職員ヲ置クコトヲ要スルモノハ各省官制ニ於テ之ヲ定ム

書記官、屬及前項ノ規定ニ依ル職員ノ定員ハ各省官制ノ定ムル所ニ依ル

鐵道省官制

(昭和二年十二月勅令第三三八號改正迄)

第一條 鐵道大臣ハ國有鐵道及其ノ附帶ノ業務ヲ管理シ地方鐵道及軌道ヲ監督ス

鐵道大臣ハ南滿洲鐵道株式會社ノ鐵道及航路ニ關スル業務ヲ監督ス

第二條 大臣官房ニ於テハ通則ニ據クルモノノ外職員ノ養成保健、鐵道衛生ニ關スル事務及鐵道

業務ニ關スル研究ヲ掌ル

第三條 鐵道省專任書記官ハ十八人ヲ以テ定員トス

第四條 鐵道省ニ左ノ七局ヲ置ク

監督局

運輸局

建設局

工務局

工作局

電氣局

經理局

第五條 監督局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 地方鐵道ノ免許及軌道ノ特許ニ關スル事項

二 地方鐵道及軌道ノ監督ニ關スル事項

三 地方鐵道ノ補助ニ關スル事項

四 南滿洲鐵道株式會社ノ鐵道及航路ノ監督ニ關スル事項

第六條 運輸局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 國有鐵道ノ運輸及其ノ附帶ノ業務ニ關スル事項

二 國有鐵道ト他ノ鐵道、軌道及航路トノ連絡運輸ニ關スル事項

第七條 建設局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 新設線路ノ調査計劃ニ關スル事項

二 新設ノ線路及建造物ノ工事ニ關スル事項

第八條 工務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 土地、線路及建造物ノ保存及管理ニ關スル事項

二 線路及建造物ノ改良ニ關スル事項

第九條 工作局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 車輛ノ製作、保存及改良ニ關スル事項

二 工場作業ニ關スル事項

第九條ノ二 電氣局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 電氣設備ノ新設、保存及改良ニ關スル事項

二 電力發生及配給事項ニ關スル

第十條 經理局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 本省所管ノ經費及諸收入ノ豫算決算並會計ニ關スル事項

二 會計ノ監督ニ關スル事項

三 本省所管ノ官有財産及物品ニ關スル事項

第十一條 (削除)

第十二條 鐵道省ニ專任事務官四十四人ヲ置ク奏任トス上任ノ命ヲ承ケ事務ヲ分掌ス

第十三條 鐵道省ニ專任技師二百十六人ヲ置ク奏任トス但シ内八人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

第十四條 鐵道省專任屬ハ九百五十人ヲ以テ定員トス

第十五條 鐵道省ニ專任技手千二百八十一人ヲ置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第十六條 鐵道大臣ハ鐵道ノ建設、改良、工作又ハ電氣ニ關スル事務ヲ取扱フ爲必要アリト認ムルトキハ地方ニ事務所ヲ設クルコトヲ得

鐵道局官制

(昭和二年十二月勅令第三三九號改正迄)

第一條 鐵道局ハ鐵道大臣ノ管理ニ屬シ其ノ管轄區域内ニ於ケル國有鐵道ノ現業事務及其ノ附帶ノ業務ヲ掌ル

鐵道局ハ鐵道大臣ノ指定スル鐵道ノ建設、改良又ハ工作ニ關スル事業ヲ掌ル

第二條 鐵道大臣ハ鐵道局ノ事務ヲ分掌セシムル爲メ地方官署ヲ置クコトヲ得

第三條 鐵道局ノ名稱、位置及管轄區域ハ鐵道大臣之ヲ定ム

第四條 鐵道局ニ左ノ職員ヲ置ク

局長 六人 勅任

參事 專任 三十人 奏任

副參事 專任 百五十七人 奏任

技師 專任 三百二十五人 奏任

書記 專任 一萬二千八十二人 判任

技手 專任 六千二百十八人 判任

前項職員ノ外鐵道局ニ鐵道手ヲ置ク判任官ノ待遇トス其ノ定員ハ鐵道大臣之ヲ定ム

第五條 局長ハ鐵道大臣ノ命ヲ受ケ事務ヲ掌理シ部下ノ職務ヲ指揮監督ス

第六條 參事及副參事ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第七條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第八條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第九條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第十條 鐵道手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

歷代鐵道長官一覽

廳名	年號	年月日	主管長官	鐵道長官
鐵道掛	明治	3 3 19	民部兼大藏卿 伊達宗城	鐵道掛 (長 缺)
		" 27	"	" (總理) 監督正 上野景範
		" 5 2	"	" (") 大藏權少丞 "
		" 6 23	"	" (") 民部權少丞 鹽田三郎
民部卿缺		" 7 18	民部大輔 大木民平	
"		" 8 9	"	" (") 民部少輔 吉井友實
工部卿缺		" 10 20	(工部省)	
"		" 12 22	工部權大丞 山尾庸三	
"		" 12 13	"	鐵道掛 (長不詳)
"		4 6 28	工部大輔 後藤元輝	" (")
鐵道寮		" 8 14	"	
工部卿缺		" 15	"	鐵道頭 工部大丞 (鑛山頭兼) 井上勝
"		4 9 20	工部大輔 伊藤博文	" (")
"		" 10 8	"	" (")
大輔歐米出張		" 12 7	工部少輔 山尾庸三	" (")
"		5 2 29	工部大丞(代) 佐野常民	" (")
少輔出張		" 3 19	工部少輔 山尾庸三	" (")
"		" 6 28	工部三等出仕(代) 佐野常民	" (")
"		" 7 4	"	"
"		" 8 11	工部少輔 山尾庸三	"
"		" 10 27	工部大輔	"
"		" 11 29	工部三等出仕(代) 佐野常民	"
大輔出張		" 11 29	工部大輔 山尾庸三	"
頭 缺		6 7 22	"	鐵道權頭 太田資
"		" 9 13	" 伊藤博文	"
"		" 10 25	工部卿	"
"		7 1 10	"	鐵道頭 井上
工部卿出張		8 1 19	工部大丞(代) 吉井正澄	"

歷代鐵道長官一覽 (續)

廳名	年號	年月日	主管長官	鐵道長官
工部卿出張	明治	8 2 24	工部卿 伊藤博文	鐵道頭 井上勝
"		9 5 17	工部大輔(代) 山尾庸三	"
"		" 6 1	工部卿 伊藤博文	"
"		" 8 6	工部大輔(代) 山尾庸三	"
"		" 9 30	工部卿 伊藤博文	"
鐵道局		10 1 11	"	
"		" 19	"	鐵道局長 工部少輔 井上勝
工部卿出張		" 11 30	工部大輔(代) 山尾庸三	"
"		" 8 3	工部卿 伊藤博文	"
工部卿缺		11 5 15	工部省御用取扱	"
"		" 7 29	工部卿 井上馨	"
工部卿出張		" 8 30	工部大輔(代) 山尾庸三	"
"		" 11 9	工部卿 井上馨	"
"		" 11 22	工部大輔(代) 山尾庸三	"
"		" 12 28	工部卿 井上馨	"
"		12 3 14	"	工部技監
"		" 4 30	工部少輔(代) 吉井友實	"
"		" 6 2	工部卿 井上馨	"
"		" 16	工部少輔(代) 吉井友實	"
"		" 19	工部大輔(代) 山尾庸三	"
"		" 7 15	工部卿 井上馨	"
"		" 9 10	" 山田顯義	"
"		13 2 27	" 山尾庸三	"
"		14 5 4	工部大輔(代) 吉井友實	"
"		" 6 4	工部卿 山尾庸三	"
"		" 7 20	工部大輔(代) 吉井友實	"
"		" 8 4	工部卿 山尾庸三	"
"		" 10 21	" 佐々木高行	"
"		15 5 17	參事院長(代) 山縣有朋	"
"		" 7 18	工部卿 佐々木高行	"

廳名	年號	年月日	主管長官	鐵道長官
工部卿出張	明治15	8 11	工部卿 佐々木高行	鐵道局長 工部大輔 井上 勝
		16 4 20	參事院 山縣有朋	" " "
		" 7 16	工部卿 佐々木高行	" " "
		17 5 21	宮内卿(代) 伊藤博文	" " "
		" 6 14	工部卿 佐々木高行	" " "
		18 12 22	內閣總理大臣 伊藤博文	鐵道局長官 井上 勝
		" " 28	" "	" " "
		21 4 30	" 黑田清隆	" " "
		22 10 25	" 三條實美	" " "
		" 12 24	" 山縣有朋	" " "
鐵道廳	23 9 5	內務大臣 西郷從道	鐵道廳長官	" " "
	24 6 1	" 品川彌二郎	" " "	
	25 3 11	" 副島種臣	" " "	
	" 6 8	(總理兼) 松方正義	" " "	
	" 7 14	" 河野敏鎌	" " "	
	" " 20	遞信大臣 後藤象二郎	" " "	
	" 8 8	" 黑田清隆	" " "	
	26 3 16	" "	松本莊一郎	
	鐵道局	" 11 10	" "	鐵道局長
		28 3 17	" 渡邊國武	" " "
" 10 9		" 白根專一	" " "	
29 9 26		" 野村靖	" " "	
局長歐米出張		30 5 13	" "	鐵道局長心得(遞信次官兼) 鈴木大亮
鐵道作業局鐵道局併立	" 8 18	" "	鐵道作業局長心得(次官兼) 鈴木大亮	
	" 12 18	" "	鐵道作業局長 松本莊一郎	
	31 1 12	" "	末松謙澄	

歷代鐵道長官一覽 (續)

廳名	年號	年月日	主管長官	鐵道長官
帝國鐵道廳鐵道局併立	明治31	1 17	遞信大臣 末松謙澄	鐵道作業局長 松本莊一郎 鐵道局長 田健治郎
	" 3 2	"	"	" " 中橋德五郎
	" 6 30	"	林有造	" " "
	" 7 13	"	"	" " 伊藤大八
	" 11 8	"	芳川顯正	" " "
	" " 28	"	"	鐵道局長 古市公威
	32 4 7	"	"	鐵道局長 犬塚勝太郎
	33 10 19	"	星亨	" " "
	" 12 22	"	原敬	" " "
	34 6 2	"	芳川顯正	" " "
	36 3 20	"	"	鐵道作業局長心得 平井晴二郎
	" 4 1	"	"	鐵道作業局長 古市公威
	" 7 17	"	曾根荒助	" " "
	" 9 22	"	大浦兼武	" " "
	" 12 28	"	"	鐵道作業局長心得 平井晴二郎
	37 4 22	"	"	" " 山之内一次
	" 10 10	"	"	鐵道作業局長 官
	39 1 7	"	山縣伊三郎	" " "
	40 4 1	"	"	帝國鐵道廳總裁 鐵道局長兼廳副總裁
	41 1 14	"	原敬	" " "
" 3 25	"	堀田正養	" " "	
" 7 14	"	後藤新平	" " "	
鐵道院	" 12 5	內閣總理大臣 桂太郎	鐵道院總裁(遞相兼) 後藤新平	鐵道院副總裁 平井晴二郎
	44 8 30	" 西園寺公望	" " "	" " "
	" " 31	" "	(內相兼) 原敬	" " "
	大正元 12 21	" 桂太郎	(遞相兼) 後藤新平	" " "
	2 2 20	" 山本權兵衛	" 床次竹二郎	" " "
副總裁支那政府二聘用	" 5 12	"	"	野村龍太郎
	" 12 22	"	"	古川阪次郎

廳名	年號	年月日	主管長官	鐵道長官
鐵道省	大正	3 4 16	內閣總理大臣 大隈重信	鐵道院總裁 仙石貢
		4 9 3	"	鐵道院副總裁 古川阪次郎
		5 10 9	" 寺內正毅	鐵道院副總裁 添田壽一
		6 5 24	"	鐵道院副總裁 後藤新平
		7 4 23	"	鐵道院副總裁 中村是公
		" 26	"	鐵道院副總裁 中村是公
		" 9 18	"	鐵道院副總裁 中村是公
		" 29	" 原敬	鐵道院副總裁 床次竹二郎
		" 10 1	"	鐵道院副總裁 石丸重美
		9 5 15	"	鐵道大臣 元田肇
		10 11 4	" 臨)	鐵道次官 內田康哉
		" 13	"	鐵道次官 高橋是清
		11 6 12	"	鐵道次官 加藤友三郎
		12 8 25	" 外相臨兼)	鐵道次官 內田康哉
		" 9 2	"	鐵道次官 山本權兵衛
		" 9 8	"	鐵道次官 山之内一次
		13 1 7	"	鐵道次官 小松謙次郎
		" 9	"	鐵道次官 岡野昇
		" 6 11	"	鐵道次官 仙石貢
		" 14	"	鐵道次官 早速 整爾
	" 8 12	"	鐵道次官 俵孫一	
	14 " 10	"	鐵道次官 青木周三	
	15 1 6	"	鐵道次官 降旗元太郎	
	" 6 3	"	鐵道次官 青木周三	
	" 5	"	鐵道次官 井上匡四郎	
	" 10 16	"	鐵道次官 佐竹三吾	
	昭和	2 4 20	" 田中義一	鐵道次官 小川平吉

歷代鐵道長官一覽 (續)

廳名	年號	年月日	主管長官	鐵道長官
	昭和	2 4 22		鐵道次官 上埜安太郎 鐵道同參與官 志賀和多利

重要職員氏名

大臣	小川平吉	運輸局長	寬正太郎
政務次官	上埜安太郎	建設局長	中村謙一
次官	八田嘉明	工務局長	加賀山學
參與官	志賀和多利	工作局長	秋山正八
大臣官房		電氣局長	增永元也
人事課長	田中信良	經理局長	矢田部良造
文書課長	大江武男	東京鐵道局長	久保田敬一
法規課長	喜安健次郎	名古屋鐵道局長	丹羽武朝
保健課長	柴間之祐	大阪鐵道局長	村上義一
現業調査課長	大槻信治	門司鐵道局長	吉田浩
研究所長	松繩信太	仙臺鐵道局長	伊藤勘助
監督局長	福富正男	札幌鐵道局長	氣鷲高次

鐵道局內各事務所ノ所管區域 (昭和二年三月末日現在)

名稱	所管區域
	鐵道省 (東京市麩町區永樂町)
	東京鐵道局 (東京市麩町區永樂町)
新橋運輸事務所	{ 東海道本線中東京沼津間、鶴見橫濱港間、橫濱櫻木町間及貨物支線、橫濱線、橫須賀線、熱海線、中央本線中東京八王子間、山手線(電力事務所=於テハ赤羽池袋間及池袋田端間ヲ除ク) 東北本線中東京神田間
新橋保線事務所	{ 東海道本線中東京鶴見間及貨物支線、中央本線中東京八王子間、山手線、東北本線中東京神田間
國府津保線事務所	{ 東海道本線中鶴見沼津間、鶴見橫濱港間、橫濱櫻木町間及貨物支線、橫濱線、橫須賀線、熱海線
上野運輸事務所	{ 東北本線中神田小山間、常磐線中日暮里土浦間、田端三河島間及貨物支線、高崎線、信越本線中高崎輕井澤間、兩毛線中新前橋高崎間、上野線、(以下電力事務所=限ル) 山手線中赤羽池袋間及池袋田端間
千葉運輸事務所	{ 總武線、兩國屬神田間及龜戶北千住間電線路(保線事務所=限ル)

名稱	管 轄 區 域
宇都宮運輸事務所 宇都宮保線事務所 (宇都宮市川向町)	東北本線中小山白河間、兩毛線中小山新前權間、足尾線、日光線、烏山線
水戸運輸事務所 水戸保線事務所 (水戸市上市柳町)	常磐線中土浦平間及貨物支線、大郡線、水戸線、眞岡線、磐越東線中平小川郷間、水戸常陸大宮間電線路(保線事務所=限ル)

名古屋鐵道局
(名古屋西區西柳町)

名古屋運輸事務所 (名古屋市中區笹島町)	東海道本線中大府米原間、大垣美濃赤坂間及貨物支線、武豐線、高山線、越美南線、中央本線中名古屋坂下間、太多線、關西本線中名古屋龜山間及貨物支線
名古屋保線事務所 (名古屋西區西柳町)	
靜岡運輸事務所 靜岡保線事務所 (靜岡市榮町)	東海道本線中沼津大府間及貨物支線
甲府運輸事務所 甲府保線事務所 (甲府市橋町)	中央本線中八王子坂下間
長野運輸事務所 長野保線事務所 (長野市石堂町)	信越本線中輕井澤直江津間、篠ノ井線
金澤運輸事務所 金澤保線事務所 (金澤市木ノ新田保)	北陸本線中牛ノ谷直江津間、七尾線、中越線、氷見線、新湊線
敦賀運輸事務所 敦賀保線事務所 (福井縣敦賀町)	北陸本線中米原牛ノ谷間、敦賀敦賀港間、小濱線、三國線

大阪鐵道局
(大阪市北區梅田町)

大阪運輸事務所 大阪保線事務所 (大阪市北區梅田町)	東海道本線中米原神戸間、東灘神戸港間及貨物支線、西成線、福知山線中神崎三田間、塚口尼ヶ崎間、山陽本線中神戸明石間兵庫和田岬間及貨物支線、山陰本線中京都龜岡間、草津線、有馬線
湊町運輸事務所 湊町保線事務所 (大阪市浪速區東圓手町)	關西線(關西本線中名古屋龜山間及草津線ヲ除ク)
岡山運輸事務所 岡山保線事務所 (岡山市上石井町)	山陽本線中明石糸崎間、播但線、宇野線、宇野日比町間日比町王越村間及岡山津山間電線路(保線事務所=限ル)作備線、伯備南線
福知山運輸事務所 福知山保線事務所 (京都府福知山町)	山陰本線中龜岡岩美間、福知山線中三田福知山間、舞鶴線、宮津線
米子運輸事務所 米子保線事務所 (米子市西大谷)	山陰本線中岩美岩見益田間、因美線、倉吉線、伯備北線、莟線、大社線
高松出張所 (高松市新湊町)	讚豫線、高德線及宇野高松間航路、鴨川王越村間電線路(引上室內設備ヲ含ム)

名稱	管 轄 區 域
德島出張所 (德島市寺島町)	德島線及阿波池田讚岐財田間、阿波池田西豐永間、各電線路
高知出張所 (高知市江ノ口町)	高知線及高知西豐永間電線路

門司鐵道局
(門司市清瀧町)

門司運輸事務所 門司保線事務所 (門司市棧橋通)	鹿兒島本線中門司遠賀川間、室木線、日豐本線中小倉行橋間、田川線、宮床線、筑豐線、延命寺生板濱間電線路(保線事務所=限ル)
下關運輸事務所 下關保線事務所 (下關市西細江町)	山陽本線中小郡下關間、山陰本線中石見益田以西、山口線、美彌線、小串線、下關釜山間下關門司間及下關小森江間ノ各航路並ニ釜山(航路ハ運輸事務所=限ル)下關福浦間電線路(保線事務所=限ル)
廣島運輸事務所 廣島保線事務所 (廣島市大須賀町)	山陽本線中小郡糸崎間及貨物支線、吳線、宮島嚴島間航路並嚴島(航路ハ運輸事務所=限ル)宮島嚴島間電線路(保線事務所=限ル)
鳥栖運輸事務所 鳥栖保線事務所 (佐賀縣鳥栖町)	鹿兒島本線中遠賀川荒木間、長崎線、篠栗線
熊本運輸事務所 熊本保線事務所 (熊本市春日町)	鹿兒島本線中荒木吉松間及貨物支線、宮地線、三角線、肥薩線、湯前線
鹿兒島運輸事務所 鹿兒島保線事務所 (鹿兒島市濱町)	鹿兒島本線中吉松鹿兒島間、川內線、山野線、日豐本線中廣瀨吉松間妻線、志布志線
大分運輸事務所 大分保線事務所 (大分市南新町)	日豐本線中行橋廣瀨間、犬飼線、細島線、大湯線

仙臺鐵道局
(仙臺市清水小路)

仙臺運輸事務所 仙臺保線事務所 (仙臺市東五番町)	東北本線中越河前澤間、鹽釜線、陸羽東線、石卷線、常磐線中平岩沼間、大船渡線
盛岡運輸事務所 盛岡保線事務所 (盛岡市下厨川)	東北本線中前澤金田間、橫黑線中黑澤尻陸中川尻間、橋場線、山田線、花輪線
福島運輸事務所 福島保線事務所 (福島市西町)	東北本線中白河越河間、磐越東線中小川郷郡山間、磐越西線中郡山喜多方間、會津線、奧羽本線中福島米澤間、川俣線
山形運輸事務所 山形保線事務所 (山形市番澄町)	奧羽本線中米澤院內間、米坂線、長井線、左澤線、陸羽西線、羽越線中小砂川府屋間及貨物支線
秋田運輸事務所 秋田保線事務所 (秋田市長野下新町)	奧羽本線中院內大館間及貨物支線、橫黑線中陸中川尻橫手間、生保內線、羽越線中秋田小砂川間、船川線、能代線

名稱	所管區域
青森運輸事務所 青森保線事務所 (青森市安方町)	{ 東北本線中金田-青森間、八戸線、大湊線、奥羽本線中大館青森間、 黑石線、五所川原線、川部五所川原間電線路(保線事務所=限ル)
新津運輸事務所 新津保線事務所 (新潟縣新津町)	{ 信越本線中直江津新潟間、上越北線、羽越線中新津府屋間、磐越西線 中喜多方新津間、魚沼線、赤谷線
札幌鐵道局 (札幌市北五ノ西四)	
札幌運輸事務所 札幌保線事務所 (札幌市北五ノ西三)	{ 函館線(函館本線中函館俱知安間及龍川旭川間並上磯線ヲ除ク)室蘭 本線中岩見澤志文間、萬字線
函館運輸事務所 函館保線事務所 (函館市若松町)	{ 函館本線中函館俱知安間、上磯線、長輪西線、青森函館間航路(運輸 事務所=限ル)
室蘭運輸事務所 室蘭保線事務所 (室蘭市港町)	{ 室蘭本線中志文室蘭間、夕張線、長輪東線
旭川運輸事務所 旭川保線事務所 (旭川市宮下通)	{ 函館本線中龍川旭川間、雨龍線、根室本線中龍川新得間、留萌線、富 良野線、宗谷本線中旭川和寒間、石北線
釧路運輸事務所 釧路保線事務所 (釧路市釧路)	{ 根室本線(龍川新得間ヲ除ク)、士幌線
野付牛運輸事務所 野付牛保線事務所 (北見國野付牛町)	{ 網走線、名寄本線中上興部中湧別間、泮滑線
稚內運輸事務所 名寄保線事務所 (北見國稚內町) (天鹽國名寄町)	{ 宗谷本線中和寒稚內間、天鹽線、名寄本線中名寄上興部間、稚內大泊 間航路及大泊(運輸事務所=限ル)

建設事務所所管區域

名稱	所管區域
北海道建設事務所 (北海道旭川市)	{ 長萬部輪西間、香威子府稚內間(天鹽國經由)、留萌羽幌間、旭川ルベ シベ間、ルベシベ遠輕間、深川雨龍間、帶廣上士幌間、相生美幌間、 釧路網走間、菱川標茶間、國縫瀨棚間、札幌沼田間、上磯木古内間、 帶廣廣尾間、鬼志別稚內間、泮滑サツクル間
熊本建設事務所 (熊本市春竹町)	{ 長尾原田間、伊萬里佐世保間、吉松延岡間、熊本宮地間、栗野山野間、 川内八代間、都城志布志間、大口川内町間、立野高森間、人吉湯前間、 妻杉安間、久留米日田間、佐賀矢部川間、肥前山口諫早間、國分都城 間、山野水俣間、鹿兒島指宿間、佐伯延岡間、犬飼宮地間、大分日田 間、白杵三重間

名稱	所管區域
東京建設事務所 (東京市芝區汐留町)	{ 蘇我松田間、高崎茂倉岳間、郡山常陸大宮間、寶積寺烏山間、甲府丸 瀧間、松田勝浦間、松川川俣間、木更津大原間、小海小淵澤間、佐原 松岸間、八王子高崎間
米子建設事務所 (米子市西大谷)	{ 江津三次間、溝口新見間、峰山豐岡間、下北條倉吉間、新見三次間、 落合木次間、郡家若櫻間、舞鶴峰山間、濱田益田間、鳥取智頭間
岡山建設事務所 (岡山市南方)	{ 西條松山間、琴平東豐永間、倉敷新見間、新見津山間、智頭津山間、 高松德島間、松山八幡宮間、姫路山津間、三原吳間、大洲近永間
山口建設事務所 (山口縣山口町)	{ 山口益田間、伊佐正明市間、小串萩間、益田萩間、岩國徳山間、小郡 大田間
熱海線建設事務所 (靜岡縣熱海町)	{ 國府津沼津間新線
盛岡建設事務所 (盛岡市下厨川)	{ 好摩花輪間、一ノ關大船渡間、八戸久慈間、盛岡山田間、橋場仙岩間、 仙臺秋保間、盛岡橋場間、黒澤尻湯田村大荒澤間
秋田建設事務所 (秋田市橋山長沼町)	{ 大曲生保内間、生保内仙岩間、能代五所川原間、鷹ノ巣阿仁合間、羽 前大山鼠ヶ關間、酒田象瀧間、米澤今泉間、今泉小國間、山形秋保間、 秋田象瀧間、横手湯田村大荒澤間、山形寒河江左澤間
高知建設事務所 (高知市江ノ口)	{ 山田高知須崎間、山田東豐永間、近永中村間
長岡建設事務所 (長岡市旭町)	{ 村上鼠ヶ關間、長岡茂倉岳間、川口十日町間、柳津若松田島間、大町 糸魚川間、坂町小惑間、喜多方日中間、高山富山間、七尾輪島間
岐阜建設事務所 (岐阜市高砂町)	{ 和歌山相可間、各務ヶ原高山間、太田北濃間、太田多治見間、名張松 坂間、掛川二俣間、貴生川加茂間、五條坂本間、高濱新舞鶴間、關ヶ 原木ノ本間、福井北濃間
東京第一改良事務所 (東京市麴町區永樂町)	
東京第二改良事務所 (東京市麴町區永樂町)	
國府津改良事務所 (神奈川縣國府津町)	
千葉改良事務所 (千葉市千葉)	
大阪改良事務所 (大阪市北區大深町)	
神戸改良事務所 (兵庫縣武庫郡西灘村)	
東京電氣事務所 (東京市麴町區永樂町)	
臨時川崎電氣事務所	

驛 庫 所

種 別	年 度	停 車 場						營 業 所	市 內 營 業 所	荷 扱 所	驛 派 出 案 內 所	棧 橋 待 合 所	信 號 場	信 號 所	通 信 所	無 線 信 號 所	
		普 通	旅 客	貨 物	電 車	假 乘 降 場	假 乘 降 場										
大正	10	1.800	47	70	23	10	1	3	5	5	2	—	3	15	90	1	4
	11	1.883	49	69	23	11	1	3	5	5	2	—	3	90	22	1	10
	12	1.986	51	71	23	9	1	3	6	1	2	—	4	85	36	1	11
	13	2.054	55	72	26	8	1	4	6	1	1	—	4	82	37	1	16
	14	2.136	56	72	28	11	1	3	2	1	1	6	5	83	33	1	16
昭和	1	2.200	63	71	28	16	1	5	2	1	1	7	6	80	29	1	16
內 譯																	
東京鐵道局		322	7	10	28	1	—	1	—	—	—	3	—	16	3	1	—
名古屋鐵道局		277	8	5	—	6	—	—	—	1	—	1	—	13	7	—	—
神戶鐵道局		452	23	11	—	5	1	1	—	—	1	3	1	4	8	—	—
門司鐵道局		419	9	9	—	3	—	2	1	—	—	2	15	10	—	5	—
仙臺鐵道局		398	8	2	—	—	—	—	—	—	—	1	25	1	—	1	—
札幌鐵道局		332	5	4	—	1	—	1	—	—	—	2	7	—	—	10	—

昭和二年中新設驛

局別	線 名	驛 名	取 扱 種 別	開 始 月 日
東 京 鐵 道 局	橫 須 賀 線	北 鎌 倉	假 貨	月 5 日 20
		下 須 賀	假 貨	12 20
	水 郡 同 線	常 陸 青 柳	普 同	12 1
		下 常 陸 菅 谷	普 同	" "
	同 同 同 線	上 常 陸 鴻 巣	普 同	" "
		瓜 靜 大 宮	普 同	" "
	同 同 同 線	常 陸 大 宮	普 同	3 10
		袋 常 陸 大 田	普 同	" "
	房 總 同 線	額 河 常 陸 太 原	普 同	12 1
		常 陸 鶴 上 千	假 停 車 場	4 1
名 古 屋 鐵 道 局	越 美 南 線	美 濃 洲 原	普 同	5 20
		美 濃 洲 原	普 同	4 10
				10 9

區 場 數

操 車 場	機 關 庫	機 關 庫 分 庫	電 車 庫	自 動 車 庫	檢 車 所	檢 車 所 分 所	列 車 電 燈 所	保 線 區	通 信 區	電 力 區	發 電 所	變 電 所	工 場	工 場 派 出 所
3	113	65	3	—	35	—	27	129	35	37	14	29	22	5
3	112	77	3	1	42	24	31	138	39	39	14	30	21	5
3	117	79	3	1	49	32	37	143	41	41	14	30	21	5
3	117	58	4	1	55	41	40	148	41	41	12	30	21	4
2	118	60	5	1	59	42	40	148	41	43	10	36	21	4
5	118	60	5	1	60	45	42	148	42	44	8	35	21	4
2	23	11	5	1	13	9	7	22	7	9	2	14	3	1
—	18	3	—	—	10	4	6	22	6	6	1	3	4	—
1	20	16	—	—	12	12	10	24	9	9	2	6	3	2
1	19	12	—	—	10	9	5	25	6	6	1	8	4	—
1	20	12	—	—	7	4	7	30	7	7	1	2	3	—
—	18	6	—	—	8	7	7	25	7	7	1	3	4	1

昭和二年中新設驛(二)

局別	線 名	驛 名	取 扱 種 別	開 始 年 月 日
名 古 屋 鐵 道 局	北 陸 本 線	王 子 保	普 通	月 12 日 20
		西 富 山	普 同	9 1
	中 央 本 線	千 越 中 八 尾	普 同	" "
		鳥 坂 居 松 北	普 同	12 16
神 戶 鐵 道 局	伯 備 南 線	備 中 川 面	普 旅 普 通	7 31
		河 伊 勢 內 山	普 同	4 19
	片 勢 同 線	大 淀 伊 湯 川	貨 普 物 通	7 3
		紀 勢 豫 同 同	貨 普 物 通	11 13
	同 同 同 線	栗 堀 伊 三 松	貨 普 物 通	12 10
		粟 堀 伊 三 松	貨 普 物 通	8 14
門 司 鐵 道 局	山 陰 本 線	飯 飯 浦	普 貨 普 假 乘 降	4 3
		西 西 幡	普 貨 普 假 乘 降	6 19
				9 11
				10 17
				3 26

昭和二年中新設驛(三)

局別	線名	驛名	取扱種別	開始月日		
仙臺鐵道局	大船渡線 花輪津線 會同	千荒門上	普通	7月15日		
		厩町新屋		10月30日		
		三寄田		11月1日		
	奥羽本線 五所川原線	羽後飯塚	普通	11月17日		
		板柳		6月1日		
		鶴田		" "		
	十日町線	陸奥鶴川	旅普	" "		
		五ヶ所		" "		
		越後岩中		6月15日		
	鐵道局	越後線	魚沼	普通	11月15日	
			十日		" "	
			比西		10月1日	
		彌彥線	同同同同同同同同同同同同	刈西禮石出妙小桐大地粟西和	普通	" "
				禮石出妙小桐大地粟西和		" "
				禮石出妙小桐大地粟西和		" "
禮石出妙小桐大地粟西和				" "		
禮石出妙小桐大地粟西和				" "		
禮石出妙小桐大地粟西和				" "		
禮石出妙小桐大地粟西和				" "		
禮石出妙小桐大地粟西和				" "		
禮石出妙小桐大地粟西和				" "		
禮石出妙小桐大地粟西和	" "					
彌彥線	同同同同同同同同同同同同	越後內寺關白彌矢	普通	" "		
		越後內寺關白彌矢		" "		
		越後內寺關白彌矢		" "		

昭和二年中新設驛(四)

局別	線名	驛名	取扱種別	開始月日	
仙臺鐵道局	彌彥線	燕三條	普通	10月1日	
		北越後大崎		" "	
		越後長澤		" "	
札幌鐵道局	留萌線	三小泊	普通	10月25日	
		大布遠		" "	
		網細塘茅		" "	
	根室本線	綱布	普通	12月26日	
		綱布		9月15日	
		綱布		" "	
	石北東線	石北東	普通	" "	
		石北東		" "	
		石北東		" "	
	鐵道局	石北東線	日高	普通	10月10日
			日高		" "
			日高		8月1日
			日高		" "
			日高		" "
			日高		" "
日高			" "		
日高			" "		
日高			" "		

昭和二年中廢止驛

局名	線名	驛名	取扱種別	廢止月日
門鐵道局	伊田線	金田炭坑	貨物	6月20日

所屬別官名

官名別所屬別	勅任官						同待遇		奏任				
	大臣	政次務官	次官	參與官	局長	技師	技師	秘書官	書記官	事務官	參事	副參事	
本省	1	1	1	1	7	4	1	1	18	35	—	—	
建設省	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
改良電氣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
東京	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
神戶	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
門司	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
仙臺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
札幌	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	1	1	1	1	13	5	3	1	18	37	27	135	

主ナル職名

職名	高等官	判任官	鐵道手	雇員	備人	計
長役	20	2,307	12	2	—	2,341
助役	—	1,099	48	680	—	1,827
掛子	—	434	7	485	—	926
掛子	—	556	39	255	—	850
掛子	—	122	23	2,517	—	2,662
掛子	—	—	3	482	—	485
掛子	—	31	1	1,560	—	1,592
掛子	—	156	26	1,405	—	1,587
掛子	—	616	57	2,552	—	3,225
掛子	—	85	1	2,285	—	2,371
掛子	—	14	2	776	—	792
掛子	—	37	53	956	—	1,046
掛子	—	47	137	2,152	—	2,336
掛子	—	25	146	2,009	—	2,180
掛子	—	—	14	2,545	6,207	8,766
掛子	—	—	5	565	818	1,388
掛子	—	—	—	—	14,524	14,524
掛子	—	—	—	—	3,922	3,922
掛子	—	—	1	—	7,157	7,158
手	—	—	—	—	—	—
手	—	—	—	—	1,857	1,857
手	—	—	—	—	1,964	1,964
手	—	—	—	—	—	—
手	—	53	—	—	—	53
手	—	278	—	35	—	313
手	—	153	97	7,640	—	7,890
手	—	18	1	1,073	—	1,092
手	—	8	—	283	—	291
手	—	—	—	—	1,310	1,310
手	—	—	—	—	2,170	2,170
手	—	—	—	—	316	316
手	8	108	—	—	—	116

別職員表 (昭和元年 度末現在)

官	同待遇			判任官		同待遇			雇員	備人	計	
	技師	鐵道醫	主事	屬	書記	技手	鐵道醫	鐵道手				
117	18	1	2	579	—	393	18	—	1,614	1,274	4,086	
42	—	—	1	153	—	361	—	—	956	2,086	3,600	
24	—	—	—	110	—	278	—	—	624	856	1,895	
5	—	—	—	16	—	40	—	—	189	329	579	
71	9	—	6	2,405	1,178	14	444	18,400	25,996	48,571	48,571	
42	20	—	2	1,628	739	14	285	10,448	15,329	28,536	28,536	
40	26	—	2	2,050	914	29	281	12,525	18,807	34,706	34,706	
50	17	—	1	1,815	822	20	248	10,296	17,640	30,933	30,933	
36	18	—	1	1,469	669	16	249	8,062	14,870	25,410	25,410	
50	17	—	2	1,357	625	16	269	6,459	13,372	22,184	22,184	
477	125	1	2	16	858	10,724	6,019	127	1,776	69,573	110,559	200,500

別人員表 (昭和二年三月 末日現在)

職名	高等官	判任官	鐵道手	雇員	備人	計
機關庫助役	—	602	—	1	—	603
機關庫助役	—	915	321	6,236	—	7,472
機關庫助役	—	—	—	387	—	387
機關庫助役	—	—	—	7,058	—	7,058
機關庫助役	—	—	—	567	443	1,010
機關庫助役	—	26	1	113	—	140
機關庫助役	—	—	—	153	—	153
機關庫助役	—	—	—	—	3,488	3,488
機關庫助役	—	—	—	—	4,670	4,670
技師	—	—	2	—	4,818	4,820
技師	—	—	—	—	696	696
檢車所主	1	60	—	—	—	61
檢車所主	—	28	71	2,182	—	2,281
檢車所主	—	—	—	150	—	150
檢車所主	—	—	—	178	117	295
檢車所主	—	—	—	—	323	323
列車電燈所主	—	28	—	—	—	28
列車電燈所主	—	1	2	338	—	341
列車電燈所主	—	—	—	—	190	190
列車電燈所主	—	—	—	92	327	419
保線區主	2	146	—	—	—	148
保線區主	—	—	2	98	64	164
保線區主	—	—	—	—	2,385	2,385
保線區主	—	—	—	—	16,090	16,090
保線區主	—	—	—	—	137	182
保線區主	—	—	—	—	2,568	2,568
保線區主	—	—	—	—	839	839

(96) 組織

主ナル職名別人員表 (續)

職名	高等官	判任官	鐵道手	雇員	備人	計
任長手	—	43	—	—	—	43
主手	—	—	2	85	88	170
區工	—	—	—	—	2,238	2,238
信工	—	—	1	156	593	660
通信塞機	—	—	—	—	—	—
任長手	—	32	—	—	—	32
主手	—	—	1	21	61	83
區工	—	—	—	—	1,382	1,382
電力	7	40	3	28	—	78
電電船水火舵油	—	—	—	—	452	452
夫夫夫	—	—	—	—	452	452
差	—	—	—	103	83	186
差	—	—	—	100	106	206

組織 (97)

職名	高等官	判任官	鐵道手	雇員	備人	計
仕	—	—	—	—	233	233
任手	1	4	—	—	—	5
主轉	—	8	7	354	—	369
庫運	—	—	—	—	—	—
車庫	—	—	—	—	—	—
電車	—	—	—	—	—	—
船給	—	—	—	—	—	—
船給	—	—	—	—	9,179	9,179
技手	—	—	—	—	319	319
女工見	—	—	—	—	414	414
工場	—	—	—	—	1,628	1,628
工場	—	—	—	—	928	928
手	—	—	—	—	—	—
女工	—	—	—	—	221	221
女工	—	—	—	—	—	—
看護婦	—	—	—	365	112	477

國有鐵道職

員及給額表

種 年 度	職									
	高等官				一人 平均 給額	判任官				一人 平均 給額
	親、勅任官		奏任官			屬、書記		技手		
	人員	給料月額	人員	給料月額		人員	給料月額	人員	給料月額	
大正 1	21	7,358	517	73,904	151.04	4,749	209,960	2,290	121,771	
2	19	6,591	431	63,242	155.18	4,526	199,582	2,176	115,442	
3	21	7,342	451	67,912	159.42	4,569	199,932	2,140	112,473	
4	20	6,700	450	68,667	160.36	4,675	205,199	2,190	114,715	
5	20	6,600	449	71,754	167.07	4,704	206,496	2,293	118,525	
6	19	6,292	441	69,913	165.66	4,809	215,348	2,318	121,398	
7	20	6,558	512	81,625	165.76	5,181	236,322	2,494	129,842	
8	20	6,533 × 44	600 × 5,040	96,051 × 114.55	165.46 × 114.55	6,143 × 44	309,142 × 2,932	2,932 × 2,980	166,259 × 2,980	
9	19	8,692 × 53	610 × 11,688	153,704 × 208.71	258.18 × 208.71	6,865 × 53	595,523 × 3,412	3,412 × 3,233,329	323,329 × 3,233,329	
10	25	11,283 × 69	666 × 14,540	168,775 × 210.72	260.57 × 210.72	7,917 × 69	687,243 × 4,039	4,039 × 383,426	383,426 × 383,426	
11	22	9,858 × 85	611 × 18,042	152,139 × 212.26	255.92 × 212.26	8,965 × 85	775,831 × 4,625	4,625 × 436,900	436,900 × 436,900	
12	24	10,817 × 101	714 × 22,183	170,350 × 219.63	245.48 × 219.63	9,606 × 101	823,212 × 4,925	4,925 × 455,095	455,095 × 455,095	
13	25	11,317 × 111	657 × 25,833	154,225 × 232.73	242.73 × 232.73	10,050 × 111	848,444 × 5,124	5,124 × 469,522	469,522 × 469,522	
14	24	10,833 × 119	696 × 28,858	169,192 × 242.50	250.03 × 242.50	11,008 × 119	931,202 × 5,670	5,670 × 524,319	524,319 × 524,319	
昭和 1	22	10,008 × 125	698 × 31,659	170,533 × 253.27	250.75 × 253.27	11,585 × 125	979,665 × 6,035	6,035 × 556,633	556,633 × 556,633	

備考 ×印ハ各相當官ノ待遇ヲ受クル鐵道醫ヲ示ス但シ雇員欄×印ハ鐵道手(判任官待遇)ヲ示ス
本表中ニハ外國留學生及休職官吏ヲ含マス

一 人 平 均 給 額	員									
	雇員		一 人 平 均 給 額	備人		一 人 平 均 給 額	總計		一 人 平 均 給 額	
	人員	給料月額		人員	給料月額		人員	給料月額		
	人員	給料月額		人員	給料月額		人員	給料月額		
47.13	27,745	542,716	19.56	74,661	1,137,952	15.24	109,983	2,093,661	19.04	
47.00	× 695 28,086	× 26,167 540,356	× 37.77 19.24	76,155	1,157,911	15.20	112,087	2,109,271	18.82	
46.57	× 687 29,432	× 28,449 573,465	× 38.50 19.48	77,664	1,218,860	15.69	114,964	2,206,463	19.19	
46.60	29,985	607,072	20.25	74,782	1,189,450	15.91	112,102	2,191,803	19.55	
46.45	× 883 30,597	× 34,832 601,414	× 39.44 19.66	76,336	1,214,111	15.90	115,282	2,253,732	19.55	
47.26	× 1,051 34,978	× 42,395 743,152	× 40.34 21.25	82,272	1,478,683	17.97	125,888	2,677,181	21.27	
47.71	× 1,420 39,102	× 60,578 923,868	× 42.66 23.63	90,314	1,867,964	20.68	139,043	3,306,757	23.78	
× 67.73	× 1,480 52,39	× 71,222 1,258,125	× 48.12 26.87	100,501	2,446,844	24.35	158,595	4,362,196	27.51	
× 129.36	× 1,430 89,41	× 121,378 2,594,651	× 84.88 51.48	100,981	4,762,176	47.16	163,826	8,577,997	52.36	
× 125.31	× 1,380 89,55	× 117,021 2,759,085	× 84.80 51.30	100,440	4,647,593	46.27	168,371	8,796,234	52.24	
× 119.29	× 1,546 83,12	× 129,005 2,929,799	× 83.44 50.34	106,733	4,820,119	45.16	180,860	9,280,043	51.31	
× 119.14	× 1,527 87,97	× 127,855 3,113,625	× 83.73 50.22	109,796	4,894,044	44.57	188,783	9,628,261	51.00	
× 126.05	× 1,642 86,86	× 137,390 3,254,210	× 83.67 49.73	112,402	4,968,827	44.21	195,555	9,883,003	50.54	
× 132.76	× 1,781 87,27	× 149,406 3,336,252	× 83.89 50.16	109,952	4,897,586	44.54	195,876	10,062,833	51.37	
× 139.57	× 1,776 87,19	× 149,999 3,536,185	× 84.46 50.83	110,559	4,938,684	44.90	200,500	10,416,094	51.95	

線路名稱區間及哩程

(昭和二年三月末日現在)

線名	區間	營業哩程	
東海道線	東海道本線	{東京神戸間、鶴見橫濱港間、橫濱櫻木町間、大垣美濃赤阪間、東灘神戸港間及貨物支線	403.7
	橫濱線	東神奈川八王子間及貨物支線	27.6
	橫須賀線	大船橫須賀間	10.0
	熱海線	國府津熱海間	16.7
	武豐線	大府武豐間	12.0
	高越線	岐阜白川口間	33.0
	美濃線	美濃太田坂取口間	13.9
	西成線	大阪櫻島間	4.9
	福知山線	神崎福知山間及塚口尼ヶ崎間	69.9
	有馬線	三田有馬間	7.6
	計	604.3	
北陸線	北陸本線	米原直江津間及敦賀敦賀港間	229.8
	濱線	敦賀新舞鶴間	52.4
	國線	金津三國間及貨物支線	6.1
	尾線	津幡和倉間及七尾七尾港間	38.3
	越線	伏木城端間	23.0
	見線	伏木水見間	5.8
	湊線	能町新湊間	2.2
	計	357.6	
中央線	中央本線	東京鹽尻名古屋間	255.0
	〃井線	鹽尻篠ノ井間	42.1
	〃多線	多治見廣見間(軌間二呎六吋)	7.4
	計	304.5	
山陽線	山陽本線	神戸下關間、兵庫和田岬間及貨物支線	335.1
	但線	飾磨港和田山間	44.4
	野線	岡山宇野間	20.4
	備線	津山口中國勝山間	24.5
	南線	倉敷木野山間	24.1
	備線	海市田吳間	12.4
	口線	小郡石見益田間	58.4
	福線	厚狹東萩間及伊佐大嶺間	47.4
	串線	幡生瀧部間	24.1
		計	590.8
山陰線	山陰本線	京都石見小濱間	326.8
	鶴津線	綾部新舞鶴間、新舞鶴中舞鶴間及貨物支線	19.5
	美吉線	舞鶴網野間	34.6
	備北線	鳥取智頭間	19.8
	備北線	上井倉吉間	2.6
	社線	伯耆大山足立間	38.2
	大線	米子境間	11.2
		出雲今市大社間	4.7
	計	457.4	
關西線	關西本線	名古屋木津奈良湊町間及貨物支線	109.9
	參宮線	龜山鳥羽間	44.5

線路名稱區間及哩程 (其 二)

線名	區間	營業哩程	
關西線	紀勢東線	相可口瀧原間	19.0
	草津線	柘植草津間	22.6
	奈良線	木津京都間及貨物支線	22.7
	櫻井線	奈良高田間	18.2
	片町線	木津片町間	28.1
	和歌山線	王寺和歌山市間及貨物支線	55.6
	勢西線	和歌山藤並間	21.9
	東線	天王寺大阪間	6.6
		計	349.1
	東北線	東本線	東京青森間
手磐郡線		赤羽品川間及池袋田端間	16.3
高崎線		日暮里岩沼間田端三河島間及貨物支線	219.7
兩毛線		常陸大宮常陸大子間	20.0
足尾線		大宮高崎間	46.4
上越線		小山高崎間	57.1
水戸線		桐生間藤間及貨物支線	28.6
日光線		新前橋後閑間	24.4
烏川線		小山友部間	31.3
大船渡線		下館茂木間	26.1
磐城越前線		宇都宮日光間	25.1
會津線		寶積寺烏山間	12.7
黑場田輪戶湊線		松川岩代川俣間	7.6
山花八大線		岩切鹽竈間	4.3
		一ノ關摺澤間	19.0
		黑澤尻橫手間	37.5
		盛岡橋場間	14.7
		盛岡上米內間	6.1
		好摩赤坂田間	18.6
		尻內陸中八木間及八戸湊間	28.5
	野邊地大湊間	36.3	
	計	1,139.7	
磐越線	磐越東線	平郡山間	53.2
	會津線	郡山新津間	108.2
		會津若松會津坂下間	13.4
	計	174.8	
奧羽線	奧羽本線	福島青森間及貨物支線	304.8
	長井澤線	米澤今泉間	14.3
	生保內線	赤湯荒砥間	19.0
	船能川代線	山形左澤間	16.3
	五所川原線	大曲生保內間	22.1
	石川線	追分船川間	16.5
		機織岩館間	18.1
		五所川原鱒ヶ澤間	13.6
		川部黑石間	4.1
		計	428.8
羽越線	羽越本線	新津秋田間及貨物支線	170.6
	赤谷線	新發田赤谷間	8.8

線路名稱區間及哩程 (其 三)

線	名	區	間	營業哩程	
線	計			179.4	
陸羽線	陸羽石	東西卷	小牛田新庄間	58.5	
			新庄余目間	26.7	
			小牛田石卷間	17.4	
			計	102.6	
信越線	信上魚	越北沼	高崎新潟間	203.6	
			宮內越後湯澤間	42.5	
			來迎寺小千谷間 (軌間二呎六吋)	8.1	
			計	254.2	
總武線	總房成北久東	武總田條留金	兩國橋銚子間及貨物支線	77.6	
			千葉勝浦間	44.3	
			佐倉我孫子間、成田佐原間	45.2	
			蘇我安房鴨川間	74.2	
			木更津久留里間 (軌間二呎六吋)	14.1	
			大網成東間	8.6	
計	264.0				
讚豫線	讚	豫	線	高松伊豫北條間、多度津讚岐財田間及貨物支線	125.7
高德線	高	德	線	高松讚岐津田間	17.2
德島線	德小島	島松	德島阿波池田間	46.0	
			德島小松島間	6.9	
			計	52.9	
高知線	高	知	線	須崎土佐山田間	35.7
鹿兒島線	鹿室篠宮三肥湯山	兒島木栗地角薩前野	門司鹿兒島間及貨物支線	239.6	
			遠賀川室木間	6.9	
			吉塚篠栗間	6.4	
			熊本宮地間	33.1	
			宇土三角間	15.9	
			八代佐敷間	20.9	
			人吉湯前間	15.5	
			栗野山野間	14.7	
			計	353.0	
			長崎線	長唐伊佐	崎津萬里保
久保田西唐津間山本岸嶽間及貨物支線	31.5				
有田伊萬里間	8.1				
早岐佐世保間	5.5				
計	143.7				
日豐線	日田宮大犬細	豐川床湯飼島	小倉吉松間	280.2	
			行橋添田間後藤寺起行間及貨物支線	27.6	
			後藤寺宮床間及貨物支線	2.1	
			大分野矢間	33.1	
			大分玉來間	39.2	
			富高細島間	2.2	

線路名稱區間及哩程 (其 四)

線	名	區	間	營業哩程	
線	妻志布志	線	廣瀨杉安間	12.0	
			都城志布志間	25.5	
計			421.9		
筑豐線	筑漆香伊桐幸長	豐生月田野袋尾	若松上山田間及貨物支線	40.1	
			芳雄漆生間上三緒筑前山野間及貨物支線	7.2	
			中間香月間	2.2	
			直方伊田間及貨物支線	13.1	
			勝野桐野間及貨物支線	4.7	
			小竹二瀬間及貨物支線	6.1	
飯塚長尾間及貨物支線	3.9				
計			77.3		
川內線	川宮	內之城	鹿兒島水俣間	72.5	
			川內町宮之城間	18.2	
計			90.7		
函館線	函上長京幌歌手岩雨	館磯輪極志宮內龍	函館旭川間及砂川上砂川間	270.4	
			五稜郭上磯間	5.4	
			長萬部靜狩間	6.6	
			俱知安脇方間	13.0	
			岩見澤幌內間及幌內大幾春別間	13.0	
			砂川歌志內間	9.0	
			南小樽手宮間	1.7	
			小澤岩內間	9.3	
			深川鷹泊間	17.0	
			計	345.4	
室蘭線	室萬夕長	蘭字張輪	岩見澤室蘭間	86.7	
			志文萬字炭山間	14.8	
			追分夕張間紅葉山登川間	32.0	
			輪西伊達紋別間	14.1	
計	147.6				
留萌線	留	萌	線	深川增毛間	41.5
根室線	根富士	室良幌	瀧川根室間及貨物支線	280.4	
			下富良野旭川間	33.9	
			帶廣上土幌間	23.8	
計	338.1				
宗谷線	宗石天	谷北驥	旭川稚內間	173.5	
			新旭川上川間	27.9	
			音威子府稚內間	79.8	
計	281.2				
名寄線	名渚	寄滑	名寄中湧別間	75.7	
			渚滑北見瀧ノ上間	21.3	
			計	97.0	
網走線	網湧相	走別生	池田斜里間	143.6	
			野付牛下湧別間	50.6	
			美幌北見相生間	22.9	
			計	217.1	
合計				7,993.2	

營業哩平均營業哩

年 度	營業哩程	平均營業哩	條			
			單 線	二 線	三 線	四 線
明 治	19	208.8	195.0	189.61	19.03	
	20	244.5	235.7	225.37	19.03	
	21	445.2	335.3	426.16	19.03	
	22	550.6	534.0	509.41	41.08	
	23	550.6	550.6	509.41	41.08	
	24	550.6	550.6	509.41	41.08	
	25	550.6	550.6	509.41	41.08	
	26	557.6	557.6	516.41	41.08	
	27	530.9	565.3	529.57	51.12	
	28	593.3	586.4	532.70	60.32	
	29	631.8	620.7	545.26	86.36	
	30	661.8	647.7	575.29	86.36	
	31	718.1	691.7	583.07	134.79	
	32	749.3	757.8	593.13	156.11	
大 正	33	823.4	788.4	639.69	108.42	3.04
	34	905.4	873.9	678.71	223.34	3.04
	35	1,062.6	976.9	810.79	248.34	3.04
	36	1,146.0	1,104.4	868.45	274.26	3.04
	37	1,211.0	1,174.9	925.02	282.66	3.04
	38	1,499.9	1,470.4	1,209.28	287.22	3.04
	39	3,093.2	2,150.2	2,701.08	385.64	3.64
	40	4,444.8	3,982.3	3,984.36	454.39	3.64
	41	4,542.9	4,512.8	3,981.28	555.63	3.64
	42	4,624.4	4,580.2	3,994.28	624.16	.40
	43	4,870.3	4,767.3	4,213.37	651.02	.40
	44	5,044.1	4,950.3	4,358.55	679.28	.40
	1	5,217.0	5,129.9	4,497.12	714.67	.40
	2	5,472.7	5,348.1	4,731.43	734.11	.40
3	5,689.5	5,585.1	4,944.67	720.06	1.07	
4	5,759.0	5,729.3	5,000.66	734.52	1.07	
5	5,858.7	5,810.0	5,094.22	741.04	1.07	
6	6,001.5	5,923.7	5,209.35	771.59	1.07	
7	6,077.6	6,041.2	5,269.17	780.12	—	
8	6,207.8	6,138.6	5,369.61	809.00	—	
9	6,484.7	6,314.1	5,600.18	857.16	—	
10	6,723.8	6,615.5	5,803.21	904.03	1.55	
11	7,005.7	6,850.8	6,013.73	971.08	.65	
12	7,335.2	7,130.1	6,269.54	1,048.09	4.60	
13	7,548.3	7,439.9	6,411.29	1,099.44	11.55	
14	7,825.1	7,697.6	6,658.07	1,126.68	12.53	
昭 和	1	7,993.2	7,918.4	6,783.50	1,158.68	12.53

及軌條別軌道延長

數	別				計	軌道線長
	四 線	五 線	六 線	七 線		
					208.64	
					244.40	
					445.19	
					550.49	
					550.49	
					550.49	
					550.49	
					557.49	698.27
					580.69	757.47
					593.22	792.18
					631.62	870.64
					661.65	910.17
					718.06	1,009.43
					749.24	1,082.75
					823.35	1,197.41
					905.29	1,344.53
					1,062.37	1,555.05
					1,145.75	1,688.74
					1,210.72	1,785.12
					1,499.54	2,121.65
	1.33				3,092.09	4,319.42
	1.33				4,444.12	6,155.79
	1.33				4,542.28	6,415.74
	4.57				4,623.61	6,624.58
	4.57				4,869.56	7,052.61
	4.57				5,043.20	7,424.27
	3.24	.56	.57		5,217.16	7,774.46
	3.24	—	1.33		5,470.71	8,200.75
	16.29	—	3.77		5,686.26	8,611.51
	16.34	—	3.77		5,756.76	8,840.14
	16.34	—	3.77		5,856.64	9,029.23
	16.34	—	3.77		5,999.52	9,313.28
	16.48	1.14	1.33	1.30	6,072.74	9,503.16
	19.48	1.14	1.33	1.30	6,202.26	9,745.10
	19.48	1.14	1.33	1.30	6,480.79	10,240.66
	19.70	.74	1.33	1.31	6,732.47	10,653.43
	24.33	.74	1.33	1.31	7,013.77	11,138.00
	24.33	.74	1.33	1.31	7,350.54	11,735.50
	32.18	.74	1.33	1.31	7,558.44	12,217.40
	35.62	.74	1.33	1.31	7,837.08	12,619.60
	49.00	.74	1.33	1.31	8,007.69	13,032.63

著名工事

横川、輕井澤間「アプト式」齒狀線

起工及開通 明治二十四年三月十九日起工シ同二十六年四月一日開通
 工事概要 兩驛間六哩七十五鎖ニシテ十五分ノ一勾配約五哩十九鎖ニ及ビ横川附近一哩餘ハ四十分ノ一ニシテ熊ノ平及輕井澤附近ハ概ネ平垣トス。全區間ニ於テ隧道二十六個所アリ其總延長一萬四千六百四十四呎ニシテ第六隧道一千八百七呎ヲ最長トス。橋梁ハ十八個所其總延長一千四百七十一呎ニシテ碓氷川六十呎四連ノ拱橋ヲ最長トス。軌條ハ每碼六十封度ノモノヲ敷設シ勾配十五分ノ一ノ區間ニ在リテハ「アプト」式齒狀軌條ト共ニ鋼製枕材ニ定著ス。
 建設費 百九十九萬千六百六十五圓(二十六年度最終ノ額)ニシテ一哩平均二十八萬四千五百二十四圓ヲ要シタリ。(以上日本鐵道史)
 電化決定明治四十二年六月 電化工事着手同四十三年四月 電化工事竣成同四十四年九月。
 電氣機關車ヲ以テ客貨車定期運轉開始明治四十五年五月十一日。
 横川輕井澤間距離五哩二十鎖 高低差千八百十七呎。

大畑、矢嶽間螺狀線

起工及開通 八代、鹿兒島間ノ線路ハ明治三十二年三月起工シ同四十二年十一月二十一日人吉、吉松間線路ノ竣成ニヨリテ全通ス。
 工事概要 人吉ヨリ吉松ニ至ル二十一哩十六鎖間ニ隧道ヲ鑿ツコト二十一個所就中矢嶽隧道ハ延長六千八百七十七呎ヲ以テ最長トス。線路ハ人吉以南四十分ノ一ノ勾配ヲ以テ大畑ニ至リ是ヨリ線路ノ勾配ヲ極限以內ニ保ツ必要ヨリ約一哩四分ノ一間ノ螺旋形ヲ畫キ其ノ交錯點ニ於テ百二十七呎ノ高差ヲ以テ南進シ山脈ノ斷絶セル所ニ百十五呎ノ高堤ヲ築キ三十三分ノ一急勾配ヲ以テ大野第一、第二、第三、第四ノ四隧道ヲ貫キ大畑川ヲ渡リ大河間ニ出テ是ヨリ四十分ノ一ノ上リ勾配ニテ矢嶽停車場ニ達ス。

橋梁並隧道

昭和元年度末ニ於ケル鐵道橋及雜橋梁等ノ總延長ハ百二十八萬五千四百九十一呎隧道總延長ハ百二十三萬三千五百五十五呎ニシテ之カ内譯左ノ如シ。

種別	鐵道橋				雜橋梁		計	隧道
	甲		乙		河海及陸棧橋	其ノ他		
	桁橋	拱橋	開渠	暗渠				
東京鐵道局	187,814	37,562	14,622	6,866	3,861	11,905	262,630	135,059
名古屋鐵道局	146,720	3,019	21,539	7,595	934	6,024	185,831	235,366
神戸鐵道局	223,024	2,321	34,933	9,553	916	8,476	279,223	271,789
門司鐵道局	169,396	2,145	31,343	10,629	13,793	7,202	234,508	230,562
仙臺鐵道局	166,154	1,217	18,118	5,040	249	6,208	196,956	251,544
札幌鐵道局	86,637	188	12,112	2,884	22,987	1,505	126,313	58,835
合計	979,745	46,452	132,667	42,567	42,740	41,320	1,285,491	1,233,155

主要鐵橋

名稱	線名	區間	延長 (呎)
阿賀野川	羽越線	新津、水原	4,077
天龍川	東海道本線	中泉、天龍川	3,967
大井川	同	島田、金谷	3,341
揖斐川	關西本線	長島、桑名	3,255
利根川	常磐線	我孫子、取手	3,103
荒川	東北本線	赤羽、川口	3,033
木曾川	關西本線	彌富、長島	2,834
第二丸川	羽越線	余目、砂越	2,701
下淀川	日豐本線	高鍋、川南	2,643
黒部川	東海道本線	大坂、神崎	2,536
上酒匂川	北陸本線	生地、入善	2,468
阿武隈川	奧羽本線	大曲、神宮寺	2,418
利根川	東海道本線	吹田、大坂	2,352
武隈川	熱海線	鴨宮、小田原	2,324
入根川	常磐線	巨理、岩沼	2,265
會川	東海道本線	茅ヶ崎、平塚	2,127
	東北本線	栗橋、古河	2,087
	東海道本線	木曾川、岐阜	2,033

主要隧道

名稱	線名	區間	延長 (呎)
笹冠	子著佛越山嶽坂瀨觀野代山分谷穗井山鳥嶮	笹子、初鹿野	15,275
小泉	中篠中央	麻績、姥捨	8,714
新矢	熱海	淺川、與瀨	8,350
第二平	東海道本線	湯河原、熱海	8,060
桃斗	鹿兒島	大津、山科	7,629
賀野	篠井西	矢嶽、眞幸	6,877
田東	篠井西	明科、西條	6,837
水蘆	高知	日出谷、鹿瀨	6,581
稻金	山口	鏝、久谷	6,535
鳥善	海	吾桑、斗賀野	6,406
善知	東海道本線	仁保、篠目	6,224
第二板谷	大湯	山科、京都	6,118
	函館本線	北由布、野矢	6,105
	中央本線	城崎、竹野	6,099
	常磐本線	小澤、銀山	5,828
	中央本線	奈良井、藪岡	5,488
	中央本線	龍田、富岡	5,430
	中央本線	小野、鹽尻	5,422
	中央本線	板谷、峠	5,343

主要隧道 (續)

名	稱	線	名	區	間	延	長	(呎)	
德	浦	日	豊	本	線	白	杵、津	5,253	
白	井	山	口	線		德	佐、津	5,102	
青	井	岳	日	豊	本	線	青	井岳、山	5,016
尚目下開鑿中ノモノナレドモ左記ニ隧道ハ我國ニ於テ最大ノ延長ヲ有スルモノナリ									
清	水	上	越	南	線	土	合、土	31,832	
丹	那	熱	海	線		函	南、來	25,614	

勾配ト其ノ延長

大正十五年三月末日現在勾配線ノ延長ハ 總計五千三百一哩六十九鎖三十節ニシテ 同日現在ノ營業哩程ニ對シ六十七・七%ニ當レリ。而シテ百分ノ一以上ノ勾配線ノ延長ハ二千四百六十八哩五十七鎖九十一節ニシテ勾配線延長ノ總計ニ對シテ四十六・六%、營業哩程ニ對シテ三十一・五%ニ當レリ。勾配ト其延長内譯次ノ如シ。

勾	配	勾	配	長	勾	配	勾	配	長
15	M 5	C 04	L 37.0		64	M 36	L 67.0		
20		19	97.0		65	C 32	L 28.0		
30	12	24	86.0		66	153	18	32.0	
32		74	67.0		68	1	00	00.0	
33		78	58.0		70	32	30	27.0	
35	2	01	38.0		71		14	00.0	
40	229	25	53.0		72	2	76	34.0	
41		26	00.0		73	2	16	76.0	
42	8	11	61.0		75	88	20	51.0	
43		22	10.0		76	1	36	70.0	
44	22	33	81.0		77	1	76	80.0	
45	16	25	67.0		79		35	00.0	
46	1	32	60.0		80	146	55	23.0	
47	2	24	54.0		81		25	00.0	
48	4	79	70.0		82		52	95.0	
49		25	00.0		84		17	86.0	
50	179	68	63.0		85	2	44	10.0	
51	1	04	90.0		86		50	00.0	
52		56	00.0		88	83	79	94.0	
54		28	17.0		90	7	44	61.0	
55	42	48	63.0		92	1	71	77.0	
58		36	11.0		94	2	14	82.0	
60	189	17	04.0		95		73	97.0	
61	1	01	70.0		96		39	30.0	
62	2	16	38.0		97		58	00.0	
63		31	00.0		98		31	00.0	

勾配ト其延長 (續)

勾	配	勾	配	長	勾	配	勾	配	長
99	M 3	C 04	L 00.0	819—900	M 58	C 58	L 39.0		
100	1,206	22	76.0	924—1,000	44	44	94.0		
102-150	617	70	94.0	1,015—2,000	173	22	86.0		
152-200	431	61	58.0	2,200—3,000	30	27	29.0		
202-300	597	9	89.0	3,300—4,000	4	48	47.0		
303-400	299	46	58.0	4,049—5,000	4	8	90.0		
415-500	210	74	74.0	5,077 以上	6	22	50.0		
516-600	144	45	71.0						
610-700	165	12	92.0						
710-800	44	15	68.0	合 計	5,301	69	30.0		

曲線ト其ノ延長

大正十五年三月三十一日現在ノ曲線ノ延長ハ 總計二千二百二十一哩三十六鎖七十二・六節ニシテ 同日現在ノ國有鐵道營業哩程七千八百二十五哩ニ對シテ二十八・四%ニ當レリ。

半	徑	曲	線	長	半	徑	曲	線	長
C 6	M 1	C 30	L 31.0	31-35	M 37	C 03	L 19.0		
7		30	09.0	36-40	247	17	40.0		
8	3	31	38.0	41-50	80	15	23.0		
9	2	49	13.0	52-60	138	46	87.0		
10	10	52	09.0	62-70	10	75	21.6		
11	2	50	06.0	71-80	76	30	49.0		
12	16	20	09.0	81-100	29	28	92.8		
13	13	56	90.0	105-200	35	68	33.0		
14	1	53	60.0	240-300	4	64	37.0		
15	395	11	85.1	305-400	1	39	20.0		
16-20	661	63	88.3	1,000		9	60.0		
21-25	121	37	68.5						
26-30	328	30	78.3	合 計	2,221	36	72.6		

ハンプ操車場

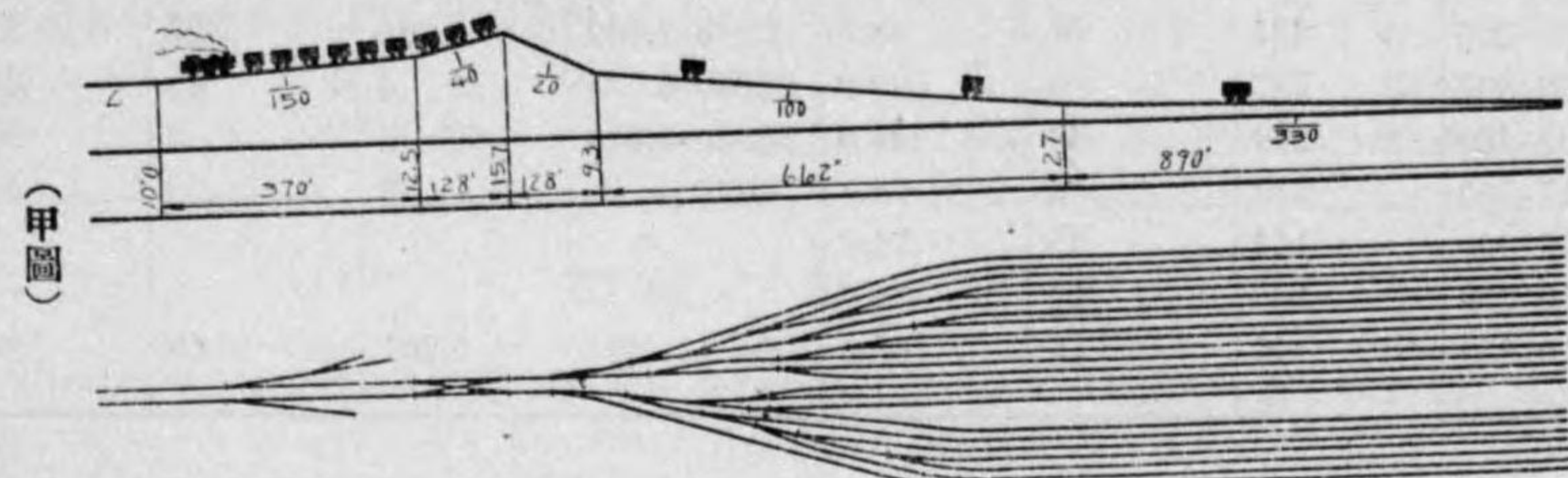
貨物列車ハ此ヲ編成スル各貨車ノ行先ニヨリテ整然タル順序ニ組成サレアルヲ理想トス、即チ各驛ニ於テ列車ノ停止時間ヲ最モ短少シテ貨車ノ連結解放ヲ爲サシムル事ヲ必要トス。此ノ目的ノ爲メニ全編成ヲ解放シ新ニ秩序ヨキ列車ニ組成スル 作業ハ所謂操車作業ニシテ 此ノ作業ヲ遂行スル驛ハ即チ操車場ナリ。

(103) 線路

現在ノ操車場ヲ作業ノ方法ニヨリ左ノ如ク分類スルヲ得ベシ。

- (一) 並入換操車場
- (二) ハンプ操車場
- (三) グラビティー・システム操車場

但シ(二)ノハンプ操車場ニアツテモ並入換ヲ補助トシテ作業ヲ行フコトハ勿論ナリ。(三)ハ地形ノ適否ガ建設費ニ大ナル關係アル爲メ適用ノ機少ク各國ニ於テモ其ノ數甚ダ稀ナリ。



ハンプハ甲圖(大宮操車場ノハンプ)ニ示ス如ク地平面ニ設置サレタル高サ六呎乃至十五呎ノ小丘ニシテ、此ノ上ニ線路ヲ敷設シ到着線群ト仕分線トヲ連絡セシム。此ノハンプノ上ニ列車ヲ頂上マテ推進シ一車乃至數車ツツ反對側下リ勾配ニ落シ込ムモノニシテ自走セル貨車ハ轉轍器ノ轉換ニヨツテ仕分線中ノ所定ノ線路ニ進入ス。之レハハンプ操車ノ大要ナルガ之レニ依ツテ一日平均二、三千輛ノ貨車ヲ取扱フコトヲ得ベシ。

(乙圖)



次ニハンプ操車場ノ各線群間ニ於ケル位置ト各線群ノ主要作業ノ關係ヲ述ブレバ

- 一、到着線群 整理スベキ列車ヲ一時留置シテ作業ノ準備ト待避ニ當ツ。
 - 二、ハンプ 前記ノ通り。
 - 三、方向別線群 到着線群ニアル列車ハ前ニ述ベラレタルハンプニ掛ケラレテ本線群ニテ方向別ニ分解サル。此ノ場合小口中繼修繕車、緩急車等ノ分類モ行フ。方向別仕分ノミニテ作業ノ終ルモノハ出發線ニ行キ尙驛別ニ分類スルモノハ驛別線群ニ到ル。
 - 四、驛別線群 第二次的ニ尙分類スベキコトヲ目的驛順序ニ分類スル線群ナリ。此ノ場合ニハンプ方法ヲ採用スルコトモアリ田端、品川ノ各操車場ニハ之ヲ設ク。
 - 五、出發線群 新編成終了ノ列車ヲ一時留置シテ出發準備ト出發時刻マテノ待合セヲ目的トス。
- 以上ノ外ニ小口扱貨物ノ中繼設備、修繕車線、檢車線、空車留置線、機關車關係等ノ附帶設備等アリ。

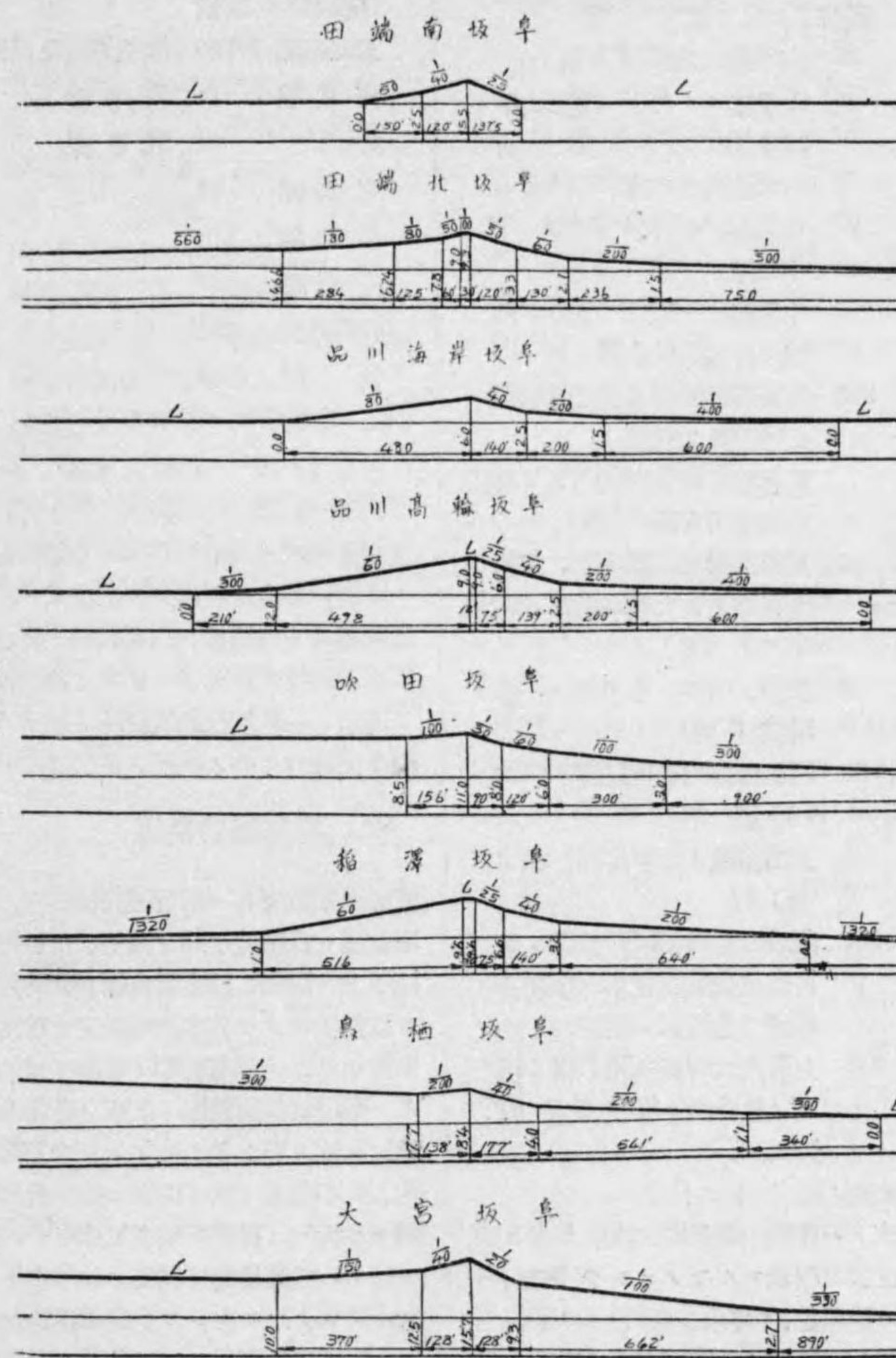
ハンプノ歴史ハ獨乙最モ古ク即チ一八七三年ニスペルドルフ (Speldorf) 操車場ガ建設セラレ米國ニ於テハ一八八二年ニハフス (Huffs) 操車場ニ設置セラレタルヲ嚆矢トス。

後我國ニ於テハ大正五年ニ田端ニハンプ操車場ヲ設置セラレタルヲ始メトシ現在ニテハ左ノ六ツノハンプ操車場アリ此ノ外鶴見操車場ハ目下建設中ナリ。

線路 (109)

操車場名	使用年度	一日平均操車々數 (大正十五年度)	一日操車能力
田端操車場	大正五年	2,258	2,500
品川操車場	大正六年	2,253	2,800
吹田操車場	大正十一年	1,887	5,000
稻澤操車場	大正十二年	1,445	3,000
鳥栖操車場	大正十五年	749	2,500
大宮操車場	昭和三年	1,800(最近一日平均)	4,000
鶴見操車場	建設中		5,000

尙丙圖ハ上記各ハンプ操車場ニ於ケルハンプ勾配ヲ示シタルモノナリ。



(丙圖)

自動信號其ノ他電氣保安裝置ノ略説及現況

イ、自動信號機

自動信號機ハ閉塞區間ノ始點又ハ終點ニ建植シ重ニ列車自體、進路ニ支障ノ有無ニ依リ自動的ニ其ノ現示ヲ制御シ該列車ノ後方ヲ防護スルト共ニ後續列車ニ對シ其ノ速度、進路方向等ヲ指示シ國有鐵道之ヲ採用セルハ大正ノ初年トス。

自動信號年表

Table with columns: 年度, 基數, 記事. Lists signal installations from 1912 to 1925, including lines like 山手線, 中央線, 京濱線, etc.

(A) 自動信號機ノ型式ニ依ル分類

色燈式 色燈式トハ晝間モ尙夜間ノ現示方式ニ依リ色燈ヲ以テ信號ヲ現示スルモノニシテ「進行」ハ綠色、「注意」ハ橙黃色、「停止」ハ赤色ナリ。腕木式 腕木式トハ從來ノ手動腕木式ト同様ニシ

テ上向三位式ト下向二位式トアリ。上向式ニ於テハ「進行」ハ腕ノ位置上向九十度、「注意」ハ上向四十五度、停止ハ水平ノ位置ヲ保ツ。下向式ニ於テハ「進行」ハ下向四十五度、停止ハ水平ノ位置ニアリ。F型自動信號機ハ下向二位式ニシテ現今使用セルモノハ殆ンド上向式トス。

自動信號設備表 昭和二年七月現在

Table with columns: 線名, 基數, 記事. Lists signal equipment for various lines like 東海道線, 東北線, 京濱線, etc.

(B) 自動信號ノ現示方式ニ依ル分類

- 三位式 (進行、注意、停止)
二位式 (進行、停止)

閉塞區間内ニ列車存在スルカ轉轍器異方向ニ開通スル時ハ停止ヲ現示シ、三位式ニ於テハ前方一區間開通スル時注意、二區間以上開通ノ時進行ヲ現示シ、二位式ニ於テハ前方一區間開通スレバ進行ヲ現示ス。F型自動信號機ノ如キハ二位式ニシテ現今使用セルモノハ殆ンド三位式ナリ。

ロ、電氣聯動裝置

電氣聯動裝置トハ信號機轉轍器相互間ノ聯查、列車自體ト各種挺子間ノ關係、信號機ノ現示トソノ挺子トノ關係、轉轍器自體トソノ挺子トノ關係等ヲ電氣的ニシテ列車運轉保安ノ程度ヲ向上シ且ツ確實ナラシメ操車能率ノ増進ヲ目的トス。

A. 全電氣聯動裝置 前項ノ各種聯查關係ヲ總テ電氣ニ依リナシタルモノニシテ操車頻繁ナル構内、遠距離其ノ他ノ理由ニ依リ機械的ニハ操縱困難ナル構内ニ採用シ現在工事中ナル中央線新宿驛ノ如キハ電氣及壓搾空氣ノ共同作用ニ依リテ動作スルモノナルモ之レヲ全電氣聯動裝置ト稱ス。

B. 電氣聯動裝置 前項各種ノ聯查關係ヲ電氣及

機械ノ共同作用ニ依リナシタルモノニシテ自動信號採用區間中ノ大部分ノ驛構内及遠距離制御ノ轉轍器又ハ操縱困難ナル轉轍器ガ少數存在スル時コノ裝置ヲ施行ス。北海道岩見澤驛操車場ニ於ケルガ如ク使用頻繁ナル轉轍器ノミヲ電氣轉轍器ニセルモノアリ。

電氣聯動裝置驛表 昭和二年十月現在

Table with columns: 全電氣聯動驛, 線名, 既設驛名, 工事中驛名. Lists electric interlocking stations across various lines.

ハ、電氣信號機

電氣信號機ハ自動信號ヲ採用セル區間以外ノ場所ニ於テ操縱困難、見透不良ナル場所ニ採用ス。

A. 腕木式 積雪又ハ曲線等機械的ニ操縱困難ナル場所ニ採用シ型式、現示方式等總テ手動腕木式信號機ニ異ラズ、現今使用セルハ概ネA型電氣信號機ナリ。直流低壓小電力ニテ動作ス。

B. 色燈式 見透シ困難ナル場所例ヘバ山間ノ停車場、隧道内、附近ノ狀況ニ依リ腕木式ヲ採用シ得ザル區間又ハ箇所ニ採用ス。スペテ二位式トシ手動腕木式信號機ノ夜間現示ト同一ノ現示ヲナス。交流、直流何レニテモヨシ。

電氣信號設備表 昭和二年九月現在

Table with columns: 局名, 基數 (既設, 工事中). Lists electric signal equipment by station.

ニ、電氣轉轍器

電氣轉轍器ハ其ノ挺子ノ操縱ヲ容易ナラシメ且ツ操車能率ヲ増進セシムル目的ヲ以テ左記ニ依リ設置シ、現今使用セルモノハ交流 110V 直流 8V ノモノ多シ。

(A) 全電氣聯動裝置驛構内ノ各轉轍器

(B) 使用頻繁ナル轉轍器

(C) 操縱困難ナル轉轍器

電氣轉轍器設備表 昭和二年十一月現在

Table with columns: 局名, 基數 (既設, 工事中). Lists electric switchgear equipment by station.

ホ、踏切道警報機

人、馬、自動車等ノ往來頻繁ナル踏切道又ハ見透シ困難ナル踏切道ニ裝置シ色燈ノ點滅、電鈴ノ鳴響、文字又ハ圓板等ニ依リ列車ガ該踏切道ニ接近シツツアルコトヲ通行人ニ豫告シ踏切道事故ヲ未然ニ防止スルモノナリ。現今使用セルモノハ一般ニ色燈ト電鈴ヲ共用ス。交流ニテ動作スルモノト直流ニテ動作スルモノトノ二種アリ。

踏切警報機 昭和二年九月現在

Table with columns: 局名, 基數 (既設, 工事中). Lists crossing alarm equipment by station.

機 關 車

機關車別配輪	大正十二年度		大正十三年度		大正十四年度		
	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	
マ ン ク 機 關 車	0-4-0	43	737.91	43	737.91	27	336.15
	2-4-2	246	9,327.33	246	9,327.33	243	9,218.40
	4-4-2	22	924.00	48	2,146.25	81	3,708.80
	4-4-4			4	211.48	7	370.09
	0-6-0	163	5,235.66	165	5,256.36	140	4,350.34
	0-6-2	472	22,952.74	472	22,952.74	472	22,952.74
	0-6-4	24	1,312.56	24	1,312.56	24	1,312.56
	2-6-0	19	790.06	19	790.06	7	252.70
	2-6-2	142	7,213.68	139	7,090.92	124	6,341.27
	2-6-4	6	352.56	6	352.56		
	0-10-0	43	2,750.07	43	2,750.07	43	2,750.07
計	1,180	51,596.57	1,209	52,928.24	1,168	51,593.12	
テ ン ダ ー 機 關 車	4-4-0	582	35,795.81	534	33,207.61	429	27,271.33
	4-4-2	24	1,794.24	24	1,794.24		
	0-6-2	12	851.40	12	851.40	12	851.40
	2-6-0	782	56,192.93	850	61,299.63	852	61,846.03
	4-6-0	66	5,701.98	66	5,701.98	66	5,701.98
	4-6-2	196	20,441.64	211	21,997.29	228	23,830.08
	2-8-0	884	76,886.62	907	78,943.51	900	78,614.83
	2-8-2	12	1,505.88	44	5,521.20	122	15,319.33
	マレー式 2-4+4-0	6	567.42	6	567.42		
	0-6+6-0	53	5,032.30	53	5,032.30	53	5,032.30
計	2,617	204,770.22	2,707	214,916.58	2,662	218,467.28	
合計	3,797	256,366.79	3,916	267,844.82	3,830	270,060.40	

機關車別配輪	大正十年度		大正十一年度		大正十二年度		
	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	
電 氣 機 關 車	C型						
	D型						
	0-6-0	12	542.04	12	542.04	12	542.04
	0-8-0	12	729.24	14	850.78	14	850.78
	B+B						
	A-A						
	2A-2A			3	169.81	6	247.85
	2A+2A					17	1,003.30
	1-2A+2A-1						
	2-3A+3A-2					1	99.10
1-3A+3A-1							
1-4A-1							
計	24	1,271.28	29	1,562.63	50	2,743.07	

輛 數 表

昭和元年度							
飽和		過熱		二呎六吋軌幅用		計	
輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數
9	212.69			16	99.38	25	312.07
235	8,919.84					235	8,919.84
99	4,563.48					99	4,563.48
7	370.09					7	370.09
90	3,647.26			40	421.69	130	4,068.95
471	22,903.56					471	22,903.56
24	1,312.56					24	1,312.56
7	252.70					7	252.70
117	6,042.35					117	6,042.35
		43	2,750.07			43	2,750.07
1,059	48,224.53	43	2,750.07	56	521.07	1,158	51,495.67
274	16,848.23	110	7,924.20			384	24,772.43
12	851.40					12	851.40
158	9,559.46	682	51,714.90			840	61,274.36
		66	5,701.98			66	5,701.98
		286	30,026.82			286	30,026.82
106	7,777.81	782	69,931.50			888	77,709.31
		189	23,721.71			189	23,721.71
		53	5,032.30			53	5,032.30
550	35,036.90	2,168	194,053.41			2,718	229,090.31
1,609	83,261.43	2,211	196,803.48	56	521.07	3,876	280,585.98

大正十三年度		大正十四年度		昭和元年度	
輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數	輛數	運轉整備ノ時ノ噸數
		12	543.36	12	543.36
		14	836.36	14	836.36
12	542.04				
14	850.78				
				2	117.82
				2	60.04
4	232.16	7	405.68	7	405.68
27	1,596.38	34	1,957.01	34	1,957.01
				6	403.44
8	792.80	8	763.76	8	763.76
				2	165.94
		2	149.60	2	149.60
65	4,014.16	77	4,655.77	89	5,403.01

使用客車

種別	二呎六吋軌幅用			六輪ボギー		
	輛數	定員	容積	輛數	定員	容積
	輛	人	立方尺	輛	人	立方尺
御試				8		
職職				7	64	
職用				2	16	
特等						
一、二、三等						
病客				3		
展等				6	181	
一、二、三等				2	72	
一、二、三等				7	223	
一、二、三等				5	160	
一、二、三等				6	203	
一、二、三等				17	609	
一、二、三等				2	52	
一、二、三等				3	126	
一、二、三等				8	370	
一、二、三等				21	709	
一、二、三等				3	87	
一、二、三等				3	103	
一、二、三等				5	160	
一、二、三等				10	458	
一、二、三等				4	176	
一、二、三等				1	52	
一、二、三等				3	144	
一、二、三等				50	2,734	
一、二、三等				27	1,236	
一、二、三等				3	144	
一、二、三等				19	786	
一、二、三等				10	412	
一、二、三等				5	146	
一、二、三等				5	200	
一、二、三等				14	579	
一、二、三等				10	582	
一、二、三等	4	74		22	1,526	
一、二、三等				4	234	

現在表 (昭和元年度)

四輪ボギー			四輪			計		
輛數	定員	容積	輛數	定員	容積	輛數	定員	容積
輛	人	立方尺	輛	人	立方尺	輛	人	立方尺
3						11		
1			1			2		
4	75		2	13	574	13	152	574
19		28,390	46		37,237	65		65,657
1	20		2	27		5	63	
1	20					1	20	
4	92		2	28		6	120	
			3	68		3	68	
						3		
						6	181	
						2	72	
						7	223	
						5	160	
						6	203	
						17	609	
6	184					8	236	
						3	126	
						8	370	
5	108					28	817	
						3	87	
36	1,056					39	1,159	
						5	160	
1	33					11	494	
						4	176	
35	1,557					36	1,609	
10	420					13	564	
2	72					2	72	
575	29,512		911	5,035		836	37,281	
8	288					8	288	
62	2,066					89	3,302	
						3	144	
26	863					45	1,649	
18	732					28	1,144	
6	180					11	326	
						5	200	
123	5,904					14	579	
						133	6,486	
			5	102		5	102	
270	17,188		34	1,178		330	19,966	
15	886		4	104		19	990	
128	7,727		4	128		136	8,089	
4	92	670				4	92	670

使用客車現在表 (續)

種 別	二呎六吋軌幅用			六 輪 ホ キ 一		
	輛 數	定 員	容 積	輛 數	定 員	容 積
三等車	9	204	立方尺	61	5,480	立方尺
三等急車				35	3,008	
三等車手用制動機付	4	80				
三等郵便緩急車				1	34	1,248
三等郵便手荷物緩急車						
三等手荷物緩急車	4	76	1,110	17	752	17,428
郵便便急車				5		12,135
郵便車手用制動機付						
郵便手荷物緩急車				18		40,547
手荷物緩急車	1		399	88		220,819
手荷物緩急車職員室付						
計	22	434	1,509	520	21,818	292,177
職用電車配給用						
二等附隨電車						
三等郵便手荷物電車						
三等電車						
三等附隨電車						
三等手荷物電車						
試驗附隨電車						
郵便電車						
計						
三等汽車						
三等手荷物汽車						
計						
煖房車						
計						
合 計	22	434	1,509	520	21,818	292,177
各月末平均輛數						
平均營業哩十哩ニ對スル輛數						
定員内譯						
一等室					2,656	
二等室		34			8,904	
三等室		400			10,258	
容積内譯						
郵便室						30,423
手荷物室			1,509			291,754

四 輪 ホ キ 一			四 輪			計		
輛 數	定 員	容 積	輛 數	定 員	容 積	輛 數	定 員	容 積
2,340	187,450	立方尺	783	37,097	立方尺	3,198	230,231	立方尺
1,462	105,294		452	21,226		1,949	129,528	
4	320		88	3,748		96	4,148	
96	3,476	84,664	12	248	5,115	109	3,758	91,027
21	544	28,149				21	544	28,149
522	18,784	559,589	69	1,139	31,364	612	20,751	609,491
			9		6,643	9		6,643
83		180,453	32		22,981	120		215,569
			1		700	1		700
220		458,768	198		172,461	436		671,776
291		612,192	309		254,147	689		1,087,557
6,402	384,946	1,952,875	2,267	70,141	531,252	9,211	477,339	2,777,813
2		3,860				2		3,860
38	2,186					38	2,186	
7	364	7,315				7	364	7,315
329	32,204					329	32,204	
432	45,360					432	45,360	
9		17,677				9		17,677
1						1		
4		7,908				4		7,908
822	80,114	36,760				822	80,114	36,760
8	590					8	590	
8	562	1,600				8	562	1,600
16	1,152	1,600				16	1,152	1,600
15						15		
15						15		
7,255	466,212	1,991,235	2,267	70,141	531,252	10,064	558,605	2,816,173
						10,217		
						130		
	1,085			27			3,768	
	55,256			5,670			69,864	
	409,871			64,444			484,973	
		641,116			111,822			783,361
		1,350,119			419,430			2,032,812

使用貨車

種別	積載													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
有蓋	四輪ボギー	雪水鐵製有蓋貨車												
		振槽蓋貨車				2								
		製有蓋貨車				4								
		計				6								
		六輪	有蓋緩急齒車付車				15							
			水槽計				15			21	5	3		
			計				15			21	5	3		
			四輪	水車運槽蓋貨車		2			5					
				瓦斯藏風蓄				235	169	48	80		504	
		冷通家々						21	31	146		129		
鐵張有蓋貨車								3	1					
鐵製有蓋貨車								2	3	652				
貨車	四輪	有蓋貨車	2	2	1,848	19	3,049	401						
		有蓋貨車	14		576	9	21	11	8,519		101			
		計	16	4	2,424	293	3,273	494	9,288		1,536			
		小計	輛數	16	4	2,424	314	3,273	494	9,309	5	1,539		
			噸數	64	20	14,544	2,198	26,184	4,446	93,090	55	18,468		
		無蓋	八輪ボギー	採重量品運搬車										
				計										
				四輪ボギー	採重量品運搬車									
					木材運貨車				3					
					無土無蓋貨車				40					
計					18									

現在表 (昭和元年度)

噸數												
13	14	15	18	20	24	25	28	30	50	無蓋	計	
										95	95	95
	6					5					6	84
											5	125
											2	14
											4	28
	6					5				95	112	251
											15	105
				45							45	900
								4			33	421
								4			93	1,426
60											67	830
7											7	91
										28	28	
											1,036	10,277
											327	3,455
											689	7,199
											36	258
											4	37
											657	7,870
											5,321	39,240
											101	1,212
15		15,381									24,546	319,942
											667	667
82		15,381									695	33,486
											790	33,691
82	6	15,381		45		5		4				
1,066	84	230,715		900		125		120				392,079
											3	3
											3	3
											3	6
											1	1
								4	8		12	352
											939	21,324
		149	88	9		693					3	21
											40	280
											80	1,277
											1	1,075
		149	145	9		698		4	8			23,254

使用貨車現在表 (續)

種 別	積 載														
	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
無蓋	六輪	鐵 桁 運 搬 車													
		材 木 車													
		無 蓋 貨 車						2	1						
		計						2	1						
	蓋	四輪	材 木 車	2			6	18	105	354					
			無蓋貨車材木車兼用							25	194			2	
			土 運 緩 急 車		17			8							
		入	四輪	土運車手用制動機付		21	3	1	18	356					
				土 運 車		65	23	30	184	777	1			23	
			貨輪	鐵 製 土 運 車								11			
無 蓋 緩 急 車								85	37	13			150		
無蓋貨車手用制動機付	2						25	270			3				
車	貨輪	鐵 製 無 蓋 貨 車							18		51				
		無 蓋 貨 車	22	4	6	117		217	6,602			2,006			
		土運車材木車兼用		18											
	控	計	26	125	32	154	313	1,542	7,463			2,235			
		小 計	26	125	32	215	313	1,544	7,464			2,235			
	噸 數	104	625	192	1,505	2,504	13,896	74,640			26,820				
石 炭 車	四輪	鐵 製 石 炭 車													
		鐵製石炭車手用制動機付							8						
	四輪	鐵 製 石 炭 車							8						
		鐵製石炭緩急車底開キ					75								
		鐵製石炭車底開キ手用制動機付							19	500					
	輪	鐵 製 石 炭 車 底 開 キ							75	35	500				
計								75	35	500					
	小 計							75	35	500					
	噸 數							600	315	5,000					
總 計	輛 數		42	129	2,456	529	3,661	2,073	17,273		5	3,774			
		噸 數	168	645	14,736	3,703	29,288	18,657	172,730		55	45,288			

噸 數												計	
13	14	15	18	20	24	25	28	30	50	無蓋		噸數	噸數
												6	90
				500								500	10,000
					50							53	1,228
		6		500	50							559	11,318
												485	4,679
												221	2,189
												25	149
												399	3,478
												1,103	9,424
												11	110
15												300	3,138
												300	2,909
												69	792
												17,918	227,188
												18	90
												40	40
15												40	20,889
15												44	22,529
195													288,908
97	564	23,162	145	554	51	703	4	838	3	834	61,897		
1,261	7,896	422,430	2,610	11,080	1,224	17,575	112	25,140	150				774,748

旅客貨物輸送

年 度	旅 客		貨 物	
	人 員	割 合	延 人 哩	割 合
大正 1	160,711,787		3,623,316,499	
2	167,773,143	.044	3,690,964,619	.018
3	166,092,421	△ .010	3,623,743,236	△ .018
4	172,290,045	.037	3,856,536,966	.064
5	197,043,320	.144	4,255,374,717	.103
6	245,234,480	.245	5,515,546,330	.296
7	288,061,584	.175	6,569,442,452	.191
8	357,881,957	.242	7,942,632,396	.209
9	405,819,694	.134	8,384,143,300	.056
10	454,535,924	.120	8,897,704,223	.061
11	512,754,745	.128	9,760,776,688	.097
12	579,288,145	.130	10,693,941,438	.096
13	640,828,520	.105	11,297,862,382	.056
14	683,568,923	.067	11,694,646,619	.035
昭和 1	740,333,411	.077	11,997,034,681	.026

備考(1) 上欄中ノ割合トハ「前年度

運 輸

年 度	鐵 道 收 入				計	割 合	一日一哩 平均收入
	客車收入	割 合	貨車收入	割 合			
大正 1	54,306,013		49,377,973		103,683,686		55
2	55,975,342	.031	53,368,932	.081	109,344,274	.055	56
3	54,671,971	△ .023	51,750,496	△ .030	106,422,467	△ .027	52
4	57,282,341	.048	57,043,485	.102	114,325,826	.074	55
5	64,773,111	.131	69,861,837	.225	134,634,948	.178	63
6	84,725,517	.308	88,439,480	.266	173,164,997	.286	80
7	119,899,610	.415	109,744,431	.241	229,644,041	.326	104
8	161,546,479	.347	131,809,103	.201	293,355,582	.277	131
9	203,887,083	.262	133,183,317	.010	337,070,400	.149	146
10	214,519,192	.052	167,241,648	.256	381,760,840	.133	158
11	232,301,592	.083	179,220,166	.072	411,521,758	.078	165
12	249,563,887	.074	178,109,089	△ .006	427,672,976	.039	164
13	259,047,342	.038	194,563,653	.092	453,610,995	.061	167
14	232,074,080	.012	198,786,210	.022	460,860,290	.016	164
昭和 1	236,199,999	.015	201,609,955	.014	467,809,954	.015	162

備考(1) 上欄中ノ割合トハ「前年度

數量及延人噸哩

年 度	貨 物		客 運	
	噸 數	割 合	延 噸 哩	割 合
大正 1	32,537,345		2,691,464,174	
2	36,348,362	.117	3,053,852,638	.135
3	35,272,875	.030	2,982,798,481	△ .023
4	35,800,664	.015	3,309,518,677	.110
5	42,100,734	.176	4,179,134,660	.263
6	48,753,041	.158	5,033,344,425	.204
7	53,313,720	.094	5,608,851,056	.114
8	59,939,525	.124	6,293,798,261	.122
9	56,623,871	△ .055	5,927,184,233	△ .058
10	57,394,029	.014	5,888,701,225	△ .005
11	64,070,573	.116	6,364,956,806	.081
12	64,782,436	.011	6,392,323,633	.004
13	70,057,345	.081	7,047,680,468	.103
14	71,939,246	.023	7,223,686,939	.025
昭和 1	73,602,765	.023	7,265,236,466	.005

比較増減割合」ノ略稱ナリ (2) △印ハ減ヲ示ス

收 入 表

年 度	船 舶 收 入	割 合	計	割 合	百 分 比			
					客車收入	貨車收入	船舶收入	計
大正 1	2,140,838		105,824,524		51	47	2	100
2	2,240,842	.047	111,585,116	.054	50	48	2	100
3	2,244,105	.001	108,666,572	△ .026	50	48	2	100
4	2,417,722	.077	116,743,548	.074	49	49	2	100
5	3,228,083	.335	137,863,031	.181	47	51	2	100
6	4,257,964	.319	177,422,961	.287	48	50	2	100
7	5,525,244	.298	235,169,285	.325	51	47	2	100
8	7,690,747	.392	301,046,309	.280	54	44	2	100
9	8,729,386	.135	345,799,786	.149	59	39	2	100
10	8,830,549	.012	390,591,389	.130	55	43	2	100
11	9,320,990	.056	420,842,748	.077	55	43	2	100
12	9,671,621	.038	437,344,597	.039	57	41	2	100
13	9,895,722	.023	463,506,717	.060	56	42	2	100
14	11,095,647	.121	471,955,757	.018	56	42	2	100
昭和 1	11,382,827	.025	479,192,781	.015	56	42	2	100

比較増減割合」ノ略稱ナリ (2) △印ハ減ヲ示ス

六大都市各驛旅客乘車人員 (續)

都市	驛別	年度					
		大正 1	2	3	4	5	6
橫濱	東神奈川	354,408	421,469	372,120	517,009	889,169	1,447,242
	神奈川	596,936	581,853	523,457	474,203	659,187	911,645
	橫櫻木計	57,108	57,280	59,295	1,156,191	1,561,480	2,237,874
	一日平均	2,667,118	2,759,126	2,547,197	2,114,022	3,183,408	4,240,967
	同上前年度比較增減	3,675,570	3,819,728	3,502,069	4,261,425	6,293,244	8,837,728
		10,070	10,465	9,595	11,643	17,242	24,213
名古屋	熱名古田	302,826	303,601	301,429	298,611	348,329	414,932
	名大古屋種	1,602,776	1,547,457	1,358,010	1,417,537	1,573,847	1,961,308
	會曾根	47,638	50,432	52,459	56,736	74,094	89,348
	千計	161,991	155,527	146,768	156,497	185,577	210,105
	一日平均	2,115,231	2,057,017	1,858,666	1,929,381	2,181,847	2,705,693
	同上前年度比較增減	5,795	5,636	5,092	5,272	5,978	7,413
京都	稻京丹二伏	224,542	153,327	157,948	181,357	198,344	227,411
	波都口條見	2,544,979	2,000,447	1,828,851	2,611,881	2,024,514	2,479,663
	二伏計	71,530	40,409	29,380	26,375	29,212	32,791
	一日平均	348,259	321,233	292,562	371,919	325,419	370,424
	同上前年度比較增減	43,802	22,549	17,439	16,649	14,576	16,981
		3,233,112	2,537,965	2,328,180	3,208,181	2,592,065	3,127,270
大阪	大福野西安櫻桃玉京櫻天片湊今天放平百	3,619,759	3,601,191	3,342,882	3,631,358	4,099,118	5,417,000
	阪島田條口島谷造橋宮滿町野宮寺出野野濟	97,194	107,617	115,581	124,920	157,597	191,537
	九治川	90,374	91,431	107,988	122,435	165,457	300,753
	日平均	216,705	184,175	192,675	152,269	211,046	331,448
	同上前年度比較增減	181,162	168,755	192,002	220,534	292,924	501,931
		44,781	53,140	47,593	57,833	137,247	306,834
神戸	三神兵鷹須鐘和	1,281,915	1,271,403	1,257,865	1,332,450	1,500,082	1,855,676
	宮戸庫取磨前岬	893,023	910,442	998,002	1,059,063	1,351,146	1,624,387
	一日平均	159,133	151,180	166,201	180,668	193,540	229,614
	同上前年度比較增減	241,142	178,623	169,648	185,174	208,448	250,652
		37,710	40,832	37,528	33,510	38,724	53,408
		228,958	225,161	305,983	340,816	502,983	718,083

備考 △印ハ減ヲ示ス

都市	驛別	年度						昭和 1
		7	8	9	10	11	12	
東京	東神奈川	1,655,063	1,820,803	1,903,369	2,219,798	2,500,012	2,467,068	3,000,763
	神奈川	1,067,829	1,281,619	1,389,599	1,597,304	1,719,103	1,708,774	2,166,071
	橫櫻木計	2,532,986	2,929,710	3,440,963	3,593,499	4,193,849	5,020,658	4,475,634
	一日平均	4,845,882	5,763,050	6,049,453	6,594,068	7,049,543	5,217,789	6,959,485
	同上前年度比較增減	10,101,760	11,795,182	12,783,384	14,004,669	15,462,507	14,414,289	16,601,953
		3,463	4,551	2,796	3,346	3,994	2,980	6,102
名古屋	熱名古田	504,464	633,950	715,940	829,737	1,004,886	1,010,931	1,036,974
	名大古屋種	2,292,890	2,961,167	3,102,059	3,477,826	3,858,325	4,231,016	4,455,575
	會曾根	109,558	127,195	145,888	186,315	232,473	236,950	278,144
	千計	273,876	343,047	365,933	415,714	441,730	479,094	503,897
	一日平均	3,180,788	4,065,359	4,329,820	4,909,592	5,537,414	5,957,991	6,274,590
	同上前年度比較增減	8,714	11,108	11,863	13,451	15,171	16,279	17,191
京都	稻京丹二伏	185,188	158,663	173,666	102,342	66,485	86,561	90,551
	波都口條見	2,900,388	3,502,995	3,828,288	4,485,219	4,963,511	5,579,981	5,936,490
	二伏計	34,673	35,108	41,734	45,896	47,634	63,881	80,958
	一日平均	416,828	500,252	589,437	649,281	684,070	785,845	833,230
	同上前年度比較增減	18,034	20,069	23,933	9,781	—	—	—
		3,555,111	4,217,087	4,657,058	5,292,519	5,761,700	6,516,268	6,941,229
大阪	大福野西安櫻桃玉京櫻天片湊今天放平百	6,086,078	6,902,590	7,075,733	7,369,238	7,720,600	8,639,312	9,438,935
	阪島田條口島谷造橋宮滿町野宮寺出野野濟	244,038	290,252	320,595	330,265	295,382	334,394	298,664
	九治川	450,162	501,224	580,032	475,335	368,591	345,836	343,575
	日平均	386,957	475,407	553,247	533,498	425,687	385,360	345,895
	同上前年度比較增減	767,783	906,779	1,042,483	924,782	669,828	581,539	549,735
		406,278	472,009	500,372	445,736	348,157	304,314	206,417
神戸	三神兵鷹須鐘和	269,504	317,492	374,176	431,108	495,663	607,589	687,636
	宮戸庫取磨前岬	459,980	540,617	681,478	794,043	881,701	978,244	1,027,377
	一日平均	460,642	521,267	743,105	955,588	1,113,255	1,278,500	1,455,269
	同上前年度比較增減	152,297	198,879	198,078	269,016	313,506	375,124	429,616
		224,946	235,936	287,362	343,421	399,850	461,807	498,280
		729,626	870,596	986,716	1,089,008	1,215,720	1,296,596	1,434,200

昭和 1

主要驛 (六大都市關 係驛ヲ除ク)

Table with 8 columns (大正 1 to 7) and multiple rows of station names and passenger counts. Includes stations like 川崎, 須賀, 福金, etc.

備考 本表主要驛ハ六大都市關係以外ノ驛ニシテ人口五萬人(大正十四年十月一日現在)以

旅客乘車人員

Table with 14 columns (8 to 14) and multiple rows of passenger counts for various stations. Includes stations like 川崎, 須賀, 福金, etc.

上ヲ有スル各都市ニ存在スル省線各驛ナリ

主要線路一日平均通過人員、噸數、列車回數及一列車平均輸送人噸數

線名	大正十四年度			昭和元年度			
	一日平均通過人員	一日平均列車回數	一列車平均輸送人員	一日平均通過人員	一日平均列車回數	一列車平均輸送人員	
旅 客	東海道本線	22,080	68	325	22,734	76	299
	橫須賀線	12,360	36	343	13,193	40	330
	北陸本線	4,080	20	204	4,014	20	201
	中央本線	7,493	34	220	8,397	36	233
	山陽本線	9,403	36	261	9,437	36	262
	山陰本線	2,501	16	156	2,499	16	156
	關西本線	7,930	33	240	7,670	34	226
	東北本線	6,012	28	215	6,468	31	209
	山手線	62,485	212	295	66,765	268	249
	高崎線	8,654	35	247	8,368	35	239
	奥羽本線	2,110	16	132	2,069	16	129
	信越本線	4,743	23	206	4,607	24	192
	總武本線	7,360	31	237	7,339	31	237
	鹿兒島本線	5,289	25	212	3,231	25	129
	長崎本線	3,900	19	205	3,202	20	160
	函館本線	3,159	16	197	3,122	16	195
貨 物	東海道本線	10,044	38	264	10,234	35	292
	橫須賀線	602	6	100	648	5	130
	北陸本線	3,720	19	196	3,321	17	195
	中央本線	3,033	29	105	2,968	19	156
	山陽本線	6,324	22	287	6,457	29	322
	山陰本線	1,107	9	123	1,090	9	121
	關西本線	3,337	17	196	2,941	16	184
	東北本線	4,649	20	232	4,499	19	237
	山手線	10,869	48	226	11,549	45	257
	高崎線	3,318	18	184	4,554	18	253
	奥羽本線	1,806	12	151	1,882	12	157
	信越本線	2,390	17	141	2,781	16	174
	總武本線	1,309	12	109	1,537	11	140
	鹿兒島本線	4,262	19	224	4,300	18	239
	長崎本線	1,443	11	131	1,313	10	131
	函館本線	4,536	20	227	4,577	20	219

旅 客 運 輸

普通旅客運賃 遠距離遞減法=依り三等運賃率ヲ左ノ七段=區分シ(二等ハ二倍、一等ハ三倍)各種旅客運賃ノ基礎ヲナスモノトス

五十哩以下ノ哩程 一哩=付 二錢五厘
 五十哩ヲ超ユル哩程 同 二錢一厘
 百哩ヲ超ユル哩程 同 一錢七厘
 二百哩ヲ超ユル哩程 同 一錢四厘
 三百哩ヲ超ユル哩程 同 一錢二厘
 四百哩ヲ超ユル哩程 同 一錢一厘
 五百哩ヲ超ユル哩程 同 一錢

(算出例)百二十五哩=對スル三等普通旅客運賃
 $2.5 \times 50 = 1.250$
 $2.1 \times 50 = 1.050$
 $1.7 \times 25 = .425$
 $1.250 + 1.050 + .425 = 2.725$
 運賃 273 (厘位切上ゲ)

航路普通旅客運賃 (食費ヲ含マズ)

稚内大泊間 { 三等 二圓五十錢
 二等 五圓
 一等 七圓五十錢
 青森函館間 { 三等 一圓七十五錢
 二等 三圓五十錢
 一等 五圓二十五錢
 宇野高松間 { 三等 四十錢
 二等 八十錢
 宮島嚴島間 三等 九錢
 下關門司間 三等 十錢
 下關釜山間 { 三等 三圓五十五錢
 二等 七圓十錢
 一等 十二圓十五錢

鐵道省線ノ經由線特定 次ノ場合ハ何レノ線路ヲ撰擇乘車スルモ旅客ノ自由ナリ

(1) 左記區間發著又ハ通過ノ旅客ハ何レノ徑路ヲ經由スルモ近距離ナル東北本線經由ノ哩程=依り旅客運賃ヲ計算ス
 イ 福島以南各驛ト青森及北海道線各驛トノ相互間
 ロ 池袋以西各驛ト岩沼以北各驛トノ相互間
 ハ 日暮里以南各驛ト岩沼以北各驛トノ相互間
 (2) 八代以北各驛ト鹿兒島又ハ西鹿兒島驛トノ相

互間=發著スル旅客ニハ肥薩線、鹿兒島本線何レヲ經由スル場合ト雖運賃ハ總テ肥薩線經由鹿兒島迄ノ哩程=依り運賃ヲ計算ス

電車運轉區間三等特定旅客運賃 東京櫻木町間 東京國分寺間、東京赤羽間、品川田端間及池袋赤羽間電車運轉區間各驛相互間=於ケル三等旅客運賃ハ左ノ如キ特定旅客運賃ヲ實施シ居レリ

イ 東京、品川、新宿、巢鴨、上野、東京間及神田代々木間ヨリ成ル環狀線内各驛相互間(市内線)
 二哩迄 五錢
 二哩一分以上七哩五分迄 十錢
 七哩五分以上 十五錢
 ロ 大井町櫻木町間、中野國分寺間及板橋赤羽王子間各驛ト(イ)號環狀線内各驛トノ相互間ハ(A)、(B)ヲ合算シタル金額トス
 (A) 環狀線内 一哩=付一錢五厘
 (B) 環狀線外 一哩=付二錢五厘

ハ(イ)及(ロ)號以外ノ各驛相互間ハ普通旅客運賃

旅客運賃割引

學校教員 二、三等 三十哩以上 二割引
 學生生徒 三 等 同 二割引
 教育關係者ノ大會、講習會等ニ參列スル場合 參列者百名以上ノ場合二、三等三割引、三百名以上ノ場合同五割引
 博覽會、共進會關係者 二、三等 二割引
 公益法人總會、大會參列者 二、三等 二割引
 移民 三 等 五割引
 就職者(職業紹介所扱) 三 等 五割引
 孤兒院、養育院、感化院、矯正院、免囚保護會被收容者 三 等 五割引
 感化救濟事業大會參列者
 百名以上 二、三等 三割引
 三百名以上 同 五割引
 招魂祭參拜者 二、三等 五割引
 陸海軍軍人軍屬、將校 各 等 五割引
 准士官 二、三等 五割引
 下士以下 三 等 五割引
 警察官 警視以上 各 等 五割引
 警部、警部補 二、三等 五割引
 巡查 三 等 五割引

(138) 旅客運輸

囚徒及監守官吏	三等	五割引
定期券ノ種類		
普通定期	二、三等	一ヶ月、三ヶ月、六ヶ月、十二ヶ月
學生定期	三等	一ヶ月、三ヶ月、六ヶ月、十二ヶ月
職工定期	三等	一ヶ月、三ヶ月

三等普通定期券割引歩合表

一日一往復乗車ノ計算

哩程	一ヶ月	二ヶ月	六ヶ月	十二ヶ月
0.1—2.0	0.53	0.63	0.71	0.77
2.1—2.5	0.64	0.71	0.77	0.82
2.6—3.0	0.57	0.66	0.73	0.77
3.1—3.5	0.61	0.68	0.75	0.80
3.6—4.0	0.55	0.64	0.72	0.78
4.1—4.5	0.62	0.69	0.76	0.81
4.6—5.0	0.58	0.66	0.73	0.79
5.1—5.5	0.60	0.68	0.75	0.80
5.6—6.0	0.57	0.65	0.73	0.79
6.1—6.5	0.62	0.69	0.76	0.81
6.6—7.0	0.59	0.67	0.74	0.79
7.1—7.5	0.61	0.69	0.75	0.80
7.6—8.0	0.58	0.67	0.74	0.79
8.1—8.5	0.62	0.70	0.76	0.81
8.6—9.0	0.60	0.68	0.75	0.80
9.1—9.5	0.62	0.69	0.76	0.81
9.6—10.0	0.60	0.68	0.75	0.80
10.1—10.5	0.63	0.70	0.77	0.82
10.6—11.0	0.62	0.69	0.76	0.81
11.1—11.5	0.63	0.70	0.76	0.81
11.6—12.0	0.62	0.69	0.76	0.81
12.1—12.5	0.64	0.71	0.77	0.82
12.6—13.0	0.63	0.70	0.77	0.82
13.1—13.5	0.64	0.71	0.77	0.82
13.6—14.0	0.63	0.71	0.77	0.82
14.1—14.5	0.65	0.72	0.78	0.83
14.6—15.0	0.65	0.72	0.76	0.82
15.1—15.5	0.66	0.72	0.78	0.83
15.6—16.0	0.65	0.72	0.78	0.82
16.1—16.5	0.67	0.73	0.79	0.83
16.6—17.0	0.66	0.73	0.79	0.83
17.1—17.5	0.67	0.74	0.79	0.84

哩程	一ヶ月	三ヶ月	六ヶ月	十二ヶ月
17.6—18.0	0.67	0.73	0.79	0.83
18.1—18.5	0.68	0.74	0.80	0.84
18.6—19.0	0.68	0.74	0.80	0.84
19.1—19.5	0.69	0.75	0.80	0.84
19.6—20.0	0.68	0.74	0.80	0.84

回数乗車券運賃表

二十五回

等級	三		二		等	
	三	等	二	等	三	等
2		円 1.00		円 2.00		
3		1.50		3.00		
4		2.00		4.00		
5		2.50		5.00		
6		3.00		6.00		
7		3.50		7.00		
8		4.00		8.00		
9		4.50		9.00		
10		5.00		10.00		
11		5.45		10.90		
12		5.85		11.70		
13		6.30		12.60		
14		6.75		13.50		
15		7.20		14.40		
16		7.60		15.20		
17		8.05		16.10		
18		8.50		17.00		
19		8.95		17.90		
20		9.35		18.70		
21		9.80		19.60		
22		10.25		20.50		
23		10.70		21.40		
24		11.10		22.20		
25		11.55		23.10		
26		12.00		24.00		
27		12.45		24.90		
28		12.85		25.70		
29		13.30		26.60		
30		13.75		27.50		
以上一哩増ス毎ニ右ノ金額ヲ加フ		.35		.70		

旅客運輸 (139)

團體種類

特別團體

- イ 官立、公立學校及監督官廳ノ認可ヲ得テ設立シタル私立學校ノ學生、生徒及教職員並鐵道省ニ於テ特ニ認メタル生徒ノ附添人ヨリ成ル團體ニシテ教職員ガ引率スルモノ
- ロ 工場法若ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル工場ノ労働者、鑛夫又ハ出稼漁夫ノ團體ニシテ相當責任アル代表者ガ引率スルモノ
- ハ 鐵道省ニ於テ特ニ認メタル労働者又ハ之ニ進スベキ者ノ團體ニシテ相當責任アル代表者ガ引率スルモノ

普通團體 特別團體以外ノ團體ニシテ相當責任アル代表者ガ引率スルモノ

團體往復割引率

種別	期間	輸送人員	
		第一期	第二期
特別團體	50人以上	二割五分	四割
	200人以上	三割	五割
	500人以上	四割	六割
普通團體	50人以上	一割	二割
	200人以上	一割五分	二割五分
	500人以上	二割	三割

輸送期間第一期 トハ一月一日ヨリ同月十日迄三月一日ヨリ同月末日迄、五月一日ヨリ同月末日迄及七月一日ヨリ十二月末日迄ヲ謂フ。

輸送期間第二期 トハ一月十一日ヨリ二月末日迄及六月一日ヨリ同月末日迄ヲ謂フ。

團體ノ世話人 團體百人未満ノ團體ニ在リテハ内一人、百人以上ノ團體ニ在リテハ百人毎ニ内一人ヲ監督者トシテ無賃トス。

客車貸切 客車ノ貸切ハ使用車ノ全車又ハ車室ノ定員ニ對スル大人ノ普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃ヲ收受ス。

特殊ノ車輛ハ各下記人員ニ對スル旅客運賃ヲ收受ス。

特別車	一等	四十人分
展望車	二等	四十人分
病客車	大型	二十人分
	小型	十人分

第一、二列車ノ特別室 一等 八人分
第七、八列車ノ特別室 一等 五人分
横臥患者輸送ノ爲手荷物緩急車ヲ使用スルトキハ

大型 手荷物緩急車 三等 二十人分
小型 手荷物緩急車 三等 十人分
寢臺車 寢臺定員ニ對スル運賃ノ他規定ノ寢臺料金ヲ收受ス。

右客車貸切運賃ノ最低ハ二十五哩分トシ、急行料金ヲ要スル列車ニ連結スル場合ニ於テハ更ニ規定ノ急行料金ヲ收受ス。

船室ノ貸切 下關釜山間航路連絡船内ノ特別室 現乗船人員ニ對スル一等旅客運賃ノ外百圓ノ貸切料金ヲ收受ス。

普通急行料金

等級	哩程	二百五十哩迄	五百哩迄	五百一哩以上
		円 銭	円 銭	円 銭
三等		.65	1.00	1.25
二等		1.30	2.00	2.50
一等		2.00	3.00	3.75

特別急行料金

等級	哩程	二百五十哩迄	五百哩迄	五百一哩以上
		円 銭	円 銭	円 銭
三等		1.30	2.00	2.50
二等		2.50	4.00	5.00
一等		4.00	6.00	7.50

小兒ハ何レモ半額トス

寢臺料金

列車二等寢臺

一人床 一夜ニ付一箇	上段 三圓 下段 四圓五十錢
同大同	

列車ノ一等寢臺

同	上段 五圓 下段 七圓
---	----------------

汽船ノ二等寢臺

稚内大泊間航路ノ分	一箇 七十五錢
青森函館間航路ノ分	同 一圓
下關釜山間航路ノ分	同 一圓

(140) 旅客運輸

汽船ノ一等寢臺

青森函館間航路ノ分 一箇 一圓五十錢
 稚内大泊間、下關釜山間ノ一等旅客運賃ヲ
 支拂ヒタル者ニ對シテハ一等寢臺無料

入場料金

イ 東京、上野、大阪驛 一人一回 十錢
 ロ 前號以外ノ驛 同 五錢
 入場料金ハ事由ノ如何ニ拘ラズ拂戻サズ

定期入場料金

イ 東京、上野、大阪驛 二圓
 ロ 前號以外ノ指定驛 一圓

乗車券通用期間

イ 片道乗車券 { 百哩迄 二日
 { 以上百哩迄 一日
 { 増ス毎ニ
 ロ 往復乗車券 片道乗車券通用期間ノ二倍
 ハ 廻遊乗車券 { 延長百哩迄 三日
 { 以上延長百哩 一日
 { 迄増ス毎ニ
 ニ 割引其他ノ特種乗車券 別段ノ定アル場
 合ノ他ハ前各號ニ依ル

稚内大泊間航路ニ跨ル乗車券ハ前各號ニ依リ計算
 シタル日數ニ五日ヲ加フ。

途中下車回數

片道 五十哩迄 一回
 同 三百哩迄 二回
 同 七百哩迄 三回
 同 千二百哩迄 四回
 同 千二百哩一分以上 五回

往復又ハ廻遊乗車券ニ於ケル途中下車回數ハ
 片道又ハ各片道毎ニ之ヲ定メ相互ニ流用スル
 事ヲ得ズ。

乗車券ノ検査

イ 旅客乗降ノ際ハ乗降口ノ出入口ニ於テ改札
 係員之ヲ行ヒ、旅行開始ノ場合ニハ乗車券
 (定期券ヲ除ク)ニ改札缺ヲ加ヘ、旅行終了ノ
 場合ニハ乗車券ヲ收受シ又途中下車ノ場合ニ
 ハ乗車券ニ途中下車印ヲ押捺ス。
 ロ 列車内ニ於テハ車掌又ハ驛員之ヲ行ヒ乗車
 券(定期券ヲ除ク)ニ檢札缺ヲ加フ。
 ハ 汽船内ニ於テハ船員之ヲ行ヒ檢札缺ヲ加
 フ。

車内携帯手荷物

旅客ガ自ラ車内ニ携帯シ其ノ保管其ノ他ノ責ニ任

ズルモノハ携帯手荷物ニシテ下記列記以外ノモノ
 ハ車内ニ携行スルコトヲ得

- 1 座席又ハ通路ヲ塞グモノ
- 2 不潔又ハ臭氣ノ爲メ同乗客ニ迷惑ヲ及ボス
 モノ
- 3 犬其他ノ動物(貸切車ニ鐵道係員ノ承諾ヲ
 得タル場合ハ差支ナシ)
- 4 携帶制限二百五十匁ヲ超ユル火藥類
- 5 危害ヲ他ニ及ボス虞アルモノ

手荷物トシテ許シ得ザルモノ

イ 一箇ノ長サ五尺、幅及厚サ三尺、容積三十立
 方尺又ハ重量二百五十斤ヲ超ユルモノ
 ロ 他ノ物品ヲ損スル虞アルモノ
 ハ 臭氣ヲ發シ不潔ナルモノ
 ニ 商品
 ホ 車輦類但シ不具者ノ使用スル小形ノ特殊車
 輦ヲ除ク
 ヘ 貨幣、有價證券其ノ他ノ高價品(特ニ認メ
 タルモノヲ除ク)
 ト 動物
 チ 荷造不完全ナルモノ
 リ 旅客ノ自用品ニ非ザルモノ
 ヌ 荷造ノ状態ニテ手荷物ト認メ難キモノ

手荷物無賃重量及運賃

三等 五十斤 { 小兒ハ此ノ半量
 二等 七十斤 { 無賃乗車證ハ普通乗車券ト
 一等 百斤 { 同様

以上重量ヲ超ユルトキハ超過部分ニ對シ小荷物運
 賃ヲ課ス

移民ノ手荷物ハ五割減トス

手荷物配達料金及保管料金

普通配達 一箇 十錢
 特別配達 { 東京大阪市内ニ配達スルモノ 同 三十錢
 { 其ノ他ノモノ 同 二十錢
 保管料 到着日及其翌日中 無料
 其後一日ニ付 一箇 十五錢

手荷物トシテ取扱ハザル物品

イ 一箇ノ長サ七尺(幅及厚サガ五寸以内ノモ
 ノハ長サ十尺)幅及厚サ三尺五寸、容積20
 立方尺又ハ重量50斤(絹絲、絹織物、鮮魚
 ニ在リテハ80斤)ヲ超ユルモノ
 ロ 火藥類、危險品

旅客運輸 (141)

ハ 他ノ物品ヲ損スル虞アルモノ
 ニ 臭氣ヲ發シ又ハ不潔ナルモノ
 ホ 荷造不完全ナルモノ

小荷物運送状

小荷物ノ託送ニハ貨物列車扱貨物ト異ナリ運送状
 ヲ要セザル點ニアレドモ下記物品ハ例外トシテ小
 荷物運送状ノ提出ヲ要ス運送状ハ各驛ニ備付ケ其
 ノ要求ニ應ズ
 イ 死體

ロ 増賃金支拂ノ請求ニ應ゼザル貴重品
 ハ 價格ヲ明告シテ増賃金ヲ支拂ヒタル小獸類
 ニ 鐵道局長ノ承認ヲ受ケタル容量制限ヲ超ユ
 ル小荷物
 ホ 荷造完全ニシテ濡損其ノ他ノ異狀アル小荷
 物
 ヘ 貨物引換證又ハ船荷證券ヲ發行スベキ小荷
 物

通常小荷物運賃

哩程	量目	50	150	300	500	800	1100	1400	1700	2000	以上300哩 迄ヲ増スニ
		円錢	円錢	円錢	円錢	円錢	円錢	円錢	円錢	円錢	円錢
2	斤 實 20	15	15	15	15	20	25	30	35	40	5
4	斤 實 40	20	20	25	25	35	45	55	65	75	10
7	斤 實 70	25	25	35	40	55	70	85	1.00	1.15	15
10	斤 實 100	30	35	45	55	75	95	1.15	1.35	1.55	20
15	斤 實 150	35	45	60	75	1.00	1.25	1.50	1.75	2.00	25
20	斤 實 200	40	55	75	95	1.25	1.55	1.85	2.15	2.45	30
30	斤 實 300	50	75	1.05	1.35	1.75	2.15	2.55	2.95	3.35	40
40	斤 實 400	60	95	1.35	1.75	2.25	2.75	3.25	3.75	4.25	50
50	斤 實 500	70	1.15	1.65	2.15	2.75	3.35	3.95	4.55	5.15	60
60	斤 實 600	80	1.35	1.95	2.55	3.25	3.95	4.65	5.35	6.05	70
70	斤 實 700	90	1.55	2.25	2.95	3.75	4.55	5.35	6.15	6.95	80
80	斤 實 800	1.00	1.75	2.55	3.35	4.25	5.15	6.05	6.95	7.85	90
90	斤 實 900	1.10	1.95	2.85	3.75	4.75	5.75	6.75	7.75	8.75	1.00
100	斤 實 1000	1.20	2.15	3.15	4.15	5.25	6.35	7.45	8.55	9.65	1.10
以上十斤(一貫六百 匁)迄ヲ増ス毎ニ		10	20	30	40	50	60	70	80	90	10

易損品

下記ノ物品ハ通常小荷物運賃ノ二倍

- 1 漆器、塗板、額、額縁
- 2 電球、硝子板、硝子器、陶器、磁器
- 3 輕キ紙細工物、造花、冠婚葬祭用飾物
- 4 動物剥製品
- 5 人形及玩具類(護謨製ノモノヲ除ク)、押繪
 アル羽子板
- 6 掛時計、置時計
- 7 衡器、計器類
- 8 電氣器具、燈器類
- 9 醫料器具
- 10 寫眞機械及幻燈機械類(鏡玉ヲ除ク)
- 11 樂器類、蓄音機、蓄音機音譜

- 12 各種ノ模形
- 13 各種ノ機械類
- 14 壺詰、甕詰類
- 15 盆景、盆栽類
- 16 線香
- 17 屏風、衝立、建具類、茶棚類、空簞笥類
- 18 麥稈帽子、山高帽子
- 19 節句雛、節句用飾物
- 20 前各號以外ノ物品ニシテ損シ易キモノ
- 21 荷主ノ請求ニヨリ通常小荷物ヲ特ニ易損品
 トシテ取扱フ場合

嵩高品

下記ノ物品ハ通常小荷物運賃ノ二倍

- 1 團扇、提燈

- 2 椅子類、輕キ竹籐細工物
- 3 菅笠、編笠
- 4 麥稈眞田、麥稈細工物、經木眞田、經木細工物
- 5 線類（緊縛シタルモノヲ除ク）
- 6 懷爐灰
- 7 行李、葛籠、空箱、中折帽子其ノ他前各號以外ノ物品ニシテ皆掛一立方尺ノ重量五斤以内ノモノ

第一種貴重品

下記ノ物品ハ通常小荷物運賃ノ二倍

- 1 金銀貨、白銅貨
- 2 貴稀金屬
- 3 赤銅、四分一
- 4 寶玉石
- 5 絹絲（紡績絹絲、紡績紬絲、柞蠶絲、人造絹絲ヲ除ク）
- 6 絹織物（經絲若ハ緯絲ノ全部ガ絹絲ヨリ成レル絹綿交織物ヲ含ム）、上布
- 7 絹絲又ハ絹織物製ノモノ（衣類及寢具類ヲ除ク）
- 8 金銀絲（擬金銀絲ヲ含ム）、金銀紙、金銀液白金液
- 9 鼈甲、珊瑚、象牙、一角牙
- 10 通常小荷物ニシテ皆掛重量一斤ノ價格二十圓ヲ超ユルモノ

第二種貴重品

下ノ物品ハ通常小荷物運賃ノ三倍

- 1 兌換券、銀行券、小額紙幣、軍用手票
- 2 印紙、切手、證券類
- 3 貴稀金屬製ノモノ
- 4 赤銅、四分一製ノモノ
- 5 寶玉石類製ノモノ
- 6 書畫、骨董品、美術品
- 7 鼈甲、珊瑚、象牙、一角牙製ノモノ
- 8 貴稀金屬又ハ寶玉石ヲ用ヒタル理化學用機械、觀象用機械、測量用機械
- 9 時計（掛時計、置時計ヲ除ク）
- 10 顯微鏡、雙眼鏡、望遠鏡
- 11 レンズ、プリズム
- 12 易損品嵩高品又ハ小動物（獸類ヲ除ク）ニシテ皆掛重量一斤ノ價格二十圓ヲ超ユルモノ

貴重品ノ増賃金

第一種及第二種貴重品ハ種類、性質及價格ヲ明告シ且下記ノ増賃金ヲ支拂ハザルトキハ減失其ノ他ニ付鐵道ハ責ニ任セズ

五十哩迄	價格百圓又ハ其ノ未滿每	五錢
百哩迄	同	八錢
二百哩迄	同	十二錢
以上二百哩ヲ増ス每	同	一錢

小動物運賃

- 1 鐵道省所定ノ犬箱ニ容レ運送スル犬

100哩迄	每一頭	一圓
以上百哩迄ヲ増ス每	同	五十錢
- 2 學術研究ニ供スル小動物

通常小荷物運賃ト同額

- 3 前各號以外ノ小動物

通常小荷物運賃ノ二倍

小獸類ノ増賃金

小獸類ハ其ノ斃死又ハ逸走ニ際シテハ一定額ノ損害賠償ヲ爲スヲ以テ足ル法律ノ定メナルヲ以テ夫レ以上ノ賠償ヲ求メントスルトキハ種類性質及價格ヲ明告シ且超過價格ニ對シ下記ノ増賃金ノ支拂ヲ要ス

50哩迄	價格十圓又ハ其ノ未滿每	五錢
100哩迄	同	八錢
200哩迄	同	十二錢
以上200哩迄ヲ増ス每	同	三錢

死體及遺骨運賃

- 1 學術研究、犯罪検査又ハ裁判上ノ鑑定ニ供スル死體

一哩	二十五錢
最低運賃	五圓
- 2 其ノ他死體

同	四十錢	同	八圓
---	-----	---	----
- 3 遺骨

通常小荷物運賃ノ二倍

食料品運賃

50哩迄	150哩迄	
30斤迄	30錢	55錢
以上10斤増每	10錢	20錢
品目	牛乳、鮮肉、魚介類、野菜、果物、鶏卵	

代金引換ノ取扱

鐵道省ニ於テハ所定ノ驛所ニテ通常小荷物、易損品、嵩高品、貴重品扱小荷物ト代金（一口金千圓迄

錢未滿ノ端數ナキモノ）トノ引換委託ノ申込ニ應ズ但シ貨物引換證又ハ船荷證券ヲ發行シタルモノ、蠶卵紙、生鮮魚鮮肉、動物等ノ如キ特殊ノ物品ニ對シテハ代金引換ノ取扱ヲ爲サズ代金引換手續料ハ下ノ如シ

代金	二十圓迄	10錢
同	三十圓迄	13錢
同	五十圓迄	20錢
同	百十五圓迄	27錢
同	百圓以上百圓又ハ其ノ未滿ヲ増ス每	10錢

小荷物ノ配達

配達區域 小荷物到着驛所在地及驛ヨリ半徑約一里半以内ノ地域（詳細ハ驛備付配達區域表）

普通配達料金 無料配達 但シ下ノ物品ハ配達ヲ取扱ハズ驛留トス

- 1 貨物引換證又ハ船荷證券ヲ發行シタルモノ
- 2 活魚
- 3 死體、遺骨
- 4 貴重品（絹絲、絹織物、絹絲又ハ絹織物製ノモノハ配達ス）
- 5 小動物

特別配達料金 東京大阪市内ニ配達スルモノ 一個 十五錢 其ノ他 同 十錢

手小荷物ノ特別配達驛

東海道本線 東京、新橋、品川、川崎、鶴見、東神奈川、程ヶ谷、横濱、静岡、濱松、豊橋、熱田、名古屋、岐阜、京都、大阪、三ノ宮、神戸

横須賀線 横須賀
 横濱線 小机、菊名
 北陸本線 福井、金澤、高岡、富山
 中央本線 飯田町、甲府
 山陽本線 姫路、岡山、廣島、下關
 吳線 吳
 關西本線 湊町
 東北本線 上野、宇都宮、福島、仙臺、青森
 山手線 新宿
 常磐線 水戸
 兩毛線 前橋

高崎線 高崎
 奥羽本線 山形、秋田
 信越本線 輕井澤、長野、長岡、新潟
 總武本線 兩國橋
 鹿兒島本線 門司、小倉、博多、久留米、熊本、鹿兒島、西鹿兒島

長崎本線 佐賀、長崎
 日豐本線 別府
 函館本線 函館、小樽、札幌、旭川

驛留扱小荷物ノ引渡

驛留小荷物ヲ荷受人ニ引渡ストキハ小荷物切符（貨物引換證若ハ船荷證券ヲ發行シタルトキハ證券）ト引換（驛留扱代金引換小荷物ハ代金ト引換）ニ引渡ス

小荷物ノ引渡及保管

配達扱小荷物ハ之ヲ荷受人ノ居宅又ハ營業所ニ持參シ荷受人ノ受領印ヲ徴シ又配達扱代金引換小荷物ハ荷受人ノ居宅ニ於テ引換代金ト引換ニ之ガ引渡ヲ爲シ驛留ノ小荷物ハ到着ノ通知ヲ發シタル日ヨリ二日間内ニ之ガ引取ヲ爲サザルトキハ其ノ後ノ日數ニ對シ一日毎ニ下記ノ保管料金ヲ收受ス

イ 通常小荷物		
食料品及空容器	每1箇	10錢
ロ 易損品、嵩高品、貴重品、遺骨	同	20錢
ハ 小動物（貴重品扱ニ依ルモノヲ含ム）	同	30錢

引渡期間超過ノ場合ノ運賃拂戻

- イ 引渡期間
 - (1) 發送準備期間 1日
 - (2) 輸送期間

鐵道	二百哩又ハ其ノ未滿每	1日
航路	稚内大泊間	7日
	青森函館間	2日
	下關釜山間	2日
	其ノ他ノ航路	1日
 - (3) 配達期間 1日

ロ 拂戻率

超過日數	2日迄	運賃ノ1割
同	4日迄	同 2割
同	7日迄	同 3割
同	10日迄	同 4割
同	10日ヲ超ユルモノ	同 5割

(144) 旅客運輸

旅客携帶品一時預リ

停車場ニ於テ下記物品ヲ除キ携帶品ノ一時預リ取扱ヲ爲ス

- イ 驛ノ設備上保管ニ適セザル長尺物及容積重量大ナルモノ
- ロ 他ノ物品ヲ損スル虞アルモノ
- ハ 臭氣ヲ發シ又ハ不潔ナルモノ
- ニ 腐敗シ易キモノ
- ホ 自用自轉車及乳母車以外ノ車輛類
- ヘ 貴重品(手荷物トシ取扱ヲ爲シ得ベキ物品ヲ除ク)
- ト 動物
- チ 其ノ他荷造不完全ニシテ保管ニ適セザルモノ

旅客携帶品一時預リヲ爲シタルトキハ預入ノ日ヨリ10日迄ハ1日毎ニ下ノ料金ヲ、11日以後ハ1日毎ニ其ノ二倍ヲ收受ス

自轉車、乳母車	每1輛	30錢
易損品、嵩高品、遺骨	每1箇	20錢
其ノ他ノモノ	同	10錢

鐵道省委託小荷物扱所

扱所名	所在地
久安橋小荷物扱所	東京市京橋區松屋町二丁目
九段下	同 市神田區今川小路一丁目
堀留	同 市日本橋區新乘物町
本銀町	同 市同 區本銀町三丁目
藏前	同 市淺草區藏前片町
吾妻橋	同 市同 區材木町
本郷	同 市本郷區本郷一丁目
橋町	同 市日本橋區橋町二丁目
幸倉橋	同 市神田區豐島町
神田	同 市同 區多町一丁目
東横町	同 市牛込區東横町
尾上町	横濱市中區尾上町二丁目
本通	静岡市本通一丁目
門前町	名古屋市中區門前町六丁目
西川端	同 市同區西川端町一丁目
横三ツ藏	同 市同區横三ツ藏町五丁目
中市場	同 市東區中市場町三丁目
江川	同 市西區北驛町
起町	愛知縣中島郡起町
笹土居	岐阜市笹土居町

幸區	同	福井縣南條郡武生町
佐久良町	同	福井市佐久良中町
石浦町	同	金澤市石浦町
尾張町	同	同 市尾張町
小馬出町	同	高岡市小馬出町
東四十物町	同	富山市東四十物町
總曲輪	同	同 市總曲輪
柳町	同	甲府市柳町
中町	同	四日市市中町
鐵師町	同	大津市鐵師町
聖護院	同	京都市聖護院町中河原
中立賣	同	同 市中立賣淨福寺西入
烏丸	同	同 市烏丸通御池下ル虎屋町
小川	同	同 市小川通三條上ル西堂町
西陣	同	同 市大宮通今出川上ル
四條	同	同 市堺町通四條下ル小石町
室町	同	同 市四條通室町西へ入ル
堀川	同	同 市四條通
繩手	同	同 市大和小路新門前下リ辨財天町
三條	同	同 市三條通富小路西へ入中ノ町
松原	同	同 市寺町通松原下ル楠松町
五條	同	同 市烏丸通五條上ル惡王子町
西洞院	同	同 市松原通西洞院東入
建仁寺	同	同 市五條通橋東三丁目
高麗橋	同	大阪市東區高麗橋詰町
久太郎町	同	同 市同區北久太郎町三丁目
谷町	同	同 市同區南新町一丁目
南本町	同	同 市同區南本町一丁目
中橋筋	同	同 市同區道修町二丁目
道修町	同	同 市同區道修町四丁目
備後町	同	同 市同區備後町四丁目
松屋町	同	同 市同區住吉町
幡慶町	同	同 市同區博勢町四丁目
瓦町	同	同 市同區瓦町二丁目
信濃橋	同	同 市同區横堀町四丁目
新町	同	同 市西區新町北通一丁目
松島町	同	同 市同區松島町二丁目
鯉座橋	同	同 市同區新町通四丁目
江戸堀	同	同 市同區江戸堀下通一丁目

旅客運輸 (145)

韮中通	同	同 市同區韮中通三丁目	岩國新町	同	山口縣玖珂郡岩國町
島ノ内	同	同 市南區中橋筋鰻谷仲ノ町	觀音崎	同	下關市觀音崎町
南炭屋町	同	同 市同區南炭屋町	赤間	同	同 市赤間町
八百屋町	同	同 市同區順慶町二丁目	橋口町	同	福岡市橋口町
天神橋	同	同 市北區地下町	古門戸	同	同 市古門町
木幡町	同	同 市同區木幡町	米屋町	同	久留米市米屋町
大仁	同	同 市西淀川區大仁町	中唐人町	同	熊本市中唐人町
黒門筋	同	同 市南區高津町十番丁	藪ノ内	同	同 市藪ノ内町
瀧道	同	神戸市小野柄通入丁目	東千石町	同	鹿兒島市東千石町
葦合	同	同 市葦合東雲通二丁目	元町	同	佐賀市元町
尻池	同	同 市川西通三丁目	萬屋町	同	長崎市萬屋町
福中橋	同	姫路市福中内新町	仙臺市	同	仙臺市大町四丁目
上之町	同	岡山市上之町	米澤市	同	米澤市大町下通
西大寺町	同	同 市西大寺町	長岡市	同	長岡市表町二丁目
二階町	同	鳥取市二階町	古町	同	新潟市古町通七番町
八町	同	三重縣安濃郡新町	本町	同	同 市本町通九番町
大手町	同	廣島市大手町一丁目	東濱町	同	函館市東濱町
堀川町	同	同 市堀川町	稻穂町	同	小樽市稻穂町東六丁目

主要國鐵道營業哩一哩當リ成績

國名	年次	一哩當本 資	旅客 千人	貨物 千噸	收入 千円
日 本 (國 有 鐵 道)	1,913 1,925	178 336	674 1,495	558 909	20 61
英 國 (愛 蘭 ヲ 含 マ ズ)	1,913 1,925	484 576	— 888	702 689	58 82
米 國 (全 鐵 道)	1,913 1,925	156 194	136 142	1,189 1,782	25 52
獨 逸 (國 有 鐵 道 會 社)	1,913 1,925	247 352	721 805	1,129 1,215	46 65
佛 蘭 西 (全 鐵 道)	1,913 1,925	307 —	482 633	631 855	31 34
伊 太 利 (國 有 鐵 道)	1,913 1,925	311 532	— —	— 753	31 36
ソ ヴ ィ エ ト 聯 邦 (全 鐵 道)	1,913 1,925	— 124	421 313	1,089 924	27 29

主要驛間旅行所要時間及運賃

起及方向 點	驛名	哩程	普通列車		急行列車 所要時間	特別急行列車 所要時間	記事
			三等運賃	所要時間			
東京驛ヨリ東海道・山陽・九州方面各主要驛	濱津岡松橋屋阜垣都阪戸路山島關司多島崎	18.2	42	42	34	32	備考 九州線内ニハ特急列車ナキモ便宜同列車連絡列車ニ依ル所要時間ヲ記入シ置キタリ 九六錢、一等一圓四錢、二等運賃ハ三等運賃ノ二倍、一等運賃ハ三等運賃ノ三倍、但シ、東京、横濱間ハ二等 運賃ニハ陸上ノミヲ計上シ航路特定營業哩ハ之ヲ含マズ 本表ハ最短距離ニ依リ計算ス
		85.6	2.01	4.02	3.25	3.10	
		119.2	2.64	5.08	4.28	4.04	
		166.9	3.44	6.48	6.07	5.30	
		189.7	3.83	7.48	6.52	6.09	
		234.6	4.49	9.43	8.11	7.20	
		253.4	4.76	10.29	8.53	7.57	
		262.1	4.89	10.47	9.11	8.13	
		326.4	5.73	13.25	11.26	10.13	
		353.2	6.05	14.24	12.20	11.00	
		373.5	6.29	15.18	13.10	11.47	
		407.6	6.69	16.46	14.20	12.48	
		462.6	7.30	18.58	16.11	14.29	
		563.3	8.34	24.06	19.57	18.07	
		702.8	9.73	30.50	24.55	22.55	
		702.8	9.83	31.20	25.25	23.25	
		751.7	10.32	34.54	28.09	25.59	
		951.1	12.22	46.20	35.50	32.20	
		868.5	11.49	44.23	34.15	30.31	
		上野驛ヨリ東北・北海道方面各主要驛	宇都宮山島壘岡森戸澤形田前館樽幌川蘭路内	65.8	1.59	2.46	
139.4	2.98			6.10	5.00		
168.0	3.46			7.35	6.04		
217.2	4.26			9.51	7.57		
330.0	5.76			14.54	12.23		
456.9	7.23			21.10	17.25		
73.0	1.74			3.25	2.53		
194.1	3.92			10.28	8.40		
223.3	4.34			11.45	9.50		
354.8	6.06			17.54	14.50		
447.0	7.12			22.10	20.15		
456.9	8.98			27.40	22.50		
614.9	10.60			38.42	31.41		
636.0	10.81			39.51	32.36		
722.3	11.68	44.17	37.02				
748.0	11.93	49.04	38.45				
881.6	13.27		45.05				
882.4	13.28		46.11				
上野驛ヨリ北陸方面各主要驛	高輕長高長新富金福	63.0	1.53	2.41	2.23		
		88.3	2.07	5.00	4.39		
		134.8	2.90	7.39	6.41		
		176.7	3.61	9.54	8.41		
		226.2	4.38	12.52	10.37		
		258.2	4.83	12.25	12.08		
		255.6	4.79	14.44	12.00		
		292.7	5.31	16.32	13.39		
340.3	5.90	18.55					

主要驛間旅行所要時間及運賃 (續)

起及方向 點	驛名	哩程	普通列車		急行列車 所要時間	特別急行列車 所要時間	記事
			三等運賃	所要時間			
飯田中央線各主要驛	八王子府	27.0	.68	1.38			
		80.3	1.91	5.22			
		121.7	2.68	8.09			
大阪驛ヨリ山陽・山陰・四國・九州方面各主要驛	神姫岡糸廣宮小下福島米松大高丸松琴門博久熊鹿長別大宮	169.8	3.49	11.24			
		20.3	.53	.46	.42	.39	
		54.4	1.36	2.14	1.49	1.40	
		109.4	2.47	4.26	3.40	3.21	
		163.8	3.39	7.02	5.28	5.03	
		210.1	4.16	9.34	7.26	6.59	
		223.6	4.34	10.22	8.00	7.33	
		306.1	5.49	14.13	10.48	10.15	
		349.6	6.00	16.18	12.24	11.47	
		71.6	1.72	3.28			
		159.7	3.32	7.37			
		217.3	4.26	10.14			
		235.3	4.51	11.06			
		260.3	4.86	12.17			
		129.8	3.21	7.50			
		147.2	3.52	9.12			
		250.4	5.12	13.50			
		156.9	3.67	10.10			
		349.6	6.10	14.10	12.54	12.17	
		398.5	6.69	17.26	15.33	14.51	
421.1	6.95	19.18	16.28	15.46			
472.5	7.51	22.06	18.13	17.26			
597.9	8.69	31.48	23.12	22.12			
515.3	7.96	25.13	21.44	19.23			
431.5	7.06	19.03					
439.1	7.14	19.25					
567.8	8.48	29.16					
札幌驛ヨリ北海道内各主要驛	函小岩旭室帶池釧根名稚	179.1	3.66	10.45	9.06		
		21.1	.55	1.10	.50		
		25.3	.65	1.14	.56		
		86.3	2.03	4.23	3.32		
		112.0	2.51	5.35			
		165.6	3.43	8.43			
		180.6	3.68	9.31			
		245.6	4.65	12.46			
329.7	5.76	15.43					
133.5	2.88	7.08	5.47				
246.4	4.66	14.00					

旅客列車走行哩

年 度	旅 客 列 車 哩	前 年 度 比 較 割 合	一 日 平 均	一 日 一 哩 平 均 列 車 回 數	列 車 平 均 連 結 車 數
大正 1	26,763,789		73,325	14.4	12.2
2	28,016,096	.047	76,756	14.5	12.3
3	29,416,903	.050	80,594	14.6	12.1
4	30,668,475	.043	83,794	14.8	12.1
5	31,901,604	.040	87,402	15.2	12.3
6	34,494,820	.081	94,506	16.1	12.6
7	35,908,124	.041	98,378	16.5	13.2
8	39,551,568	.101	108,064	17.8	13.6
9	41,992,731	.062	115,049	18.4	13.7
10	42,920,229	.022	117,590	18.0	14.2
11	47,251,199	.101	129,455	19.1	14.3
12	49,362,517	.045	134,870	19.1	14.4
13	53,791,408	.090	147,374	20.0	14.6
14	56,487,432	.050	154,760	20.3	14.6
昭和 1	60,412,852	.065	165,515	21.1	14.6

客 車 走 行 哩

年 度	客 車 走 行 哩	前 年 度 比 較 割 合	一 日 平 均	一 車 一 日 平 均 走 哩	一 車 一 哩 乘 車 員 平 均 人 數
大正 1	325,263,635	.114	891,133	116	11
2	345,223,815	.061	915,819	115	11
3	355,101,502	.029	972,881	112	10
4	374,625,651	.055	1,023,567	111	10
5	391,883,613	.046	1,073,654	113	11
6	434,861,588	.110	1,191,402	124	13
7	474,181,763	.090	1,299,123	132	14
8	535,996,412	.130	1,464,471	139	15
9	575,740,931	.074	1,577,372	139	15
10	609,996,099	.059	1,671,222	136	15
11	674,922,915	.106	1,849,104	137	14
12	710,303,375	.052	1,940,720	136	15
13	787,432,208	.100	2,157,349	142	16
14	826,005,408	.049	2,263,029	137	14
昭和 1	879,186,686	.060	2,408,731	137	14

電 車 走 行 哩 表

年 度	電 車 哩	前 年 度 比 較 增 減 割 合	一 日 平 均	一 日 一 哩 平 均 電 車 回 數
大正 4	3,249,570		8,903	194.8
5	3,433,586	.057	9,407	205.9
6	3,444,948	.032	9,438	206.5
7	3,749,705	.088	10,273	224.8
8	4,508,778	.168	12,353	238.9
9	4,496,722	△ .003	12,320	238.3
10	4,534,821	.008	12,425	240.3
11	4,657,062	.027	12,759	242.6
12	4,138,286	△ .111	11,338	198.2
13	5,089,494	.230	13,944	243.8
14	5,795,120	.139	15,877	272.6
昭和 1	6,748,404	.164	18,489	309.7

備考 本表中△印ハ前年度ニ比シ減ヲ示ス

新 橋 驛 ノ 今 昔

明治十年七月カラ翌年六月迄ノ間ニ於ケル新橋驛(位置ハ現在ノ沙留驛ノアル所)ノ旅客人員及運貨ト昭和元年中ニ於ケル新橋驛ノ乗車人員及運貨ヲ比較スレバ次ノ通り

年 次	種 別	一 等	二 等	三 等	計
自 明 治 十 年 七 月 至 明 治 十 一 年 六 月	人 員	5,040	40,339	553,504	598,883
	貨 金	4,838	20,775	117,706	143,319
昭 和 元 年 度	人 員	135	585,147	9,059,928	9,645,210
	貨 金	5,402	321,885	1,091,117	1,418,404

等級別乗車人員

年 度	乗 車 人 員				割 合	延 人	
	一 等	二 等	三 等	計		一 等	二 等
大正 1	470,237	7,414,035	152,827,465	160,711,737		33,539,259	367,907,593
2	426,641	7,436,144	159,910,358	167,773,143	.044	31,224,220	379,600,689
3	357,715	6,766,109	158,968,597	166,092,421	△ .010	27,516,791	365,103,114
4	296,613	6,961,135	165,032,297	172,290,045	.037	27,012,412	388,749,255
5	304,490	8,398,818	188,340,012	197,043,320	.144	32,328,142	473,372,909
6	419,429	11,791,886	233,023,165	245,234,480	.245	46,093,638	665,370,866
7	547,213	14,534,296	272,980,075	288,061,584	.175	57,455,487	796,819,073
8	320,950	18,838,884	338,722,123	357,881,957	.242	51,793,608	989,640,207
9	94,055	18,193,199	387,532,440	405,819,694	.134	33,839,966	876,464,829
10	74,468	17,924,770	436,536,686	454,535,924	.120	26,285,390	830,143,511
11	78,977	17,678,841	494,996,927	512,754,745	.128	24,162,919	828,821,009
12	71,595	16,476,099	562,740,451	579,288,145	.130	21,277,974	756,692,724
13	80,795	18,015,093	622,732,632	640,828,520	.105	22,014,082	765,437,030
14	77,422	17,777,366	665,714,135	683,568,923	.067	21,434,047	729,710,103
昭和 1	68,597	17,336,371	722,928,443	740,333,411	.077	20,245,524	724,752,981

備考 (1) 割合トハ「前年度比較増減

定期乗車券發

年 度	券 數					延	
	一 等	二 等	三 等	計	増減割合	一 等	二 等
大正 1	316	2,821	127,969	131,106	11,049	125,580	1,023,360
2	300	2,963	143,855	147,118	16,012	135,120	1,125,090
3	301	2,595	147,687	150,583	3,465	124,440	1,017,960
4	270	2,679	140,043	142,992	△ 7,591	96,480	1,050,450
5	230	3,381	185,826	189,437	46,445	81,300	1,378,020
6	261	4,655	242,828	247,744	58,307	117,780	1,939,020
7	394	6,729	289,373	296,496	48,752	178,680	2,856,140
8	174	11,308	391,760	403,242	106,746	75,120	4,364,520
9	—	18,647	657,094	675,741	272,499	—	5,940,660
10	—	21,056	863,968	885,024	209,283	—	6,737,040
11	—	22,554	1,073,129	1,095,683	210,659	—	7,099,980
12	—	22,425	1,282,741	1,305,166	209,483	—	7,023,180
13	—	28,635	1,540,011	1,568,646	263,480	—	8,744,640
14	—	29,381	1,694,671	1,724,052	155,406	—	9,276,000
昭和 1	—	28,472	1,915,019	1,943,491	219,439	—	9,233,700

備考 (1) 増減割合ハ「前年度比較増

延人哩及運賃

哩	割 合	運			割 合
		一 等	二 等	三 等	
3,224,869,647		1,115,375	7,050,567	41,827,653	
3,280,139,710	.018	1,047,939	7,311,965	43,003,764	.027
3,231,123,331	△ .018	902,999	6,942,764	42,096,286	△ .028
3,440,775,299	.064	652,991	6,611,548	43,479,870	.016
3,749,673,666	.103	806,604	8,085,411	48,061,014	.122
4,804,081,826	.296	1,145,682	11,543,056	61,470,788	.302
5,715,167,892	.191	1,733,357	17,757,678	84,644,039	.405
6,901,198,581	.209	1,758,537	26,328,240	113,398,547	.359
7,473,838,505	.056	1,512,926	31,049,201	147,651,182	.274
8,041,275,322	.061	1,214,788	28,845,794	155,705,095	.031
8,907,792,760	.097	1,125,980	28,271,129	170,480,355	.076
9,915,970,740	.096	981,008	25,886,353	187,796,267	.074
10,510,411,270	.056	1,048,585	25,714,607	195,709,277	.036
10,943,501,869	.035	1,011,946	24,166,929	200,962,890	.016
11,252,036,176	.026	946,047	23,790,811	204,145,413	.012

割合」ノ略稱ナリ (2) △印ハ減ヲ示ス

賣員數及運賃

人	員	割 合	運			割 合	
			一 等	二 等	三 等		
19,709,790	20,858,730	3,197,940	18,690	71,314	543,239	633,243	87,961
22,982,250	24,242,460	3,383,730	19,092	76,108	619,350	714,550	81,307
24,983,130	26,125,530	1,883,070	17,658	69,351	665,069	752,078	37,528
26,329,480	27,476,410	1,350,880	14,857	71,318	725,688	811,863	59,785
33,888,397	35,347,717	7,871,307	11,792	93,959	920,791	1,026,542	214,679
43,558,490	45,615,290	10,267,573	16,592	134,788	1,175,851	1,327,231	300,689
54,332,720	57,367,540	11,752,350	28,905	234,687	1,718,245	1,981,837	654,606
71,124,180	75,563,820	18,196,280	13,176	418,471	2,586,026	3,017,673	1,035,836
105,488,830	111,429,490	35,865,670	—	591,444	4,105,485	4,696,929	1,679,256
135,895,840	142,632,880	31,203,390	—	680,972	5,592,938	6,273,910	1,576,981
167,421,720	174,521,700	31,888,820	—	724,253	6,990,931	7,715,184	1,441,274
199,118,100	206,141,280	31,619,580	—	704,933	8,428,810	9,133,743	1,418,559
238,722,360	247,467,000	41,325,720	—	849,970	10,231,278	11,081,248	1,947,505
271,349,340	280,625,340	33,158,340	—	908,619	11,645,808	12,554,427	1,473,179
307,833,600	317,067,300	36,441,960	—	936,727	13,295,489	14,232,216	1,677,789

減割合」ノ略稱ナリ (2) △印ハ減ヲ示ス

回数乗車券

年 度	券 數					延	
	一 等	二 等	三 等	計	増減割合	一 等	二 等
大正 1	912	11,623	236,189	248,724	23,348	22,800	290,575
2	887	13,686	270,283	284,856	36,132	22,175	342,150
3	818	14,405	285,663	300,886	16,030	20,450	360,125
4	492	13,503	292,811	306,806	5,920	12,300	337,575
5	433	17,571	369,829	387,833	81,027	10,825	439,300
6	551	24,672	473,982	499,205	111,372	13,775	616,800
7	793	30,918	556,899	588,610	89,405	19,825	772,950
8	341	34,304	642,209	676,854	88,244	8,525	857,600
9	4	21,842	472,882	494,728	△ 182,126	100	546,050
10	—	18,789	433,660	452,449	△ 42,279	—	469,725
11	—	17,062	422,073	439,135	△ 13,314	—	426,550
12	—	13,048	406,206	419,254	△ 19,881	—	326,200
13	—	12,115	379,344	391,459	△ 27,795	—	302,875
14	—	11,185	378,993	390,178	△ 1,281	—	279,625
昭和 1	—	9,747	333,497	343,244	△ 46,934	—	243,675

備考 (1) 特種回数券(十回券)臨時回数券ハ本表中ニ包含セズ (2) 特種回数券ハ大正十四年

團體乗車券

年 度	券 數					延	
	一 等	二 等	三 等	計	増減割合	一 等	二 等
大正 1	41	321	41,959	42,321	6,972	4,231	27,790
2	4	581	48,645	49,230	6,909	364	34,371
3	4	544	44,787	45,335	△ 3,895	104	22,785
4	12	693	51,884	52,589	7,254	467	34,830
5	2	547	39,456	40,005	△ 12,584	82	30,794
6	18	1,859	60,742	62,619	22,614	218	66,263
7	5	255	30,454	30,714	△ 31,905	95	7,532
8	1	158	37,728	37,887	7,173	100	7,502
9	1	280	37,425	37,706	△ 181	44	9,718
10	—	277	41,033	41,310	3,604	—	11,688
11	2	238	45,812	46,052	4,742	23	11,149
12	—	217	41,718	41,935	△ 4,117	—	8,138
13	—	149	45,587	45,736	3,801	—	6,639
14	—	229	54,646	54,875	9,139	—	16,066
昭和 1	2	691	63,984	64,677	9,802	15	22,430

備考 (1) 増減割合ハ「前年度比較増減割合」ノ略稱 (2) △ハ減ヲ示ス

發賣員數及運賃

人	員			運			賃	
	三 等	計	増減割合	一 等	二 等	三 等	計	増減割合
5,777,675	6,091,050	456,650	11,222	69,118	449,428	529,768	53,620	
6,757,075	7,121,400	1,030,350	12,081	85,665	547,429	645,175	115,407	
7,141,575	7,522,150	400,750	11,119	89,707	584,317	685,143	39,968	
7,320,275	7,670,150	148,000	7,163	90,874	629,722	727,759	42,616	
9,245,725	9,695,850	2,025,700	6,312	118,906	783,172	908,390	180,631	
11,849,550	12,480,125	2,784,275	9,140	172,276	1,025,247	1,206,663	298,273	
13,922,475	14,715,250	2,235,125	16,059	276,910	1,478,237	1,771,206	564,543	
16,055,225	16,921,350	2,206,100	8,641	399,004	2,041,143	2,448,788	677,582	
11,822,050	12,368,200	△ 4,553,150	292	348,085	1,983,726	2,312,103	△ 136,685	
10,841,500	11,311,225	△ 1,056,975	—	305,790	1,866,128	2,171,918	△ 140,185	
10,551,825	10,978,375	△ 332,850	—	285,103	1,870,000	2,155,103	△ 16,815	
10,155,150	10,481,350	△ 497,025	—	224,143	1,806,572	2,030,715	△ 124,388	
9,483,620	9,786,495	△ 694,855	—	212,210	1,754,730	1,966,940	△ 63,775	
9,474,825	9,754,450	△ 32,045	—	209,281	1,790,295	1,999,576	32,636	
8,337,425	8,581,100	△ 1,173,350	—	190,336	1,649,697	1,840,033	△ 159,543	

九月三十日限リ廢止 (3) 増減割合ハ「前年度比較増減割合」ノ略稱 △ハ減ヲ示ス

發賣員數及運賃

人	員			運			賃	
	三 等	計	増減割合	一 等	二 等	三 等	計	増減割合
3,936,737	3,968,758	1,223,565	5,637	75,775	2,171,437	2,252,899	574,267	
3,844,122	3,878,857	△ 89,901	413	82,837	2,122,420	2,205,670	△ 47,229	
3,872,829	3,895,718	16,861	154	43,626	1,774,778	1,818,558	△ 387,112	
5,078,094	5,113,391	1,217,673	986	63,355	2,544,409	2,608,750	790,192	
4,557,826	4,588,702	△ 524,689	168	55,589	2,095,434	2,151,191	△ 457,559	
6,490,615	6,557,096	1,968,394	261	96,025	2,993,050	3,089,336	938,145	
4,108,452	4,116,079	△ 2,441,017	235	15,315	1,555,790	1,571,340	△ 1,517,996	
5,480,768	5,488,370	1,372,291	108	15,595	2,185,655	2,201,358	630,018	
6,006,289	6,016,051	527,681	196	29,818	3,630,744	3,660,758	1,459,400	
7,248,669	7,260,357	1,244,306	—	46,156	4,378,212	4,424,368	763,610	
7,356,386	7,367,558	107,201	146	38,583	4,427,572	4,466,301	41,933	
6,627,847	6,635,985	△ 731,573	—	24,289	4,225,535	4,249,824	△ 216,477	
7,714,333	7,720,972	1,084,987	—	22,662	4,858,542	4,881,204	631,380	
9,647,468	9,663,534	1,942,562	—	46,181	6,628,981	6,675,162	1,793,958	
10,040,911	10,063,356	399,822	105	53,630	6,442,430	6,496,165	△ 178,997	

等級別一日平均乗車人員

Table with columns: 年 度, 一 等 割 合, 二 等 割 合, 三 等 割 合, 計 割 合. Rows include years from 大正 1 to 昭和 1.

備考 (1)割合ハ「前年度比較増減割合」ノ略稱 (2)△ハ減ヲ示ス

乗車哩別人員

Table with columns: 種 別, 哩 別, 一 等, 二 等, 三 等, 計, 百 分 比. Rows list distances from 25哩 to 1000哩以上.

備考 1 本表ハ大正十三年度分実績ニ依ルモノニシテ此ノ後ノ調査ハ未タ出來セズ 2 本

等級別一人平均乗車哩、運賃及一人一哩平均運賃

Table with columns: 年 度, 一人平均乗車哩 (一 等, 二 等, 三 等, 計), 一人平均運賃 (一 等, 二 等, 三 等, 計), 一人一哩平均運賃 (一 等, 二 等, 三 等, 計). Rows include years from 大正 1 to 昭和 1.

員及延人哩

Table with columns: 人, 哩, 一人平均乗車哩. Rows list various metrics and percentages.

表中ニハ定期乗車券ヲ含マズ

急行券發賣

年 度	一 等		二 等		三 等		計	
	人 員	割 合	人 員	割 合	人 員	割 合	人 員	割 合
大 正 1	60,246	.152	414,884	.014	1,079,964	.092	1,555,094	.058
2	59,373	△.015	401,206	△.033	944,900	△.125	1,405,479	△.096
3	52,518	△.115	396,352	△.012	959,280	.015	1,408,150	.002
4	57,232	.090	436,395	.101	959,516	0	1,453,143	.032
5	69,563	.215	550,484	.261	1,056,734	.101	1,676,781	.151
6	99,847	.435	781,195	.415	1,358,042	.285	2,239,084	.329
7	122,319	.225	905,232	.159	1,619,845	.193	2,647,396	.182
8	131,686	.077	1,079,329	.192	1,888,194	.166	3,099,209	.171
9	102,792	△.219	1,011,119	△.063	2,318,756	.228	3,432,667	.108
10	82,780	△.195	990,151	△.021	2,633,586	.136	3,706,517	.080
11	75,313	△.090	1,102,031	.122	3,587,344	.362	4,764,688	.285
12	69,150	△.082	1,019,610	△.075	4,184,420	.166	5,273,180	.107
13	71,209	.030	1,087,530	.067	4,653,282	.112	5,812,021	.102
14	67,538	△.052	1,056,343	△.029	4,607,755	△.210	5,731,636	△.014
昭 和 1	64,541	△.044	1,058,972	.003	4,815,653	.045	5,939,166	△.036

備考 (1)割合ハ「前年度比較増減割合」ノ略稱 (2)△ハ減ヲ示ス

寢臺券發賣人員及料金

年 度	一 等		二 等		計		一 等	
	人 員	前年度比較増減割合	人 員	前年度比較増減割合	人 員	前年度比較増減割合	料 金	前年度比較増減割合
大 正 1	31,989	△.009	84,234	.077	116,223	.052	117,597	.047
2	29,375	△.082	79,206	△.060	108,581	△.066	109,773	△.067
3	26,981	△.081	76,346	△.036	103,327	△.048	99,710	△.092
4	35,692	.323	82,922	.086	118,614	.148	133,030	.334
5	44,761	.338	110,820	.336	155,581	.312	165,492	.244
6	66,810	.493	158,531	.431	225,341	.448	246,159	.487
7	81,607	.221	209,452	.321	291,059	.292	363,560	.477
8	86,024	.054	312,092	.490	398,116	.368	401,222	.104
9	62,689	△.271	342,654	.098	405,343	.018	395,056	△.015
10	54,401	△.132	393,399	.148	447,800	.105	345,332	△.126
11	49,767	△.085	419,403	.066	469,170	.048	315,476	△.086
12	46,161	△.072	365,197	△.129	411,358	△.123	290,782	△.078
13	49,663	.076	406,877	.114	456,540	.110	313,091	.073
14	47,084	△.052	417,922	.027	465,006	.019	297,207	△.051
昭 和 1	44,069	△.064	443,120	.060	487,189	.048	279,762	△.059

備考 △印ハ減ヲ示ス

人員及料金

料 金	一 等		二 等		三 等		計	
	割 合	割 分厘	割 合	割 分厘	割 合	割 分厘	割 合	割 分厘
116,563	.697		479,156	.447	504,878	.104	1,100,597	.284
124,680	.070		504,205	.052	464,253	△.080	1,093,138	△.007
108,251	△.132		496,607	△.014	474,184	.021	1,079,042	△.013
118,648	.096		542,198	.092	474,979	.002	1,135,825	.053
143,935	.213		679,469	.253	522,167	.099	1,345,571	.185
206,772	.437		963,355	.418	671,530	.469	1,841,657	.369
331,390	.603		1,473,323	.529	1,077,314	.604	2,882,027	.565
418,202	.262		2,029,053	.377	1,418,190	.316	3,865,445	.341
378,142	△.096		2,107,551	.039	1,851,398	.305	4,337,091	.122
302,292	△.206		2,071,413	△.017	2,103,565	.136	4,477,268	.032
278,224	△.080		2,226,181	.075	2,840,104	.347	5,344,509	.194
257,269	△.075		2,033,351	△.087	3,729,586	.313	6,020,206	.126
259,603	.009		2,161,859	.051	4,309,524	.155	6,730,986	.118
249,201	△.040		2,097,641	△.030	4,282,954	△.006	6,629,796	△.015
244,276	△.020		2,074,595	△.011	4,475,447	.040	6,794,318	.025

入場券發賣人員及料金

年 度	二 等		計		人 員	前年度比較増減割合	料 金	前年度比較増減割合
	料 金	前年度比較増減割合	料 金	前年度比較増減割合				
大 正 1	123,620	.323	241,217	.172	8,698,803		199,605	
2	129,874	.051	239,647	△.007	9,705,460	.116	220,702	.104
3	133,567	.029	233,277	△.031	10,232,773	.054	232,472	.053
4	207,090	.550	340,120	.458	10,833,548	.060	241,055	.037
5	280,941	.357	446,433	.313	12,389,900	.144	274,342	.133
6	396,207	.410	642,366	.439	14,489,248	.169	320,988	.170
7	579,228	.462	942,788	.468	14,359,950	△.009	665,336	1.010
8	910,483	.572	1,311,705	.391	15,148,318	.055	902,855	.357
9	1,354,433	.482	1,749,489	.334	16,611,459	.097	977,424	.083
10	1,529,602	.130	1,874,934	.072	18,252,625	.099	1,063,020	.089
11	1,624,495	.062	1,939,971	.035	19,385,985	.062	1,136,956	.070
12	1,404,224	△.136	1,695,006	△.126	19,768,540	.020	1,119,537	△.015
13	1,557,519	.109	1,870,610	.103	19,358,551	△.021	1,085,690	△.030
14	1,588,500	.020	1,885,717	.008	20,154,126	.041	1,143,263	.053
昭 和 1	1,676,962	.058	1,956,724	.038	21,292,594	.057	1,230,646	.076

備考 定期入場券ヲ含マス

手荷物運輸數量及運賃

年度	筒 數		斤 量	運 賃		一筒平均	
	筒數	増減割合		運賃	増減割合	筒平均斤量	筒平均運賃
大正 1	1,260,296	—	19,341,430	—	381,965	—	15.35
2	1,259,425	△ .001	20,344,064	.052	389,046	.019	16.15
3	1,268,277	.007	19,999,698	△ .017	380,712	△ .021	15.77
4	1,291,502	.018	20,265,987	.013	384,273	.009	15.69
5	1,400,726	.085	23,013,402	.136	440,694	.147	16.43
6	1,677,260	.197	30,897,926	.343	577,032	.309	18.42
7	1,993,326	.188	40,642,474	.315	823,810	.428	20.39
8	2,209,551	.108	46,811,333	.152	972,959	.181	21.19
9	2,270,915	.028	47,283,706	.010	1,003,828	.032	20.82
10	1,465,130	△ .355	23,731,816	△ .392	687,256	△ .315	19.61
11	1,676,447	.144	33,754,719	.175	782,490	.139	20.13
12	1,993,277	.189	42,388,472	.256	963,595	.231	21.26
13	2,027,439	.017	42,289,568	△ .002	944,236	△ .020	20.86
14	2,031,834	.002	40,195,943	△ .050	893,356	△ .054	19.78
昭和 1	2,100,386	.034	43,095,283	.072	869,471	△ .029	20.52

備考 (1) 増減割合ハ「前年度比較増減割合」ノ略稱 (2) △印ハ減ヲ示ス

小荷物運輸數量及運賃

年度	筒 數		斤 量	運 賃		一筒平均	
	筒數	増減割合		運賃	増減割合	筒平均斤量	筒平均運賃
大正 1	13,425,136	—	166,781,858	—	2,584,899	—	12.42
2	14,909,863	.111	188,448,436	.130	2,830,222	.095	12.64
3	16,219,825	.088	202,523,158	.075	2,927,067	.034	12.49
4	17,884,289	.103	218,518,780	.079	3,294,486	.095	12.22
5	20,860,156	.166	265,466,455	.215	3,993,083	.246	12.73
6	25,108,897	.204	365,190,905	.376	5,752,935	.441	14.54
7	28,400,342	.131	456,832,370	.251	8,825,554	.534	16.09
8	32,949,073	.160	545,341,496	.194	11,069,488	.254	16.55
9	37,699,632	.144	646,235,857	.185	13,381,414	.209	17.14
10	37,525,532	△ .005	688,496,393	.065	17,905,742	.338	18.35
11	40,201,981	.071	807,876,904	.173	20,256,977	.131	20.10
12	40,527,992	.030	885,367,320	.096	22,110,779	.092	21.85
13	44,641,143	.101	932,251,810	.530	22,796,699	.030	20.88
14	48,225,128	.080	903,844,207	△ .030	22,177,274	△ .027	18.74
昭和 1	54,004,619	.120	978,630,430	.083	23,101,506	.042	18.11

備考 (1) 増減割合ハ「前年度比較増減割合」ノ略稱 (2) △印ハ減ヲ示ス (3) 本表中ニハ新聞雑誌ヲ含ム

鐵道貨物運輸

鐵道貨物トシテ運送サルル物品 鐵道ニ依リ運送サルル物品ノ種類ニ付テハ別段ノ制限ナキヲ以テ其ノ物品カ法令ノ規定ニ依リ運送ヲ禁止サレタルモノ——例ヘバ發賣頒布ヲ禁止サレタル新聞雜誌ノ類、贗造貨幣ノ如キハ之ヲ除クニ過キズ。然レドモ一筒ノ長、重量、容積及貨物ノ高及幅ガ左ノ制限ヲ超スルモノハ貨車ノ積載能力集荷配達作業等ノ關係上(特別小口扱ニ依ルモノハ全ク運送ノ引受ヲナサズ)實際ニ取扱ノ可能ナルモノ以外ハ其ノ運送ヲナサズ。

- 一 小口扱 長サ十四尺、重量三噸又ハ容積三百立方尺
- 二 特別小口扱 長サ十四尺、重量二百斤又ハ容積四十立方尺
- 三 貸切扱 長サ六十尺、重量十五噸又ハ容積千五百立方尺
- 四 各扱共貨物ノ高サハ最大約八尺、幅ハ最大約八尺

小口扱 比較的小量貨物ノ運送ニ適スル扱種別ニシテ單位ハ斤ヲ以テシ其ノ貨車積卸作業ハ鐵道ノ負擔ナリ。荷主ノ希望ニ依リテハ低廉ナル料金ヲ收受シテ一定ノ區域内(驛ヨリ凡ソ一里半以内ノ地域)ニ於ケル荷主ノ居所ニ集荷、配達ノ取扱ヲナス。

特別小口扱 小口扱同様小量貨物ニ適スル扱方ニシテ此ノ扱ニ依ル貨物ハ特ニ輸送列車(急行貨物列車)ヲ定メテ急送ヲ圖ルト共ニ無料ニテ小口扱同様集貨、配達ヲナス。急送ヲ要スル物或ハ腐敗シ易キ品ヲ輸送スルニハ最モ便利ナル取扱方ナリ。貨車積卸作業ハ勿論鐵道ノ負擔トス。

貸切扱 相當數量ノ纏リタル貨物ノ運送ニ適スル扱種別ニシテ低廉ナル運賃ヲ以テ貨車ヲ専用シテ運送スルモノナルガ其ノ貨車積卸作業ハ荷主ノ負擔ナリ。又十五噸車ヲ利用スル場合ハ二口ノ貨物ヲ一車ニ積載シ一車分ニ對スル運賃ヲ以テ運送スル便法アリ。

特種扱 火藥類、牛馬等ノ家畜、機關車、貨車ノ如キ自己ノ車輪ニテ運轉スル鐵道車輛、死體等其ノ運送ニ全ク特別ノ手配ヲ要スル貨物ハ此ノ扱ニ依ラザルベカラズ。貨車ニ積載シテ運送スルモノハ其ノ積卸作業ハ荷主ノ負擔ナリ。

貨物運賃計算方法 貨物ノ運賃ハ貨物ノ等級(特別小口扱ヲ除ク)數量、扱種別及發着驛間ノ哩程(距離)ヲ基礎トシ所定ノ貨率表ニ依ツテ計算ス。

(1) **貨物ノ等級** 貨物ヲ大別シテ普通品ト級外品トニ分ツ。普通品ハ之ヲ五等級ニ分チ最モ價格ノ高キモノヲ一級品トシ以下二級三級ト順次區別ス。通貨一級最モ高率ニシテ二級三級ト順次低廉トナリ居レリ。尙一級品中

特ニ高價ナルモノハ貴重品トシテ取扱フ。級外品ハ之ヲ七種ニ分チ夫々特殊ノ運賃ヲ定ム。

例外トシテ特別小口扱貨物ハ無等級ニシテ貨率ハ單一ナルガ特定ノ貨物(高價品、嵩高品)ニ對シテハ五割増、十割増、二十割増等運賃ニ割増ヲナス。

貨物等級ノ二三ノ例ヲ擧グレバ

- 一級 寶石、置時計、蓄音器、絹織物
- 二級 洋酒、繪畫、繭、紡績絹糸
- 三級 牛乳、綿織物、引越荷物
- 四級 鹽干魚、小麥粉、味噌醬油、棉花
- 五級 米、麥、石炭、礫石、砂利

- 級外品
- 第一種 火藥類
 - 第二種 危險品(揮發油、硫酸、礮寸)
 - 第三種 家畜(牛、馬、豚、山羊)
 - 第四種 鐵道車輛
 - 第五種 死體
 - 第六種 金銀貨、兌換券
 - 第七種 胞衣類、生蝨、屎尿

(2) **數量** 運賃計算ノ基礎トナル數量ノ單位ニハ斤及噸ヲ用ヒ一斤ハ百六十匁、一噸ハ千六百九十三斤四四(約二百七十一貫)トシテ計算ス。小口扱ニシテ貨物一立方尺ノ重量ガ十斤未滿ノモノハ一立方尺迄ヲ十斤ニ、貸切扱ニシテ同百立方尺ノ重量ガ一噸未滿ノモノハ百立方尺迄ヲ一噸ニ換算ス。

小口扱貨物ハ斤數ニ依ツテ運賃ヲ計算シ百斤迄ノモノハ最低百斤トシ、百斤以上ハ十斤毎ノ計算ニテ十斤未滿ハ之ヲ十斤ニ切上グ。貸切扱貨物ハ使用貨車ノ標記噸數ニ貨率ヲ乘ジ計算ス。此ノ場合標記噸數ガ荷重、容積ノ二ツアルトキハ其ノ最低噸數ノ標記噸數ノ小ナル方トシ、其ノ以上ハ貨物ノ實量ニ依リ計算シ、一噸未滿ハ之ヲ一噸ニ切上グ。

(3) **哩程** 發着驛間ノ徑路ガ一途ノミノ場合ハ其ノ徑路ノ哩程ニ依ルモ徑路二途以上アル場合ニ於テハ運賃ハ其ノ中ノ最短徑路ノ哩程ニ依ツテ計算ス。貸切扱貨物ニ對シ荷主ガ運送徑路ヲ指定シタル場合ハ其ノ實際ノ運送徑路ノ哩程ニ依ツテ計算ス。以上何レノ場合ニ於テモ一哩未滿ハ之ヲ一哩ニ切上グ。

(4) **貨率** 貨率表ニハ普通貨率表ト特定貨率表トアリ。普通貨率表ハ基本トナルベキ貨物運賃ノ百斤當リ又ハ一噸當リノ割合ヲ示シタルモノニシテ扱種別、哩程及等級別ニ區別サレ居レリ。米、麥、味噌、醬油、國定教科書其ノ他ノ貨物ニシテ特ニ定メラレタルモノニハ運賃ノ割引又ハ割戻アリ。特定貨率表ニ定

メラタルモノ之ナリ。

運送委託ノ手續 小口扱貨物ニシテ集貨付ノモノ及特別小口扱貨物ノ特定ノモノ以外ハ貨物運送狀ノ提出ヲ要セザルモ其ノ他ノ貨物ノ運送ヲ委託スルニハ貨物運送狀ニ貨物ノ品名、箇數、重量、發著驛名、荷送人、荷受人名及住所等ヲ記載シ貨物ト共ニ貨物取扱所ニ差出スモノトス。貨物ニハ充分ナル荷造ヲ施シ一箇毎ニ荷札ヲ二枚(同種類ノ貨物ニシテ一口相當ノ箇數ニ上ルモノハ一枚宛)宛附着セシムルヲ要ス。但シ集貨スルモノニハ荷札ヲ要セズ。運送狀ノ式紙ハ驛ニ於テ之ヲ交付ス。鐵道ニ於テ貨物ノ運送ヲ引受ケタルトキハ貨物通知書(甲片)ヲ交付スルコトニ定メ居レリ。

運賃ノ支拂方法 運賃ハ貨物託送ノ際ニ支拂フヲ原則トシ之ヲ「現拂」ト稱スルガ小口扱ニシテ集貨配達ヲナスモノ及特別小口扱ニ限リ到着地ニ於テ貨物ト引換ニ支拂フ「著拂」ノ方法モアリ。又豫メ運賃概算額ヲ支拂ヒ置キ後ニ精算スル「豫納」ノ制度ヲモ設ケ居レリ。

貨車ノ種類ト其ノ用途 國有鐵道ニ於テ設備セラレ居ル貨車ノ種類ハ約三十種ノ多キニ達スルガ大別シテ有蓋、無蓋ノ二ト爲スコトヲ得。有蓋ニ屬スルモノハ之ヲ有蓋貨車、冷藏車、通風車、家畜車、有蓋緩急車、水槽車、油槽車等ニ區分サルガ此内ハ有蓋貨車ハ更ニ構造上ヨリ木製有蓋貨車鐵製有蓋貨車、木鐵合造有蓋貨車ニ分クルコトヲ得ベク一方無蓋ノ貨車ニ編入サルベキモノハ無蓋貨車、材木車、無蓋貨車材木車兼用、土運車、重量品運搬車、鐵桁運搬車、石炭車、無蓋緩急車等ニ區分スルコトヲ得ベシ。之等ノ各種貨車ハ貨物ノ品種ト形態ニ應ジテ搭載ニ便利ナル如ク作ラレタルモノニシテ一般ニイヘバ有蓋ノ貨車ハ鎖錠保護ヲ要シ又ハ雨浸、火氣等ノ豫防ヲ必要トスル貨物積ニ充テ之ニ反シ石炭、砂利、丸太等ノ如キ所謂荒物ト稱スベキモノカ或ハ形態上無蓋車ニ搭載スルヲ利トスルモノハ無蓋ノ貨車ヲ充當セシメルコトトナリ居レルガ、更ニ詳言スルトキハ冷藏車ハ其冷藏裝置ヲ利用シテ鮮魚鮮肉ノ如キ比較的遠距離ヲ輸送サレテ腐敗シ易キモノノ輸送ニ供シ通風車ハ通風裝置ヲ設ケテ變質シ易キ生果、生野菜類ノ運送ニ又材木車ハ一般材木類ノ外竹レール等長尺貨物ニ石炭車ハ石炭、鐵製有蓋貨車ハ發火ノ虞アル生石灰、マッチ、罐入石油等ニ夫々利用サルモノナリ。

貨車ノ配給 荷主ノ運送申込ニ應ジテ貨車ノ配給ヲ爲ス場合鐵道ハ最モ公平無私ヲ以テ之ニ臨マザルベカラザルコトハ勿論ニシテ之ガ順位ノ決定ハ原則トシテハ荷主ノ提出シタル貨物運送狀ニ依リ之ヲ確認シタル順序ニ依ルモノナルガ毎日略一定量ノ發送アル大量貨物ハ鐵道ニトリテハ常時ノ顧客トシテ相當優遇スベキ性質ノモノナルガ故ニ彼ノ探掘場ニ於ケル石炭、石材、砂利、鑛石、

港灣地點ニ於ケル石炭、鑛石、木材、伐採地及大集散地ニ於ケル木材類、其他生産工場ニ對スル原料ニ對シテハ特ニ上述配給原則ニ依ラズ過去ニ於ケル發送実績噸數、現在ニ於ケル貨車配給狀況積卸能力及發送希望噸數等ヲ參酌シテ旬分ノ輸送噸數ヲ豫定シ之ニ基キテ日々ノ配給ヲ爲スコトトナリ居レリ又右ノ内ニテモ常磐炭、九州炭及北海道炭ニ對シテハ鐵道局若クハ運輸事務所ニ於テ旬又ハ一ヶ月間ニ於ケル貨車配給計畫ヲ定メ之ニ依ルコトヲ得ル様特例ヲ設ケ居レリ。尙上述貨車配給ノ原則ニ對シテ例外ヲ認メラレ居ルモノトシテハ配給順位ヲ繰上ゲ得ルモノニハ鐵道營業法中ニ明示セラレ居ル公益上又ハ運輸上正當ノ理由アリト認メテ運輸局、鐵道局若クハ運輸事務所ニ於テ特ニ指示シタル貨物ト急送品車票ヲ使用スル貨物トアリ。配給順位ヲ繰上ゲ又ハ繰下ゲ得ルモノニハ集結指定區間行ニシテ集結列車ニ集結輸送スレバ速達ヲ期シ得ル貨物、指定輸送ヲ爲ス貨物、貨物ノ性質又ハ形態上特殊構造ノ貨車又ハ特殊ノ積載方ヲ要スルモノ、特殊事情ノ爲貨車運用計畫ニ於テ使用車數ヲ限ラレタル區間行貨物、空車ヲ廻入シ居ル方面行貨物等アリ。

連帶鐵道ヘノ迎車廻入 省線ト貨物ノ連帶運輸契約ヲ締結シ居ル私設鐵道線ハ昭和三年三月現在ニ於テ百七十餘ニ上リ其内ニテ省線ト軌幅同ウシ省社通ジテ貨車ノ直通運轉ヲ爲シ得ルモノハ約百三十ヲ算シ居ルガ之等私設鐵道ハ一般ニ營業短カク其貨車走行理ハ省線ニ比シ遙ニ短キモノ多シ從ツテ國有鐵道ヨリ充分ノ迎車ヲ廻入シテ其沿線貨物ノ輸送ニ努ムルニ於テハ獨リ會社ガ車輛ニ關スル資金ノ投下ヲ減少シ得ルノミナラズ省線相互間ニ於テ貨車ノ運用宜シキヲ得テ結局省線省線ヲ通ジテ車輛ノ運輸力ハ遙カニ高率トナルベキ筈ナリ。即チ此趣旨ニ基キ從來省自體ニ於ケル貨車不足ノ爲省線ノ希望ニ對シ多クガ容ラレザリシ遺憾トシ將來益々迎車ノ方針ヲ徹底セシメ一般ニハ連帶線發省線及通過トナルベキ貨物運送ノ爲省有貨車ヲ迎車トシテ廻入方申出アリタル場合、鐵道局又ハ運輸事務所ハ該社線ノ在貨、貨物ノ性質、行先、自管内ノ出貨狀況ノ振合等ヲ參酌シテ之ニ應ズルコトニ規定シ就中省線内ノ長距離ヲ走ル貨物若クハ空車廻送ノ方向ニ使用スル貨物ノ如キハ出來得ル限リ迎車ヲ促進シテ省社ヲ通ジテ貨車ノ運用ヲ昂上セシムルコトトナリ居レリ。

小口扱貨物及特別小口扱貨物ノ輸送 小口扱及特別小口扱貨物ハ積合車ニ依リ輸送スルヲ原則トスルガ之ニ依リ難キモノハ緩急車又ハ代用車ニ依ルコトトナリ居レリ蓋シ小口扱貨物ノ遲延ヲ防止シ、速達ヲ計ルニハ可成の其中繼ヲ省略スルヲ必要トスルコト勿論ニシテ積合主義ノ理想トスル所モ能フベク途中貨物ノ中繼ヲ爲サズシテ發著

驛間直送スルニ在ルガスタメニハ一發驛ヨリ一著驛ニ至ル貨物ノミヲ以テ貨車ヲ滿載スルコトヲ要シ然モ小口扱貨物ノ性質上到底之ヲ多クノ驛ニ望ムコト能ハザルヲ以テ積合車ノ標記荷重噸數ニ依リ十五噸積以上ノモノハ七噸、同上十四噸以下ノモノハ五噸以上ノ積載量ヲ有スルナラバ一驛發ハ著驛三驛迄、二驛發ハ著驛二驛迄、三驛發ハ一驛著ノ都合六種ノ積合車ヲ仕立ツルコトヲ得ベシ。

特別小口扱貨物ハ豫テ指定セラレ居ル列車及連絡船ニテ輸送スルモノニシテ特ニ速達ヲ期スル爲積合車ハ一驛發一驛行ニ限リ且ツ其著驛ニテ中繼ヲ要スルモノ及小口扱貨物ノ混載ヲ禁ズルハ勿論積合車以外ノモノモ專用ノ緩急車又ハ代用車ヲ以テ輸送スルコトトシ特別小口扱貨物尠ク輸送上支障ナシト認ムル場合ノ外ハ其緩急車又ハ代用車ニ小口扱貨物ヲ混載スルカ若クハ小口扱貨物積ノ緩急車又ハ代用車ニ特別小口扱貨物ヲ混載スルコトハ許サザルコトトナリ居レリ。

集結輸送 貨車ノ行先、車數及列車ノ系統等ニ依リ貨車ヲ集結シテ輸送スルノ有利ナルコトハ多言ヲ要セザルコトナルガ荷主ハ之ニ依リ輸送ノ正確ト發著輸送時間ヲ短縮シテ貨物ノ速達ヲ期シ得ルコトトナリ鐵道ハ亦途中貨車ノ入換及中繼作業ヲ省キ運用ヲ敏活ニスルハ勿論列車ノ組成ヲ整頓シ運轉ノ正確ヲ保チ得ル等荷主鐵道相互ノ利益ハ尠カラザルモノニシテ之等ハ鐵道局内ニ限ルモノハ鐵道局ニ於テ之ヲ定メ他鐵道局ニ互ルモノハ運輸局ニ於テ之ヲ指定シ更ニ此運輸局指定ノモノニ對スル責任驛ト其車數ハ鐵道局ニテ指定スルコトトナリ居レルガ今ヤ多年ノ經驗ト訓練ニ依リ省線内各主要幹線ハ悉ク急直行貨物列車ヲ以テ貨車ノ集結ヲ實施シ其成績大ニ見ルベキモノナリ。

貨物ノ引取 配達付以外ノ貨物ガ著驛ニ到達スルトキハ其ノ旨荷受人ニ通知ヲ發スルヲ以テ所定ノ引取時間内ニ貨物ヲ引取ラザルベカラズ。此ノ場合ニハ貨物引換證又ハ船荷證券付ノモノハ當該證券ニ貨物受取ノ旨ヲ裏書シ其ノ他ノモノハ發驛ニ於テ交付シタル貨物通知書ノ甲片ヲ何レモ著驛ニ提出シテ之ヲ引換ニ貨物ヲ引渡ヲ受クルモノナリ配達ヲナス貨物ノ荷受人ノ居宅ニ於テ受領印ヲ徴シテ之ヲ引渡ス貨物ノ引取時間ハ危險品其ノ他特別ノモノヲ除キ鐵道ガ到著ノ通知ヲ發シタル日ト共ニ二日間ナリ。若シ此ノ時間内ニ引取ヲ爲サザル場合ハ保管場所ノ混雜ヲ來シ延イテハ一般運輸ニ支障ヲ及ボス虞アルヲ以テ引取期間終了後二十四時間迄毎ニ小口扱及特別小口扱ハ特定ノモノヲ除キ百斤ニ付四錢、貸切扱ハ一噸ニ付七十錢ノ割合ニテ保管料ヲ收受ス尙貸切扱貨物ニ對シテハ積卸ヲ爲スベキ旨ノ通知ヲ發シテヨリ六時間以内ニ積卸ヲ終了セザレバ積卸時間經過後十二時間迄

毎ニ貨車標記容積噸數一噸ニ付五十錢ノ割合ニテ貨車留置料ヲ計算收受ス。

貨車ノ封印 貸切扱貨物ノ積込終了シ鐵道ガ荷送人ヨリ貨物ヲ受取リタルトキハ有蓋ノ貨車ニ積載シタル場合ハ荷送人ノ立會ヲ求メ貨車ノ扉ニ封印シ又之ガ著驛ニ到着シタルトキハ同ジク荷受人ノ立會ノ下ニ之ヲ開封ス封印ハ著驛ニ於テ開披ニ際シテ何等異狀無キトキハ荷送人ガ積込ヲナシタル狀態其ノ儘ニテ貨物ガ完全ニ運送サレタル事ヲ知り得ベシ。

集荷 配達 特別小口扱貨物ハ動物及二割ヲ超ユテ運賃ヲ低減スルモノ等ヲ除キ特ニ荷主ガ希望セザル限リ無料ニテ集荷、配達ノ取扱ヲナスモノナルガ小口扱貨物ハ荷主ノ希望アルトキハ動物、級外品、一箇ノ大サー一定ノ限度ヲ超ユルモノ等ヲ除キ左記ノ料金ヲ徴シ集配ノ取扱ヲナス。

- 集貨料
- 一 百斤迄
 - 東京、横濱、京都、大阪及神戸市内ニ於テ集貨スルモノ 二十三錢
 - 其ノ他 二十錢
 - 二 百斤ヲ超ユル場合ハ五十斤迄ヲ増ス毎ニ十錢ヲ加フ
- 配達料
- 一 百斤迄 二十錢
 - 二 百斤ヲ超ユル場合ハ五十斤迄ヲ増ス毎ニ十錢ヲ加フ

集貨貨物運送ノ委託ハ口頭又ハ電話、郵便等ニテ驛又ハ各指定運送取扱人ニ申込ムヲ以テ足ル。

代金引換 遠隔ノ地ニ在ル人々ノ間ニ商品ヲ買賣スル場合代金ト商品トガ同時ニ引換フルコトヲ得レバ取引ノ圓滑ヲ期スルコトヲ得テ甚ダ便利ナリ。此ノ取扱ヲ代金引換ト謂フ。運送委託ノ際貨物運送狀ニテ代金引換トスル旨記載スレバ少額ノ手数料ニテ著驛ニ於テ荷受人ヨリ代金ヲ取立テ發驛ニ於テ荷送人ニ之ヲ支拂フ。

運送店ヘノ取次 貨物運送ニ關スル手續ト作業トヲ自身ニ於テ爲スコトヲ不便トスル向ハ運送店ヲ利用スルヲ便トス。荷主ノ申込アルトキハ鐵道ニ於テ撰定シタル「指定運送取扱人」ニ取次ギ一定ノ公正ナル料金ヲ以テ取扱ハシムルコトニ定メ居レリ。

主要驛間貨物

起及 方 點 向	驛 名	哩 程	所要時間		小 口 扱			
			分	時	一級品	二級品	三級品	
			分	分	円	円	円	
品川 ヨリ 東海道、山陽、九州方面	東横濱	14.5	.43		.160	.130	.110	
	東沼津	81.3	11.50		.605	.470	.375	
	東静岡	114.9	15.15		.760	.585	.465	
	東豊岡	162.6	18.24		.960	.730	.575	
	東名松橋	185.4	20.40		1.060	.800	.630	
	東名古屋	230.3	22.58		1.230	.930	.730	
	東名岐阜	249.1	23.35		1.270	.955	.750	
	東名大垣	257.8	24.35		1.300	.980	.765	
	東名大塚	323.3	23.00		1.530	1.160	.905	
	東名大阪	348.9	23.30		1.600	1.210	.945	
	東名神戸	366.6	33.50		1.660	1.260	.980	
	東名山崎	400.7	37.22		1.790	1.350	1.060	
	東名山島	455.7	44.28		1.940	1.470	1.150	
	東名廣島	556.4	57.30		2.240	1.690	1.320	
	東名下関	695.9	44.55		2.660	2.010	1.570	
	東名博多	705.9	55.10		2.720	2.050	1.600	
	東名鹿島	754.8	77.36		2.840	2.140	1.670	
	東名長崎	944.7	83.40		3.410	2.570	2.000	
	秋葉原 ヨリ 東北、奥羽、北海道方面	東大宮	871.6	80.00		3.180	2.400	1.870
		東宇都宮	17.8	.50		.195	.155	.135
東宇都宮		67.0	5.15		.525	.410	.330	
東宇都宮		140.6	13.05		.880	.670	.530	
東宇都宮		169.2	17.05		.980	.745	.585	
東宇都宮		218.4	23.45		1.170	.880	.690	
東宇都宮		331.2	30.35		1.560	1.180	.925	
東宇都宮		458.1	37.30		1.940	1.470	1.150	
東宇都宮		74.2	9.32		.575	.445	.360	
東宇都宮		195.3	20.05		1.100	.830	.650	
飯田町 ヨリ 中央線方面	東山形	224.5	23.25		1.200	.905	.710	
	東山形	356.0	44.00		1.630	1.230	.960	
	東山形	448.2	53.00		1.910	1.440	1.130	
	東山形	558.1	54.45		2.240	1.690	1.320	
	東山形	716.1	76.45		2.720	2.050	1.600	
	東山形	737.2	78.45		2.780	2.100	1.640	
	東山形	823.5	88.05		3.070	2.310	1.800	
	東山形	982.8	112.15		3.520	2.650	2.060	
	東山形	1,066.9	104.30		3.770	2.840	2.200	
	東山形	983.6	117.45		3.520	2.650	2.060	
飯田町 ヨリ 中央線方面	東八甲斐	27.0	4.55		.260	.210	.175	
	東八甲斐	80.3	13.21		.605	.470	.375	
	東八甲斐	121.7	18.50		.800	.615	.485	
飯田町 ヨリ 中央線方面	東八甲斐	169.8	30.10		.980	.745	.585	

輸送時間及運賃

(百斤 = 付)		貨 切 扱 (一噸 = 付)				
四級品	五級品	一級品	二級品	三級品	四級品	五級品
円	円	円	円	円	円	円
.100	.090	1.200	1.000	.850	.750	.700
.310	.260	5.050	3.950	3.200	2.800	2.450
.375	.310	6.400	5.000	4.000	3.450	3.000
.460	.375	8.100	6.250	4.950	4.250	3.700
.505	.405	8.950	6.850	5.400	4.650	4.050
.580	.470	10.500	8.000	6.300	5.350	4.700
.595	.480	10.800	8.200	6.450	5.500	4.800
.610	.490	11.000	8.400	6.600	5.650	4.900
.715	.575	13.100	9.950	7.800	6.600	5.750
.745	.600	13.700	10.400	8.150	6.900	6.000
.775	.625	14.200	10.800	8.500	7.200	6.250
.835	.670	15.400	11.700	9.150	7.750	6.700
.900	.725	16.700	12.700	9.950	8.400	7.250
1.040	.835	19.400	14.700	11.500	9.700	8.350
1.230	.990	23.200	17.500	13.700	11.500	9.900
1.250	1.010	23.700	17.900	14.000	11.800	10.100
1.310	1.060	24.800	18.700	14.600	12.300	10.600
1.560	1.260	29.900	22.500	17.500	14.700	12.600
1.460	1.180	27.900	21.000	16.400	13.800	11.800
.115	.105	1.500	1.200	1.050	.900	.800
.275	.230	4.400	3.450	2.800	2.450	2.150
.425	.350	7.450	5.750	4.550	3.900	3.450
.470	.380	8.300	6.350	5.050	4.300	3.800
.550	.445	9.900	7.550	5.950	5.100	4.450
.730	.590	13.400	10.200	8.000	6.750	5.900
.900	.725	16.700	12.700	9.950	8.400	7.250
.295	.245	4.800	3.750	3.050	2.650	2.300
.520	.420	9.300	7.100	5.600	4.800	4.200
.565	.455	10.200	7.750	6.100	5.200	4.550
.760	.610	13.900	10.600	8.300	7.050	6.100
.890	.715	16.500	12.500	9.800	8.250	7.150
1.040	.835	19.400	14.700	11.500	9.700	8.350
1.250	1.010	23.700	17.900	14.000	11.800	10.100
1.280	1.030	24.300	18.300	14.300	12.000	10.300
1.410	1.140	26.900	20.200	15.800	13.300	11.400
1.610	1.300	30.900	23.200	18.100	15.200	13.000
1.720	1.390	33.200	24.900	19.400	16.300	13.900
1.610	1.300	30.900	23.200	18.100	15.200	13.000
.155	.135	2.050	1.650	1.400	1.250	1.100
.310	.260	5.050	3.950	3.200	2.800	2.450
.395	.325	6.750	5.250	4.200	3.600	3.150
.470	.380	8.300	6.350	5.050	4.300	3.800

主要驛貨物輸送時間及運賃 (續)

起及方 點向	驛名	哩程	所要時間	小口扱					
				一級品	二級品	三級品			
		哩分	時分	円	円	円			
大阪ヨリ山陽、山陰、四國、九州方面	神明姫岡糸廣宮小下福鳥米松大高丸松琴門戶博久熊鹿佐長別大宮	戸石	20.3	2.11	.210	.170	.145		
		路	32.3	7.00	.310	.245	.205		
		山	54.4	2.47	.460	.360	.295		
		崎	109.4	6.08	.740	.570	.450		
		島	163.8	10.20	.960	.730	.575		
		廣	210.1	13.22	1.170	.880	.690		
		宮	223.6	21.15	1.200	.905	.710		
		小	306.1	20.55	1.460	1.110	.865		
		下	349.6	25.05	1.600	1.210	.945		
		福	71.6	9.00	.555	.430	.350		
		鳥	159.7	20.15	.940	.715	.560		
		米	217.3	26.25	1.170	.880	.690		
		松	235.3	32.00	1.230	.930	.730		
		大	260.3	87.20	1.330	1.010	.785		
		高	144.8	16.53	.900	.685	.540		
		丸	162.2	20.16	.960	.730	.575		
		松	265.4	41.50	1.330	1.010	.785		
		琴	171.9	18.26	1.000	.760	.595		
		札幌ヨリ北海道内	函小岩旭苦室帶池釧根名稚	館	179.1	15.00	1.020	.770	.605
				樽	21.1	2.20	.225	.185	.155
澤	25.3			1.25	.260	.210	.175		
川	86.3			11.30	.635	.490	.395		
牧	71.3			7.00	.555	.430	.350		
關	112.0			12.10	.760	.585	.465		
廣	155.6			25.00	.940	.715	.560		
田	170.6			26.40	1.000	.760	.595		
路	235.6			33.40	1.230	.930	.730		
室	319.7			39.20	1.500	1.130	.885		
留兒	米	431.1	45.30	1.880	1.420	1.110			
	本	482.5	50.40	2.030	1.530	1.200			
知	山	598.4	62.10	2.360	1.780	1.390			
	取	442.2	51.05	1.910	1.440	1.130			
見小	子	525.3	57.30	2.180	1.650	1.290			
	江	441.5	47.40	1.910	1.440	1.130			
留兒	社	449.1	49.10	1.910	1.440	1.130			
	松	577.8	72.20	2.300	1.740	1.360			

(百斤 = 付)		貨切扱 (一噸 = 付)				
四級品	五級品	一級品	二級品	三級品	四級品	五級品
円	円	円	円	円	円	円
.125	.110	1.650	1.350	1.100	1.000	.900
.175	.150	2.500	2.000	1.650	1.450	1.300
.245	.210	3.850	3.050	2.500	2.150	1.900
.365	.305	6.250	4.850	3.900	3.350	2.950
.460	.375	8.100	6.250	4.950	4.250	3.700
.550	.445	9.900	7.550	5.950	5.100	4.450
.565	.455	10.200	7.750	6.100	5.200	4.550
.685	.550	12.500	9.500	7.450	6.350	5.500
.745	.600	13.700	10.400	8.150	6.900	6.000
.290	.240	4.650	3.650	2.950	2.600	2.250
.450	.370	7.950	6.100	4.850	4.150	3.650
.550	.445	9.900	7.550	5.950	5.100	4.450
.580	.470	10.500	8.000	6.300	5.350	4.700
.625	.505	11.300	8.650	6.800	5.800	5.050
.435	.355	7.600	5.850	4.650	4.000	3.500
.460	.375	8.100	6.250	4.950	4.250	3.700
.625	.505	11.300	8.650	6.800	5.800	5.050
.480	.390	8.450	6.500	5.150	4.400	3.850
.760	.610	13.900	10.600	8.300	7.050	6.100
.790	.635	14.500	11.100	8.650	7.300	6.350
.835	.670	15.400	11.700	9.150	7.750	6.700
.875	.705	16.200	12.300	9.600	8.100	7.050
.940	.760	17.500	13.300	10.400	8.750	7.600
1.090	.880	20.500	15.500	12.100	10.200	8.800
.890	.715	16.500	12.500	9.800	8.250	7.150
1.010	.815	18.900	14.300	11.200	9.400	8.150
.890	.715	16.500	12.500	9.800	8.250	7.150
.890	.715	16.500	12.500	9.800	8.250	7.150
1.060	.860	20.000	15.100	11.800	9.950	8.600
.485	.395	8.600	6.600	5.200	4.500	3.900
.135	.120	1.800	1.450	1.200	1.100	.950
.155	.135	2.050	1.650	1.400	1.250	1.100
.320	.270	5.350	4.200	3.400	2.900	2.550
.290	.240	4.650	3.650	2.950	2.600	2.250
.375	.310	6.400	5.000	4.000	3.450	3.000
.450	.370	7.950	6.100	4.850	4.150	3.650
.480	.390	8.450	6.500	5.150	4.400	3.850
.580	.470	10.500	8.000	6.300	5.350	4.700
.700	.565	12.800	9.750	7.650	6.500	5.650
.410	.335	7.100	5.500	4.350	3.750	3.300
.595	.480	10.800	8.200	6.450	5.500	4.800

貨物列車走行哩

年 度	貨物列 車 哩	增減 割合	一日 平均	一日一哩 平均列車 回数	一貨物 列車平均 連結車數
大正 1	27,230,143	.103	74,603	14.6	24.3
2	29,386,707	.079	80,512	15.1	25.1
3	27,961,964	△ .048	76,608	13.7	25.6
4	28,662,007	.025	78,311	13.7	27.1
5	32,641,770	.139	89,430	15.4	28.1
6	35,300,293	.081	96,713	16.3	28.8
7	36,425,408	.032	99,796	16.5	28.5
8	37,670,490	.034	102,925	16.8	29.4
9	34,792,861	△ .076	95,323	15.1	29.0
10	33,624,287	△ .034	92,121	13.9	29.6
11	34,531,779	.027	94,608	13.8	30.0
12	34,609,006	△ .002	94,560	13.3	30.1
13	37,020,097	.070	101,425	13.6	31.0
14	36,265,205	△ .020	99,357	12.9	31.9
昭和 1	34,553,521	△ .047	94,667	12.0	33.9

扱別噸數延

年 度	輸送噸數				延噸	
	小口扱	貨切扱	計	割合	小口扱	貨切扱
大正 1	3,024,072	29,513,273	32,537,345	.109	290,209,749	2,401,254,425
2	3,341,306	33,007,056	36,348,362	.117	319,756,157	2,734,096,483
3	3,319,795	31,953,080	35,272,875	.080	320,041,738	2,662,783,743
4	3,513,578	32,287,036	35,800,664	.015	353,389,967	2,956,128,710
5	4,110,897	37,989,837	42,100,734	.176	432,060,570	3,747,074,090
6	4,694,041	44,059,000	48,753,041	.158	518,277,494	4,515,066,931
7	4,693,901	48,619,819	53,313,720	.094	521,733,528	5,087,117,528
8	6,018,992	53,920,533	59,939,525	.124	665,618,637	5,628,179,624
9	5,822,169	50,801,702	56,623,871	△ .055	627,668,963	5,299,515,270
10	6,132,173	51,261,856	57,394,029	.014	683,445,575	5,205,255,650
11	6,455,775	57,614,798	64,070,573	.116	718,885,151	5,646,071,655
12	6,402,498	58,379,938	64,782,436	.011	714,497,666	5,677,830,967
13	6,430,713	63,626,632	70,057,345	.081	741,597,321	6,306,083,147
14	6,561,272	65,377,974	71,939,246	.026	759,381,889	6,467,305,080
昭和 1	6,441,519	67,161,246	73,602,765	.023	762,600,274	6,502,666,192

貨車走行哩

增減 割合	一 日 平 均	空貨車哩	增減 割合	一 日 平 均	一箇年 平均		增減割合		一車平均 輸送噸數 (積空計)	積車平 均輸送 噸數
					積	空	積	空		
.091	1,816,417	159,366,164	.060	436,620	76	24	.013	△ .040	4.1	5.3
.112	2,019,135	178,651,257	.121	489,456	76	24	—	—	4.1	5.5
△ .029	1,961,437	174,283,164	.024	477,488	76	24	—	—	4.2	5.5
.085	2,122,221	187,226,788	.074	511,548	76	24	—	—	4.3	5.5
.182	2,514,897	210,841,613	.126	577,648	77	23	.013	△ .042	4.6	5.9
.077	2,707,620	217,185,622	.030	595,029	78	22	.013	△ .043	5.1	6.5
.051	2,845,593	216,431,805	△ .035	592,964	79	21	.013	△ .045	5.4	6.8
.067	3,028,869	^(286,373,500) 232,067,850	.072	634,065	79	21	—	—	5.7	7.2
△ .014	3,705,539	311,175,000	.087	852,534	77	23	△ .025	.095	5.9	7.5
.013	3,755,005	^(213,288,129) 310,249,257	.003	849,998	77	23	—	—	5.9	7.5
.040	2,839,128	220,811,831	.035	604,964	79	21	.026	△ .087	6.1	7.8
.006	2,847,852	244,929,351	.109	669,206	77	23	△ .025	.095	6.2	8.0
.100	3,142,603	280,157,617	.144	767,555	76	24	△ .013	.043	6.1	8.1
.008	3,166,773	275,575,014	.016	755,000	76	24	—	—	6.3	8.2
.014	3,212,740	279,579,836	.015	765,972	76	24	—	—	6.2	8.1

噸哩及運貨

哩	運		貨		
	計	割合	小口扱	貨切扱	
2,691,464,174	.146	10,517,807	35,236,894	45,754,701	—
3,053,852,638	.135	11,755,329	41,277,387	53,032,716	.078
2,982,798,481	△ .023	11,722,871	39,676,349	51,399,220	△ .031
3,309,518,677	.110	12,959,822	43,706,547	56,666,369	.102
4,179,134,660	.263	15,484,199	53,847,407	69,331,606	.224
5,033,344,425	.204	18,462,210	69,260,317	87,722,527	.265
5,608,851,056	.114	21,885,099	86,950,152	108,835,251	.241
6,293,798,261	.122	27,563,483	103,118,831	130,682,314	.201
5,927,184,233	△ .058	28,385,419	103,644,712	132,030,131	.010
5,888,701,225	△ .005	41,156,332	124,877,842	166,034,174	.258
6,364,956,806	.081	43,368,165	134,432,637	177,800,802	.071
6,392,328,633	.004	42,531,980	134,032,449	176,564,429	△ .007
7,047,680,468	.103	43,668,019	149,362,370	193,030,389	.093
7,226,686,969	.025	44,663,991	152,503,603	197,167,594	.021
7,205,266,466	.005	44,848,133	155,366,995	200,215,128	.015

貸切扱等級別數量運賃

等級	車數	噸數	噸數ノ 千分比	運賃	運賃ノ 千分比
1	518	5,071	1	35,620	3
2	7,618	68,458	17	555,917	51
3	16,378	157,971	40	923,239	85
4	48,680	551,743	138	2,112,065	195
5	266,131	3,206,537	804	7,221,495	666
計	339,325	3,989,780	1,000	10,848,336	1,000

備考 本表ハ昭和二年十一月十六日ヨリ十二月十五日ニ至ル三十日間ニ於ケル省線各驛

小口扱貨物等級別

種 等級	口 數	個 數	實 斤	
			重 量 扱	容 積 扱
1	32,668	105,630	4,396,117	1,491,285
百分比	5	3	3	4
2	88,466	317,618	21,909,981	1,906,525
百分比	14	10	12	6
3	222,887	888,103	53,552,047	11,748,562
百分比	37	29	31	37
4	187,515	1,077,424	53,035,364	11,088,976
百分比	31	36	30	35
5	80,355	655,337	42,795,375	5,815,591
百分比	13	22	24	18
計	611,891	3,044,112	175,688,884	32,050,939
	100	100	100	100

備考 本數量ハ昭和二年四月中旬中ニ於ケル省線發送ニ係ル小口扱貨物ヲ等級

取扱斤量等

種 等級	1	百分比	2	百分比	3
重 量 扱	4,396,117	64	21,909,981	86	53,552,047
容 積 扱 (換算斤量)	2,469,160	36	3,646,760	14	20,604,430
計	6,865,277	100	25,556,741	100	74,156,477
百 分 比	3		11		32

備考 本表ハ前表中ノ取扱斤量(重量扱及才積換算斤量)ヲ等級別並重量、

貸切扱等級別一車平均積載噸數運賃

等級	積載噸數	運賃	一噸當運賃
1	9.8	68.76	7.02
2	9.0	72.97	8.12
3	9.6	56.37	5.84
4	11.3	43.39	3.83
5	12.0	27.14	2.25
計	11.8	31.97	2.72

發送ニ係ル貸切扱(除級外品)ノ實積ニ依テ調製セルモノトス但運賃ハ省線收入ノミヲ計上セリ

數量運賃(百分比共)

計	量		才積	一才當 斤量	運賃
	換	噸			
5,887,402	3,463	246,916	6.0	66,402.81	
3	3	4		6	
23,816,506	14,010	364,676	5.2	153,577.78	
11	11	6		13	
65,300,609	38,412	2,060,443	5.7	510,468.85	
32	32	36		44	
64,124,340	37,720	1,928,981	5.7	281,314.89	
31	31	34		24	
48,610,966	28,595	1,186,333	4.9	149,919.12	
23	23	20		13	
207,739,823	122,200	5,787,349	5.5	1,161,683.51	
100	100	100		100	

ニ分割シ且百分比ヲ以テ表シタルモノナリ

級別百分比

百分比	4	百分比	5	百分比	計	百分比
72	53,035,364	73	42,795,375	78	175,688,884	75
28	19,289,810	27	11,863,330	22	57,873,490	25
100	72,325,174	100	54,658,705	100	233,562,374	100
	31		23		100	

才積別ノ割合ニ表シタルモノナリ

輸送哩別扱別貨物

Table with columns: 種別 (Type), 噸 (Tons), 延 (Miles), 小口扱 (Small), 貸切扱 (Leased), 計 (Total), 百分比 (Percentage), 小口扱 (Small). Rows include various tonnage categories from 25 to 1,000 tons and a total row.

備考 本表ハ大正十三年度中ノ

扱種別一噸平均輸送哩、運賃及一噸一哩平均運賃

Table with columns: 年 (Year), 一噸平均輸送哩 (Average miles per ton), 一噸平均運賃 (Average freight per ton), 一噸一哩平均運賃 (Average freight per ton-mile). Rows list years from 大正 1 to 昭和 1.

噸數及延噸哩

Table with columns: 噸 (Tons), 哩 (Miles), 一噸平均輸送哩 (Average miles per ton), 貸切扱 (Leased), 計 (Total), 百分比 (Percentage), 小口扱 (Small), 貸切扱 (Leased), 計 (Total). Rows include various tonnage categories and a total row.

實績ニ依リ調査シタルモノナリ

米國ニ於ケル貨車ノ種類ト平均積載力

(一九二六年十二月三十一日 現在)

Table with columns: 貨車ノ種類 (Type of freight car), 車數 (Number of cars), 一車平均積載力 (Average capacity per car). Rows list car types like 有蓋車 (Covered), 無蓋車 (Uncovered), 家畜車 (Livestock), etc.

主要貨物

Table with columns for year (3-8) and various goods (rice, beans, oil, etc.) with corresponding tonnage values.

備考 (1) 本表數量ハ省線發送及連帶線發送省線到着數量ヲ合算シタルモノナリ...

主要貨物扱別

Table showing classification of goods by type (e.g., rice, beans, oil) and their respective tonnage and average tonnage.

輸送噸數

Table showing shipping tonnage by year (9-14) and昭和1, with columns for various goods.

(2) 鹽干魚、生鮮魚、小麥粉、味噌醬油、綿絲、綿織物ニ對スル數量ハ小口、

噸數噸哩運賃

昭和元年中 (其ノ一)

Table showing shipping rates (tonnage and ton-miles) for various goods like rice, beans, oil, etc.